

# Canon

電子辞書

## wordtank V320

使用説明書

ご使用前にお読みください

クイックスタート

電子辞書を上手に活用する

コンテンツを使う

便利な機能を使う

Quick Reference

付録

ご使用前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この使用説明書は、お読みになった後も、いつでも取り出せる場所に保管してください。

English Quick Reference is enclosed in this instruction manual.

JPN

# 安全にお使いいただくために

ご使用前に必ずこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みの上、正しくお使いください。

## ■絵表示について

本書では本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を絵表示で示しています。絵表示の意味は次のとおりです。



**警告**

この警告事項に反した取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



**注意**

この注意事項に反した取り扱いをすると、人が障害または物的障害を負う可能性があることを示します。

## ■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

		記号は、取り扱いを誤ると、事故につながる可能性があることを示します。記号の中の図は注意事項を意味します。
		記号は、禁止の行為を示します。記号の中の図は禁止事項を意味します。 (左図：分解禁止)
		記号は、必ず守っていただきたい事柄を示します。記号の中の図は指示内容を意味します。

## ⚠ 警告

### 分解しないでください

本機を絶対に分解しないでください。万一、故障したと考えられる場合は、「保証規定に記載」されていますように、本機お買い上げの販売店、またはキヤノンマーケティングジャパン株式会社修理受付窓口まで保証書を添えて、ご持参、もしくはご郵送ください。



### 電池の取り扱い上の注意

次のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。


- (1) ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときにはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- (3) 火のそばや直射日光のあたるところや炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
- (4) 液もれ、破損のおそれがありますので充電非対応の乾電池は充電しないでください。
- (5) 電池の極性（+、-の方向）を正しく入れてください。
- (6) 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池をまぜて使わないでください。

### 医用電気機器の近くでの取り扱いについて

- ⊘ 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、本製品を胸部（胸のポケット）から離してご使用ください。万一、異常を感じた場合、ただちに本製品を体より離し、医師に相談してください。

### 電池交換時の注意

電池交換の際は次のことを守らないと、データが消去されます。充分ご注意ください。

- ⊘ (1) 電池は2個とも新しいものに交換してください。
- ⊘ (2) 電池の極性（+、-の方向）を間違えないようにしてください。
- ⓘ (3) 電池を交換する際は、本体の  から電源を切って交換してください。

### USB ケーブルの取り扱い上の注意

USB ケーブルは次のことを守ってご使用ください。火災や感電の原因になることがあります。

- ⊘ (1) 重いものを乗せたり、加熱しないでください。
- ⊘ (2) 加工したり、破損しないでください。
- ⊘ (3) ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ⊘ (4) 濡れた手でケーブルやプラグの抜き差しをしないでください。

### ⓘ 注意

### テレビやラジオから離してください

- ⊘ テレビやラジオの近くで使用すると、映像が乱れたり、雑音が入ることがあります。テレビやラジオから離して使用してください。



### ⓘ 注意

### 電池の取り扱い上の注意

次のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えたと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- ⓘ (1) 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしないでください。
- ⊘ (2) 使い切った電池はすぐに本体から取り出してください。
- ⊘ (3) 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。

### 充電式電池の取り扱い上の注意

- ⓘ (1) 本機から充電することはできません。市販の充電器で充電してください。
- ⊘ (2) ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけお使いになる直前に充電してください。
- ⊘ (3) 充電状態の異なる電池を組み合わせず使わないでください。
- ⊘ (4) 電池の特性上、お使いになる環境（気温）によって動作時間が異なります。

### USB ケーブルの取り扱い上の注意

- ⓘ (1) USB ケーブルはコンピューターに直接接続してください。

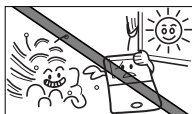
### イヤホンの音量についての注意

- ⊘ 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間聞き続けると、聴力に悪い影響を与えることがあります。

## その他使用上のご注意

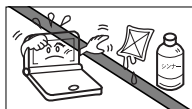
次の場所ではご使用にならないでください

- ⊘ 温度変化の激しいところ
- ⊘ 湿度、ごみ、ほこりのあるところ
- ⊘ 直射日光のあたるところ



日常のお手入れについてのお願い

- ⊘ お手入れの際はシンナーなどの揮発性の液体やぬれ雑巾は避け、乾いた柔らかい布をお使いください。



液晶表示画面を強く押さないでください

- ⊘ 液晶表示画面はガラスでできていますので、強く押しすぎたり強い衝撃を与えないでください。ガラスが割れれば、画面が割れる場合がありますのでご注意ください。

故障などの保証の注意

- ⚠ 万一、故障や修理、電池交換によるデータの変化や消失により生じた損害、あるいは、本機使用により生じた逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

その他使用上の注意

- ⚠ (1) 本機カバーの開閉時に、指をはさまないようにご注意ください。
- ⊘ (2) カードスロット（挿入部）、USB 端子部、およびイヤホン端子部などに金属製のピンを入れたり、ゴミを付着させないようにご注意ください。

## その他使用上のご注意

カードの取り扱い上の注意

- ⚠ (1) カードの破損や本機の故障を防ぐためにもカードの向き（表裏、前後）を確認の上カードスロットに正しく挿入してください。
- ⚠ (2) カードを本機に挿入したり、取り外す時は、カードスロットを顔に向けたりして、飛び出してきたカードでケガをしないようご注意ください。
- ⚠ (3) パソコンから SD メモリーカードにコピーしたデータは、誤操作、SD メモリーカードの紛失、本機の故障、修理などにより失われることがあります。それらのデータは必ずバックアップとしてパソコンに保存してご使用ください。

商標について

会社名および製品・サービス名は、それぞれを表示するた  
めだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標ある  
いは出願中の商標である場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## ご使用前にお読みください

安全にお使いいただくために

収録コンテンツ ..... 7

## クイックスタート

はじめてご使用になる前に ..... 9

付属品を確認する ..... 9

準備 [1] 付属の乾電池を入れる ..... 9

準備 [2] リセット操作 (電池タイプの選択・表示画面の濃度調整) をする ..... 9

本機のおもな特長 ..... 12

各部の名称 ..... 13

電池を交換するには ..... 14

家庭用電源を使うには ..... 17

本機に電池が入っていない (ご購入後、初めてご使用になる等)

場合 ..... 17

本機に電池が入っている場合 ..... 17

キーを押しても動作しないときは ..... 19

キーのはたらき ..... 20

基本の操作 ..... 22

電源を入れる カバーを開ける /  を使う ..... 22

バックライト機能を使う ..... 22

電源を切る カバーを閉じる /  を使う ..... 22

カーソルキー  /  /  /  と  /  を使う ..... 23


検索画面から調べたい項目を選び検索する ..... 26

検索方法 1 【読み検索】 ..... 26

検索方法 2 【目次検索】 ..... 27

検索方法 3 【条件検索】 ..... 29

手書き入力をする (検索方法4【漢字検索】) ..... 30

各種機能を実行する  を使う ..... 34

前の操作に戻る  を使う ..... 34

例文・解説・コラムを表示する ..... 34

スタイラスを使う ..... 34

画面上的表示アイコンについて ..... 36

文字を入力する ..... 37

文字の入力 ..... 37

文字の訂正 ..... 38

手書き入力で逆引き検索する ..... 39

手書き入力でアルファベットを入力する ..... 39

手書き入力で数字を入力する ..... 40

## 電子辞書を上手に活用する

各種機能の設定 ..... 42

Change message (表示メッセージ切替) ..... 42

入力方式 ..... 43

キー入力音 ..... 43

オートパワーオフ時間 ..... 43

手書き認識 ..... 44

電池切替 ..... 44

画面濃度調整 ..... 45

タッチスクリーンの補正 ..... 45

文字サイズ切替 ..... 46

音量調整 ..... 46

コンテンツ活用のコツ ..... 47

マイメニューにコンテンツを登録する ..... 47

別の語句を調べる ..... 49

コンテンツの凡例を見る ..... 49

発音を確認する ..... 50

すぐ出る発音機能を使う ..... 51

TTS 発音 (合成音声による発音) 機能を使う ..... 52

発音を録音し聞き比べる .....	53
検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする .....	55
図版を表示する .....	56

## 英語系辞書を使う

<b>英和辞典（ジーニアス英和、ベーシックジーニアス英和、ウィズダム英和）を使う .....</b>	<b>58</b>
【スペル検索】英単語を入力し、和訳を調べる .....	58
【成句検索】入力した英単語を含む成句を調べる .....	59
【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる .....	59
見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる .....	60
<b>和英辞典（ジーニアス和英とウィズダム和英）を使う .....</b>	<b>61</b>
【読み検索】日本語の読みを入力し、英訳を調べる .....	61
【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる .....	62
【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる .....	62
<b>英英辞典（OALDとOxford Essential）を使う .....</b>	<b>63</b>
【スペル検索】英単語を入力し、語義を調べる .....	63
【成句検索】入力した英単語を含む成句を調べる .....	63
【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる .....	64
見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる .....	64
<b>英会話とっさのひとこと辞典を使う .....</b>	<b>66</b>
【読み検索】読みを入力し、入力した語句を含む会話文を調べる .....	66
【スペル検索】英単語を入力し、例文を調べる .....	67
【場面別検索】場面別検索からフレーズ・例文を調べる .....	67
見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる .....	68
<b>Oxford Bookworms Libraryを使う .....</b>	<b>69</b>
小説を読む .....	69
アイコンとキーのはたらき .....	70

## 国語系辞書を使う

<b>国語辞典（スーパー大辞林と明鏡国語辞典）を使う .....</b>	<b>71</b>
【読み検索】日本語の語義を調べる .....	71
【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる .....	71
【逆引き検索】語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する（大辞林のみ） .....	71
【慣用句検索】語句を入力し、その語句を含む慣用句やことわざを調べる（大辞林のみ） .....	72
【略語検索】略語の正式名称とその意味を調べる（大辞林のみ） .....	72
【音声索引】鳥の鳴き声や音楽などの音声データを調べる（大辞林のみ） .....	73
【読み検索】類語を調べる（明鏡国語辞典のみ） .....	73
<b>漢字源を使う .....</b>	<b>74</b>
【読み・漢字検索】読みまたは漢字を手書き入力し、漢字や熟語を調べる .....	74
【音訓読み検索】音・訓読みを入力し、漢字を調べる .....	75
【名付け検索】名前に使われる漢字を調べる .....	75
【部品読み検索】部品名を入力し、漢字を調べる .....	76
【部首画数検索】部首画数を入力し、漢字を調べる .....	76
【総画数検索】総画数を入力し、漢字を調べる .....	76
熟語を表示する .....	77
漢字の筆順を表示する .....	77
<b>古語辞典を使う .....</b>	<b>78</b>
【読み検索】古語の読みを入力し、語義を調べる .....	78
【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる .....	79
<b>四字熟語辞典と故事ことわざ辞典を使う .....</b>	<b>80</b>
【読み検索】読みを入力し、意味を調べる .....	80
【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる .....	81
【目次検索】使用シーン／内容から調べる .....	81

百科事典マイペディアを使う .....	82
【読み検索】日本語の読みを入力し、意味を調べる .....	82
【漢字検索】漢字を手書きを入力し、調べる .....	83

## 理科・社会系辞書を使う

物理小事典、化学小事典、生物小事典を使う .....	84
【読み検索】用語の語義を調べる .....	84
【漢字検索】漢字を手書きを入力し、調べる .....	85
日本史小辞典と世界史小辞典を使う .....	86
【読み検索】用語を入力し、その年代や内容を調べる .....	86
【漢字検索】漢字を手書きを入力し、調べる .....	87
日本史B用語集、世界史B用語集、倫理用語集、 現代社会用語集、地理用語集、政治・経済用語集を使う .....	88
【読み検索】読みを入力し、用語を調べる .....	88
【漢字検索】漢字を手書きを入力し、用語を調べる .....	89
【目次検索】目次から用語を調べる .....	89

## 学習系コンテンツを使う

学習コンテンツに共通する基本の操作 .....	90
ツリー形式リスト - 項目の選択方法 .....	90
チェックボックス .....	92
テスト結果グラフ表示 .....	93
学習設定の方法 .....	93
キクタン (Basic 4000、Advanced 6000、Super 12000) と キクジユク (Basic 1800 と Super 3600) を使う .....	97
【スペル検索】見出し語を検索する .....	97
チャントを使う .....	98
学習する .....	99
テストをする .....	99
ウィークリーレビューを表示する .....	100

入試英単語の王道 2000+50 を使う .....	101
【スペル検索】スペルを入力し、英単語を調べる .....	101
英単語を学習する .....	101
単語あるいは例文のテストをする .....	102
英語リスニング対策を使う .....	104
検索画面で項目を選び、リスニング問題を行う .....	104
テスト結果を見る .....	106
ロイヤル英文法を使う .....	108
項目名を入力し、調べる .....	108
【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる .....	108
目次から項目を調べる .....	109
会話慣用表現を調べる .....	109
ロイヤル英文法問題集を使う .....	110
英文法問題集を行う .....	110
漢検ブチドリル (3級、準2級、2級) を使う .....	112
問題を解きながら漢字を学習する .....	112
古文単語・熟語ターゲット 400 を使う .....	114
【読み検索】読みを入力し、語義を調べる .....	114
【漢字検索】漢字を手書きを入力し、調べる .....	114
古文単語・熟語を学習する .....	115
【解説・コラム検索】解説・コラムを表示する .....	116
数学公式集を使う .....	117
数学公式集を学習する .....	117

## 便利な機能を使う

複数辞書検索機能を使う .....	118
【読み検索】語義や訳を複数辞書検索する .....	118
【成句検索】入力した英単語を含む成句を調べる .....	118
【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる .....	119
ディクショナリーリンク機能を使う .....	120
同じ見出し語を他のコンテンツにジャンプして調べる .....	120

マルチジャンプ機能を使う .....	121
指定したコンテンツへジャンプする .....	121
参照ジャンプをする .....	122
関連語句を調べる .....	124
成句、複合語、類語、熟語、慣用連語、句動詞を表示する .....	124
単語帳を使う .....	126
覚えたい語句を単語帳に登録する .....	126
登録した単語を表示する .....	127
単語帳の設定をする .....	129
単語帳のデータを削除する .....	130
スペルチェック機能を使う .....	132
ワイルドカードサーチ機能を使う .....	133
履歴機能を使う .....	135
履歴リストから本文画面を表示する .....	135
履歴を削除する .....	137
カード（コンテンツカードやSDメモリーカード等）を使う .....	140
カードを挿入する .....	140
カードを取り出す .....	141
コンテンツカードを使う .....	141
テキストビューアー機能を使う .....	143
テキストファイルをSDメモリーカードにコピーする .....	143
SDメモリーカード内のフォルダとファイルの条件 .....	144
テキストファイルを読む .....	144
MP3プレーヤー機能を使う .....	146
MP3ファイルをSDメモリーカードにコピーする .....	146
MP3ファイルを再生する .....	147
アイコンとキーのはたらき .....	149
各種機能の設定 .....	150
電卓機能を使う .....	152
おぼえておくと便利なキーのはたらき .....	154

## Quick Reference

Quick Reference .....	155
-----------------------	-----

## 付録

英語リスニング対策イラスト .....	177
「⇒スタート編で学習をします」→「トレーニング」より .....	177
「⇒スタート編で学習をします」→「スタート編-実践」→	
「part 2」より .....	179
「⇒傾向と対策で学習をします」→「傾向と対策-類似問題」	
→「part 1」および「part 2」より .....	179
「⇒傾向と対策で学習をします」→「傾向と対策-試行問題」より .....	180
古語辞典 国語・国文法用語解説 .....	181
ローマ字／かな対応表 .....	233
著作物と著作権など .....	235
操作中、困った時にお読みください .....	239
よくあるご質問 .....	239
メッセージが表示された時は .....	240
おもな仕様 .....	243



## 収録コンテンツ

- **ジーニアス英和辞典 第4版** (☞58 ページ掲載)  
大修館書店 収録数 約96,000 語句
- **ベーシックジーニアス英和辞典** (☞58 ページ掲載)  
大修館書店 収録数 約40,000 語句
- **ジーニアス和英辞典 第2版** (☞61 ページ掲載)  
大修館書店 収録数 約82,000 語句
- **ウィズダム英和辞典 第2版** (☞58 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約90,000 項目
- **ウィズダム和英辞典** (☞61 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約88,000 項目
- **オックスフォード現代英英辞典 第7版** (☞63 ページ掲載)  
Oxford Advanced Learner's Dictionary, 7th edition  
Oxford University Press 収録数 約183,500 語
- **Oxford Essential Dictionary** (☞63 ページ掲載)  
Oxford University Press 収録数 約20,000 語句
- **英会話とっさのひとこと辞典** (☞66 ページ掲載)  
DHC 収録数 約8,000 例文
- **Oxford Bookworms Library** (☞69 ページ掲載)  
Oxford University Press 収録数 10 作品
- **スーパー大辞林 3.0** (☞71 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約252,000 語
- **明鏡国語辞典** (☞71 ページ掲載)  
大修館書店 収録数 約70,000 項目

- **改訂新版 漢字源 (JIS 第1~第4水準版)** (☞74 ページ掲載)  
学習研究社 収録数 親字 13,255 字/熟語 約48,000 語
- **旺文社古語辞典 第九版** (☞78 ページ掲載)  
旺文社 収録数 約43,500 語
- **用例でわかる 四字熟語辞典** (☞80 ページ掲載)  
学習研究社 収録数 約4,700 項目
- **用例でわかる 故事ことわざ辞典** (☞80 ページ掲載)  
学習研究社 収録数 約5,500 項目
- **百科事典 マイペディア 電子辞書版** (☞82 ページ掲載)  
日立システムアンドサービス 収録数 約65,700 項目
- **三省堂物理小事典<第4版>** (☞84 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約4,100 項目
- **三省堂化学小事典<第4版>** (☞84 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約4,900 項目
- **三省堂生物小事典<第4版>** (☞84 ページ掲載)  
三省堂 収録数 約4,500 項目
- **山川 日本史小辞典 新版** (☞86 ページ掲載)  
山川出版社 収録数 約9,100 項目
- **山川 世界史小辞典 改訂新版** (☞86 ページ掲載)  
山川出版社 収録数 約9,400 項目
- **日本史 B 用語集** (☞88 ページ掲載)  
山川出版社 収録数 約11,400 用語
- **世界史 B 用語集 改訂版** (☞88 ページ掲載)  
山川出版社 収録数 約6,200 用語

## ■ 倫理用語集

山川出版社 収録数 約 2,500 用語

## ■ 現代社会用語集 改訂版

山川出版社 収録数 約 4,000 用語

## ■ 地理用語集

山川出版社 収録数 約 5,000 用語

## ■ 政治・経済用語集

山川出版社 収録数 約 3,000 用語

## ■ キクタン Basic 4000

アルク 収録数 1,120 語

## ■ キクタン Advanced 6000

アルク 収録数 896 語

## ■ キクタン Super 12000

アルク 収録数 1,120 語

## ■ キクジク Basic 1800

アルク 収録数 687 熟語

## ■ キクジク Super 3600

アルク 収録数 1,123 熟語

## ■ 入試英単語の王道 2000 + 50 ((☞)101 ページ掲載)

河合出版 収録数 見出し語 2,000 語 / 多義語 50 語

## ■ 大学入試 英語リスニング対策 スタート編

((☞)104 ページ掲載)

旺文社 収録数 150 問

## ■ 傾向と対策 英語リスニング ((☞)104 ページ掲載)

旺文社 収録数 リスニングテスト 3 回 (試行テスト + 類似問題 2 回)

((☞)88 ページ掲載)

((☞)88 ページ掲載)

((☞)88 ページ掲載)

((☞)88 ページ掲載)

((☞)97 ページ掲載)

((☞)97 ページ掲載)

((☞)97 ページ掲載)

((☞)97 ページ掲載)

((☞)97 ページ掲載)

## ■ 旺文社監修 センター試験リスニング対策 過去問題

((☞)104 ページ掲載)

旺文社 収録数 過去問題 3 回

## ■ 徹底例解 ロイヤル英文法 改訂新版 ((☞)108 ページ掲載)

旺文社 収録数 約 395 項目

## ■ ロイヤル英文法問題集 改訂新版 ((☞)110 ページ掲載)

旺文社 収録数 約 2,200 項目

## ■ 漢検ブチドリル 3 級 改訂版 ((☞)112 ページ掲載)

旺文社 収録数 1,535 項目

## ■ 漢検ブチドリル 準 2 級 改訂版 ((☞)112 ページ掲載)

旺文社 収録数 1,455 項目

## ■ 漢検ブチドリル 2 級 改訂版 ((☞)112 ページ掲載)

旺文社 収録数 1,502 項目

## ■ 古文単語・熟語ターゲット 400 ((☞)114 ページ掲載)

旺文社 収録数 400 項目

## ■ 旺文社監修 数学公式集

((☞)117 ページ掲載)

旺文社 収録数 180 項目

# はじめてご使用になる前に

## 付属品を確認する

ご使用になる前に、下記の付属品がそろっているかご確認ください。

- USB ケーブル (マイクロ USB-B)
- イヤホン (φ2.5 ステレオ超ミニプラグ、ステレオ対応\*)
- スタイラス (本体に収納)
- アルカリ乾電池単 4 形 2 本
- 使用説明書 (本書)

\*内蔵スピーカーはモノラル対応です。

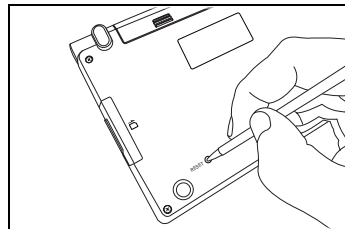
## 準備 [1] 付属の乾電池を入れる

付属の単 4 形乾電池 (または市販のニッケル水素電池) 2 本を 14 ページの「電池を交換するには」に従って入れてください。

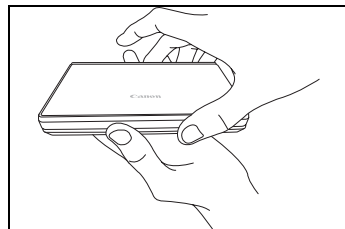
- 別売の AC アダプター (AD-26) を使用する場合は、「家庭用電源を使うには」(☞ 17 ページ) をご参照ください。

## 準備 [2] リセット操作 (電池タイプの選択・表示画面の濃度調整) をする

- 1 裏面のリセットスイッチを押してください。  
(キーを押しても動作しないときは ☞ 19 ページ参照)



- 2 図のように本体に指をかけて、上のカバーを開きます。




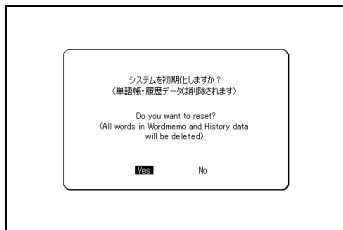
## ⚠ 注意




### ご注意




カバーの開閉時に指をはさまないように、ご注意ください。

**3** 表示画面が見やすいように、ディスプレイの角度を調節してください。



**4** 本機をはじめてご使用になる場合は、「Yes」をスタイラスでタップ（スタイラスで画面に軽く触れる）して初期化してください。  
「Yes」を反転表示させた状態で  を押しても初期化できます。

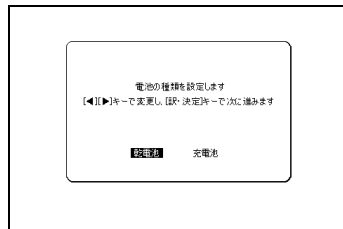



- リセットの操作中、まれにスタイラスがうまく操作できない場合があります。そうした場合は  /  でカーソルを「Yes」に移動させて選択し、 を押してください。

**5** 画面に「スタイラスで X 印をタップして、タッチスクリーンを補正します」とメッセージが表示されます。スタイラスで画面に表示されている  をタップすると、 が画面から消えます（5 画面で行います）。（タッチスクリーンの補正  45 ページ参照）

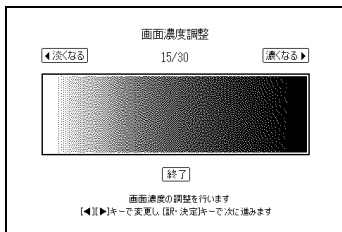


**6** タッチスクリーン補正の終了後、画面に「電池の種類を設定します」と表示されます。  /  でカーソルを移動させ、準備 [1] で入れた電池（ここでは「乾電池」）を選択します。



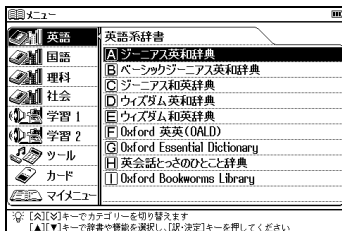
- 設定した電池の種類と実際に入れた電池の種類が異なっている場合、電池の残量表示  や電池交換のメッセージが正しく表示されないことがありますのでご注意ください。

- 7 **決定** を押すと、画面濃度調整用の画面が表示されます。  
**戻る** / **進む** でカーソルを移動させ、見やすい濃度に調整してください。



- スタイルスを使う場合は、画面の **戻る** **進む** をタップしてください。
- スタイルスを使う場合は、画面の **終了** をタップしてください。

- 8 **決定** を押すと、初期化が完了となりメニュー画面が表示されます。



# 本機のおもな特長

## 英語学習に必須の発音機能

英語の見出し語や会話文のネイティブ発音を聞くことができます。また全コンテンツで英語部分を選択し、発音するTTS発音\*<sup>1</sup>機能を搭載。会話力UPに貢献します。

📖 50～55 ページ

## 多彩な和英、和英、英英辞書コンテンツ

3つの和英辞典、2つの和英辞典、2つの英英辞典を自由に選択することができます。幅広い層の学習者に対応します。

📖 58～65 ページ

## キクタン・キクジユク コンテンツ

音楽に合わせて単語や熟語を聞く「チャンツ」を利用し、ネイティブスピーカーの発音に慣れ親しみながら、単語や熟語の学習をすることができます。

📖 97 ページ

## 英語リスニング対策

センター試験のリスニングテストに沿った内容の学習ができます。トレーニング問題やテストで実力を試し、進捗管理ボックスで学習の進み具合を把握できます。

📖 104 ページ

## Oxford Bookworms Library コンテンツ

日本人にも親しみのある英文小説を10冊搭載。ストーリーを音声で聞くことができ、リスニング力UPをサポートします。カバーを閉じた状態でも聞くことができます。

📖 69 ページ

## テキストビューアー機能

テキスト形式のファイルを市販のSDメモリーカードに保存し、電子辞書上で読むことができます。

📖 143 ページ

## MP3 プレーヤー機能

市販のSDメモリーカードに保存されたMP3形式のデータを再生することができます。

📖 146 ページ

## 手書き入力

ひらがなカタカナはもちろん、読み方がわからない漢字、英語も手書き入力で検索できます。

📖 30 ページ

## スタイラスによるペンタッチ操作

付属のスタイラスを使って簡単なペンタッチ操作が可能です。アイコンをタップ\*<sup>2</sup>してラクラク操作を実現します。

📖 34 ページ

## バックライト機能

薄暗い環境でも、操作が可能なバックライト機能を搭載。採光がむずかしい所でも、快適に検索できます。

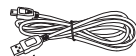
📖 22 ページ

\*<sup>1</sup> TTS 発音…Text To Speech(合成音声)のことです。

\*<sup>2</sup> タップ…画面をスタイラスで軽くふれることです。

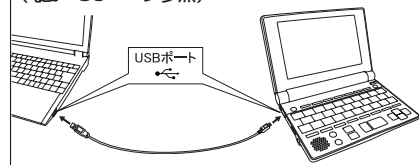
# 各部の名称

## 前面

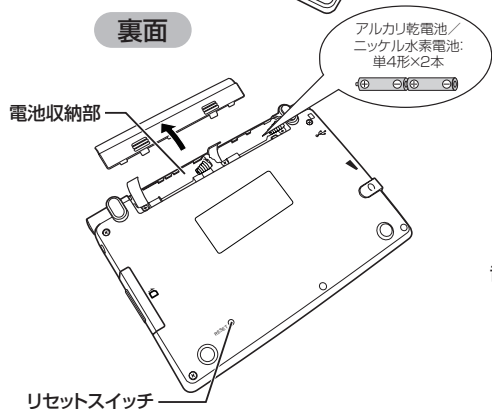


USBケーブル  
(本機とパソコンの接続に使用します)

USBケーブルは下記のように接続します  
(P.36ページ参照)



## 裏面





## 発音・音楽を聞いたり録音するために



## 電池を交換するには

本体の電池が消耗してきた場合、電源を入れた時に「電池を交換してください」と表示されますので、電源を切りすみやかに電池を交換してください。また電池が著しく消耗した時には「電池残量不足の為 処理を実行出来ません 電源を OFF します」と表示され、電源が切れます。この場合も、ただちに電池を交換してください。**本機で使用できる電池は、単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) か市販の単 4 形ニッケル水素電池です。交換の際もこれと同じものをお求めください。**


指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。**交換の際には必ず新品の単 4 形電池 2 本をご使用ください。また種類の異なる電池を混ぜて使用することは、絶対に避けてください。**

電池残量は画面右上に表示される電池残量表示アイコン  の目盛りを目安にしてください。アイコンの表示が  になると、残量不足のため処理を実行できなくなりますので、すみやかに電池交換を行ってください。

### ⚠ 注意

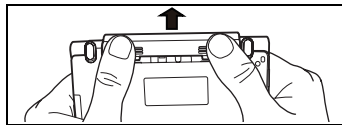
#### 電池交換時のご注意

電池交換の際は次のことを守らないと、**データが消去されます**。充分ご注意ください。

- 電池を交換する際は、必ず本体の  キーで電源を切ってから行ってください。
- 電池は 2 個とも新しいものに交換してください。
- 電池の極性 (+、- の方向) を間違えないようにしてください。

**1** 電源を切り、本機を裏にして図のように電池ぶたの上に指をのせます。

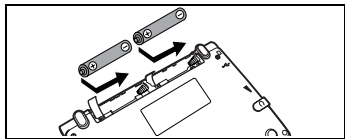
電池ぶたを矢印の方向に押しながらはずします。



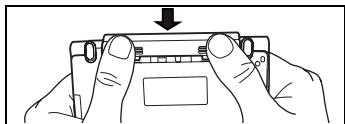




## 2 極性 (+、- の方向) を間違えないように注意しながら、電池を 2 個同時に交換します。

- はずすときは電池取り出し用リボンを使用すると便利です。また、強く引っ張りすぎると切れてしまうことがあるのでご注意ください。




## 3 電池ぶたをもとの位置にもどします。



- 画面に「システムを初期化しますか? (単語帳・履歴・メモデータは削除されます)」と表示された場合は、「No」を選択し、 を押してください。
- 電池交換後は、環境設定画面にて電池の種類を正しく設定してください。(電池切替  44 ページ参照)

## オートパワーオフ機能

本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています。電源が切れるまでの時間は、環境設定画面の「オートパワーオフ時間」の項目で 30 分以内で設定することができます。(オートパワーオフ時間  43 ページ参照)

- 電池が消耗した状態で発音や音声再生を行うと、音がかすれて聞こえることがあります。その場合は、すみやかに電池を交換してください。

## 日本国内での乾電池の廃棄について

使用済みの電池は、+極と-極をテープで絶縁してから、地方自治体の条例、規則に従って廃棄してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

## ニッケル水素電池について

この製品は、市販のニッケル水素電池を使用することができます。あらかじめ十分に充電をしてから、ご使用ください。

## ⚠ 注意

### 市販の充電式電池を使用する場合のご注意



- 本機から充電することはできません。市販の充電器で充電してください。
- ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。できるだけお使いになる直前に充電してください。



- 充電状態の異なる電池、また種類の異なる電池(充電式電池と乾電池)を組み合わせず使わないでください。
- 電池の特性上、お使いになる環境(気温)によって動作時間が異なります。

## 🇯🇵 日本国内での充電式電池の廃棄について

- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニッケル水素電池の回収・リサイクルについては、下記キヤノンのホームページで確認できます。  
キヤノンサポートページ  
<http://canon.jp/support>
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店へお持ちください。  
充電式電池の回収・リサイクル協力店については有限責任中間法人 JBRC ホームページを参照してください。  
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>


## 家庭用電源を使うには

別売りの専用アダプター (AD-26) を使って、家庭用電源から電源をとることができます。

### ⚠ 注意


本機を指定の AC アダプターで長期間お使いになる時は、本機から電池を取り出してください。  
液もれ等による故障及び損傷の原因になることがあります。

### 本機に電池が入っていない (ご購入後、初めてご使用になる等) 場合


- 1 本機のカバーを開け、左側面の電源ジャック (USB ポート共用) のふたを開けます。
- 2 AC アダプターの DC プラグを電源ジャックに差し込みます。
- 3 AC アダプターを AC100-240V 50/60Hz のコンセントに差し込みます。
  - 動作保証については日本国内に限定されています。
- 4 「システムを初期化しますか？」のメッセージが表示されますので、本機をはじめてご使用になる場合は、「Yes」を反転表示させた状態で  を押して初期化してください。

### 🔍 初めてのご使用でない場合

初めてのご使用でない場合、「システムを初期化しますか？」のメッセージが表示された後「Yes」を選択すると単語帳、履歴等のデータはすべて消去され、すべての設定が初期化されます。「No」を選択した場合、データは失われずそのまま保存されます。

- 5 画面に「スタイラスで X 印をタップして、タッチスクリーンを補正します」のメッセージが表示されます。  
以降画面の指示に従い操作してください。  
(はじめてご使用になる前に  9 ページ参照)
  - メニュー画面が表示され使用可能となります。

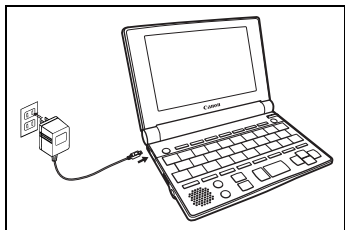
### 本機に電池が入っている場合

使用説明書に従って電池を入れた場合、または既にご使用中の場合は左記の手順 2 の後で、 を押し電源を入れます。

## ⚠ 注意

本機は、単語帳に記憶させた内容、検索の履歴を**通常操作で電源を切る時に**メモリー内部に書き込みます。電源を突然切断すると前回書き込み済み以降の単語帳への書き込みと検索の履歴は失われます。電池の交換と AC アダプターの本体への差し込みは必ず電源を通常操作で切った後で行うようにしてください。

## AC アダプターの接続方法



## ⚠ 注意

### 安全上のご注意

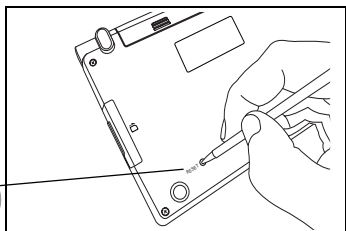
- 必ず弊社指定の AC アダプター (AD-26) をご使用ください。
- DCプラグの先端部および電源ジャックには触らないでください。
- ACアダプターを外す時には、本機の電源を「切」にして、ACアダプター、DCプラグの順に外してください。
- 水のかかる場所等では絶対に使用しないでください。感電や事故の原因となります。
- ACアダプターの上に布団・毛布などを置いての使用や、熱器具の近くでは使用しないでください。発熱・変形・故障等の原因になることがあります。
- 異常を感じたら、すぐに使用を中止してください。
- ご使用にならない時は、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

## キーを押しても動作しないときは

本機使用中に、強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれにすべてのキーが機能しなくなる等の異常が発生することがあります。このような異常が発生した場合は、リセットスイッチを押して機能をもとにもどしてください。

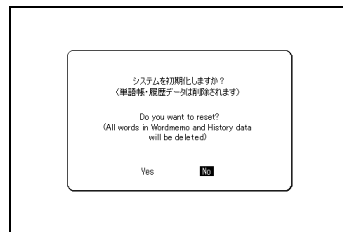
### 1 本体裏面のリセットスイッチを押します。

- ボールペンなど先の細いもので押してください。ただし、**芯の出たシャープペンシルのような先の折れやすいもの、針のような先の鋭利なものは使用しないでください。**スイッチが押されたままになったり、損傷する可能性があります。



### 2 リセットスイッチを押すと画面のようなメッセージが表示されます。

「No」を反転表示させた状態で、**【訳・決定】**を押します。



### ⚠ 注意

**「Yes」を選ぶと、単語帳に登録されたデータ及び履歴データはすべて消去され、すべての設定が初期化されます。**

「No」を選択した場合は、データは失われずそのまま保存されます。

ただし、次のような場合は必ず「Yes」を選択してリセットしてください。

- 本機をはじめてご使用になるとき
- 長時間電池を入れず放置した後で、再びご使用になるとき

強度の外来ノイズや強いショックを受けたことにより、異常が発生した場合は、「No」を選択しても**「メモリーデータに異常が発見されました システムを初期化します Yes 【訳・決定】」**というメッセージが表示されます。**【訳・決定】**を押すと、記憶内容はすべて消去され、設定も初期化されます。

# キーのはたらき





1	ON/OFF ON/OFFキー	電源のON/OFF切り替えに使用します。	5	英和 英和キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、ジーニアス英和の検索画面が表示されます。2回押すとベーシックジーニアス英和、3回押すとウィズダム英和の検索画面が表示されます。
2	メニュー/単語帳 メニュー/ 単語帳キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、メインメニューが表示されます。2回押すと単語帳の検索画面が表示されます。	6	和英 和英キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、ジーニアス和英の検索画面が表示されます。2回押すとウィズダム和英の検索画面が表示されます。
3	複数検索 複数検索キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、複数辞書検索画面が表示されます。	7	英英 英英キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、OALDの検索画面が表示されます。2回押すとOxford Essentialの検索画面が表示されます。
4	国語 国語キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、大辞林の検索画面が表示されます。2回押すと明鏡国語辞典の検索画面が表示されます。	8	学習 学習キー	電源が切れている時に押すと電源が入り、学習系コンテンツ1のメニュー画面が表示されます。

9	 バックライト	電源が入っている時に押すとバックライトが使用できます。	19	 スペルチェックキー	入力した語句のスペルチェックを行う時に使用します。
10	文字入力キー	文字、数字の入力時また電卓機能で使用します。	20	 文字サイズ	文字サイズの切り替えを行う時に使用します。
11	 &/?/*キー	成句検索や部品読み検索等の入力画面で押すと単語や部品名を結ぶ「&」を入力できます。ワイルドカード検索で押すと「?」と「*」を入力することができます。	21	 手書き入力キー	手書き入力欄を表示させます。
12	 ハイフン/ チェックマークキー	「- (ハイフン)」や「ー (長音)」を入力できます。また単語帳、テスト画面、学習コンテンツで学習した語句の頭に☑を入れることができます。	22	 録音キー	発音比較の時に使用します。
13	 削除/登録キー	文字入力中に押すと、1文字ずつさかのぼって文字を消去します。各コンテンツの本文画面で押すと、表示中の見出し語が単語帳に登録されます。	23	 発音キー	発音を聞く時に使用します。
14	 ジャンプキー	ジャンプを実行したい語句を選択する時に使用します。	24	 前見出し/ 次見出しキー	メニュー画面ではコンテンツのカテゴリを選択する時に使用します。本文画面では前後の見出し語に移る時に使用します。また見出し語リスト画面では前/次画面に移ることができます。
15	 辞書リンクキー	辞書リンク画面が表示されます。	25	 カーソルキー	カーソルを上下に移動させることができます。前の行および次の行に1行ずつスクロールすることができます。
16	 履歴キー	今までに調べた語句を一覧表示します(最新のものから順に500件まで記憶されます)。		 カーソルキー	カーソルを左右に移動させることができます。また本文画面では前/次画面に移ることができます。
17	 例文展開キー	本文画面で押すと、例文、解説またはコラムが表示されます。	26	 戻るキー	キーを押すごとに、今まで表示した画面をさかのぼって表示します。
18	 関連語句キー	本文画面で      が表示されているとき 成句、複合語、熟語、句動詞のリストを表示させることができます。	27	 訳・決定キー	文字や訳の検索および各種機能を実行する時に使用します。電卓機能使用時は「=」を意味します。


## 基本の操作

### 電源を入れる カバーを開ける / を使う

本機のカバーを開けるか、 を押すと電源が入り、前回電源を切った状態の画面が表示されます（レジューム機能）。また 、、、、、 を押し

-  を押すと電源が入り「学習系コンテンツ1」のメニュー画面が表示されます。

### バックライト機能を使う


 を押すと、薄暗い環境でも操作ができるようバックライトが点灯し、画面が明るくなります。


バックライトはキー操作を行わないと1分後に自動的に消灯します（ただし、USB バスパワー使用時は15分）。バックライト消灯中は、電池の消費を抑えることができます。


#### バックライト使用時の電池寿命

1時間あたりバックライト点灯1分を5回繰り返す場合、アルカリ乾電池で約60時間、充電式ニッケル水素電池で約50時間使用できます。

### 電源を切る カバーを閉じる / を使う

電源が入っている時に本機のカバーを閉じるか、 を押すと電源が切れます。MP3再生中は、カバーを閉じたままでも再生を継続します。

(MP3プレーヤー機能を使う  146ページ参照)

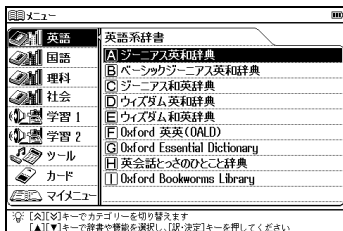
- 電池の消耗を防ぐために、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています（オートパワーオフ機能）。電源が切れるまでの時間は環境設定画面で設定することができます（最大30分）。  
(オートパワーオフ時間  43ページ参照)



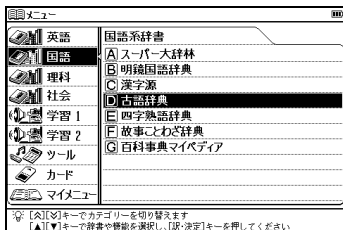
カーソルキー **▼**/**▲**/**◀**/**▶** と **↑**/**↓** を使う

## メニュー画面からコンテンツを選ぶ

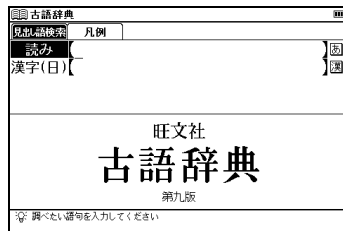
1 **メニュー/検索** を押し、メニュー画面を表示させます。



2 **↑**/**↓** でカーソルを移動させ、コンテンツのカテゴリーを選択します。カテゴリーを選択した後、**▼**/**▲** でカーソルを移動させ、コンテンツを選択します。



3 **決定** を押すと、コンテンツの検索画面が表示されます。  
• 表示されたコンテンツ名左のアルファベットを、文字入力キーで入力して選択することもできます。



## 各コンテンツの分類先

### 英語

ジーニアス英和辞典〈ジーニアス英和〉  
ベーシックジーニアス英和辞典〈ベーシックジーニアス英和〉  
ジーニアス和英辞典〈ジーニアス和英〉  
ウィズダム英和辞典〈ウィズダム英和〉  
ウィズダム和英辞典〈ウィズダム和英〉  
Oxford 英英 (OALD) 〈OALD〉  
Oxford Essential Dictionary 〈Oxford Essential〉  
英会話とっさのひとこと辞典  
Oxford Bookworms Library 〈Oxford Bookworms〉

### 国語

スーパー大辞林〈大辞林〉 故事ことわざ辞典  
明鏡国語辞典 百科事典マイペディア  
漢字源  
古語辞典  
四字熟語辞典

### 理科

三省堂物理小事典 三省堂生物小事典  
三省堂化学小事典

### 社会

日本史小辞典 倫理用語集  
世界史小辞典 現代社会用語集  
日本史 B 用語集 地理用語集  
世界史 B 用語集 政治・経済用語集

### 学習 1

キクタン Basic 4000  
キクタン Advanced 6000  
キクタン Super 12000  
キクジユク Basic 1800  
キクジユク Super 3600  
入試英単語の王道 2000+50  
英語リスニング対策


### ツール

複数辞書検索  
テキストビューアー  
単語帳  
MP3  
電卓  
環境設定  
• 〈 〉内は使用説明書中の表記名です。

### 学習 2

ロイヤル英文法  
ロイヤル英文法問題集  
漢検プチドリル 3 級  
漢検プチドリル準 2 級  
漢検プチドリル 2 級  
古文単語・熟語ターゲット 400  
数学公式集

### カード

カードメニュー  
•  を押すと、挿入したカードのコンテンツ名が表示されます。

### マイメニュー

( 47 ページ参照)

## 画面のスクロール

画面に表示しきれない内容があるときに画面を送ります。  
▼▲※をスタイラスでタップして行うこともできます  
(「む(助動マ四型)」の本文画面を例とします)。

(画面上の表示アイコンについて 36 ページ参照)

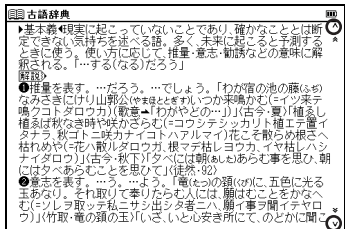
### 1 行ずつ送る場合

▼ を押すと画面が 1 行ずつ送られます。

▲ を押すと 1 行ずつ戻ります。

スタイラスでは ▼ をタップすると画面が 1 行ずつ送られ、

▲ をタップすると 1 行ずつ戻ります。



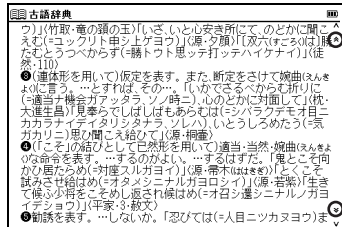
### 1 画面ずつ送る場合

▼ を押すと画面が 1 画面ずつ送られます。

▲ を押すと 1 画面ずつ戻ります。

スタイラスでは ▼ をタップすると画面が 1 画面ずつ送られ、

▲ をタップすると 1 画面ずつ戻ります。

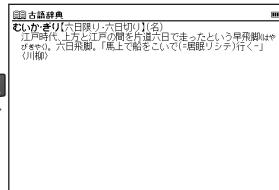
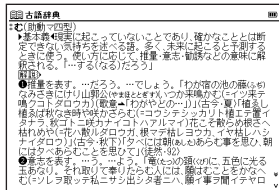


## 前後の見出し語に移る

本文画面で ▼ を押すと、収録語順に次の見出し語の本文画面を表示します。

▲ を押すと、1つ前の見出し語の本文画面を表示します。

- コンテンツまたは検索方法により、候補リストの表示順と本文画面から前見出し語、次見出し語を表示させた場合の順序が異なる場合があります。



## 検索画面から調べたい項目を選び検索する

コンテンツにより、いろいろな検索方法がありますが、下記 4 つがおもな検索方法です。

検索方法	内 容	参照ページ
検索方法 1	【読み検索】読み・スペルを入力して調べる	26 ページ
検索方法 2	【目次検索】目次から調べる	27 ページ
検索方法 3	【条件検索】複数の条件を入力して調べる	29 ページ
検索方法 4	【漢字検索】漢字を入力して調べる	30 ページ


## 検索方法 1 【読み検索】

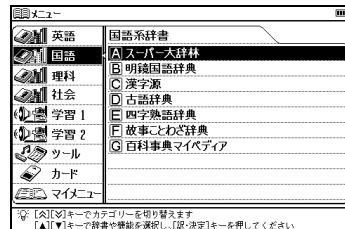
調べたい単語や語句を入力欄に入力し、検索します。

(文字を入力する (👉) 37 ページ参照)

文字を入力すると同時に、入力した文字から始まる単語や語句が候補表示されます (すぐ出る検索)。

### 例題 大辞林で「截然 (せつぜん)」を調べます

1  を 1 回押して大辞林の検索画面を表示させます。

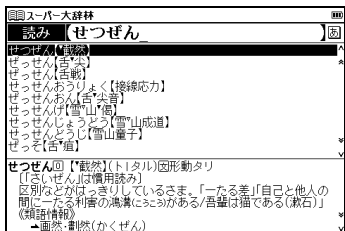


2 文字入力キーを使い、読み入力欄に調べたい単語や語句（ここでは「せつぜん」）を入力します。

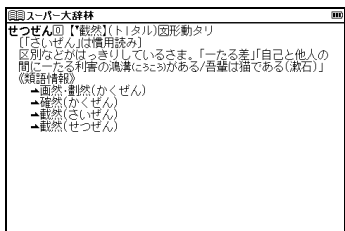
▼/▲ でカーソルを移動させ、調べたい単語や語句を選択します。スタイラスを使う場合は、候補表示画面の単語や語句をタップします。

（スタイラスを使う [👉] 34 ページ参照）

- 候補表示画面で 🔍/▼ を押すと、前ページまたは次ページの候補表示画面が表示されます。



3 [👉] を押すと、選択した単語や語句の本文画面が表示されます。スタイラスを使う場合は、選択した候補をタップすると本文画面が表示されます。



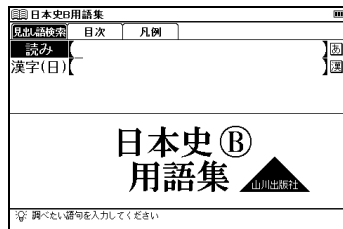
## 検索方法 2 【目次検索】

語句、表現などが目次や索引としてまとめられているコンテンツでは、調べたい項目を選んでいくことによって目的の内容を探し出すことができます。

### 例題 日本史 B 用語集で「院政期の文化」を調べます

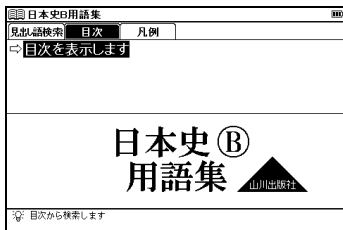
1 日本史 B 用語集の検索画面を表示させます。

（メニュー画面からコンテンツを選ぶ [👉] 23 ページ参照）

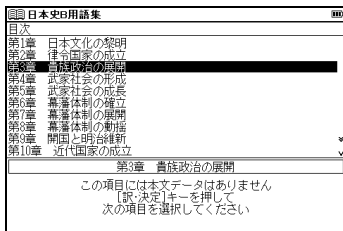


2 ▶ で「目次」を選択します。

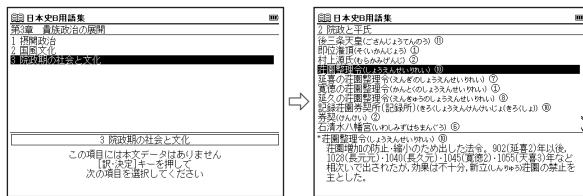
Ⓜ を押すと、目次の検索画面が表示されます。



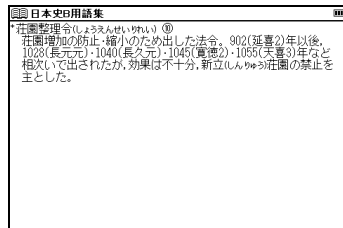
3 ▼ / ▲ でカーソルを移動させ調べたい分類（ここでは「第3章 貴族政治の展開」）を選択し、Ⓜ を押して分類リストを表示します。



4 小分類がある場合は、手順 3 と同様に調べたいカテゴリーが含まれる小分類リストを選択し、Ⓜ を押します。（ここでは「3 院政期の社会と文化」→「2 院政と平氏」→「荘園整理令（しょうえんせいりれい）⑩」）



5 Ⓜ を押すと、選択した単語や語句の本文画面が表示されます。



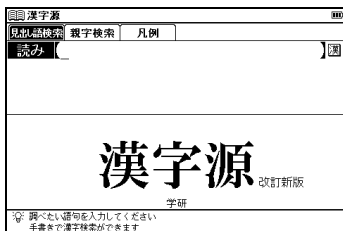
### 検索方法 3【条件検索】

検索条件を入力して調べます。検索対象を絞り込み、より効率的に検索することが可能です。また複数の条件を同時に入力することができます。

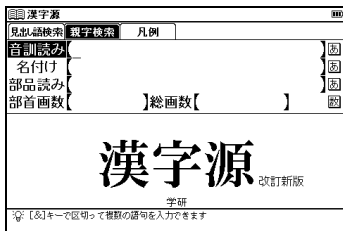
#### 例題 漢字源で「黙」を部首画数から調べます

1 メニュー画面から「国語」→「漢字源」を選択し、検索画面を表示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [☰] 23 ページ参照)

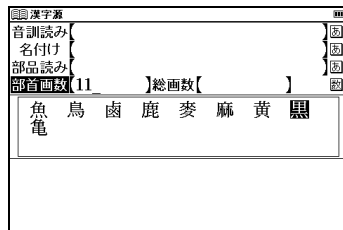


2 ▶ で「親字検索」を選択します。



3 ▼ でカーソルを移動させ、部首画数入力欄に漢字の部首画数(ここでは「**黙**」<数字の11>)を入力します。▼/▲/◀/▶ で画面の候補表示から「**黙**」を選択し、**決定** を押します。

- 「黙」の部首は「黒へん」で部首画数は「11」です。

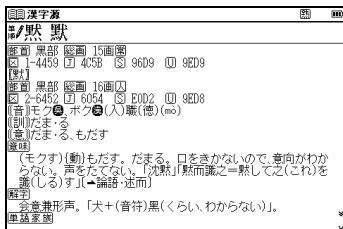


4 ▼ を押して総画数(ここでは「15」)を入力します。候補表示画面に「黙」が表示されます。



- 条件を設定しているとき、さらに条件を追加するために入力欄を移動する場合は ▲/▼ を使用します。
- 候補表示画面に複数候補がある場合は ▼/▲ を押すか、漢字をタップして選択します。

## 5 を押して本文画面を表示させます。





## 手書き入力をする（検索方法4【漢字検索】）

検索画面で文字入力ができるコンテンツでは、スタイラスを使用して、日本語、アルファベット、数字を手書きで入力することができます（ここでは漢字とかな入力の操作を紹介します。英語、数字などの各入力方法別の手順については「文字を入力する」の項目をご参照ください）。

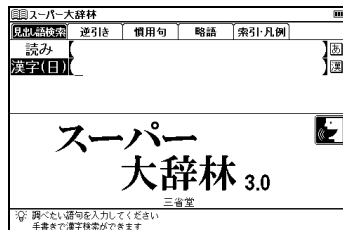
（文字を入力する  37 ページ参照）

### 例題 手書き入力（漢字検索）で大辞林から「懐く（なつく）」を調べます

1  を1回押し、大辞林の検索画面を表示させます。

 でカーソルを漢字（日）欄に移動させます。

- ・スタイラスでは漢字（日）欄をタップします。

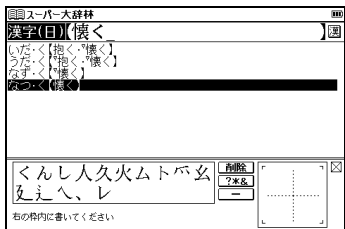






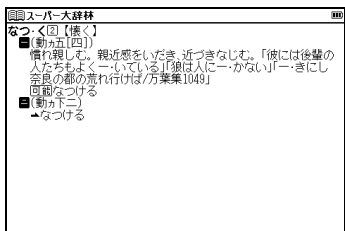
## 5 続けて文字（ここでは「く」）を手書き入力欄に入力します。

- ひらがなは手書きあるいは文字入力キーの両方で入力することができます。



## 6 見出し語リストから調べたい語句（ここでは「なつく【懐く】」）をダブルタップし、本文画面を表示させます。

- 入力訂正について  
入力訂正は を押すか をタップして、間違えた文字を1文字ずつ消去します。





## 手書き入力する場合のヒント


- かな入力する場合は、ひらがな・カタカナのどちらを入力しても検索できます。
- アルファベット入力する場合は、大文字・小文字のどちらを入力しても検索できます。ただし筆記体は認識できません。
- 手書き入力画面を閉じたい場合は を押すか をタップしてください。
- 拗音だけでなく促音も1文字ずつ入力してください。
- 文字候補表示欄に該当する文字がない場合は、該当する漢字を認識できなかったということになります。その場合は を押し、入力欄に表示されている漢字を削除した後、もう一度手書き入力してください。
- 手書き入力後、表示される漢字候補は入力時の漢字の書き方や形によって、表示される漢字や配列順序が違う場合があります。
- 手書き入力時の文字の書き方によっては、文字認識できない場合があります。書き方の良い例を参考に、再度入力し直してください。  
(文字を書くときのご注意 33 ページ参照)


## ✎ 手書き入力で認識できる文字

検索画面の入力欄の右に、手書き入力で認識できる文字が以下のように表示されています。

…ひらがな、カタカナ

…アルファベット（大文字・小文字）

…数字（アラビア数字）

…漢字、ひらがな、カタカナ


- 四字熟語辞典の漢字入力欄では漢字のみ認識します。


## ✎ 手書き入力画面で表示されるアイコン

…入力欄の文字が削除されます。

…\*、?、&が入力されます。

…長音またはハイフンが入力されます。

（手動認識時のみ表示）…手書き入力欄の文字が  
消去されます。

（手動認識時のみ表示）…手書き入力欄の文字が  
認識されます。

（手書き認識  44 ページ参照）

## ✎ 文字を書くときのご注意

- 楷書で丁寧に手書き入力してください。文字を構成する各部分のバランスが崩れすぎないようにご注意ください。

（良い例）



（悪い例）



- 続け字で手書き入力しないでください。  
続け字は総画数が違ってくるため、正しく認識できなくなります。

（良い例）



（悪い例）



- 歪みがないように手書き入力してください。  
極端に傾いた文字を入力しないようご注意ください。



（良い例）

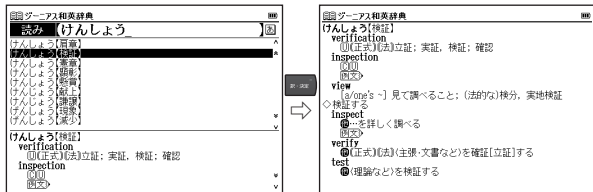


（悪い例）



## 各種機能を実行する を使う

候補リストから検索語を選ぶときなどに使用します。  
反転バー  を移動させて  を押します。




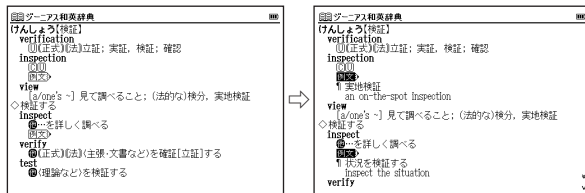
## 前の操作に戻る を使う

1つ前の操作に戻ります。



## 例文・解説・コラムを表示する

本文画面で **例文**、**EXAMPLE**、**解説**、**コラム** が表示されている場合は、 を押すと例文、解説またはコラムを表示させることができます。



## スタイルスを使う

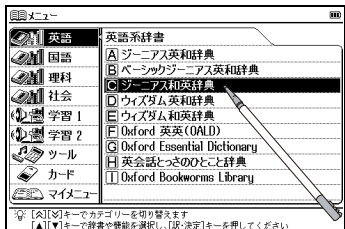
スタイルスを使用することでキーでの操作を省略することができます。見出し語やアイコン等の選択、手書き入力などを行うことができます。

### メニュー画面や検索候補などの選択・決定

メニュー画面や検索候補などのコンテンツや、検索画面の入力欄、検索時の候補一覧画面などで使用することができます。

1回のタップで選択し、続けてタップ（ダブルタップ）することで決定することができます。

- 「はい（または Yes）」や「いいえ（または No）」をタップする場合は 1 回のタップで決定されますので、ご注意ください。



## 手書き入力をして検索する

(検索方法 4 (👉) 30 ページ参照)

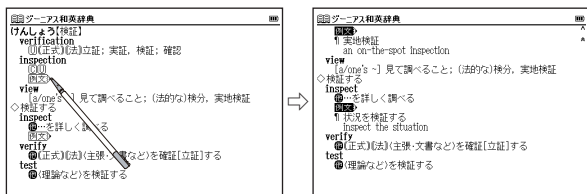
## 画面のスクロール

画面右側に、画面スクロールアイコンが表示されているときは、タップすることで画面のスクロールや項目の移動ができます。

(カーソルキー と を使う (👉) 23 ページ参照)

## 例文・解説・コラムの表示

本文画面上の **例文**、**EXAMPLE**、**解説**、**コラム** をタップすると、タップした箇所を先頭に例文・解説・コラムが表示されます。再度、アイコンをタップすると元に戻ります。(画面上の表示アイコンについて (👉) 36 ページ参照)



## 選択を広げる

マルチジャンプでジャンプしたい語句を選択したり、TTS 発音、すぐ出る発音機能などで、選択範囲を広げたい場合、スタイラスを使って画面の語句を選択することができます。

選択したい語句の最初の文字を軽くタップし、文字を反転させ、そのままスタイラスを離さずに最後の文字までスライドし、反転文字範囲を広げてください。

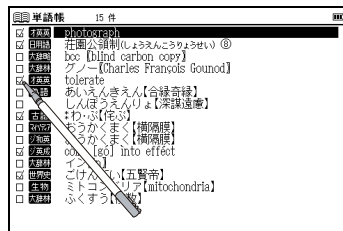
- 選択部分を解除させたい場合は、本文画面の空白部分をタップしてください。  
(2 文字以上の語句を選択する場合 (👉) 123 ページ参照)

## 学習項目や単語帳に登録した単語などにチェックマーク

### ☑️を入れる

チェックボックスが使用できるコンテンツでは、スタイラスでチェックボックスをタップし、チェックを入れることができます。

(チェックボックス (👉) 92 ページ参照)  
(単語帳を使う (👉) 126 ページ参照)



## 画面上の表示アイコンについて

キーを押す代わりに、画面上に表示されるアイコンを付属のスタイラスでタップして操作することができます。

辞書	ジーニアス英和辞典	1	例文	4
*torch /tɔːrtʃ/ 5				
				
<p>① たいまつ《◆真理・太陽・男性などの象徴》;(学問・知識・文化の)光, 光明</p>				
6 例文				
<p>② (英)懐中電灯(electric ~, (米)flashlight).</p>				
<p>③ (米)(溶接用の)ブローランプ(blowlamp).</p>				
<p>例 carry a torch for 0 (人)に(片思いの)恋の炎を燃やす。</p>				
<p>例 carry the torch of 0 〈信念・伝統などを支持し続ける。〉</p>				
<p>例 pass (on) the torch to 0 (仕事や考えを)(人)に引き継ぐ[与える]。</p>				
<p>例 put 0 to the torch (正式)(物)を燃やす, …に火をつける。 — 動 0 …に火をつける, 放火する《◆主に新聞用語》。</p>				
<p>例 ~ singer</p>				
				3 2

番号	アイコン	表示アイコンの説明
1		表示中の見出し語に関連語句があることを示します。 (関連語句を調べる  124 ページ参照)
2		画面に表示しきれない前後の画面を、1行ずつスクロールさせ見ることができます。 (画面のスクロール  25 ページ参照)
3		画面に表示しきれない前後の画面を、1画面ずつスクロールさせ見ることができます。 (画面のスクロール  25 ページ参照)
4		電池残量を示します。AC アダプターか USB ケーブルでパソコンから電源が供給されると表示が  に変わります。この場合オートパワーオフ機能が無効になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンが古かったり、USB ハブ経由で接続した場合は電源の供給量が十分でなくなり、通常の操作ができなくなることがあります。その場合は、電池をご使用ください。</li> </ul> (各部の名称  13 ページ参照) (電池を交換するには  14 ページ参照) (家庭用電源を使うには  17 ページ参照)
5		発音を聞いたり録音をするときにタップします。 (発音を確認する  50 ページ参照) (すぐ出る発音機能を使う  51 ページ参照) (TTS 発音機能を使う  52 ページ参照)
6	例文  EXAMPLE  解説  コラム 	本文画面上に表示されている場合、見出し語の例文、解説やコラムを表示することができます。 (例文・解説・コラムを表示する  34 ページ参照)

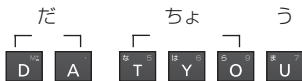
# 文字を入力する

## 文字の入力

日本語の文字入力には、『ローマ字入力』と『かな入力』の2つの方式があります。

(入力方式  43 ページ参照)

## 『ローマ字入力』のとき



(ローマ字/かな対応表  233 ページ参照)

### ローマ字入力のポイント

#### ■ 小文字 (あいうえおつやゆよ) の入力

**X** を押した後、小文字の読みを入力します。

ただし、促音 (っ) を入力するときは、次にくる子音を続けて押しても入力できます。

また拗音 (ゃゆよ) を入力するときには、直前の文字との組み合わせで入力することもできます。

[例] **X Y A** ⇒ 「ゃ」

[例] **Y A T T O** ⇒ 「やっと」

[例] **S I R Y O U** ⇒ 「しりょう」

#### ■ 「ん」の入力 **N** を2回続けて押します。

[例] **H A N N I** ⇒ 「はんい」

#### ■ その他注意を要する入力


**Z I / J I** ⇒ 「じ」   **Z U** ⇒ 「ず」   **F A** ⇒ 「ふあ」

**D I** ⇒ 「ぢ」   **D U** ⇒ 「づ」   **V A** ⇒ 「う あ」

## 『かな入力』のとき



**Q** から **P** の行にそれぞれひらがなの1行が割り当てられています。

- 同じ行の文字を続けて入力する場合は、**P** を押して入力カーソルを次の入力位置に移動させてください。(文字の訂正  38 ページ参照)

### かな入力のポイント

#### ■ 大文字と小文字 (あいうえおつやゆよ) の入力

該当する文字行に当たるキーを押すと、はじめにその行の大文字が入力でき、次に小文字が入力できます。

[例] **Q Q** ⇒ 「い」   **Q Q Q Q Q Q Q Q** ⇒ 「い」

#### ■ 濁音の入力 **L** と組み合わせて入力します。

[例] **W L** ⇒ 「が」

#### ■ 半濁音の入力 **K** と組み合わせて入力します。

[例] **Y K** ⇒ 「ぱ」

#### ■ 同じ行の文字が続くときの入力

例えば、「かき」のように同じ行の文字が続くときは、はじめの文字を入力した後、**P** を使ってカーソルを一つ送ってから次の文字を入力します。


[例] **W P W W** ⇒ 「かき」

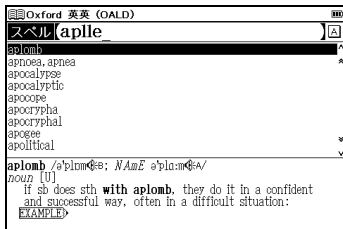
- 入力カーソルは、文字入力後、約2秒で次の入力位置に移動します。

## 文字の訂正



検索したい文字を間違えて入力した時は、直したい文字だけを選んで訂正することができます。


### 例題 OALDの入力画面で「aplle」を「apple」に訂正します

 を1回押し、OALDの検索画面を表示させます。単言語（ここでは「aplle」）を入力します。





## 文字を削除する場合

 /  で削除したい文字にカーソルを移動させます（ここでは2つめの「l」を削除します）。

 を押すとカーソル上の文字だけが削除されます。



## 文字を挿入する場合




 /  で文字を挿入したい位置にカーソルを移動させ、挿入したい文字を入力します（「p」「l」の間に「p」を挿入する場合はカーソルを「l」に移動させ、「p」を入力します）。

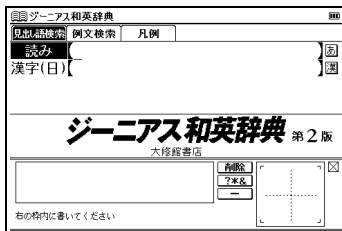







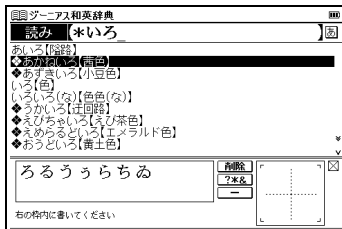
## 手書き入力で逆引き検索する

### 例題 ジーニアス和英で語尾に「いろ」がつく語句を調べます

- 1  を1回押し、ジーニアス和英の検索画面を表示させます。 を押し、手書き入力画面を表示させます。(手書き入力する場合のヒント  32 ページ参照)





- 2  を2回タップし、「\*」を入力します。手書き入力欄に入力されるのを確かめながら、文字(ここでは「いろ」)を入力します。読み欄に「\*いろ」と表示されます。(検索方法4  30 ページ参照)
- 「？」を入力する場合は、 を1回だけタップしてください。







- 3 画面に語尾に「いろ」がつく語句が候補表示されます。調べたい語句(ここでは「あかないろ【茜色】」)をダブルタップします。本文画面が表示されます。



- ワイルドカードを挿入した逆引き検索は、コンテンツ・検索モードにより異なりますが、かな、英語による入力で行えます。(ワイルドカードサーチ機能を使う  133 ページ参照)  
(語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する  71 ページ参照)

## 手書き入力でアルファベットを入力する

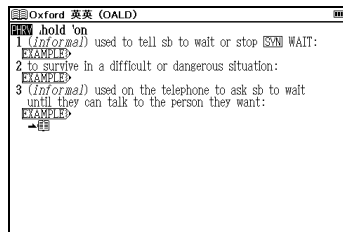
### 例題 成句検索から「hold」と「on」を使った成句や句動詞を調べます

- 1  を1回押し、OALD の検索画面を表示させます。 を押し、手書き入力画面を表示させます。 で「成句検索」を選択します。(手書き入力する場合のヒント  32 ページ参照)

- 2 アルファベットで「hold」と入力されるのを確かめながら、1文字ずつ手書き入力欄に手書き入力します。  
 [?\*&] をタップし、「&」を入力します。同様に「on」と1文字ずつ手書き入力します。  
 (手書き入力で認識できる文字 (👉 33 ページ参照))



- 3 画面に入力した単語すべてを含む成句が候補表示されます。調べたい成句 (ここでは「hold on」) をダブルタップし、本文画面を表示させます。




## 手書き入力で数字を入力する

例題 「翁 (おきな)」を部首検索から画数を手書き入力して調べます

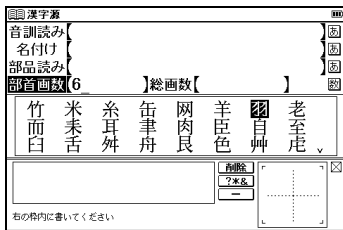
- 1 漢字源の検索画面を表示させます。👉 を押し、手書き入力画面を表示させます。▶ で「親字検索」を選択します。スタイラスで部首画数欄をタップします。  
 (漢字源を使う (👉 74 ページ参照))  
 (手書き入力する場合のヒント (👉 32 ページ参照))



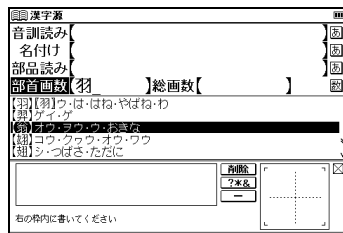
- 2 手書き入力欄に部首画数「6」を数字で手書き入力します（「翁」の部首は「羽」で、画数は「6」です）。  
（手書き入力で認識できる文字  33 ページ参照）



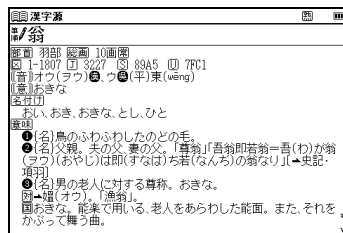
- 3 部首画数が6の部首候補が表示されます。調べたい部首（ここでは「羽」）をダブルタップします。



- 4 「羽」の親字を候補表示させます。調べたい親字（ここでは「【翁】オウ・ヨウ・ウ・おきな」）をダブルタップします。



- 5 本文画面が表示されます。



# 各種機能の設定

入力方式や表示メッセージなど、本機の各種機能の設定を切り替えることができます。

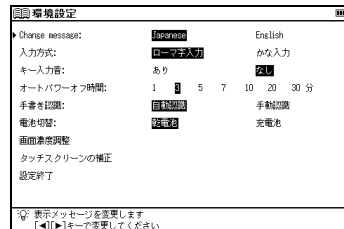
- 1 を押し、メニュー画面が表示されます。
- 設定を切り替える際は MP3 を停止した状態で行ってください。



- 2 メニュー画面から「ツール」→「環境設定」を選択し、環境設定画面を表示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ) (☞ 23 ページ参照)

- ▼/▲ でカーソルを移動させ項目を選択した後、◀/▶ で設定/切り替えを行ってください。なお項目の選択、設定/切り替えはスタイラスの操作でもできます。
- メニュー画面に戻る場合は、「設定終了」を選択して を押し、 を押してください。すべての設定は選択すると同時に切り替わります。

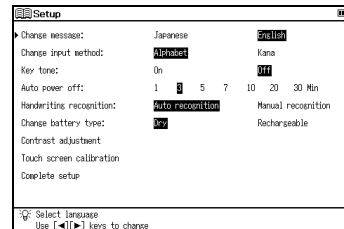


## Change message (表示メッセージ切替)

画面に表示されるメッセージを日本語/英語に切り替えることができます。

- 初期設定は「Japanese」です。
- 下の画面は「English」を選択した場合です。

▼/▲ で画面上の「Change message」を選択してください。◀/▶ でメッセージ言語を選択します。選択すると同時に表示メッセージが切り替わります。

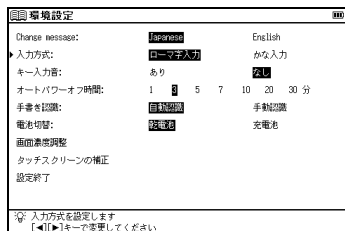


## 入力方式

文字入力の際の入力方式を切り替えることができます。

- 初期設定は「ローマ字入力」です。

▼/▲ で画面上の「入力方式」を選択してください。  
◀/▶ で入力方式を選択します。

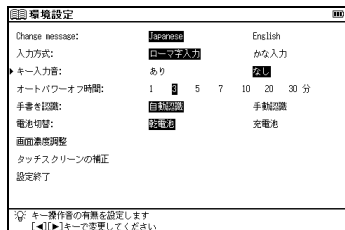


## キー入力音

ピツというキー入力音の有無を設定することができます。

- 初期設定は入力音「なし」です。

▼/▲ で画面上の「キー入力音」を選択してください。  
◀/▶ でキー入力音の有無を選択します。

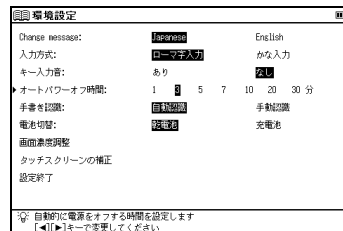


## オートパワーオフ時間

本機は電池の消耗を防ぐため、電源を入れたままキー操作を行わないと自動的に電源が切れるようになっています。ここでは電源が切れるまでの時間を設定することができます。


- 初期設定は「3分」です。
- MP3再生中もオートパワーオフ時間に応じ、画面を消灯します。再表示したい場合は、 を押します。
- ACアダプターかUSBケーブルでパソコンに接続して使用している場合はオートパワーオフが無効になります。

▼/▲ で画面上の「オートパワーオフ時間」を選択してください。  
◀/▶ で電源が切れるまでの時間を 1、3、5、7、10、20、30分の中から選択します。







## 手書き認識

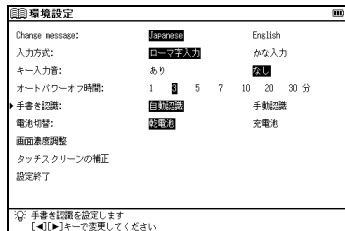
手書き入力後、即座に文字を認識し自動で文字の候補表示をする「自動認識」と、画面の **認識** をタップしてから認識を開始する「手動認識」のいずれかを選択することができます。

(手書き入力画面で表示されるアイコン  33 ページ参照)

- 初期設定は「自動認識」です。


 /  で画面上の「手書き認識」を選択してください。

 /  で手書き認識のタイプを選択します。





## 電池切替

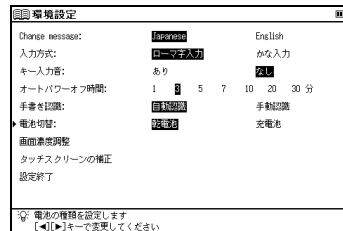
新しく入れた電池の種類に合わせて、電池の切り替えを設定します。

設定した電池の種類と実際に入れた電池の種類が異なっている場合、電池の残量表示  や電池交換のメッセージが正しく表示されないことがありますのでご注意ください。

- 初期設定は「乾電池」です。

 /  で画面上の「電池切替」を選択してください。

 /  で電池の種類を選択します。



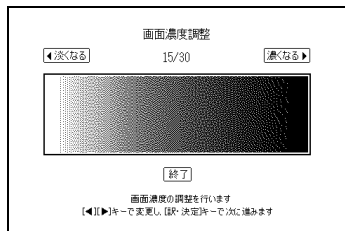
## 画面濃度調整

画面の明るさを調整することができます。

- 初期設定は「15/30」です。

▼/▲ で画面上の「画面濃度調整」を選択してください。

☑ を押すか 開始 をタップし、◀/▶ で明るさを調整します。調整が完了したら ☑ を押すか 終了 をタップします。



## タッチスクリーンの補正

長い時間スタイラスを使用しなかったり、温度の変化などの原因により、スタイラスが正しく反応しなくなった場合に行います。


▼/▲ で「タッチスクリーンの補正」を選択し、☑ を押します。「スタイラスで×印をタップして、タッチスクリーンを補正します」とメッセージが表示されます。スタイラスで画面に表示されている ✕ をタップ (画面に軽く触れる) すると、✕ が画面から消えます。5ヶ所の ✕ をすべてタップすると環境設定画面に戻ります。





## 文字サイズ切替

画面に表示される文字のサイズを「標準」サイズ (16dot) / 「縮小」サイズ (12dot) / 「拡大」サイズ (24dot / 48dot) に切り替えることができます。

- 初期設定は「標準」サイズです。

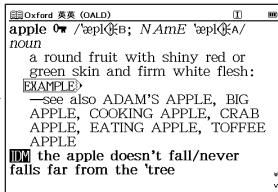
本文表示画面で  を押すと、「標準」サイズから「拡大」 / 「縮小」サイズに切り替わります (検索モードの一部では「標準」サイズ固定のものがあります)。

一部の画面を除き 16dot → 24dot → 48dot → 12dot の順に切り替わります。

見出し語候補リスト表示画面では  を押すと、「標準」サイズから「縮小」サイズにのみ切り替わります。再度  を押すと、もとのサイズに戻ります。



「標準」サイズ(16dot)

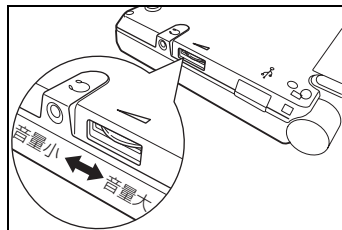


「拡大」サイズ(24dot)

## 音量調整

本機左側面の音量調整ダイヤルを回して、音量を調整することができます。

ダイヤルをイヤホンジャックの方に回すと小さく、反対側に回すと大きくなります。





# コンテンツ活用のコツ

## マイメニューにコンテンツを登録する

頻繁に使用するコンテンツを「マイメニュー」としてメニュー画面に登録することができます。

### マイメニューにコンテンツを登録する

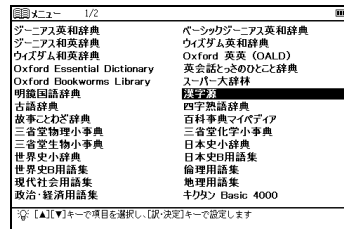
- 1 メニュー画面からマイメニューを表示させます。  
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [P. 23 ページ参照])



- 2 何も登録されていない欄で [F10] を押すと、コンテンツ選択画面が表示されます。

[↑]/[↓]/[←]/[→] でカーソルを移動させ、登録したいコンテンツ (ここでは「漢字源」) を選択します。

- [F10] で 2/2 のコンテンツ選択画面を表示することができます。  
[F10] でもとの画面に戻ります。



- 3 [F10] を押すと、自動的に手順 1 の画面に戻り、選択したコンテンツが登録されます。

- コンテンツが選択された状態で [F10] を押すと、検索画面が表示されます。



- コンテンツを追加登録するには手順3の後、▼でカーソルをコンテンツ名が登録されていない欄に移動させ、**登録**を押します。コンテンツ選択画面が表示され、コンテンツを追加登録することができます（画面は日欄へ追加登録をするところです）。

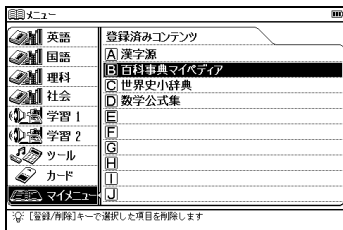


- マイメニューに登録したコンテンツを再び登録しようとすると、「既にマイメニューに登録されています」とメッセージが表示されます。

### 登録したコンテンツを削除する

登録コンテンツは 1 コンテンツずつ、または一度にまとめてマイメニューから削除することができます。

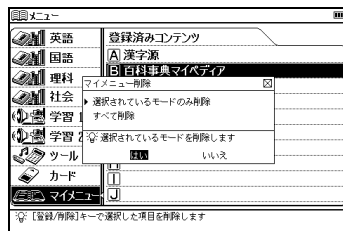
- メニュー画面からマイメニューを表示させます。



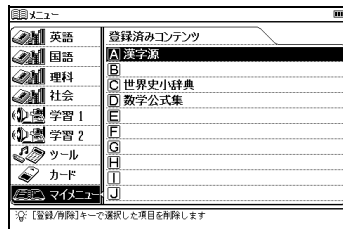
- ▼でカーソルを削除したいコンテンツの欄（ここでは日欄）に移動させます。**削除**を押すと、削除画面が表示されます。

▼/▲で「選択されているモードのみ削除」を選びます。

◀で「はい」を選んで **決定**を押します。



- 選択したコンテンツ（ここでは日欄に登録した「百科事典マイメディア」）が削除されます。



## すべてのコンテンツを削除する場合

手順2にて▼/▲で「すべて削除」を選択します。

◀で「はい」を選択し、[決定]を押すと、登録しているすべてのコンテンツがマイメニューから削除されます。

## カードコンテンツを登録させる場合

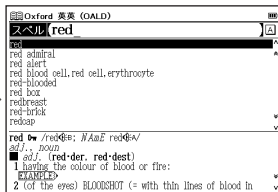
コンテンツの入ったカードを挿入すると、コンテンツ選択メニュー画面にカードコンテンツもいっしょに表示され、マイメニューに登録することができます。

- 一度カードを抜くと、マイメニューのカードコンテンツ名は自動的に削除されます。

## 別の語句を調べる

検索後、同じコンテンツ・検索モードで別の語句を調べる場合は、本文画面が表示されたまま、文字入力キーを使って語句を入力します。

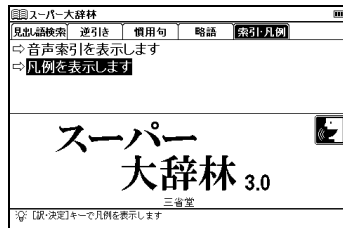
画面が自動的に検索画面に切り替わり、入力欄に文字が入力されます。



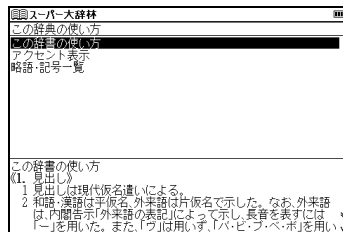
## コンテンツの凡例を見る

各コンテンツの検索画面上に「凡例」の表示がある場合は、表示中のコンテンツの凡例（編集方針・記号の解説など）を見ることができます。


- 1 検索画面を表示させ、▶で「索引・凡例」を選択します。







- 2 [決定]を押して、凡例画面を表示させます。表示されたリストから項目を選んで、[決定]を押すと、選択した項目の凡例画面が表示されます。





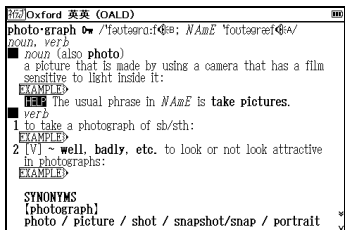
## 発音を確認する

画面上に  が表示されている場合は、発音（ネイティブ発音）を確認することができます。

### 例題 OALDで「photograph」の発音を確認します

OALDで「photograph」の本文画面を表示させます。画面に  が表示されていることを確認し  を押し、画面に  と表示され見出し語が発音されます。（英英辞典を使う  63 ページ参照）

- 複数の発音が収録されている場合、それぞれの発音を確認することができます。（発音リストから発音を確認する場合  52 ページ参照）
- スタイラスを使う場合は、 をダブルタップしてください。
- 電池容量が不足している場合は、発音機能が作動しないことがあります。










## ジャンプキーを使って英語発音と米語発音を確認する場合

英英辞典では英語発音と米語発音を聞き比べることができます。

1 英英辞典「photograph」の本文画面で  を押します。



2  /  /  /  でカーソルを移動させ、 を選択します。 を押し、見出し語の米語発音が確認できます。

- 英語発音を確認したい場合は  を選択します。



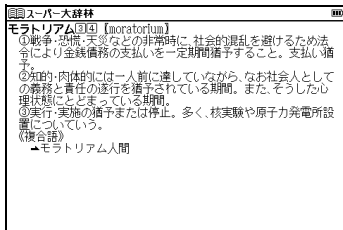
- 複数の発音が収録されている場合には、**①** を押しと複数の発音が連続して発音されます。例えば英英辞典では英語発音と米語発音を連続して発音します。  
**ジャンプ** を使うと(またはスタイラスで **⏪** をタップすると)、選択した発音のみ確認することができます。
- 本文や例文中の英語を **ジャンプ** で選び、発音を確認することもできます。  
 (すぐ出る発音機能を使う **⑤** 51 ページ参照)  
 (TTS発音機能を使う **⑥** 52 ページ参照)

## すぐ出る発音機能を使う

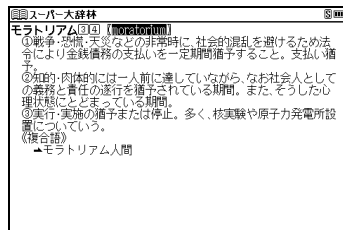
本文や例文にある英語のネイティブ発音を、すぐ出る発音機能を使って確認することができます。発音は OALD の音声データに収録されている単語のみとなります。英単語を **ジャンプ** で選べるすべてのコンテンツで使用できます。

### 例題 大辞林の本文画面で「moratorium」の発音を確認します

- 大辞林の「モラトリアム」の本文画面を表示させます。  
 (国語辞典を使う **④** 71 ページ参照)

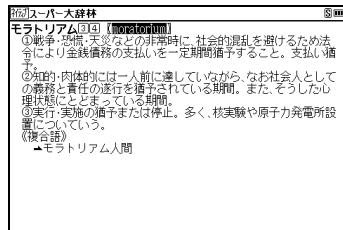


- ジャンプ** を押し、**⏪**/**⏩**/**⏴**/**⏵** で、カーソルを移動させ、「moratorium」を選択します。



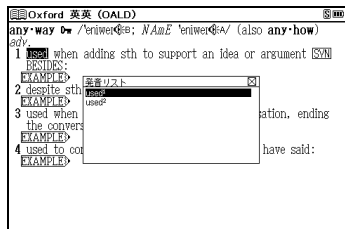
- ①** を押しと、画面に **Ⓜ** と表示され「moratorium」の発音を聞くことができます。

- 選択した単語が OALD の音声データにない語の場合は TTS 発音で読み上げます。  
 (TTS 発音機能を使う **⑥** 52 ページ参照)
- すぐ出る発音機能では発音比較機能は行えません。
- すぐ出る発音は、OALD の音声データを使用しています。OALD 以外のコンテンツですぐ出る発音を使用した場合、そのコンテンツの発音記号と異なる発音をすることがあります。



## 👉 発音リストから発音を確認する場合

🔊 を押した後、発音リストが表示された場合は ▼ / ▲ で聞きたい語句を選択し、🔊 を押してください。リスト画面を閉じたい場合は 🗄️ を押すか、スタイラスで ☒ をタップしてください。



## TTS 発音（合成音声による発音）機能を使う




本文や例文に英語が掲載されたコンテンツでは英語部分を選択し、その発音（TTS 発音：Text To Speech〈合成音声〉）を確認することができます。

### 例題 OALD の本文画面で TTS 発音を確認します


1 OALD で「photograph」の本文画面を表示させます。  
🗄️ を押し、▼ / ▲ / ◀ / ▶ でカーソルを移動させ、「a」を選択します。

（英英辞典を使う 📖 63 ページ参照）



- 2  を再度押すと、画面上の **S** が反転します。その後、 を押して反転文字範囲を「it」まで広げます。  
(2文字以上の語句を選択する場合  123 ページ参照)



- 3  を押すと、選択部分の英語を TTS 発音します。
- 英語と他の言語や記号をいっしょに選択した場合は、選択した表記通りに読み上げない場合があります。



## TTS 発音について


本製品の TTS 発音機能は米国 Fonix Corporation 社の DECTalk™ を使用しています。

TTS 発音機能は一切の誤りなく文章を読み上げることを保証するものではありません。TTS 発音機能の使用により発生した損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社および使用許諾権者では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

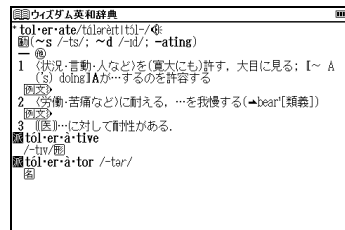
## 発音を録音し聞き比べる

自分の発音を録音して収録されているネイティブ発音と聞き比べることができます。

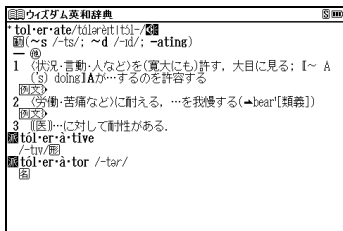
**例題** ウィズダム英和で「tolerate」の発音を録音し、ネイティブ発音と聞き比べます

- 1 ウィズダム英和で「tolerate」の本文画面を表示させ、 を押します。

(英和辞典を使う  58 ページ参照)

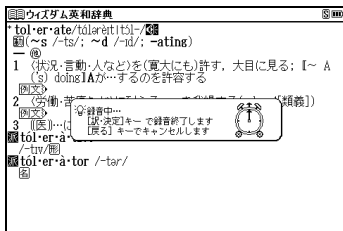


- 2 でカーソルを移動させ、本文中の を反転させ、 を押します。

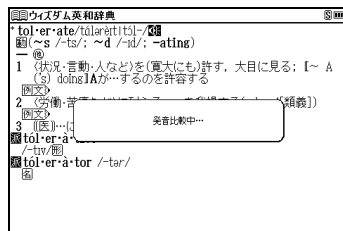


- 3 「発音中」のメッセージ表示とともに、ネイティブ発音の流れます。続いて「録音中」のメッセージ表示に切り替わり録音が始まりますので、ネイティブ発音にならって発音します。約1分間で自動的に録音が終了されます。

- と の間にあるマイクに向かって発音してください。(各部の名称 13 ページ参照)
- 録音が終わったら で録音を終了することもできます。
- 途中で録音を中止する場合には を押してください。録音がキャンセルされ、本文画面に戻ります。

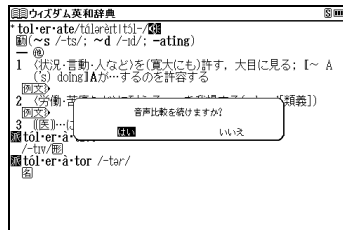


- 4 録音が終了すると、「発音比較中」のメッセージ表示とともに、自動的に録音の再生が行われます。まず、ネイティブ発音が再生され、その後録音した自分の発音が再生されます。



- 5 発音の比較が終わると、「音声比較を続けますか?」とメッセージが表示されます。もう一度聞き比べたい場合は「はい」を選択して を押します。「いいえ」を選択して を押すと、音声比較は終了し本文画面に戻ります。

- 録音した音声は、音声比較を終了するとともに消去されます。保存することはできません。
- 発音再生中、および録音中に を押しても発音は繰り返されません。また画面をタップしても操作は実行されません。





## 発音比較ができるコンテンツ

ジーニアス英和  
ウィズダム英和  
Oxford Essential

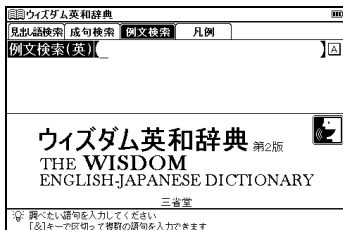
ベーシックジーニアス英和  
OALD  
英会話とっさのひとつこと辞典

## 検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする

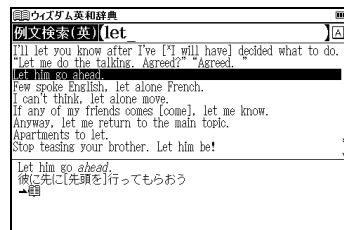
成句および例文検索結果画面で **→** にジャンプすると、検索した成句や例文の本文画面を参照することができます。

**例題** ウィズダム英和で例文検索からコンテンツ本文画面に参照ジャンプします

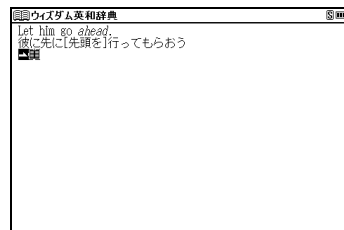
- 1 **和** を 3 回押し、検索画面を表示させます。  
**▶** で「例文検索」を選択します。



- 2 例文検索欄に「let」と入力します。画面の候補表示から「Let him go ahead.」を選択し、**決定** を押します。



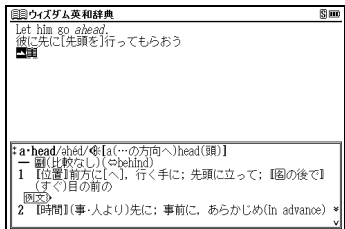
- 3 **ジャンプ** を押し、**▼**/**▲**/**◀**/**▶** で本文画面の **→** を選択します。



4 が反転されている状態で を押すと、「ahead」の本文画面にジャンプします。

(参照ジャンプをする 122 ページ参照)

- 手順 4 の後 を押すと、全面表示されます。続けて を押すと検索した例文を確認することができます。



コンテンツ本文画面に参照ジャンプできるコンテンツ

- |         |                      |
|---------|----------------------|
| ジーニアス英和 | ベーシックジーニアス英和         |
| ジーニアス和英 | ウィズダム英和      ウィズダム和英 |
| OALD    | Oxford Essential     |

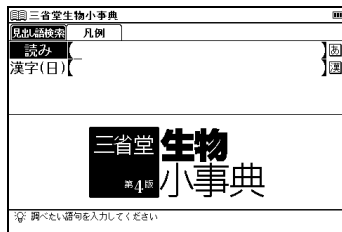
## 図版を表示する

調べた語句に関連した図版を表示することができます。

### 例題 「ミトコンドリア」の図版を検索します

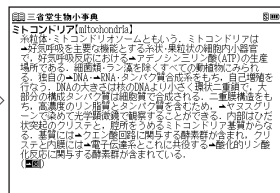
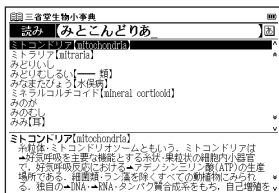
1 メニュー画面から「理科」→「三省堂生物小事典」を選択し、検索画面を表示させます。



(メニュー画面からコンテンツを選ぶ 23 ページ参照)




2 読み入力欄に「みとこんどりあ」と入力します。画面の候補表示から「ミトコンドリア」を選択し、 を押し

を押し、 / / / で本文画面の を選択します。



3  が反転されている状態で  を押して、図版を表示させます。



 を選択し、図版が表示できるコンテンツ

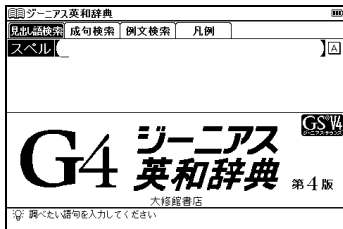
ジーニアス英和	大辞林	三省堂物理小事典
三省堂化学小事典	三省堂生物小事典	

## 英和辞典 (ジーニアス英和、ベーシックジーニアス英和、ウィズダム英和) を使う

英単語の和訳や英語例文などを調べることができます  
(ここではジーニアス英和を例として説明します)。

英和 を 1 回押し、検索画面を表示させます。

- 英和 を 2 回押すとベーシックジーニアス英和の検索画面が、また英和 を 3 回押すとウィズダム英和の検索画面が表示されます。

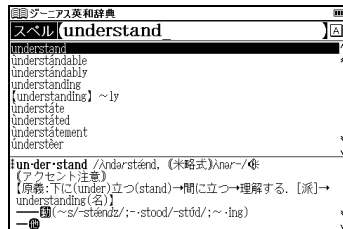


## 【スペル検索】英単語を入力し、和訳を調べる




「understand」の和訳を調べたい場合、スペル入力欄に「understand」と入力します。画面の候補表示から「understand」を選択し、**和訳** を押します。

(検索方法 1 (🔍) 26 ページ参照)



- 本文画面上に **和訳** が表示されている場合は、成句・複合語を表示させることができます。また本文画面上に **例文**、**解説** がある場合は、例文・解説のリストの表示させることができます。(関連語句を調べる (🔍) 124 ページ参照)  
(例文・解説・コラムを表示する (🔍) 34 ページ参照)




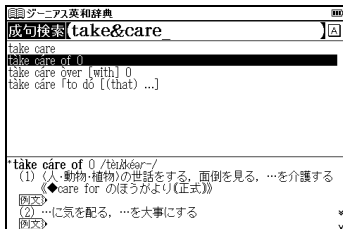
## 【成句検索】 入力した英単語を含む成句を調べる

「take」と「care」を使った成句を調べたい場合、 で「成句検索」を選択します。成句検索欄に「take」 「care」と入力します。画面の候補表示から「take care of 〇」を選択し、 を押します。



(検索方法 1  26 ページ参照)

- 複数の単語を入力する場合は、単語の後に  を押してから次の単語を入力してください。入力した単語をすべて含む成句が表示されます。
- 「&」は成句検索では入力できますが、スペル検索では入力できません。
- 該当する成句がない場合は「一致する成句がありません」とメッセージが表示されます。
- 本文画面上に  がある場合は、検索した成句の本文画面を参照することができます。



(検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする  55 ページ参照)

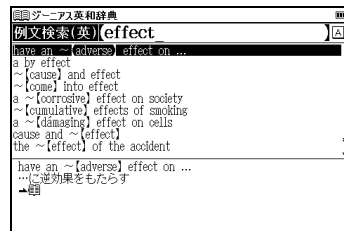


## 【例文検索】 入力した英単語を含む例文を調べる


「effect」を使った例文を調べたい場合、 で「例文検索」を選択します。例文検索欄に「effect」と入力します。画面の候補表示から「have an ~【adverse】 effect on ...」を選択し、 を押します。

(検索方法 1  26 ページ参照)

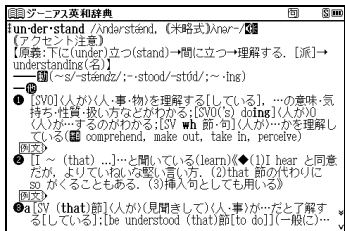
- 複数の単語を「&」で結んで入力すると、候補を絞り込んで調べることができます。
- 該当する例文がない場合は「一致する例文がありません」とメッセージが表示されます。
- 本文画面上に  がある場合は、検索した例文の本文画面を参照することができます。  
(検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする  55 ページ参照)





## 見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる

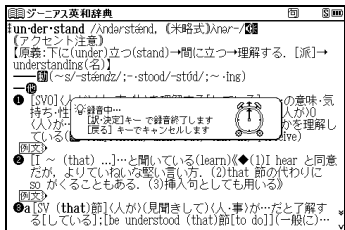
本文画面上に  が表示されている場合は、見出し語の発音（ネイティブ発音）を確認することができます。

(発音を確認する  50 ページ参照)



 を押し、自分の発音を録音して収録されているネイティブ発音と聞き比べることができます。

(発音を録音し聞き比べる  53 ページ参照)

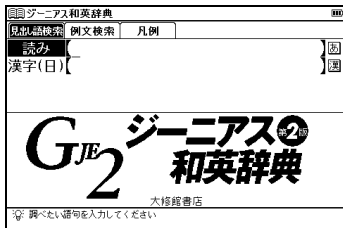


## 和英辞典(ジーニアス和英とウィズダム和英)を使う

日本語を入力し、英訳を調べることができます。また英語を入力し、本文中に掲載している英語の例文を調べることができます(ここではジーニアス和英を例として説明します)。

和英  を 1 回押し、検索画面を表示させます。

- 和英  を 2 回押しとウィズダム和英の検索画面が表示されます。



## 【読み検索】日本語の読みを入力し、英訳を調べる

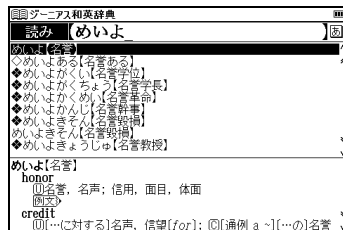
「名誉(めいよ)」の英訳を調べたい場合、読み入力欄に「めいよ」と入力します。画面の候補表示から「めいよ【名誉】」を選択し、 を押します。

(検索方法 1  26 ページ参照)



- 本文画面上に  が表示されている場合は、複合語を表示させることができます。また  がある場合は、例文を表示させることができます。

(関連語句を調べる  124 ページ参照)

(例文・解説・コラムを表示する  34 ページ参照)

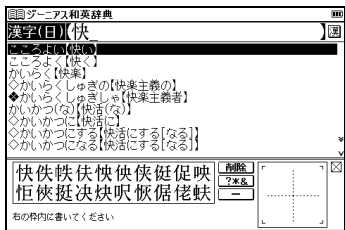


## 【漢字検索】 漢字を手書き入力し、調べる

「快い」という語句を調べたい場合、 でカーソルを移動させ、「漢字 (日)」を選択します。 を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「快」と手書きします。



画面の候補表示から「こころよい【快い】」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4  30 ページ参照)






- 「漢字 (日)」に「快い」と漢字 (手書き入力) とひらがな (手書きあるいはキー入力) を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができます。

## 【例文検索】 入力した英単語を含む例文を調べる

「touch」を使った例文を調べたい場合、 で「例文検索」を選択します。例文検索欄に「touch」と入力します。画面の候補表示から「He felt a touch of uneasiness.」を選択し、 を押します。

(検索方法1  26 ページ参照)

-  を押し「&」で複数の単語を結んで入力すると、候補を絞り込んで調べることができます。
- 「&」は例文検索では入力できますが、スペル検索では入力できません。
- 本文画面上に  がある場合は、調べた例文の本文画面にジャンプすることができます。  
(検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする  55 ページ参照)





# 英英辞典 (OALDとOxford Essential) を使う


英語を入力し、その意味を英語で調べることができます。また英語の成句、例文を検索することができます(ここではOALDを例として説明します)。

英英 を1回押し、検索画面を表示させます。

- 英英 を2回押しすとOxford Essentialの検索画面が表示されます。







## 【スペル検索】英単語を入力し、語義を調べる



「picture」の語義を調べたい場合、スペル入力欄に「picture」と入力します。画面の候補表示から「picture」を選択し、 を押します。

(検索方法1  26ページ参照)

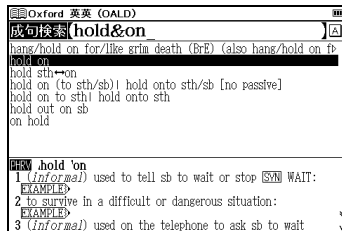




- 本文画面右上に   が表示されている場合は、成句や句動詞を表示させることができます。また **EXAMPLE** がある場合は、例文を表示させることができます。  
(関連語句を調べる  124ページ参照)  
(例文・解説・コラムを表示する  34ページ参照)

## 【成句検索】入力した英単語を含む成句を調べる

「hold」と「on」を使った成句を調べたい場合、 で「成句検索」を選択します。成句検索欄に「hold & on」と入力します。画面の候補表示から「hold on」を選択し、 を押します。

(検索方法1  26ページ参照)



- 「&」は成句検索では入力できますが、スペル検索では入力できません。
- 本文画面上に  がある場合は、検索した成句の本文画面を参照することができます。  
(検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする  55ページ参照)

## 【例文検索】 入力した英単語を含む例文を調べる

「home」を使った例文を調べたい場合、▶ で「例文検索」を選択します。例文検索（英）欄に「home」と入力します。画面の候補表示から「people of no fixed address」を選択し、▶ を押します。

（検索方法 1 (🔍) 26 ページ参照)



- 本文画面上に ▶ がある場合は、検索した例文の本文画面を参照することができます。

（検索した成句や例文の本文画面に参照ジャンプする (🔍) 55 ページ参照)

## 見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる

本文画面上に ▶ が表示されている場合は、見出し語の発音（ネイティブ発音）を確認することができます。

（発音を確認する (🔍) 50 ページ参照)



- 画面の候補表示上に ▶ のついた派生語がある場合は、派生元の単語が発音されます（例えば「photographic」の派生語である「photographically」の本文画面を表示させ何も選択せずに ▶ を押した場合は派生元の「photographic」が発音されます）。その場合は本文画面から ▶ で派生語または派生語の ▶ を選択して発音を確認することができます。

🗣️ を押し、自分の発音を録音して収録されているネイティブ発音と聞き比べることができます。

(発音を録音し聞き比べる (👉 53 ページ参照))

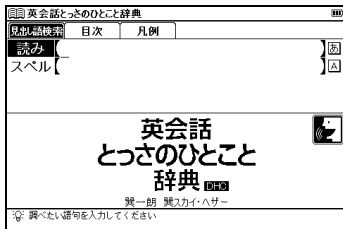


## 英会話とっさのひとこと辞典を使う


観光やビジネス、長期滞在時などで役立つ会話例を調べたり、また会話例文の発音を聞くことができます。

メニュー画面から「英語」→「英会話とっさのひとこと」を選択し、検索画面を表示させます。

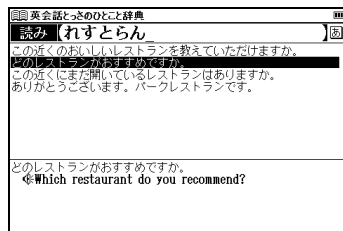
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [👉] 23 ページ参照)



### 【読み検索】読みを入力し、入力した語句を含む会話文を調べる


「れすとらん (レストラン)」を含む例文を調べたい場合、読み入力欄に「れすとらん」と入力します。画面の候補表示から「どのレストランがおすすめですか。」を選択し、 を押します。

(検索方法 1 [👉] 26 ページ参照)

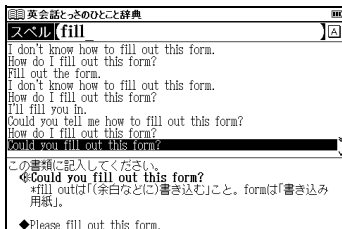


- 複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。
- 該当する単語がない場合は、「見出し語にありません」とメッセージが表示されます。
- 動詞を入力する場合は、終止形で入力してください。(例：乗れば→乗る)

## 【スペル検索】英単語を入力し、例文を調べる




「fill」を含む例文を調べたい場合、スペル入力欄に「fill」と入力します。画面の候補表示から「Could you fill out this form?」を選択し、を押します。

(検索方法1  26 ページ参照)

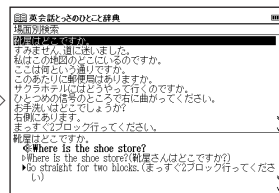
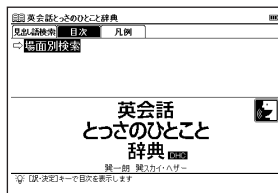


- 複数の単語を「&」で結んで入力すると、入力した単語をすべて含む例文を検索することができます。
- 該当する単語がない場合は、「見出し語にありません」とメッセージが表示されます。


## 【場面別検索】場面別検索からフレーズ・例文を調べる

目次から例文を調べたい場合、で「目次」を選択します。「⇒ 場面別検索」を選択し、を押します。画面の候補表示から「第6章 海外旅行でつかうひとこと」→「街を歩くとき」→「道をたずねる」→「靴屋はどこですか。」を選択し、を押します。

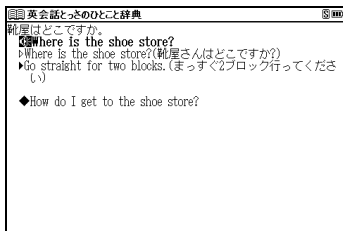
(検索方法2  27 ページ参照)





## 見出し語の発音を確認する／発音を録音し聞き比べる

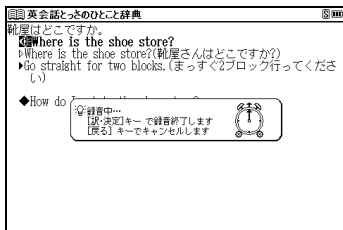
本文画面上に  が表示されている場合は、見出し語の発音（ネイティブ発音）を確認することができます。

(発音を確認する  50 ページ参照)



 を押し、自分の発音を録音して収録されているネイティブ発音と聞き比べることができます。

(発音を録音し聞き比べる  53 ページ参照)



# Oxford Bookworms Library を使う

レベル別に分類された英文小説を全 10 冊搭載。ストーリーを音声で聞くことができ、リスニング力UPにも役立ちます。搭載の小説タイトルとステージ番号は以下のとおりです。

小説タイトル	ステージ番号
THE PHANTOM OF THE OPERA	1
THE ADVENTURES OF TOM SAWYER	1
THE COLDEST PLACE ON EARTH	1
ANNE OF GREEN GABLES	2
ROBINSON CRUSOE	2
SHERLOCK HOLMES SHORT STORIES	2
A CHRISTMAS CAROL	3
THE SECRET GARDEN	3
DR JEKYLL AND MR HYDE	4
TREASURE ISLAND	4

- ステージ番号が大きいほど難易度が高くなります。
- メニュー画面から「英語」→「Oxford Bookworms Library」を選択し、検索画面を表示させます。  
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)

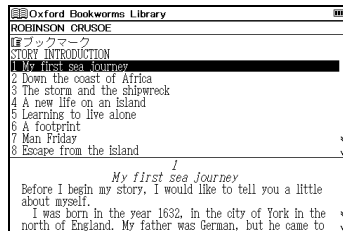


## 小説を読む



- 1 小説「ROBINSON CRUSOE」を読みたい場合、▶ で「ステージ2」を選択します。▼ で「⇒ ROBINSON CRUSOE」を選択し、[決定] を押します。










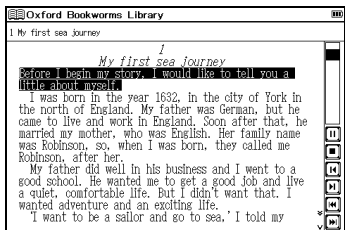
- 2 ▼/▲ でカーソルを移動させ、読みたい章 (ここでは「1 My first sea journey」)を選択し、[決定] を押します。













- 前回読んだ続きを表示したい場合は「[ブックマーク]」を選択します。

3  を押すか  をタップすると、選択した章の音声データを再生します。

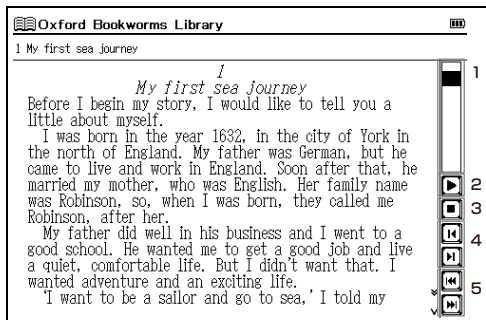
- 再生中は発音部分が順次反転表示され、自動で次の画面に移動します。そのため手動で前後の画面に移動することはできません。
- 再生せずに小説を読む場合は、手順 2 の後  /   /  を押すか   をタップすると前後に移動することができます。(画面のスクロール  25 ページ参照)



1		現在選択中の章が小説の中でどれぐらいの位置(進捗)にあるかを、ボックスの中の  の位置で示しています。
2	 / 	停止中にタップする(または押す)と再生します。また再生中はボタンが  になります。再生中に使用すると一時停止します。
3	 / 	再生中にタップする(または押す)と停止します。
4		一時停止中にタップすると前後の文にジャンプし、音声データも再生します。停止中にタップするとページを 1 行ずつ送ります。
5		前後の章にジャンプします。

- 停止中は単語を選択し、他のコンテンツにジャンプすることができます。(マルチジャンプ機能を使う  121 ページ参照)
- 「STORY INTRODUCTION」では音声データは再生されません。


## アイコンとキーのはたらき




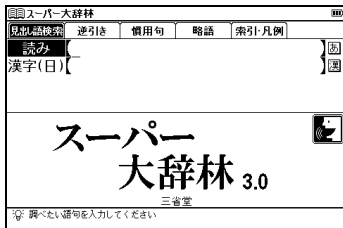


# 国語辞典(スーパー大辞林と明鏡国語辞典)を使う


語句の意味を調べることができます。大辞林では慣用句やことわざを調べたり、明鏡国語辞典では類語を調べることができます(ここでは大辞林を例として説明します)。

 を1回押し、検索画面を表示させます。

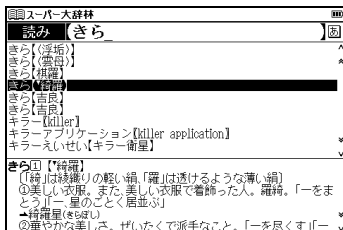
-  を2回押すと明鏡国語辞典の検索画面が表示されます。



## 【読み検索】日本語の語義を調べる

「綺羅」の語義を調べたい場合、読み入力欄に「きら」と入力します。画面の候補表示から「きら【綺羅】」を選択し、 を押します。


(検索方法1  26ページ参照)




## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる


(検索方法4  30ページ参照)

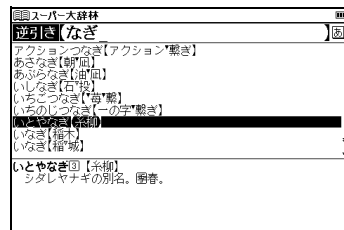
## 【逆引き検索】語句の語尾につく文字を入力し、逆引き検索する(大辞林のみ)

「なぎ」が語尾につく文字を調べたい場合、 で「逆引き」を選択します。逆引き入力欄に「なぎ」と入力します。画面の候補表示から「いとやなぎ【糸柳】」を選択し、

 を押します。

(検索方法1  26ページ参照)

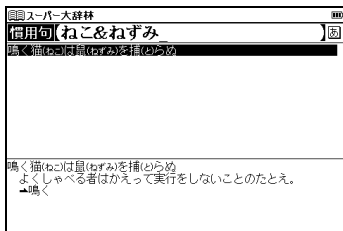
(ワイルドカードサーチ機能を使う  133ページ参照)



## 【慣用句検索】 語句を入力し、その語句を含む慣用句やことわざを調べる（大辞林のみ）

「ねこ」と「ねずみ」を含む慣用句やことわざを調べたい場合、▶で「慣用句」を選択します。慣用句入力欄に「ねこ ねずみ」と入力します。画面の候補表示から「鳴く猫（ねこ）は鼠（ねずみ）を捕（と）らぬ」を選択し、を押します。

（検索方法1 26ページ参照）



## 【略語検索】 略語の正式名称とその意味を調べる（大辞林のみ）

「bcc」の正式名称を調べたい場合、▶で「略語」を選択します。略語入力欄に「bcc」と入力します。画面の候補表示から「bcc [blind carbon copy]」を選択し、を押します。

（検索方法1 26ページ参照）



## 【音声索引】 鳥の鳴き声や音楽などの音声データを調べる (大辞林のみ)

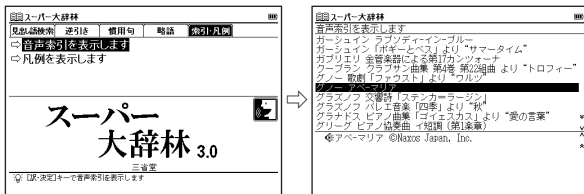
鳥や虫の鳴き声やクラシック音楽のさわりが収録された音声データを検索し、聞くことができます。

「グノー アベ-マリア」の音声データを調べたい場合、▶で「索引・凡例」を選択します。

「⇒音声索引を表示します」を選択し、[音声] を押します。「クラシック音楽」→「[カ〜コ]で始まる作曲家」→「グノー アベ-マリア」を選択します。

🔊 を押し、音声データを聞きます。

(検索方法2 [🔍] 27ページ参照)



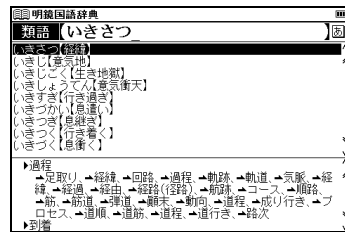
- 上記は「音声索引」から調べる方法ですが、本文画面の🔊を選択し、音声データを聞くこともできます。(発音を確認する [🔍] 50ページ参照)

## 【読み検索】 類語を調べる (明鏡国語辞典のみ)

「いきさつ」の類語を調べたい場合、[読み] を2回押し、明鏡国語辞典の検索画面を表示させます。

▶で「類語」を選択します。類語入力欄に「いきさつ」と入力します。画面の候補表示から「いきさつ【経緯】」を選択し、[決定] を押します。

(検索方法1 [🔍] 26ページ参照)



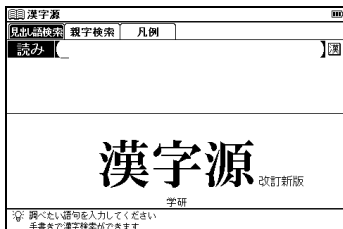
- 本文画面の上の▶を選択すると、参照見出しへのジャンプができます。(参照ジャンプをする [🔍] 122ページ参照)

## 漢字源を使う

音訓読み、部首画数、総画数からの検索はもちろん、漢字を構成する部品の読みや名前に使われる読みからの検索もできます。また筆順を表示することもできます。

メニュー画面から「国語」→「漢字源」を選択し、検索画面を表示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)

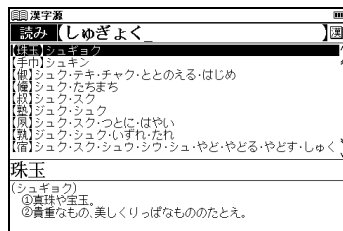


**【読み・漢字検索】** 読みまたは漢字を手書き入力し、漢字や熟語を調べる

「珠玉」の漢字と意味を調べたい場合、読み入力欄に「しゅぎょく」と入力します。画面の候補表示から「【珠玉】シュギョク」を選択し、**決定** を押します。

(検索方法 1 (☞) 26 ページ参照)

(検索方法 4 (☞) 30 ページ参照)



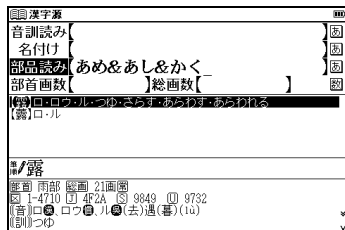


## 【部品読み検索】 部品名を入力し、漢字を調べる

漢字の読みがわからない時に使います。

「露」を部品名から調べたい場合（「露」は「雨（あめ）」「足（あし）」「各（かく）」の部品から構成されています）、**▶** で「親字検索」を選択します。**▼** でカーソルを移動させ、部品読み入力欄に「あめ&あし&かく」と入力します。画面の候補表示から「露」を選択し、**Ⓜ** を押します。

（検索方法 3 **☞** 29 ページ参照）



- 複数の部品を「&」で結んで入力すると、入力した部品すべてから成る親字を検索することができます。

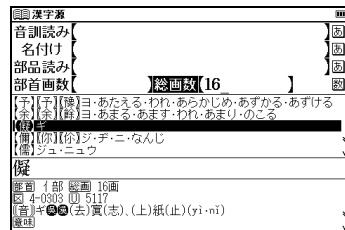
## 【部首画数検索】 部首画数を入力し、漢字を調べる

（検索方法 3 **☞** 29 ページ参照）

## 【総画数検索】 総画数を入力し、漢字を調べる

「儼」を総画数から調べたい場合、**▶** で「親字検索」を選択します。**▼** でカーソルを移動させ、総画数入力欄に「**Q** **Y** <数字の 16 >」と入力します。画面の候補表示から「儼」を選択し、**Ⓜ** を押します。

（検索方法 3 **☞** 29 ページ参照）



## 素早い漢字検索

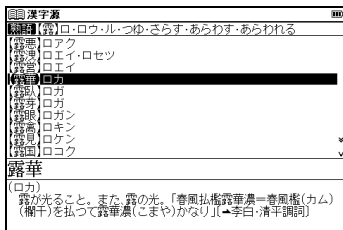
**▲** / **▼** でカーソルを移動させて音訓読み、名付け、部品読み、部首画数、総画数の条件を複数同時に入力することができます。それにより検索対象が絞られ、更に効率的に調べることができます。例えば「露」の場合、部品読み「あし（足）」の候補を表示させた後、**▼** を押して部首画数「8」を入力し「雨（あめかんむり）」を選択すれば、検索結果第 1 画面に「露」が表示されます。

## 熟語を表示する

本文画面右上に<sup>露</sup>が表示されている場合は、表示中の見出しの漢字を含む熟語を表示させることができます。

76 ページで調べた「露」の本文画面を表示させます。

<sup>露</sup> を 1 回押すと、熟語が表示されます。画面の候補表示から「露華」を選択し、<sup>露</sup> を押します。



## 漢字の筆順を表示する

本文画面表示中に <sup>シヤンプ</sup> を押し <sup>筆順</sup> を選択した状態で <sup>露</sup> を押すと筆順表示画面に切り替わり、見出しの漢字の筆順が表示されます。

- 親字の横に <sup>筆順</sup> が表示されていない場合は、筆順を表示することはできません。
- 筆順表示画面では筆順を表示しますが、画数通りには表示されない場合もあります。
- 漢字源に収録されている常用漢字 1,945 字と人名漢字 285 字の筆順を表示することができます。



## 古語辞典を使う

古典で用いられる言葉の意味を検索することができます。  
見出し語により関連語句や解説を表示させることができます。

メニュー画面から「国語」→「古語辞典」を選択し、検索画面を表示させます。

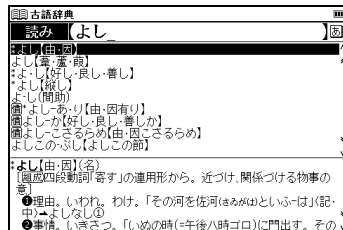
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)



## 【読み検索】古語の読みを入力し、語義を調べる

「由(よし)」の語義を調べたい場合、読み入力欄に「よし」と入力します。画面の候補表示から「よし【由・因】」を選択し、**読み** を押します。

(検索方法 1 (☞) 26 ページ参照)



- 本文画面右上に **慣例** が表示されている場合は、その見出し語の慣用連語や複合語を表示させることができます。(関連語句を調べる (☞) 124 ページ参照)
- 本文画面上に **解説** がある場合は、解説を表示させることができます。(例文・解説・コラムを表示する (☞) 34 ページ参照)

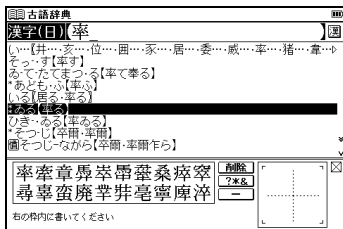


## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「率」という漢字で始まる語句を調べたい場合、▼でカーソルを移動させ、「漢字（日）」を選択します。☒を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「率」と手書きします。

画面の候補表示から「みる【率る】」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4 (☞) 30ページ参照)



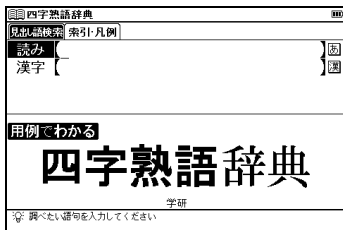
- 「漢字（日）」に「率る」と漢字（手書き入力）とひらがな（手書きあるいはキー入力）を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

## 四字熟語辞典と故事ことわざ辞典を使う

四字熟語辞典では一般的に使われる四字熟語について意味、用例、類句などを、故事ことわざ辞典では故事・ことわざの意味、用例、類句などを調べることができます（ここでは四字熟語辞典を例として説明します）。

メニュー画面から「国語」→「四字熟語辞典」を選択し、検索画面を表示させます。

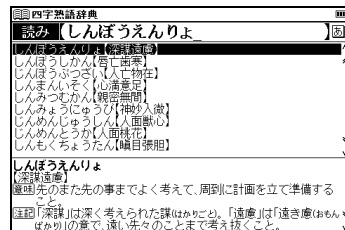
（メニュー画面からコンテンツを選ぶ [👉] 23 ページ参照）



## 【読み検索】読みを入力し、意味を調べる

「しんぼうえんりょ（深謀遠慮）」の意味を調べたい場合、読み入力欄に「しんぼうえんりょ」と入力します。画面の候補表示から「しんぼうえんりょ【深謀遠慮】」を選択し、**読み検索** を押します。

（検索方法1 [👉] 26 ページ参照）

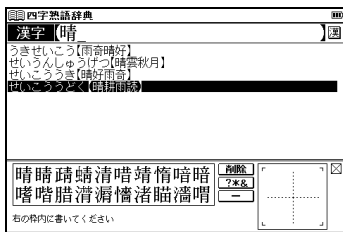


## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「晴」という漢字で始まる四字熟語を調べたい場合、▼でカーソルを移動させ、漢字を選択します。☞を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「晴」と手書きします。

画面の候補表示から「晴耕雨読」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4 (☞) 30 ページ参照)

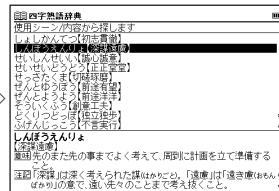
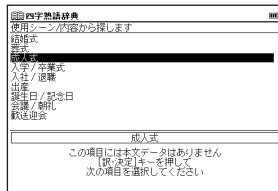


- 四字熟語辞典では漢字の手書き入力のみできます。
- 故事ことわざ辞典では「漢字 (日)」に例えば「目から鼻へ抜ける」と漢字 (手書き入力) とひらがな (手書きあるいはキー入力) を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

## 【目次検索】使用シーン / 内容から調べる

「成人式に関する言葉」を調べたい場合、▶で「索引・凡例」を選択し、☞を押します。「⇒使用シーン / 内容から探します」→「使用シーン」→「成人式」と選択し、☞を押します。画面の候補表示から「しんぼうえんりよ【深謀遠慮】」を選択し、☞を押します。

(検索方法2 (☞) 27 ページ参照)

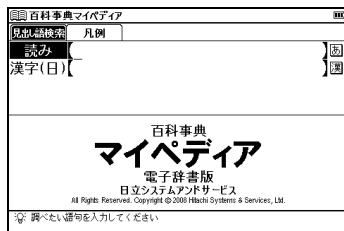


# 百科事典マイペディアを使う

幅広いジャンルの基礎項目を調べることができます。

メニュー画面から「国語」→「百科事典マイペディア」を選択し、検索画面を表示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [F10] 23 ページ参照)

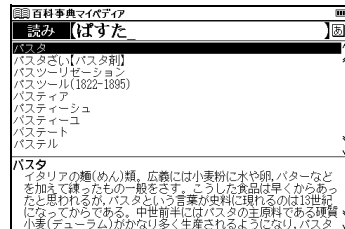


## 【読み検索】日本語の読みを入力し、意味を調べる

「パスタ」の意味を調べたい場合、読み入力欄に「ばすた」と入力します。画面の候補表示から「パスタ」を選択し、

**読み** を押します。

(検索方法 1 [F10] 26 ページ参照)

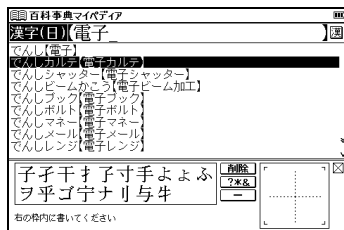


## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「電子」という漢字で始まる語句を調べたい場合、▼でカーソルを移動させ、「漢字（日）」を選択します。✎を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「電子」と手書きします。

画面の候補表示から「でんしカルテ【電子カルテ】」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4 (🔍) 30ページ参照)



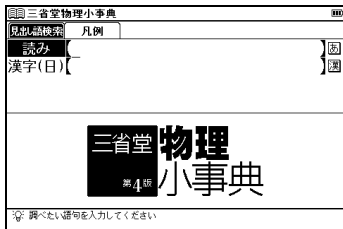
- 「漢字（日）」に「電子カルテ」と漢字（手書き入力）とカタカナまたはひらがな（手書きあるいはキー入力）を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

## 物理小事典、化学小事典、生物小事典を使う


理科系の用語を入力し、その意味を調べることができます  
(ここでは物理小事典を例として説明します)。

メニュー画面から「理科」→「物理小事典」を選択し、  
検索画面を表示させます。

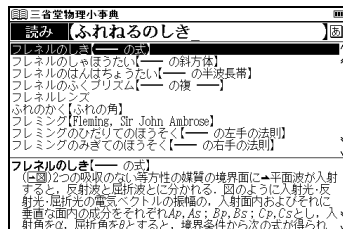
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [👉] 23 ページ参照)



## 【読み検索】用語の語義を調べる

「フレネルの式」の語義を調べたい場合、読み入力欄に「ふれねるのしき」と入力します。画面の候補表示から「フレネルの式」を選択し、 を押します。

(検索方法 1 [👉] 26 ページ参照)



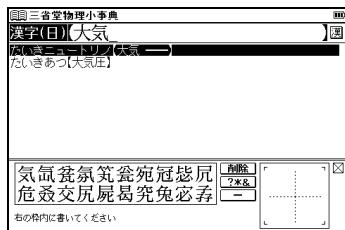
## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「大気」という漢字で始まる語句を調べたい場合、▼でカーソルを移動させ、「漢字(日)」を選択します。

を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「大気」と手書きします。

画面の候補表示から「たいきニュートリノ【大気ニュートリノ】」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4 (30ページ参照))



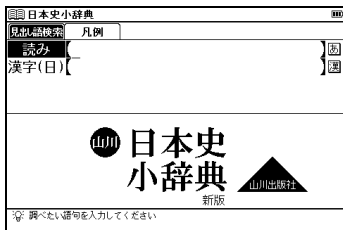
- 「漢字(日)」に「大気ニュートリノ」と漢字(手書き入力)とカタカナまたはひらがな(手書きあるいはキー入力)を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

# 日本史小辞典と世界史小辞典を使う

歴史上の事柄や人物について、詳しく調べることができません（ここでは日本史小辞典を例として説明します）。

メニュー画面から「社会」→「日本史小辞典」を選択し、検索画面を表示させます。

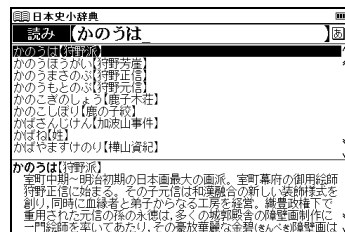
（メニュー画面からコンテンツを選ぶ [🔍] 23 ページ参照）



## 【読み検索】用語を入力し、その年代や内容を調べる



「狩野派（かのうは）」について調べたい場合、読み入力欄に「かのうは」と入力します。画面の候補表示から「かのうは【狩野派】」を選択し、**読み検索** を押します。

（検索方法 1 [🔍] 26 ページ参照）

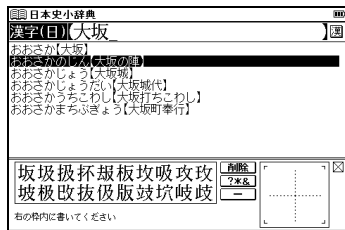




## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「大坂の陣」を調べたい場合、 でカーソルを移動させ、「漢字（日）」を選択します。 を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「大坂」と手書きします。画面の候補表示から「おおさかのじん【大坂の陣】」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4  30ページ参照)



- 「漢字（日）」に「大坂の陣」と漢字（手書き入力）とひらがな（手書きあるいはキー入力）を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。



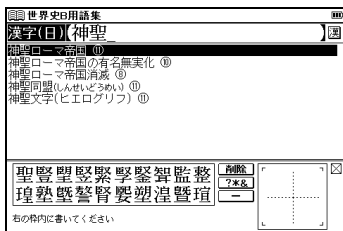
## 【漢字検索】漢字を手書き入力し、用語を調べる

「神聖」という漢字で始まる語句を調べたい場合、▼でカーソルを移動させ、「漢字 (日)」を選択します。

を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「神聖」と手書きします。

画面の候補表示から「神聖ローマ帝国①」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

(検索方法4 (☞) 30ページ参照)

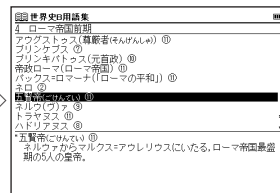
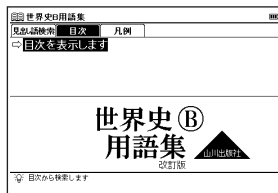


- 「漢字 (日)」に「神聖ローマ帝国」と漢字 (手書き入力) とカタカナまたはひらがな (手書きあるいはキー入力) を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

## 【目次検索】目次から用語を調べる

時代順など目次から用語を調べたい場合、▶で「目次」を選択します。「⇒目次を表示します」を選択し、を押します。「第1章 オリентと地中海世界」→「3 ローマ世界」→「4 ローマ帝国前期」と選択し、画面の候補表示から「五賢帝 (ごけんてい) ①」を選択します。を押します。


(検索方法2 (☞) 27ページ参照)




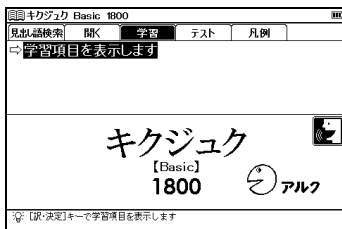
# 学習コンテンツに共通する基本の操作



## ツリー形式リスト - 項目の選択方法

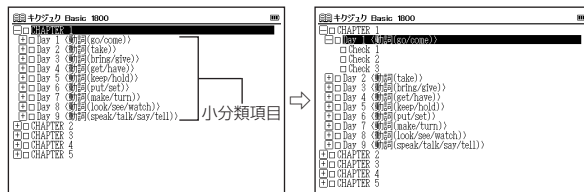
学習コンテンツでは、項目をツリー形式のリストから選択します（ここでは、キクジユク Basic 1800 を例に説明します）。



- 1 メニュー画面から「学習 1」→「キクジユク Basic 1800」を選択し、検索画面を表示させます。  
検索画面から、▶ で「学習」を選択します。「⇒ 学習項目を表示します」を選択し  を押すと、ツリー形式のリストが表示されます。

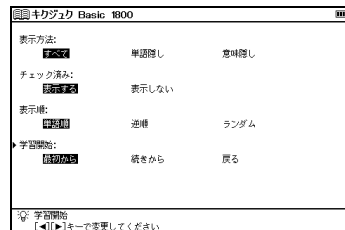
（キクタンとキクジユクを使う  97 ページ参照）



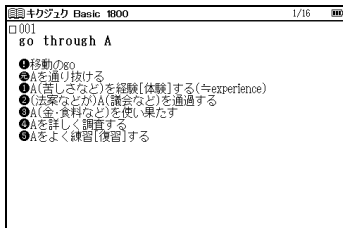
- 2 「CHAPTER 1」を選択し、 を押すと、選択した項目に含まれる小分類項目のリストが表示されます。  
▼ で「DAY 1」を選択し、 を押します。




- 3 ▼ で項目「Check 1」を選択します。  
 を押すと、学習設定画面が表示されます。（学習設定の方法  93 ページ参照）









## 4 を押すと、本文画面が表示されます。



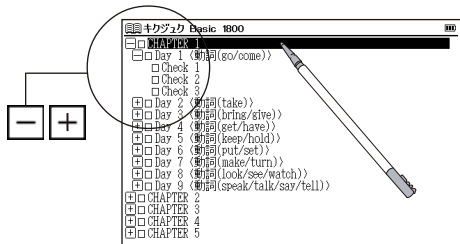
### ツリー形式リスト についての説明

項目の頭に  が表示されている場合は、さらに小分類の項目があることを示しています。

 が表示されている項目を選択して  または  を押すと、小分類項目のリストを表示することができます。

 または  を押すと、小分類項目のリストを表示させる前の状態に戻ります。 が表示されている場合は、その項目には、それ以上表示できる小分類項目がないことを示しています。

- スタイルスを使う場合は、項目を直接タップすると小分類項目のリストが表示されます。再度タップすると、元の状態に戻ります。



### 進捗の記録

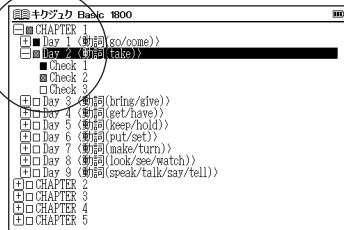
リスト上に進捗の記録が表示されます。  
ボックスの色で学習やテストの進捗がわかります。

■ は学習し終わった項目

■ は途中まで学習した項目

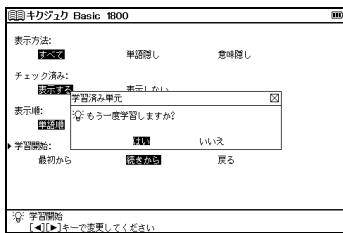
□ はまだ学習していない項目

を示しています。

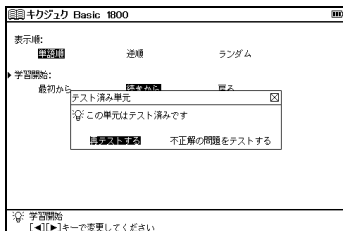


- 進捗記録は削除し、元の□に戻すことができます。  
(学習設定の方法  93 ページ参照)

すでに学習し終えた項目を選択した場合、学習設定画面で「もう一度学習しますか?」とメッセージが表示されます。 で「はい」か「いいえ」を選択し、 を押します。



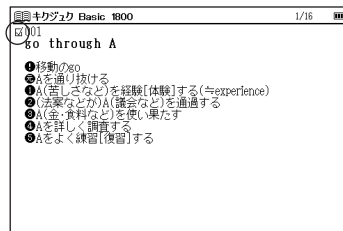
テストの場合、最後までテストした項目を選択した場合は、「この単元はテスト済みです」とメッセージが表示されます。 で「再テストする」か「不正解の問題をテストする」のどちらかを選択し、 を押します。



## チェックボックス

本文画面の見出しの頭に  (チェックボックス) のある学習コンテンツでは、覚えた単語や、見直したい項目などにチェックマークを入れておくことができます。

を押すと、チェックボックスにチェックマーク  を入れることができます。再度 を押すと、チェックマークが解除されます。



- スタイルスを使う場合は、チェックボックスを直接タップします。再度タップするとチェックマークが解除されます。








- 数学公式集では、リスト表示画面でもチェックマークを入れることができます。

- チェックマークはまとめて解除することもできます。またチェックマークを入れた単語は、学習設定画面で表示・非表示の設定を行うことができます。

(学習設定の方法  93 ページ参照)

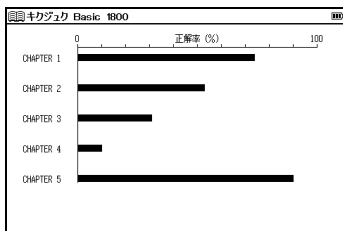
## テスト結果グラフ表示

キクタンシリーズ、キクジユクシリーズ、入試英単語の王道 2000+500 のコンテンツでは、テストの正解率をグラフで表示することができます。

検索画面から、 で「テスト」を選択します。 /  でカーソルを移動させ、「 テスト結果を表示します」を選択します。 を押すと、テスト結果画面が表示されます。各単元の正解率がグラフで表示されます。












- 単元の最後までテストしていない場合も、テスト結果が表示されず。またテスト結果は削除することができます。

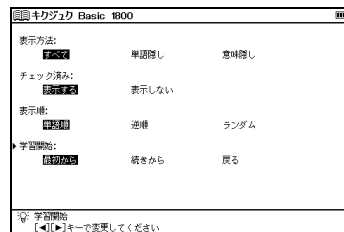
(学習設定の方法  93 ページ参照)



## 学習設定の方法

設定画面で学習・テスト画面の表示方法や順序を設定することができます (ここでは、キクジユク Basic 1800 の学習設定画面を例に説明します)。

- 1 検索画面から、 で「学習」を選択します。「 学習項目を表示します」を選択し  を押すと、ツリー形式のリストが表示されます。
- 2 それ以上、表示する小項目がない小分類項目を選択し、 を押すと学習設定画面が表示されます。 /  で設定項目を選択し、 /  で各項目の設定内容を選択します。
- 3  /  で「学習開始」を選択し  を押すと、設定した内容が保存・反映され、本文画面が表示されます。



## 設定項目とその内容

以下を参考に項目を選んで設定してください。学習コンテンツによって設定する項目は異なります。

表示方法	学習画面での単語の表示方法を選択します。
すべて	単語・意味・解説のすべてを表示します。 初期設定では「すべて」に設定されています。
単語隠し	意味・解説部分は表示し、単語を隠して表示します。
意味隠し	単語の意味・解説部分を隠して表示します。
チェック済み	チェックマーク (☑) を入れた単語の表示を選択します。
表示する	チェック済み単語を含むすべての単語を表示します。 初期設定では「表示する」に設定されています。
表示しない	チェック済み単語を表示しません。
表示順	単語の表示順、テストの出題順を選択します。
単語順	コンテンツに収録されている順番に表示します。 初期設定では「単語順」に設定されています。
逆順	コンテンツに収録されている順番の逆の順番で表示します。
ランダム	単語や問題の順序を入れ替えて表示します。
学習開始	学習の開始位置を選択します。
最初から	項目の最初から学習します。 初めて学習する場合は「最初から」に設定されています。
続きから	前回の続きから学習します。
戻る	ツリー形式のリストに戻ります。

### ■表示方法の設定

各コンテンツで以下のような表示方法を設定することができます。


**単語／意味の表示設定** キクタンシリーズ  
キクジユクシリーズ  
入試英単語の王道 2000+50  
古文単語・熟語ターゲット 400

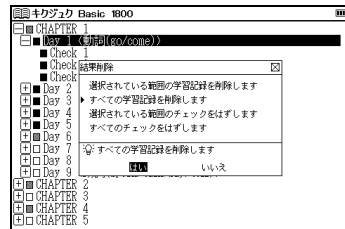
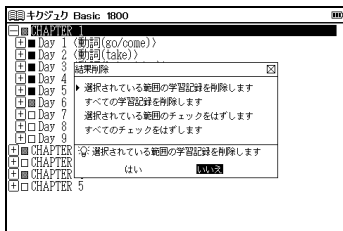
**公式／キーワードの表示設定** 数学公式集



- 数式公式集のみ検索画面の「⇒学習設定画面を表示します」から設定します。



## 学習記録、チェックマーク、テスト記録の削除

ツリー形式のリスト画面で、記録を削除したい項目を選択し  
 を押すと、以下のように削除をすることができます。




▼/▲ で削除したい項目（ここでは「すべての学習記録を削除します」）を選択します。/▶ で「はい」か「いえ」を選択し、 を押します。


検索画面で「学習」を選択した場合	学習記録、チェックマークの削除画面が表示されます。
検索画面で「テスト」を選択した場合	テスト記録の削除画面が表示されます。

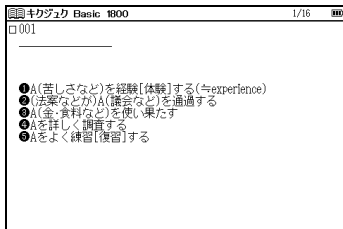


### 表示内容で「単語隠し」を選択した場合

本文画面を表示させると、単語が隠されて表示されます。


 を押すと、単語が表示されます。


再度  を押すと、次の見出し語の本文画面が、単語が隠されて表示されます。

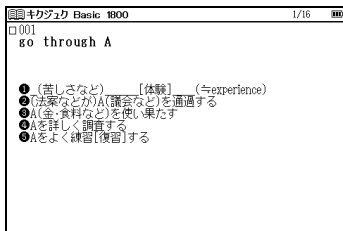


### 表示内容で「意味隠し」を選択した場合

本文画面を表示させると、単語の意味が隠されて表示されます。

 を押すと、意味が表示されます。

再度  を押すと、次の見出し語の本文画面が、意味が隠されて表示されます。



## キクタン (Basic 4000、Advanced 6000、Super 12000) と キクジユク (Basic 1800 と Super 3600) を使う


音楽に合わせて聞く「チャンツ」により、単語や熟語をスムーズに覚えることができます（ここでは「キクタン Basic 4000」の場合を例として説明します）。

メニュー画面から「学習 1」→「キクタン Basic 4000」を選択し、検索画面を表示させます。

（メニュー画面からコンテンツを選ぶ [🔍] 23 ページ参照）



## 【スペル検索】見出し語を検索する

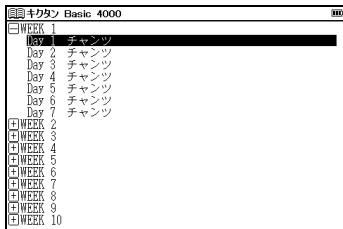
「raise」という単語を調べたい場合、スペル欄に「raise」と入力します。画面の候補表示から「raise」を選択し、 を押します。

（検索方法 1 [🔍] 26 ページ参照）



## チャンツを使う

- 1 **▶** で「聞く」を選択します。「⇒チャンツで学習をします」を選択し、**▶** を押します。「WEEK 1」→「Day 1 チャンツ」を選択し、**▶** を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (P.90 ページ参照))



- 2 チャンツ画面を確認し、**▶** を押すか **▶スタート** をタップすると、チャンツが始まります。

- チャンツ再生中に一時停止する場合は **▶** を押すか **▶** をタップします。再び再生する場合は **▶** を押すか **▶▶** をタップします。
- チャンツ再生中に **▶** を押すか **▶戻る** をタップすると、「チャンツを停止し、スタート画面に戻ります」と表示されます。「はい」を選択し、**▶** を押すと、チャンツのスタート画面に戻ります。

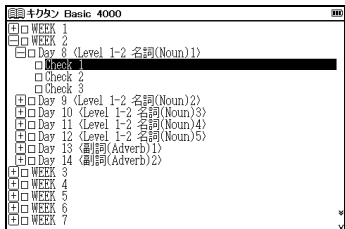


- 3 「WEEK 1 Day 1」が終わると、次のような画面が表示されます。チャンツのリスト画面に戻る場合は **戻る**、もう一度「WEEK 1 Day 1」を聞く場合は **▶もう一度**、「WEEK 1 Day 2」に進む場合は **次の日へ** をタップします。

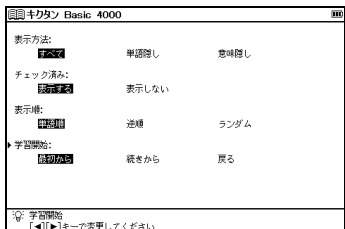


## 学習する

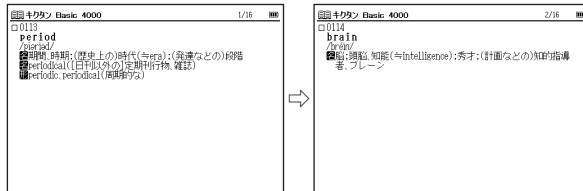
- 1 ▶ で「学習」を選択します。「⇒学習項目を表示します」を選択し、**決定** を押します。「WEEK 2」→「Day 8」→「Check 1」の順に選択し、**決定** を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (🔍 90 ページ参照))



- 2 学習設定画面の内容を確認し、**決定** を押します。  
(学習設定の方法 (🔍 93 ページ参照))

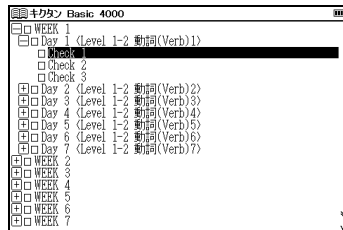


- 3 **決定** を押すと、次の単語が表示されます。

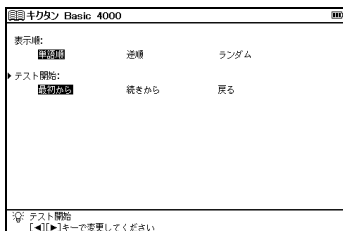


## テストをする

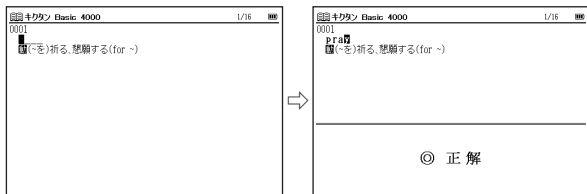
- 1 ▶ で「テスト」を選択します。「⇒テスト項目を表示します」を選択し、**決定** を押します。「WEEK 1」→「Day 1」→「Check 1」を選択し、**決定** を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (🔍 90 ページ参照))



- 2 テスト設定画面の内容を確認し、**決定** を押します。  
(学習設定の方法 (👉 93 ページ参照))



- 3 問題が表示されます。空欄箇所にスペルを入力します。  
**決定** を押すと、スペルが正しい場合は「◎正解」、正しくない場合は「×不正解」のメッセージと正解が表示されます。

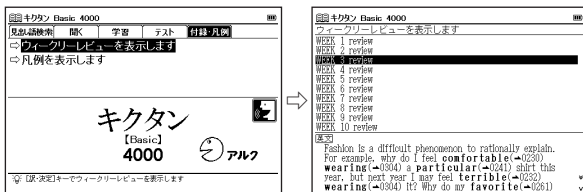


- 4 **決定** を押すと、次の問題が表示されます。
- 「⇒テスト結果を表示します」を選択し **決定** を押すと、テストの正解率をグラフで表示することができます。  
(テスト結果グラフ表示 (👉 93 ページ参照))

## ウィークリーレビューを表示する

各週ごとに、学習した単語を含んだ英文とその訳文を表示することができます。

- ▶ で「付録・凡例」を選択します。「⇒ウィークリーレビューを表示します」を選択し、**決定** を押します。「WEEK 3 review」を選択し、**決定** を押します。  
(検索方法 2 (👉 27 ページ参照))

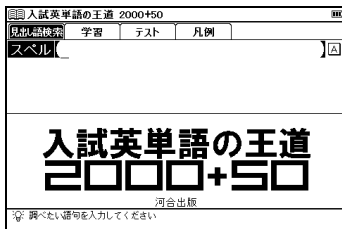


- ▶ を選択し、選択した単語の本文画面にジャンプすることができます。  
(参照ジャンプをする (👉 122 ページ参照))
- ウィークリーレビューはキクジユクシリーズのコンテンツには収録されておりません。

# 入試英単語の王道 2000+50 を使う

厳選された単語 2050 語の意味を調べるほか、単語テスト、例文テストを使って徹底的に学習できます。

メニュー画面から「学習 1」→「入試英単語の王道 2000+50」を選択し、検索画面を表示させます。  
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [☞] 23 ページ参照)



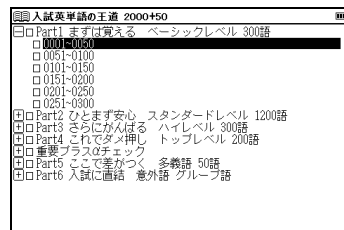
## 【スペル検索】スペルを入力し、英単語を調べる

「accomplish」の和訳を調べたい場合、スペル入力欄に「accomplish」と入力します。画面の候補表示から「accomplish」を選択し、**決定** を押します。  
(検索方法 1 [☞] 26 ページ参照)

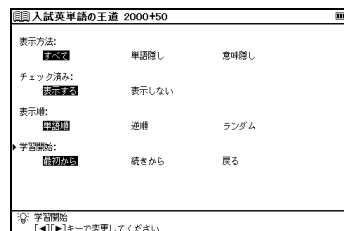


## 英単語を学習する

- 1 **▶** で「学習」を選択します。「⇒学習項目を表示します」を選択し、**決定** を押します。  
「Part1 まずは覚える ベーシックレベル 300 語」→「0001 ~ 0050」を選択し、**決定** を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 [☞] 90 ページ参照)



- 2 学習設定画面の内容を確認し、**決定** を押します。  
(学習設定の方法 [☞] 93 ページ参照)

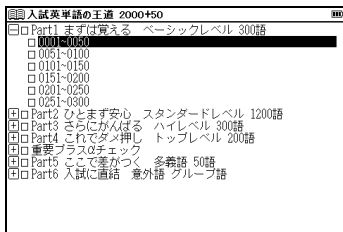


3 英単語の発音、意味、例文などが表示されます。[戻る] を押すと、次の単語が表示されます。

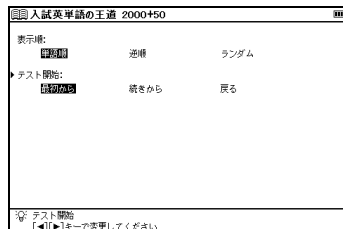


## 単語あるいは例文のテストをする

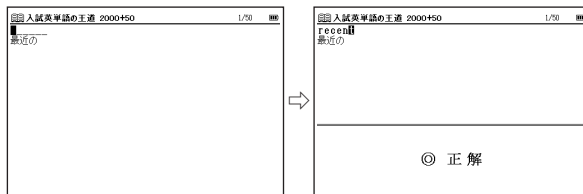
1 単語テストをする場合、[▶] で「テスト」を選択します。「⇒単語テスト」を選択し、[決定] を押します。「Part 1 まずは覚える ベーシックレベル 300 語」→「0001 ~ 0050」を選択し、[決定] を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 [🔍] 90 ページ参照)



2 学習設定画面の内容を確認し、[決定] を押します。  
(学習設定の方法 [🔍] 93 ページ参照)




3 問題が表示されます。空欄箇所に英単語を入力します。[決定] を押すと、スペルが正しい場合は「◎ 正解」、正しくない場合は「× 不正解」のメッセージと正解が表示されます。





## 4 を押すと、次の英単語テスト画面が表示されます。

- ここでは単語テストを例に説明しましたが、例文テストも同様の手順でテストすることができます。
- 例文テストについて  
以下の項目には例文テストがありません。
  - ・重要プラス  $\alpha$  チェック
  - ・Part6 入試に直結 意外語 グループ語
- 単語テストと例文テストはテスト結果をグラフで表示することができます。  
(テスト結果グラフ表示  93 ページ参照)

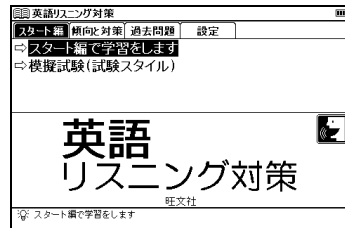
# 英語リスニング対策を使う

下記の特長別に分類された問題を解くことで、センター試験リスニング対策の学習をすることができます。

検索タブ名	検索画面表示	項目選択後の表示	問題の特長
スタート編	⇒ スタート編で学習をします	トレーニング	リスニング試験の練習(トレーニング)問題を行うことができます。
		スタート編-実践	試験問題に慣れるための実践問題を行うことができます。
	⇒ 模擬試験(試験スタイル)		「トレーニング」で出題した問題の一部を模試形式で行うことができます。
傾向と対策	⇒ 傾向と対策で学習をします	傾向と対策-類似問題	センター試験の傾向に即した問題を行うことができます。
		傾向と対策-試行問題	2004年に実施されたセンター試験「英語リスニング試行テスト」の問題を行うことができます。
過去問題	⇒ 過去問題 2006年度 ⇒ 過去問題 2007年度 ⇒ 過去問題 2008年度		リスニング試験の過去問題を行うことができます。

メニュー画面から「学習1」→「英語リスニング対策」を選択し、検索画面を表示させます。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [☞] 23 ページ参照)

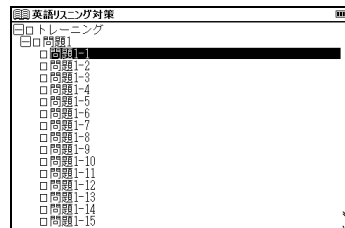


## 検索画面で項目を選び、リスニング問題を行う

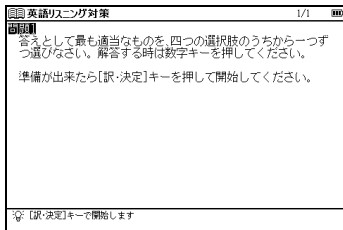
1 「トレーニング」の問題を行う場合、▶ で「スタート編」を選択します。「⇒ スタート編で学習をします」を選択し、 を押します。「トレーニング」→「問題1」→「問題1-1」を選択し、 を押します。

(ツリー形式リスト・項目の選択方法 [☞] 90 ページ参照)

- 「⇒ 模擬試験(試験スタイル)」の場合はリストが表示されず、問題説明画面に移ります。

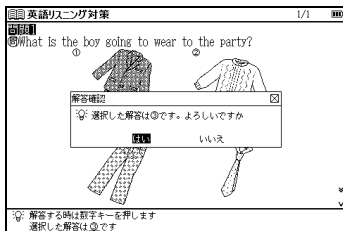


## 2 テスト方法についての説明画面が表示されます。

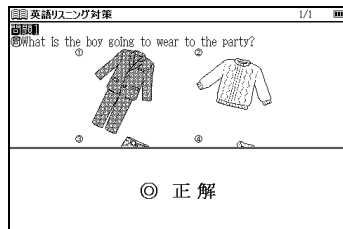


- 3 **【訳・決定】** を押すと出題画面が表示され、自動的に音声再生されます。文字入力キーを使って、選択肢の中から適切と思われるものを選択し、番号を入力し、**【訳・決定】** を押します。確認メッセージが表示された後、選択した解答に間違いなければ「はい」を、解答を選択し直す場合は「いいえ」を選択して、出題画面に戻ります。

- 音声を繰り返し聞く  
音声が聞き取れなかった場合は、**【再】** を押すと何度でも繰り返し聞き直すことができます。



- 4 「はい」を選択し、**【訳・決定】** を押すと、正解か不正解が表示されます。



- 5 数秒後に解説画面が表示されます。**【再】** を押すと項目リストの画面に戻り、次の出題を選択できます。



- 「⇒模擬試験 (試験スタイル)」の場合は **【再】** を押すと、正解・不正解は表示されず、次の問題に移ります。またテストを途中で中断をすると、それまでの回答結果を保存することができません。そのため全 25 問まで行うことをお勧めします。

## テスト結果を見る

「⇒模擬試験（試験スタイル）」と「⇒過去問題」ではテスト結果を見ることができます。

1 すべての問題を解き終わると、結果画面が表示されます。得点と各問題の正解・不正解が○×で表示されます。

- 得点は1問2点で計算されます。実際のセンター試験とは採点基準が異なります。

英語リスニング対策					
得点 34 点					
問題1	○	問題2	○	問題3	○
問題4	○	問題5	○	問題6	○
問題7	○	問題8	○	問題9	○
問題10	×	問題11	×	問題12	×
問題13	○				
問題14	×	問題15	×	問題16	○
問題17	×	問題18	○	問題19	×
問題20	○	問題21	○	問題22	○
問題23	○	問題24	○	問題25	○

④ [問題]キーで解説書リストを表示します  
[戻る]キーで模試を終了します

2 を押すと、参照解説リストが表示されます。  
 / でカーソルを移動させ、参照したい解説を選択します。

を押し、選択した解説を表示します。解説を参照しない場合は結果画面で を押すと、検索画面に戻ります。

解説	問1	問1
→ 解説	問1	問2
→ 解説	問1	問3
→ 解説	問1	問4
→ 解説	問1	問5
→ 解説	問1	問6
→ 解説	問2	問7
→ 解説	問2	問8
→ 解説	問2	問9
→ 解説	問2	問10
→ 解説	問2	問11
→ 解説	問2	問12
→ 解説	問2	問13
→ 解説	問3A	問14

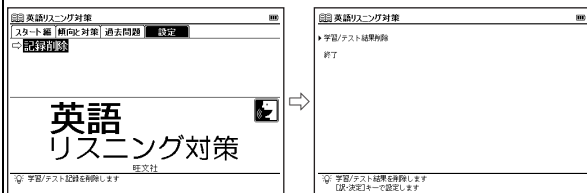
④ 表示する解説を選択して[決定]キーを押します  
[戻る]キーで結果画面に戻ります

## 👉 学習／テスト結果の削除

テスト画面の設定を行う場合、▶ で「設定」を選択します。「⇒ 記録削除」を選択し、**設定** を押します。設定画面を表示させ「学習／テスト結果削除」を選択すると、メッセージが表示されます。

「はい」を選択すると、学習、テスト記録が削除されます。

(学習設定の方法 📖 93 ページ参照)



## 👉 出題形式の概要

**【問題 1】** 短い対話を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

**【問題 2】** 短い対話を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、対話文に続く応答として最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

「問題 3」は A と B の 2 つの部分に分かれています。

**【問題 3A】** 短い対話を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

**【問題 3B】** 少し長めの対話を聞き、3 つの問いに答えます。画面に対話文に関する問いと選択肢が表示されますので、答えとして適切と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。

- 問題と選択肢が 2 画面以上にまたがって表示されますので、画面をスクロールしてください。使用説明書内 📖 177 ~ 180 ページにも掲載してありますのでご参照ください。

「問題 4」は A と B の 2 つの部分に分かれています。

**【問題 4A】** 短い講義を聞き、問いに答えます。画面に表示されている選択肢の中から、答えとして最も適切と思われるものを選択し、番号を入力します。

**【問題 4B】** 短い講義を聞き、3 つの問いに答えます。画面に講義に関する問いと選択肢が表示されますので、答えとして適切と思われるものを選択し、出題順に番号を入力します。

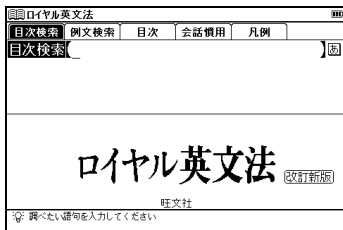
- この出題形式は、本機に収録されているコンテンツの出題形式であり、2008 年現在のセンター試験の出題形式に準拠しています。現行のセンター試験の内容や形式と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

# ロイヤル英文法を使う

英語の読み書きや口語英語に必要な文法や語法を調べることができます。

メニュー画面から「学習2」→「ロイヤル英文法」を選択し、検索画面を表示させます。

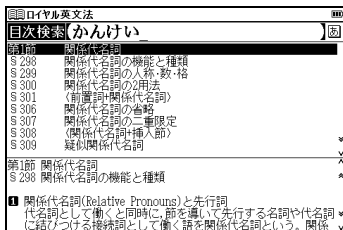
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [☞] 23 ページ参照)



## 項目名を入力し、調べる

関係代名詞の項目を調べたい場合、目次検索欄に「かんけい」と入力します。画面の候補表示から「第1節 関係代名詞」を選択し、[決定] を押します。

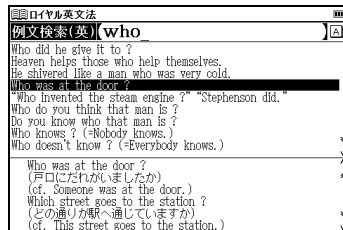
(検索方法1 [☞] 26 ページ参照)



## 【例文検索】入力した英単語を含む例文を調べる

「who」を使った例文を調べたい場合、▶ で「例文検索」を選択します。例文検索(英)欄に「who」と入力します。画面の候補表示から「Who was at the door?」を選択し、[決定] を押します。

(検索方法1 [☞] 26 ページ参照)

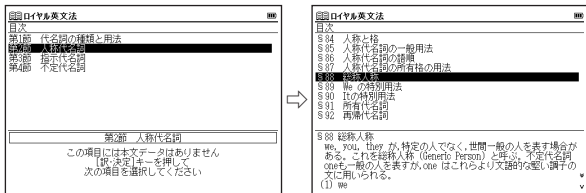


## 目次から項目を調べる

目次から項目を調べたい場合、▶ で「目次」を選択します。「⇒目次を表示します」を選択し、[既定] を押します。

「第4章 代名詞」→「第2節 人称代名詞」と選択します。画面の候補表示から「§88 総称人称」を選択し、[既定] を押します。

(検索方法2 (👉 27 ページ参照))



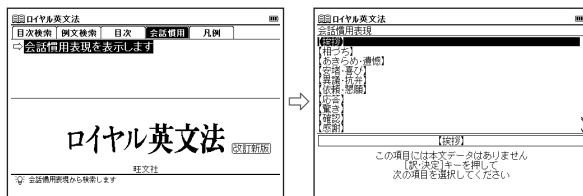
- 本文画面で [既定] を押すと、次の項目が表示されます。

## 会話慣用表現を調べる

収録された例文の中から、会話慣用表現をカテゴリー別に調べることができます。

挨拶に使われる表現を調べたい場合、▶ で「会話慣用」を選択します。「⇒会話慣用表現を表示します」を選択し、[既定] を押します。画面の候補表示から「【挨拶】」→「How you been ?」を選択し、[既定] を押します。

(検索方法2 (👉 27 ページ参照))

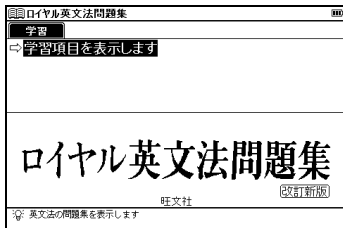


# ロイヤル英文法問題集を使う

ロイヤル英文法で学習した内容を、択一問題でテストすることができます。

メニュー画面から「学習2」→「ロイヤル英文法問題集」を選択し、検索画面を表示させます。

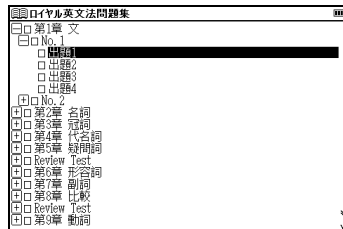
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (👉) 23 ページ参照)



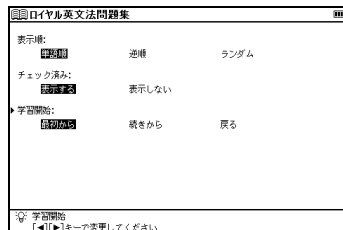
## 英文法問題を行う

1 「⇒学習項目を表示します」を選択し、**戻る** を押します。  
「第1章 文」→「No.1」→「出題1」を選択し、**戻る** を押します。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (👉) 90 ページ参照)

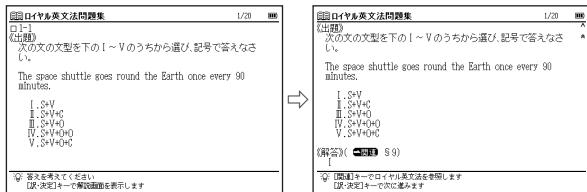




2 学習設定画面の内容を確認し、**戻る** を押します。  
(学習設定の方法 (👉) 93 ページ参照)







3 問題が表示されます。  または  を押すと、解答が表示されます。



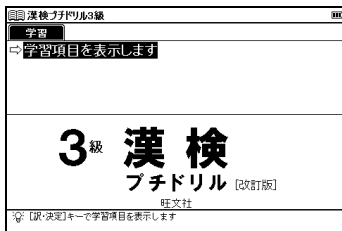
-  を押すと参照項目が表示されます。  を押すと、前の画面に戻ります。

4  または  を押すと、次の出題が表示されます。

## 漢検プチドリル (3級、準2級、2級)を使う

漢字検定®の出題に沿った学習をすることができます  
(ここでは、「漢検プチドリル3級」の場合を例として説明  
します)。

メニュー画面から「学習2」→「漢検プチドリル3級」を  
選択し、検索画面を表示させます。  
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)



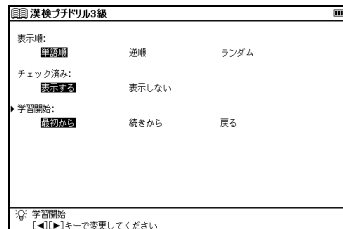
## 問題を解きながら漢字を学習する

- 1 「⇒学習項目を表示します」を選択し、**[戻る]** を押します。  
「ここで差がつく149」→「読み」→「読み01」を選択し、**[戻る]** を押します。

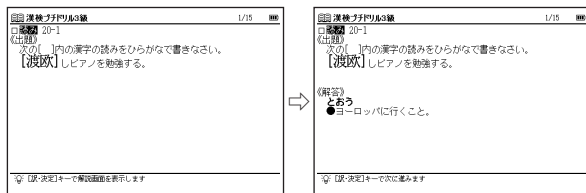
(ツリー形式リスト・項目の選択方法 (☞) 90 ページ参照)





- 2 学習設定画面の内容を確認し、**[戻る]** を押します。  
(学習設定の方法 (☞) 93 ページ参照)



3 問題が表示されます。  または  を押すと、解答が表示されます。



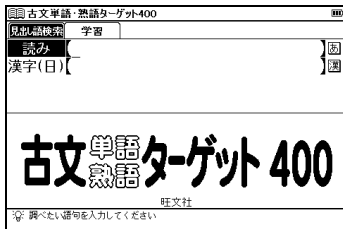
4  または  を押すと、次の出題が表示されます。

## 古文単語・熟語ターゲット400を使う

古文を読むために欠かせない単語・熟語を学習することができます。

メニュー画面から「学習2」→「古文単語・熟語ターゲット400」を選択し、検索画面を表示させます。

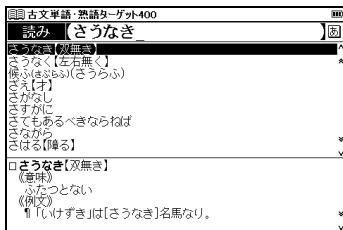
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ [☞] 23 ページ参照)



### 【読み検索】読みを入力し、語義を調べる

「双無き(さうなき)」の語義を調べたい場合、読み入力欄に「さうなき」と入力します。画面の候補表示から「さうなき【双無き】」を選択し、**[検索]** を押します。

(検索方法1 [☞] 26 ページ参照)

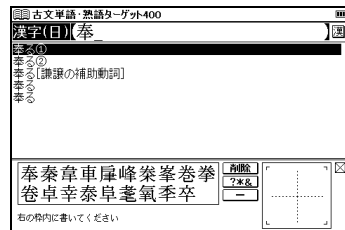


### 【漢字検索】漢字を手書き入力し、調べる

「奉」という漢字で始まる語句を調べたい場合、**[▼]** でカーソルを移動させ、「漢字(日)」を選択します。**[漢字]** を押し、手書き入力欄を表示させます。手書き入力欄に「奉」と手書きします。





画面の候補表示から「奉る①」をダブルタップし、本文画面を表示させます。

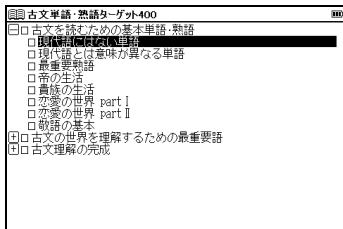
(検索方法4 [☞] 30 ページ参照)





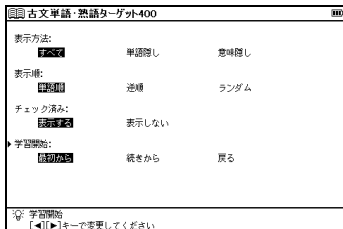
- 「漢字(日)」に「奉る」と漢字(手書き入力)とひらがな(手書きあるいはキー入力)を入力して検索することもできます。
- 漢字入力検索ではワイルドカードサーチを使用することができません。

## 古文単語・熟語を学習する

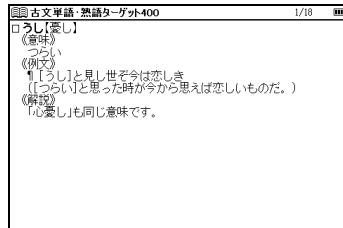
- 1  で「学習」を選択します。「学習項目を表示します」を選択し、 を押します。  
「古文を読むための基本単語・熟語」→「現代語にはない単語」の順に選択し、 を押します。  
(ツリー形式リスト - 項目の選択方法  90 ページ参照)



- 2 学習設定画面の内容を確認し、 を押します。  
(学習設定の方法  93 ページ参照)





- 3 古文の単語、意味、例文などが表示されます。

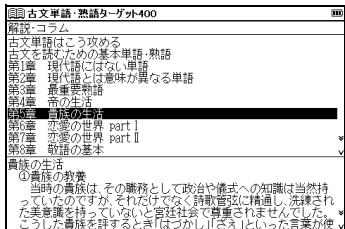


- 4  を押すと、次の単語が表示されます。

## 【解説・コラム検索】 解説・コラムを表示する

▶ で「学習」を選択します。「⇒解説・コラムを表示します」を選択し、 を押します。画面の候補表示から項目（ここでは「第5章 貴族の生活」）を選択し、 を押します。

(検索方法2  27 ページ参照)

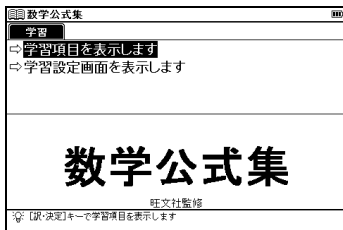


# 数学公式集を使う

数学の公式と主要な項目について学習をすることができます。

メニュー画面から「学習2」→「数学公式集」を選択し、検索画面を表示させます。

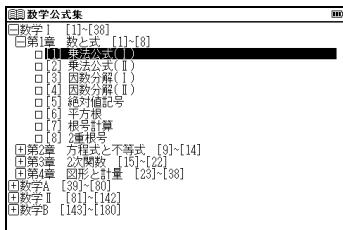
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)



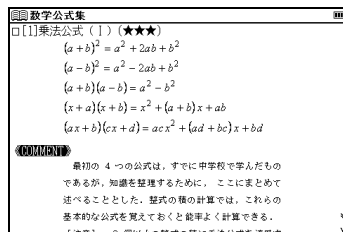
## 数学公式集を学習する

1 「⇒学習項目を表示します」を選択し、**[決定]** を押します。「数学 I [1]～[38]」→「第 1 章 数と式 [1]～[8]」→「[1] 乗法公式 (I)」を選択します。

(ツリー形式リスト - 項目の選択方法 (☞) 90 ページ参照)



2 **[決定]** を押すと、本文画面が表示されます。



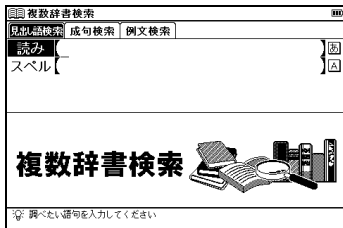
- 数学公式集の本文画面で表示される★は、重要度を示しています。★の数は最多で 3 つです。★の数が多いほど、重要な公式であることを示しています。

3 **[決定]** を押すと、次の公式が表示されます。

## 複数辞書検索機能を使う

調べたい語句、成句または例文を複数のコンテンツから同時に調べることができます。

複数検索 を押し、検索画面を表示させます。

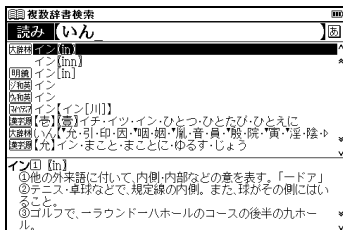


### 【読み検索】語義や訳を複数辞書検索する

「いん」という語句を複数のコンテンツで同時に調べたい場合、読み入力欄に「いん」と入力します。画面の候補表示から「**イ**ン【in】」を選択し、**決定** を押します。

(検索方法1 [👉](#) 26 ページ参照)

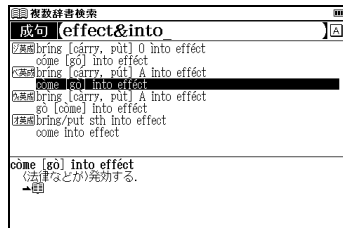
- 同様の手順でスペル入力欄にスペルを入力すると、英語の複数辞書検索をすることができます。



### 【成句検索】入力した英単語を含む成句を調べる

「effect」と「into」を使った成句を調べたい場合、**▶** で「成句検索」を選択します。成句入力欄に「effect into」と入力します。画面の候補表示から「**英成** come [gò] into effect」を選択し、**決定** を押します。

(検索方法1 [👉](#) 26 ページ参照)

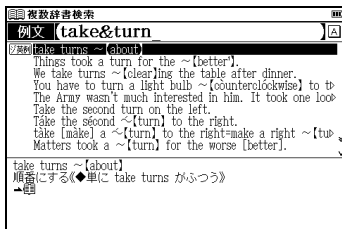























## 【例文検索】 入力した英単語を含む例文を調べる

「take」と「turn」を使った例文を調べたい場合、▶で「例文検索」を選択します。例文入力欄に「take 英 turn」と入力します。画面の候補表示から「**英例** take turns ~【about】」を選択し、**英例**を押します。









(検索方法1  26 ページ参照)






複数辞書検索の対象コンテンツと候補画面で表示されるアイコン  
英語系辞書

- |   |   |
|---|---|
|  英和 ジーニアス英和                |  英成 ジーニアス英和 (成句)           |
|  英例 ジーニアス英和 (例文)           |  英和 ベーシックジーニアス英和           |
|  英成 ベーシックジーニアス英和 (成句)      |  英例 ベーシックジーニアス英和 (例文)      |
|  日和英 ジーニアス和英               |  日和例 ジーニアス和英 (例文)          |
|  日和英 ウィズダム英和               |  日和成 ウィズダム英和 (成句)          |
|  日和例 ウィズダム英和 (例文)          |  日和英 ウィズダム和英               |
|  日和例 ウィズダム和英 (例文)          |  才英英 OALD                  |
|  才英成 OALD (成句)             |  才英例 OALD (例文)             |
|  工英英 Oxford Essential      |  工英成 Oxford Essential (成句) |
|  工英例 Oxford Essential (例文) |   |









国語系辞書

- |   |   |
|---|---|
|  大辞林 大辞林     |  大辞略 大辞林(略語)       |
|  明鏡 明鏡国語辞典   |  漢字源 漢字源           |
|  古語 古語辞典     |  熟語 四字熟語辞典         |
|  故事 故事ことわざ辞典 |  マイペディア 百科事典マイペディア |

理科系辞書

- |   |   |
|---|---|
|  物理 三省堂物理小事典 |  化学 三省堂化学小事典 |
|  生物 三省堂生物小事典 |   |


社会系辞書

- |   |   |
|---|---|
|  日本史 日本史小辞典  |  世界史 世界史小辞典  |
|  日用語 日本史B用語集 |  世用語 世界史B用語集 |
|  倫理 倫理用語集    |  現社 現代社会用語集  |
|  地理 地理用語集    |  政経 政治・経済用語集 |


- カードコンテンツの場合は、候補表示リスト上にカードアイコンが表示されます。

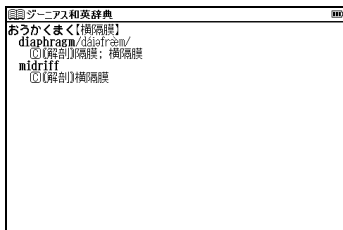
# ディクショナリーリンク機能を使う


## 同じ見出し語を他のコンテンツにジャンプして調べる




表示中の見出し語と同じ見出し語が他のコンテンツにある場合、 で他のコンテンツにジャンプして調べることができます。


## 例題 ジーニアス和英の本文画面から大辞林の本文画面にジャンプします

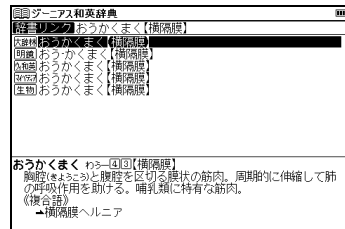
- 1 「おうかくまく【横隔膜】」の本文画面を表示させます。  
(和英辞典を使う  61 ページ参照)



- 2  を押します。画面に該当する語句が収録コンテンツを表示するアイコンとともに候補表示されます。


 /  でカーソルを移動させ、調べたいコンテンツを選択します。 を押して本文画面を表示させます。


- 表示中の見出し語と同じ見出し語が他のコンテンツにない場合は、ジャンプしません。またジャンプ先のコンテンツが1つだけの場合は、ジャンプ先のコンテンツの本文画面が表示されます。
- ジャンプ先の本文画面からもとの画面に戻る場合は、 を押します。





## ディクショナリーリンク機能が使用できるコンテンツ

### 英語系辞書

 ジーニアス英和

 ベーシックジーニアス英和

 ジーニアス和英

 ウィズダム英和

 ウィズダム和英


 OALD

 Oxford Essential


### 国語系辞書

 大辞林 大辞林


 明鏡 明鏡国語辞典

 漢字源 漢字源

 古語 古語辞典

 熟語 四字熟語辞典

 故事 故事ことわざ辞典

 百科事典マイペディア

### 理科系辞書

 物理 三省堂物理小事典

 化学 三省堂化学小事典


 生物 三省堂生物小事典

### 社会系辞書

 日本史 日本史小辞典


 世界史 世界史小辞典

 日用語 日本史B用語集

 世用語 世界史B用語集

 倫理 倫理用語集

 現社 現代社会用語集

 地理 地理用語集

 政経 政治・経済用語集

# マルチジャンプ機能を使う

## 指定したコンテンツへジャンプする

調べた言葉の意味や、例文の中に使われている単語を選択し、他の「コンテンツ」または参照見出しに移ってそれらの意味をさらに詳しく調べることができます。

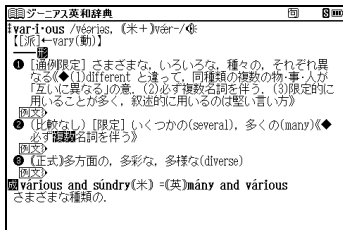
### 例題 「various」の本文画面中の「複数」の意味を調べます

1 ジーニアス英和で「various」の本文画面を表示させます。

**ジャンプ** を押すと、**S** が画面右上に表示されます。

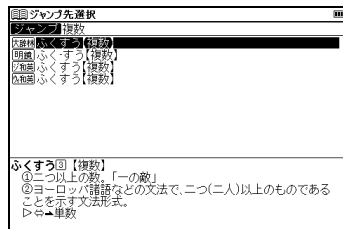
**▼**/**▲**/**◀**/**▶** でカーソルを移動させ、本文中の「複数」を反転表示させます。

- ジャンプを解除する場合は、**⏪** を押してください。  
(英和辞典を使う (🔍 58 ページ参照)  
(2文字以上の語句を選択する場合 (🔍 123 ページ参照))



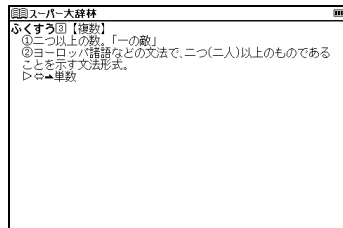
2 **大辞林** を押すとジャンプ先の画面の候補表示が表示されず。

**▼**/**▲** でカーソルを移動しジャンプ先 (ここでは「**大辞林** ぶくすう【複数】」) を指定します。再度 **大辞林** を押してジャンプを実行します。



3 大辞林の「複数」の本文画面が表示されます。

- 2語以上の候補がある場合、リスト表示されますので、**▼**/**▲** でカーソルを移動し、ジャンプ先を指定します。候補が一つしかない場合、直接その語の本文画面にジャンプします。



ジャンプ先を指定する画面は、選択している語句によって2つに分類されます。

### 英語が選択されている場合、ジャンプ先になるコンテンツ

<b>J</b> 英和 ジーニアス英和	<b>英和</b> ベーシックジーニアス英和
<b>英和</b> ウィズダム英和	<b>オ英英</b> OALD
<b>英英</b> Oxford Essential	<b>大辞略</b> 大辞林 (略語)

### 日本語が選択されている場合、ジャンプ先になるコンテンツ

<b>J</b> 和英 ジーニアス和英	<b>和英</b> ウィズダム和英
<b>大辞林</b> 大辞林	<b>明鏡</b> 明鏡国語辞典
<b>漢字源</b> 漢字源	<b>古語</b> 古語辞典
<b>熟語</b> 四字熟語辞典	<b>故事</b> 故事ことわざ辞典
<b>マイペディア</b> 百科事典マイペディア	<b>物理</b> 三省堂物理小事典
<b>化学</b> 三省堂化学小事典	<b>生物</b> 三省堂生物小事典
<b>日本史</b> 日本史小辞典	<b>世界史</b> 世界史小辞典
<b>日用語</b> 日本史B用語集	<b>世用語</b> 世界史B用語集
<b>倫理</b> 倫理用語集	<b>現社</b> 現代社会用語集
<b>地理</b> 地理用語集	<b>政経</b> 政治・経済用語集

## 前の画面に戻る

一つ前の画面に戻るときは **戻る** を押します。

- ジャンプ後の本文画面で **戻る** を押すと、ジャンプ先選択の画面に戻ります。

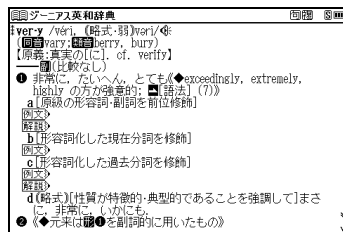
## 参照ジャンプをする

訳語や語義を調べている際に「**➡**」が画面上に表示された場合は、その語の参照項目にジャンプすることができます。



### 例題 「very」の本文画面中にある参照項目「【語法】」にジャンプします

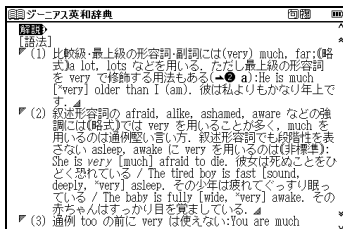
- 1 ジーニアス英和で「very」の本文画面を表示させます。  
**ジャンプ** を押すと **S** が画面右上に表示されます。  
**▼**/**▲**/**◀**/**▶** でカーソルを移動させ、「**➡**」を反映させます。

- ジャンプを解除する場合は **戻る** を押してください。  
(英和辞典を使う (P.58 ページ参照))

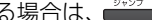




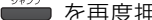





## 2 「→」が反転表示されている状態で を押すと、参照項目「[語法]」の本文画面へジャンプします。

- ジーニアス英和では高校生の学習に必要なとされる重要な解説は   で囲まれています。



### 2文字以上の語句を選択する場合

- ジャンプしたい語句が2文字以上である場合は、  を押した後  /  /  /  でカーソルを選択したい語句の最初の文字まで移動させます。  を再度押すと画面上の  が反転します。その後、  を押して反転文字範囲をひろげてください。
-  を押すとジャンプを解除します。

## 関連語句を調べる

成句、複合語、類語、熟語、慣用連語、句動詞を表示する




コンテンツの本文画面右上に関連語句アイコンが表示されている場合は、その見出し語を使った成句、複合語(派生語を含む)、熟語、慣用連語、句動詞のリスト画面を表示することができます。





例題 OALD で本文画面から成句リストを表示します

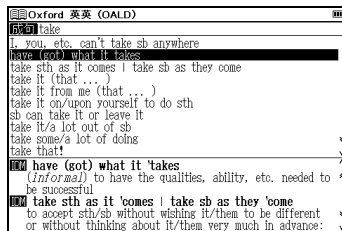
1 OALD で「take」の本文画面を表示させます。画面右上に **I** が表示されていることを確認します。


(英英辞典を使う  63 ページ参照)

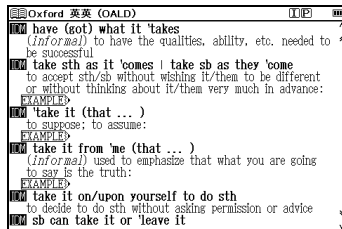


2  を押して、成句リストを表示させます。  
 /  でカーソルを移動させ、調べたい成句(ここでは「have (got) what it takes」)を選択します。

- 「take」には成句のほか句動詞  のリストも表示することができます。手順 2 の操作を行う際に 2 回  を押すと、句動詞のリストが表示されます。またもう 1 度 (3 回) 押すと本文画面に戻ります。 を押す回数は、検索した単語により異なります。(本文画面に表示される関連語句アイコン  125 ページ参照)



3  を押して、成句本文画面を表示させます。



**例題** ジーニアス英和で本文画面から複合語リストを表示します

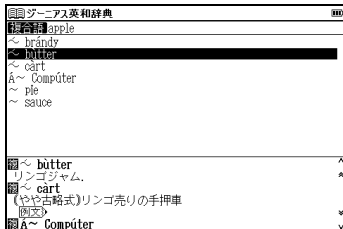
1 ジーニアス英和で「apple」の本文画面を表示させます。「apple」の本文画面右上に **複** が表示されていることを確認します。

(英和辞典を使う (🔍) 58 ページ参照)

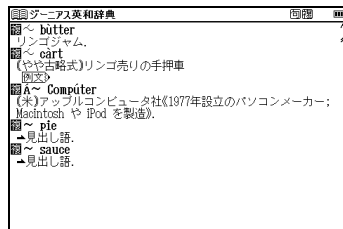


2 **複** を2回押し、「apple」の複合語リストを表示させます。▼/▲ でカーソルを移動させ、調べたい複合語(ここでは「～butter」)を選択します。

- 複合語リスト画面で **複** を再度押し、本文画面に戻ります。**複** を押し回数は、検索した単語により異なります。



3 **複** を押し、複合語を先頭にして本文画面が表示されます。



**本文画面に表示される関連語句アイコン**

コンテンツ	表示される関連語句アイコン	備考
漢字源	<b>熟</b> 熟語	
古語辞典	<b>慣</b> 慣用語語 <b>複</b> 複合語	該当する関連語句がある場合、 <b>複</b> を押し、慣用語と複合語のリストを表示します
ジーニアス英和 ベーシック ジーニアス英和 ウィズダム英和 ウィズダム和英	<b>句</b> 成句 <b>複</b> 複合語	該当する関連語句がある場合、 <b>複</b> を押し、成句、複合語、句動詞のリストを表示します
OALD Oxford Essential	<b>I</b> 成句 <b>P</b> 句動詞	
ジーニアス和英	<b>複</b> 複合語	

便利な機能を使う

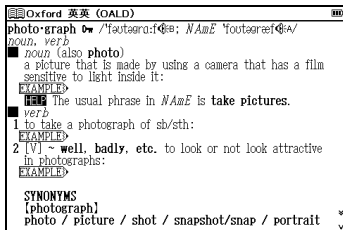
## 単語帳を使う

各コンテンツに収録されている単語やカードコンテンツの単語を単語帳に登録することができます。

### 覚えたい語句を単語帳に登録する

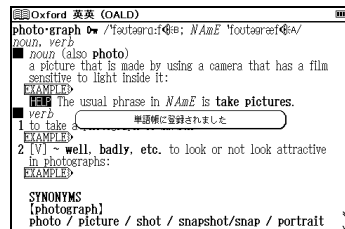
#### 例題 英英辞典の「photograph」を単語帳に登録します

- 1 OALDで「photograph」の本文画面を表示させます。  
(英英辞典を使う (👉) 63 ページ参照)



- 2 **👉** を押すと、画面に「単語帳に登録されました」とメッセージが表示され、表示中の単語本文画面が単語帳に登録されます。

- 単語帳には本機収録コンテンツ1000件とカードコンテンツの単語1000件、合計2000件を登録することができます。






### 👉 カードコンテンツの単語を登録する

- カードコンテンツの単語を単語帳に登録することができます (1000件まで)。カードのリストに登録されます。
- カードを外したり、別のカードを挿入した状態の時は「コンテンツがありません」と表示され、登録した単語を表示させることができません。






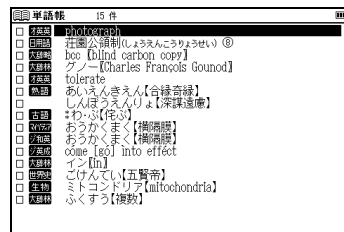
## 登録した単語を表示する


### 例題 登録した「photograph」を表示します

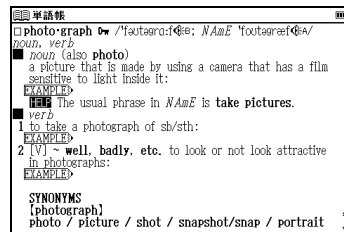
- 1  を2回押し、単語帳画面を表示させます。  
 /  でカーソルを移動させ、すべてのコンテンツ  
あるいは特定のコンテンツから登録した単語を表示させます（ここでは「すべて」を選択します）。
- 登録した総単語数が多い場合やコンテンツ名から調べたい場合は、コンテンツ名を選択します（その場合例題では「英語」→「Oxford 英英 (OALD)」を選択します）。
  - カードコンテンツの単語は「すべて」のリストには登録されません。



- 2  を押し、単語帳に登録されているすべての単語が表示されます。 /  カーソルを移動させ、「**オ英英** photograph」を選択します。



- 3  を押し、本文画面を表示させます。



単語帳機能が使用できるコンテンツ・検索モードとアイコン

### 英語系辞書

英和 ジーニアス英和	英成 ジーニアス英和 (成句)
ベーシック英和 ジーニアス英和	ベーシック英成 ジーニアス英和 (成句)
和英 ジーニアス和英	ウィズダム英和
ウィズダム和英	ウィズダム英和 (成句)
OALD	OALD (成句)
Oxford Essential	Oxford Essential (成句)

### 国語系辞書

大辞林 大辞林	大辞林 大辞林(慣用句)
大辞略 大辞林(略語)	明鏡 明鏡国語辞典
漢字源 漢字源	古語 古語辞典
熟語 四字熟語辞典	故事 故事ことわざ辞典
百科事典マイペディア	

### 理科・社会系辞書



物理 三省堂物理小事典	化学 三省堂化学小事典
生物 三省堂生物小事典	日本史 日本史小辞典
世界史 世界史小辞典	日用語 日本史B用語集
世用語 世界史B用語集	倫理 倫理用語集
現社 現代社会用語集	地理 地理用語集
政経 政治・経済用語集	

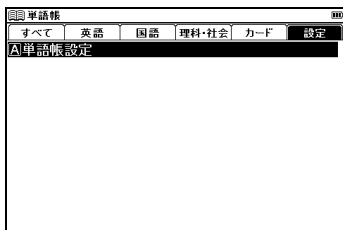
- 上記以外のコンテンツ・検索モード(例文検索など)で表示した本文画面は単語帳に登録することができません。







### チェックボックス

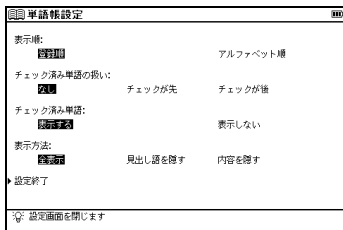
- を押すと単語帳リスト画面または本文画面の見出し語の頭にあるチェックボックスに、チェックを入れることができます。再度 を押すと、チェックを解除することができます。(チェックボックス 92 ページ参照)
- (指定項目の単語またはチェックを削除する 131 ページ参照)
- 単語帳設定画面でチェックを付けた単語の表示・非表示を設定することができます。

## 単語帳の設定をする

- 1  を 2 回押し、単語帳画面を表示させ、 で「設定」を選択します。



- 2  を押しと単語帳設定画面が表示されます。  
 /  で設定したい項目を選択し、 /  で内容を選択します。「設定終了」を選択し、 を押して設定内容を保存します。





表示順	登録単語の表示順序を設定します。
登録順	単語帳に登録した順番です。初期設定は「登録順」に設定されています。
アルファベット順	英単語ならアルファベット順、日本語なら五十音順に表示します。
チェック済み単語の扱い	チェック済み単語の表示順序を設定します。
なし	チェック済み単語の表示順を特に設定しません。初期設定は「なし」に設定されています。
チェックが先	チェック済み単語から順に表示します。
チェックが後	チェックなしの単語から順に表示します。
チェック済み単語	チェックマーク (☑) を付けた単語の表示を設定します。
表示する	チェック済み単語を表示します。初期設定は「表示する」に設定されています。
表示しない	チェック済み単語を表示しません。
表示方法	単語の表示方法を設定します。
全表示	単語、単語の本文内容をすべて表示します。初期設定は「全表示」に設定されています。
見出し語を隠す	単語を隠して表示します。
内容を隠す	単語の本文内容を隠して表示します。

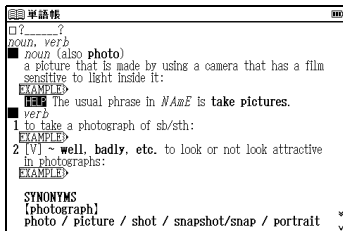
- 「アルファベット順」はコンテンツにより順不同になることがあります。

## 表示方法について

表示方法で「見出し語を隠す」か「内容を隠す」のいずれかを選んで設定すると、単語帳に登録された単語の本文画面でそれぞれの項目が隠されて表示されます。

次に  を押し、隠されていた内容が表示されます。暗記をしたり、どの程度理解できたかをテストして確かめるのに便利です。再度  を押し次の単語に進みます。

• 下は「見出し語を隠す」を選択した画面です。




• 「見出し語を隠す」と「内容を隠す」の表示画面では単語帳のデータ削除はできません。それぞれの項目を表示させてから削除することができます。


## 単語帳のデータを削除する

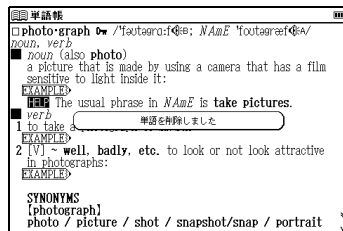
### 1 単語ずつ削除する

1 単語帳リストから削除したい単語(ここでは「photograph」)の本文画面を表示させます。

 を押し、画面に「選択されている単語を削除します」とメッセージが表示されます。

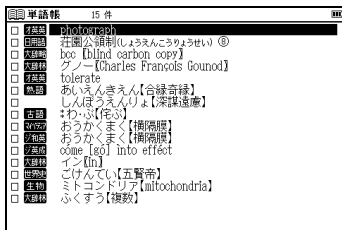


2 「はい」を選択し、 を押し、「単語を削除しました」とメッセージが表示され、表示中の単語が単語帳から削除されます。

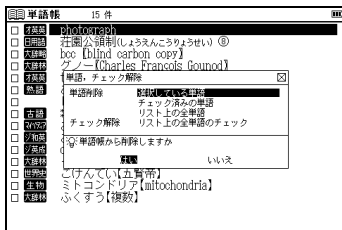


## 指定項目の単語またはチェックを削除する

- 1** 単語帳リスト画面を表示させます。▼ でカーソルを削除したい単語へ移動させます。  
ここでは、「すべて」→「**才英英** photograph」の順に選択します。



- 2** **解除** を押すと、「単語、チェック解除」の画面が表示されます。



- 3** 以下の項目から削除したい単語に応じて項目を選びます。

選択している単語	リスト上で選択した単語のみ削除する場合
チェック済みの単語	チェック (☑) を付けた単語を削除する場合
	単語帳リストで選ぶと、選択した単語帳のチェック済み単語をすべて削除します。
リスト上の全単語	各コンテンツの単語帳ごと、または登録されているすべての単語を削除する場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 削除したいコンテンツの単語帳を表示させると、選択した単語帳のすべての単語を削除します。</li> <li>• 単語帳画面で「すべて」を選ぶと、単語帳に登録されたカードコンテンツ以外のすべての単語を削除します。</li> </ul>
リストの全単語のチェック	単語帳リストの全単語のチェックを一度に解除します。

- 4** ▼/▲ で項目を選び、◀/▶ で「はい」を選択します。**解除** を押すと、選択した単語またはリスト上の全単語のチェックが削除されます。

- 選択した単語帳に単語が登録されていない場合は、「単語が登録されていません」とメッセージが表示されます。
- 選択した単語帳に登録された単語にチェックマークが付いていない場合は、「チェック済みの項目はありません」とメッセージが表示されます。
- 削除しない場合は、**いいえ** を押すか「いいえ」を選んで **解除** を押します。



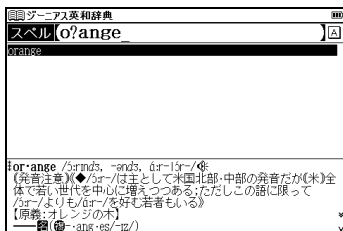


### 例題3 ジーニアス英和で「orange」の2文字目が「r」か「l」か曖昧です。「?」を使って調べます

ジーニアス英和の検索画面を表示させます。スペル入力欄に「o? ange」と入力します。検索対象となる単語の文字数は6文字と決められます。その上で2文字目はどの文字でもよいということになります。「?」は、単語の文字数がわかっているときの検索に便利です。

(英和辞典を使う (🔍) 58 ページ参照)

- 該当する候補がない場合は、「見出し語にありません」が表示されます。
- ワイルドカードサーチを使って検索する際に「\*」を使った場合、検索時間が長くなることがあります。途中で検索を中止する場合は、🛑 を押してください。



### ワイルドカードサーチが使用できるコンテンツ・検索モード

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| ジーニアス英和(スペル)            | ベーシックジーニアス英和(スペル)     |
| ジーニアス和英(読み)             | ウィズダム英和(スペル)          |
| ウィズダム和英(読み)             | OALD(スペル)             |
| Oxford Essential(スペル)   | 大辞林(読み・逆引き・略語)        |
| 明鏡国語辞典(読み・類語)           | 漢字源(読み)               |
| 古語辞典(読み)                | 四字熟語辞典(読み)            |
| 故事ことわざ辞典(読み)            | 百科事典マイペディア(読み)        |
| 三省堂物理小事典(読み)            | 三省堂化学小事典(読み)          |
| 三省堂生物小事典(読み)            | 日本史小事典(読み)            |
| 世界史小辞典(読み)              | 日本史B用語集(読み)           |
| 世界史B用語集(読み)             | 倫理用語集(読み)             |
| 現代社会用語集(読み)             | 地理用語集(読み)             |
| 政治・経済用語集(読み)            | キクタン Basic 4000(スペル)  |
| キクタン Advanced 6000(スペル) | キクタン Super 12000(スペル) |
| 入試英単語の王道 2000+50        | 古文単語・熟語ターゲット 400(読み)  |
| (スペル)                   |                       |
| 複数辞書検索(読み・スペル)          |                       |



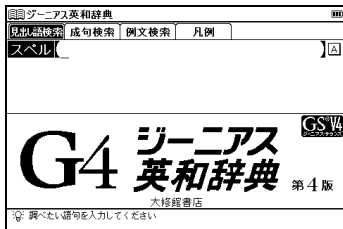
## 履歴機能を使う

今までに調べた語句を一覧表示させ、見出し語を引き直すことができます。またカード使用時はカードコンテンツの履歴も保存されます。

### 履歴リストから本文画面を表示する

例題 ジーニアス英和で調べた「beyond」を引き直します

1 <sup>英和</sup> を1回押し、ジーニアス英和の検索画面を表示させます。

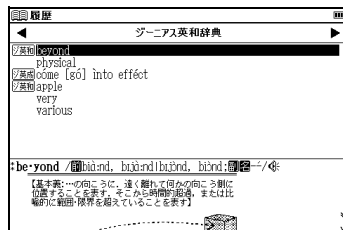


2 <sup>履歴</sup> を押します。ジーニアス英和で今までに調べた英単語が履歴表示されます。

▼/▲ でカーソルを移動させ、調べたい英単語（ここでは「<sup>英和</sup> beyond」）を選択します。


<sup>戻る</sup> を押し、本文画面を表示させます。

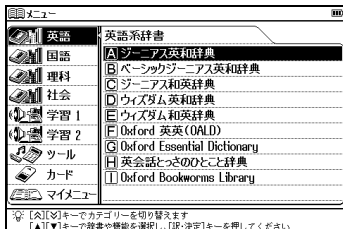
- 履歴は、コンテンツ・検索モードとカードコンテンツより最新のものから合計 500 件まで記憶されます（履歴が 500 件以上になった場合は、新しく語句を調べる度に、古いものから順に消去されていきます）。新しく記憶された語句は上に、古いものは下へと順に表示されます。



## メニュー画面から履歴リスト画面を表示する



メニュー画面からコンテンツを指定せずに履歴を表示することができます。

- 1 メニュー画面を表示させ、を押します。

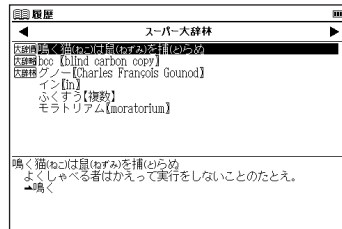


- 2 「すべて」というタイトルの履歴リストが表示されます。ここでは、すべてのコンテンツの履歴を検索することができます。



件数が多く、「すべて」の履歴リストで検索することがむずかしい場合は、/で調べたいコンテンツをさがし、履歴を表示させます(下は大辞林の履歴リストを表示させた画面です)。

- スタイラスを使う場合は、画面上の   をタップします。



## カードコンテンツの履歴を表示する場合

カードコンテンツはカードを取り外すまで本体に履歴データを保存することができます。「すべて」と「カードメニュー」に履歴表示されます。

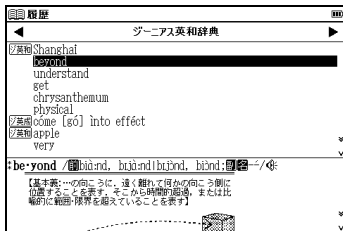
- 一度カードを取り外すと、それまでのカードコンテンツの履歴は消去されます。

## 履歴を削除する

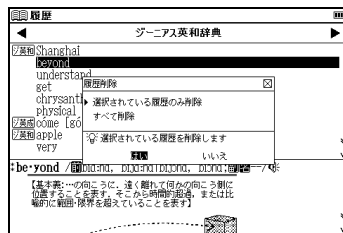
各コンテンツの履歴は、1件ずつまたはコンテンツごとにとまとめて削除することができます。

### 例題 1件ずつ削除します

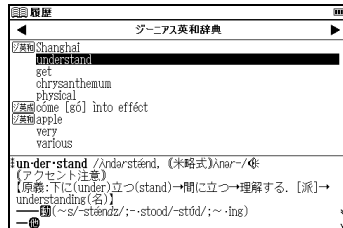
- 1 ジーニアス英和から履歴リスト画面を表示させます。  
▼ でカーソルを移動させ、履歴リストから削除したい単語（ここでは「beyond」）を選択します。



- 2 削除を押すと、履歴削除の画面が表示されます。  
▼ で「選択されている履歴のみ削除」を選択し、  
▼ で「はい」を選んで 削除を押します。

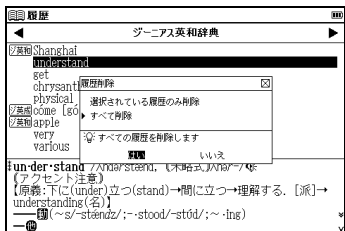


- 3 選択した履歴が削除され、履歴リスト画面に戻ります。
  - 削除を中止する場合は 戻るを押すか、「いいえ」を選択した後 戻るを押してください。



## 例題 コンテンツごとにまとめて削除します

- 1 ジーニアス英和の履歴リスト画面で **[削除]** を押し、履歴削除の画面が表示されます。▼/▲ で「すべて削除」を選択し、◀/▶ で「はい」を選んで **[決定]** を押します。



- 2 選択したコンテンツの履歴がすべて削除されます。

- 削除を中止する場合は **[中止]** を押し「いいえ」を選択した後、**[決定]** を押しください。
- 別のコンテンツの履歴を削除する場合は、履歴リスト画面から ◀/▶ で別のコンテンツあるいは「すべて」の履歴リストから、削除したい履歴を表示させます。
- 全コンテンツの履歴をまとめて削除する場合は、「すべて」の履歴リストから行ってください。

### 履歴機能が使用できるコンテンツ

#### 英語系辞書

- |                                   |                                   |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| <b>[英和]</b> ジーニアス英和               | <b>[英成]</b> ジーニアス英和 (成句)          |
| <b>[英例]</b> ジーニアス英和 (例文)          | <b>[英和]</b> ベーシックジーニアス英和          |
| <b>[英成]</b> ベーシックジーニアス英和(成句)      | <b>[英例]</b> ベーシックジーニアス英和 (例文)     |
| <b>[和英]</b> ジーニアス和英               | <b>[和例]</b> ジーニアス和英 (例文)          |
| <b>[和英]</b> ウィズダム英和               | <b>[和成]</b> ウィズダム英和 (成句)          |
| <b>[和例]</b> ウィズダム英和 (例文)          | <b>[和英]</b> ウィズダム和英               |
| <b>[和例]</b> ウィズダム和英 (例文)          | <b>[英英]</b> OALD                  |
| <b>[英成]</b> OALD (成句)             | <b>[英例]</b> OALD (例文)             |
| <b>[英英]</b> Oxford Essential      | <b>[英成]</b> Oxford Essential (成句) |
| <b>[英例]</b> Oxford Essential (例文) | <b>[英和]</b> 英会話とっさのひとこと辞典         |

#### 国語系辞書

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| <b>[大辞林]</b> 大辞林        | <b>[大辞林]</b> 大辞林 (慣用句) |
| <b>[大辞略]</b> 大辞林 (略語)   | <b>[明鏡]</b> 明鏡国語辞典     |
| <b>[明鏡]</b> 明鏡国語辞典 (類語) | <b>[漢字源]</b> 漢字源       |
| <b>[古語]</b> 古語辞典        | <b>[故事]</b> 故事ことわざ辞典   |
| <b>[熟語]</b> 四字熟語辞典      | <b>[百科]</b> 百科事典マイペディア |

#### 理科系辞書

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| <b>[物理]</b> 三省堂物理小事典 | <b>[化学]</b> 三省堂化学小事典 |
| <b>[生物]</b> 三省堂生物小事典 |                      |
- (次のページへつづく)

履歴機能が使用できるコンテンツ

社会系辞書

**日本史** 日本史小辞典

**世界史** 世界史小辞典

**日用語** 日本史B用語集

**世用語** 世界史B用語集

**倫理** 倫理用語集

**現社** 現代社会用語集

**地理** 地理用語集

**政経** 政治・経済用語集

学習系コンテンツ 1

**特効B** キクタン Basic 4000

**特効A** キクタン Advanced 6000

**特効S** キクタン Super 12000

**特効加** キクジユク Basic 1800

**特効効** キクジユク Super 3600

**王道** 入試英単語の王道 2000+50

学習系コンテンツ 2

**英文法** ロイヤル英文法


**古文** 古文単語・熟語ターゲット 400

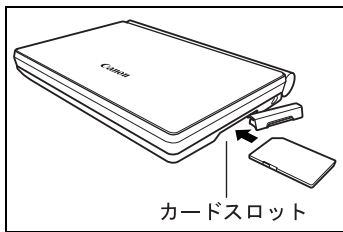
- ・ 検索モードなどにより、履歴が残らない場合があります。

## カード (コンテンツカードや SD メモリーカード等) を使う

オプションのコンテンツカードを使用したり、市販の SD メモリーカードに保存されたテキストファイルを読んだり MP3 形式のデータを再生することができます。

### カードを挿入する

- 1 電子辞書の電源を切ります。
- 2 カードスロットのふたをはずします。カードのラベル面を上、また切り欠きの向きを画面のようにして、「カチッ」と音がするまでゆっくりカードスロットの奥まで入れます。
  - コンテンツを収録したコンテンツカードや SD メモリーカードを使用説明書では「カード」と表記します。
  - カードは下記の容量のものが使用できます。  
16MB/32MB/64MB/128MB/256MB/512MB/1GB/2GB  
 ロゴは登録商標です。
  - カード内の情報確認のため、画面が表示されるまでに時間がかかることがあります (カードの容量や書き込まれているデータ量により、表示されるまでの時間が異なります)。



### ⚠ 注意

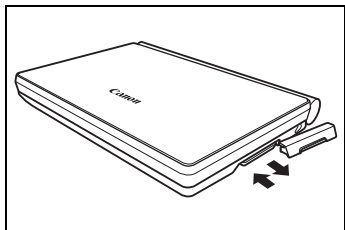
#### カードを挿入するときの注意

- ❗ ふたをはずす時は、上部のへこみにツメをかけてゆっくりはずしてください。ふたは強く引っぱると取り付け部が切れることがあります。無理に引っ張ったりしないでください。
- ❗ カードの破損や本機の故障を防ぐためにもカードの向き (表裏、前後) を確認の上カードスロットに正しく挿入してください。
- ⊘ カード以外のものを挿入しないでください。カードや挿入部が破損する恐れがあります。

## カードを取り出す

1 電子辞書の電源を切ります。カードスロットのふたをはずし、カードを軽く押し込みます。

- カードは軽く押し込んで手を離すと少し飛び出てきますので、指で軽くおさえてください。



2 カードを取り出します。

- ゆっくりとまっすぐ引き抜いてください。

### ⚠ 注意

#### カードを取り出す時のご注意




- データの読み出し中や書き込み中は、絶対にカードを取り外したり、電池を取り外さないでください。カードや電子辞書本体が破損する恐れがあります。


## コンテンツカードを使う

オプションのコンテンツカードを本体に挿入し、コンテンツを追加して使用することができます。


操作方法や取り扱い方法詳細については、必ずコンテンツカードの使用説明書をご覧ください。

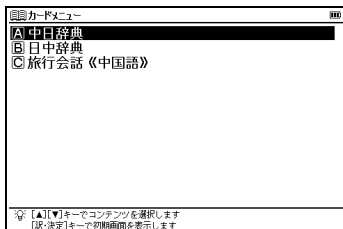
1 本体を閉じたままの状態でもカードを挿入し、本体を開いて電源を入れます。

メニュー画面から「カード」を選択し、を押します。

(メニュー画面からコンテンツを選ぶ  23 ページ参照)



- 2 カードコンテンツのメニュー画面が表示されます。  
▼ でコンテンツを選択し、 を押します。



- カードコンテンツと本体のコンテンツとでは、使用できる機能が一部異なる場合があります。



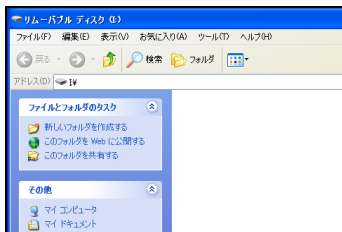
## テキストビューアー機能を使う

市販の SD メモリーカードに保存されたテキストファイルを電子辞書上で読むことができます。

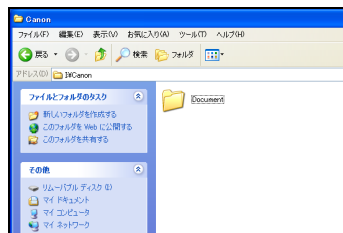
### テキストファイルを SD メモリーカードにコピーする

テキストファイルを電子辞書で読む前に、以下の手順にて SD メモリーカードの指定のフォルダにコピーします。

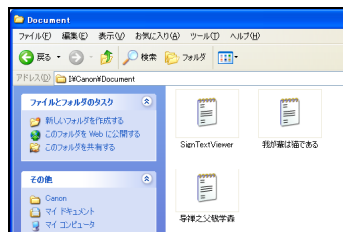
- 1 パソコンのマイ コンピュータ上の SD メモリーカードドライブ（ここでは「リムーバブルディスク (I:)」）を開きます。



- 2 「Canon」というタイトルのフォルダを作成し、「Canon」フォルダの中に「Document」というタイトルのフォルダを作成します。



- 3 「Document」フォルダ内にパソコンなどで作成したテキストファイルをコピーします。



- 動作環境によりパソコンの画面表示は異なる場合があります。またパソコンや各対応機器の使用説明書もあわせてご確認ください。
- ファイルの保存先が異なる場合、電子辞書実機画面に「テキストファイルが見つかりません」または「次のフォルダにファイルを入れてください (¥Canon¥ Document)」とメッセージが表示され、テキストファイルを読むことができません。



## SDメモリーカード内のフォルダとファイルの条件

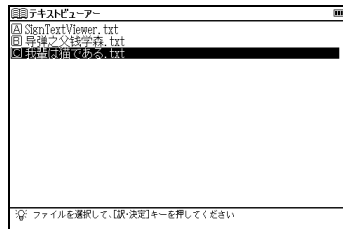
テキストビューアー機能を使用する前に次の条件をお守りください。

		備考
フォルダ内のファイル数	1フォルダ内に100件まで表示することができます。	ファイル数が100件を超えた場合、「100件を超えるテキストファイルが見つかりました テキストファイルを表示できません」とメッセージが表示され、テキストファイルを読むことができません。 ただし5MBの容量を超えたテキストファイルは件数にカウントされません。
ファイルサイズ	1ファイルにつき5MBまで	テキストファイルが5MBの容量を超えた場合、テキストファイルを読むことができません。 また、ファイル名も表示されません。
ファイル名の文字数	全角・半角とも「X:¥Canon ¥Document ¥」を含む256文字まで(パス名、拡張子も含む)	パス名とはファイルが保存してあるフォルダ名と区切りの記号(¥)のことです。
拡張子	.txt	
1行の文字数	半角文字で5120文字(全角文字で2560文字)まで	これを超えた場合、強制改行されて表示されます。

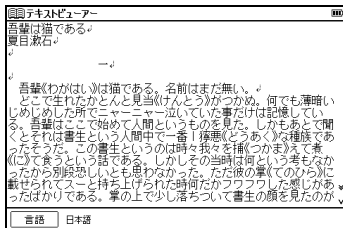
## テキストファイルを読む

1 メニュー画面から「ツール」→「テキストビューアー」を選択し、テキストファイルのタイトルリストを表示させます。

▼/▲ でテキストファイルを選択し、 を押します。  
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ  23ページ参照)



## 2 テキストファイルの本文画面が表示されます。



- エンコード (文字コードの設定) 対応は日本語 JIS、中国語 GB です。またユニコードは非対応です。
- 対応していない文字や記号はタイトル、本文ともに「□」に置き換えられて表示されます。
- テキストファイルの語句を選択し、他のコンテンツにジャンプしてその意味などを調べることができます。また英単語や英文を選択し、その発音を確認することができます。なおテキストビューアーでは英単語もアルファベットごとに反転表示されますので、反転文字範囲を広げて選択してください。  
(すぐ出る発音を使う [👉] 51 ページ参照)  
(TTS 発音機能を使う [👉] 52 ページ参照)  
(マルチジャンプ機能を使う [👉] 121 ページ参照)

## 👉 テキストファイルの取り扱いについて

テキストファイルの作成や編集、およびSDメモリーカードへの書き込みは本機ではできません。パソコンなどの対応機器を用いて行ってください。

- パソコンから SD メモリーカードにコピーしたテキストファイルは、誤操作、カードの紛失、本機の故障、修理などにより失われることがあります。それらのデータは必ずバックアップとしてパソコンに保存してご使用ください。

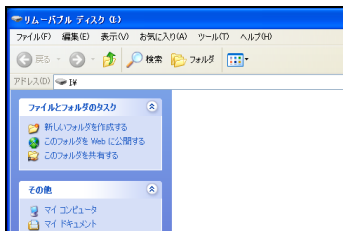
# MP3 プレーヤー機能を使う

MP3 形式のファイル（以降「MP3 ファイル」と表記します）が収録された SD メモリーカードを本体に挿入し、再生することができます。

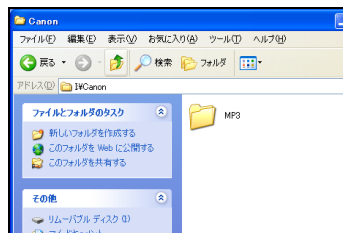
## MP3 ファイルを SD メモリーカードにコピーする

MP3 ファイルを電子辞書で再生する前に、以下の手順にて SD メモリーカードの指定のフォルダにコピーします。

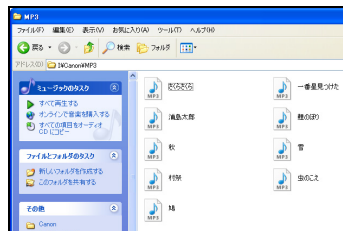
- 1 パソコンのマイ コンピュータ上の SD メモリーカードドライブ（ここでは「リムーバブルディスク (I:)」）を開きます。



- 2 「Canon」というタイトルのフォルダを作成し、「Canon」フォルダの中に「MP3」というタイトルのフォルダを作成します。



- 3 「MP3」フォルダ内にパソコンなどで作成した MP3 ファイルをコピーします。



- 動作環境によりパソコンの画面表示は異なる場合があります。またパソコンや各対応機器の使用説明書もあわせてご確認ください。
- ファイルの保存先が異なる場合、電子辞書実機画面に「MP3 ファイルが見つかりません」または「次のフォルダにファイルを入れてください (¥Canon¥MP3)」とメッセージが表示され、MP3 ファイルを再生することができません。


## MP3プレーヤー機能使用時のSDメモリーカード内のフォルダとファイルについて

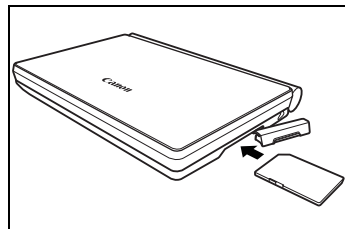
		備 考
MP3ファイルの保管先	X:¥ Canon ¥ MP3 ¥	1フォルダ内に100件まで作成することができます。
SDメモリーカード内のフォルダ数	100件まで表示することができます。	MP3ファイルまたはフォルダが100件を超えた場合、「MP3ファイルまたはフォルダが100件を超えています MP3ファイルを表示できません」とメッセージが表示されます。
フォルダ内のファイル数	1フォルダ内に100件まで表示することができます。	
ファイルサイズ	1ファイルにつき10MBまで	10MBの容量を超えたファイルを保存して使用した場合、動作保証はいたしません。
ファイル名の文字数	全角・半角とも「X:¥Canon¥MP3」を含む256文字まで(パス名、拡張子も含む)	パス名とはファイルが保存してあるフォルダ名と区切りの記号(¥)のことです。

## MP3 ファイルを再生する

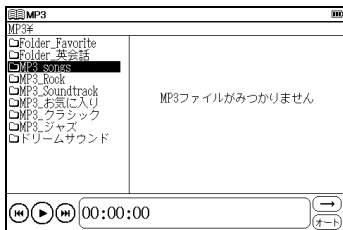
- 電子辞書の電源を切り、SDメモリーカードを本体に挿入します。  
本体を開いて電源を入れ、メニュー画面から「ツール」→「MP3」を選択し、MP3プレーヤー画面を表示させます。

(カードを使う  140 ページ参照)

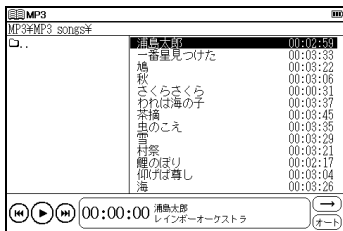
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ  23 ページ参照)



2 複数のMP3フォルダがある場合は、▼/▲ でフォルダ (ここでは「MP3 songs」) を選択し [ 戻る ] を押します。



3 ▼ でカーソルを MP3 ファイルリストに移動させます。  
▼/▲ でタイトル (ここでは「浦島太郎」) を選択し [ 戻る ] を押します。



- カーソルをMP3ファイルリストからMP3フォルダリストに戻す場合は、[ 戻る ] を 1 回押します。手順 2 の画面に戻りたい場合は続けて [ 戻る ] を押します。
- MP3 フォルダ内にフォルダがない場合は、MP3 ファイルリスト上にカーソルが表示されます。
- 再生中でも他のコンテンツを表示させたり、検索などの操作を行うことができます。ただし、高ビットレートのファイルを再生すると、検索などの時間が長くなったり、音が途切れたりすることがあります。
- 再生中に、発音・録音機能、学習機能、Oxford Bookworms Library、チャンツなどを同時に実行しようするとメッセージが表示されず(下の画面は MP3 再生中に録音機能を使用した場合の画面です)。MP3 の再生を続ける場合は「いいえ」、そうではない場合は「はい」を選択し [ 戻る ] を押します。



- 再生中もオートパワーオフ時間に応じ、画面を消灯します。再表示したい場合は、[ ON/OFF ] を押します。  
(オートパワーオフ時間 [ 設定 ] 43 ページ参照)

## MP3 ファイルリスト画面について

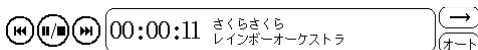


1	選択したファイルのパス
2	「X:¥Canon¥MP3¥」内の MP3 フォルダリスト
3	MP3 ファイルリスト • タイトルをスタイラスでダブルタップすると選択したMP3 ファイルを再生することができます。
4	各 MP3 ファイルごとの再生時間
5	ダッシュボード (MP3 アイコンと再生中の MP3 ファイルの再生経過時間、タイトル、アーティスト名が表示されます) • タイトルやアーティスト名が長くリストに入りきれない場合は、▶が表示されます。 • アーティスト名はデータの形式や保存方法などにより表示されない場合があります。

- ファイルの形式やSDメモリーカードの状態、保存方法などにより、再生できないことがあります。
- ダウンロードした音楽も再生できます。
- 再生音は、イヤホンやスピーカーから聞くことができます。

## アイコンとキーのはたらき

画面上のアイコンまたはキー入力によりMP3プレーヤーを操作することができます。












アイコンはタップ、キーは押すことで、下記の操作ができます。

キー操作	コンディション	キー操作後の動作
MP3 プレーヤーの画面を表示しているとき		
① を押します。	停止中 (▶)	選択した MP3 ファイルを再生します。
	再生中 (⏸)	一時停止します。
	一時停止中 (▶)	再生します。
[決定] を押します。	選択した MP3 ファイルを再生中 (⏸)	一時停止します。
	その他の場合	選択した MP3 ファイルを再生します。
[決定] を 2 秒間押しします。	選択した MP3 ファイルを再生中 (⏸)	停止します。
	その他の場合	選択した MP3 ファイルを再生します。
MP3 プレーヤー以外の画面を表示しているとき		
① を 2 秒間押しします。	再生中	停止します。

- ( ) は各コンディションで表示されるアイコンを表しています。表示中のアイコンをタップして操作することもできます。





## その他のアイコンのはたらき




	再生中にタップすると前の曲を頭出しします。
	再生中にタップすると次の曲を頭出しします。
 / 	リピート設定を選ぶことができます。 (リピート設定を選択する  150 ページ参照)
 / 	表示言語の設定を選ぶことができます。 (言語設定を選択する  151 ページ参照)

- MP3プレーヤーを再生しながら、他のコンテンツの検索もすることができます。
- 本機左側面の音量調整ダイヤルを回して、音量を調整することができます。  
(音量調整  46 ページ参照)

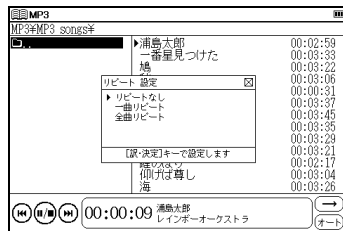
## 各種機能の設定

### リピート設定を選択する

 キーを押すか  をタップします。リピート設定の画面が表示されます。 /  でカーソルを移動させ、以下の設定から選びます。

	MP3 ファイルはリピートされず、すべてのトラックを再生し終わると、停止します。
	選択したMP3ファイルを繰り返し再生します。
	再生フォルダ内の MP3 ファイルをすべてリピートします。

- 初期設定は「リピートなし」です。





## 言語設定を選択する

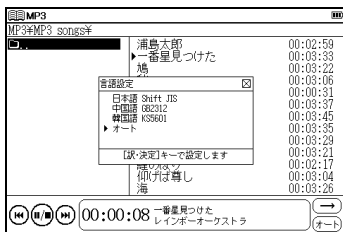
MP3プレーヤー機能の画面に表示される言語を選ぶことができます。例えば、MP3 ファイルをパソコンで作成した時、ファイル名やタイトルを以下の言語で保存した場合は、言語設定を選択し正しく表示させることができます。

**L** を押すか **オート** をタップします。言語設定の画面が表示されます。

**▼**/**▲** でカーソルを移動させ、以下の設定から選択し、**決定** を押します。

<b>日</b> 日本語	日本語の文字を基準とした表示になります。
<b>中</b> 中国語	中国語の文字を基準とした表示になります。
<b>韓</b> 韓国語	韓国語の文字を基準とした表示になります。
<b>オート</b> オート	自動で言語判断します。

- 初期設定は「オート」です。
- ファイル名やタイトルに表示できない文字が含まれる場合、「□」と表記されます。



## MP3 ファイルの保存先と取り扱いについて

MP3 ファイルの作成、および SD メモリーカードへの書き込みは、本機ではできません。パソコン等の対応機器を用いてMP3 ファイルを作成後、市販のSDメモリーカードに書き込んでください。

- ファイル名に特殊な記号や文字は表示されません。
- パソコンからSDメモリーカードにコピーしたMP3ファイルは、誤操作、カードの紛失、本機の故障、修理などにより失われることがあります。それらのファイルは必ずバックアップとしてパソコンに保存してご使用ください。

## MP3 ファイル (ビットレート 192Kbps) 再生時の電池寿命

中間音量でイヤホンにてカバーを閉じた状態で連続再生した場合、アルカリ乾電池で約5時間、充電式ニッケル水素電池で約4.5時間使用できます。

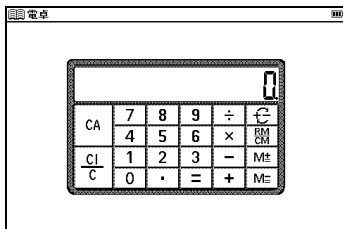
- 長時間 MP3 ファイルを再生する場合は、外部電源 (USB パスパワーまたは別売りの AC アダプター) でのご使用をお勧めします。

# 電卓機能を使う

文字入力キーやバーチャルキーを使って、四則計算やメモリ計算などを行うことができます。

**1** メニュー画面から「ツール」→「電卓」を選んで、電卓画面を表示させます。

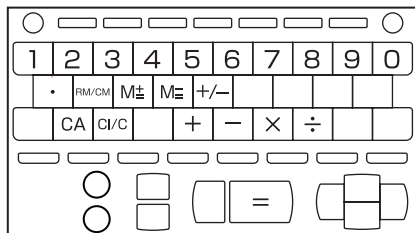
(メニュー画面からコンテンツを選ぶ (☞) 23 ページ参照)



**2** 以下の計算例を参考に計算を行います。

- 計算を行う前に、**Z** を押してください。
- 画面上のバーチャルキーをタップして入力することもできます。

電卓機能使用時のキーボード



計算例	操作	表示
<b>▼一般計算</b>		
$140 - 35 + 22 = 127$	140 <b>B</b> 35 <b>V</b> 22 <b>[E]</b>	( 127.)
<b>G</b> サインチェンジキーを使った計算 (おぼえておくくと便利なキーのはたらき (☞) 154 ページ参照) $-140 - 35 + 22 = 127$	140 <b>G</b> <b>B</b> 35 <b>V</b> 22 <b>[E]</b>	( -153.)
$2 \times 2 - 3 = 6$	2 <b>N</b> 2 <b>X</b> 3 <b>[E]</b>	( 6.)
$9 \div 5 \times 3.2 + 7 = 12.76$	9 <b>M</b> 5 <b>N</b> 3 <b>A</b> 2 <b>V</b> 7 <b>[E]</b>	( 12.76)
$(2+4) \div 3 \times 8.1 = 16.2$	2 <b>V</b> 4 <b>M</b> 3 <b>N</b> 8 <b>A</b> 1 <b>[E]</b>	( 16.2)
<b>▼自乗・べき乗</b>		
$4^2 = 16$	4 <b>N</b> <b>[E]</b>	( 16.)
<b>[N]</b> の後続けて <b>[E]</b> を (n-1) 回押すと、n 乗が得られます。		
<b>▼逆数計算</b>		
$1/5 = 0.2$	5 <b>M</b> <b>[E]</b>	( 0.2)
<b>[M]</b> <b>[E]</b> を続けて押せば、逆数が求められます。		

▼定数計算			
$2 + \underline{3} = 5$	2	3	( 5.)
$4 + \underline{3} = 7$	4		( 7.)
$1 - \underline{2} = -1$	1	2	( -1.)
$2 - \underline{2} = 0$	2		( 0.)
$\underline{2} \times 3 = 6$	2	3	( 6.)
$\underline{2} \times 4 = 8$		4	( 8.)
$6 \div \underline{3} = 2$	6	3	( 2.)
$9 \div \underline{3} = 3$	9		( 3.)
■アンダーラインが引かれた数字が自動的に定数になります。乗数の場合は、定数を先に入力します。			
▼メモリ計算			
$3 \times 4 = 12$	3  4		(M 12.)
$-) 6 \div 0.2 = 30$	6   2		(M 30.)
-18			(M -18.)
$+) 200$	200		(M 200.)
182			(M 182.)
			( 182.)

オーバーフロー		
数値の整数部が12桁を越える計算または計算結果の場合、または除数0の割り算を行った場合、オーバーフローサイン (ERROR) を表示して、以降の置数、計算を停止します。		
計算例	操作	表示
$1234567890 \times 10000 =$ $12345678900000$ ↑ オーバーフロー	1234567890 10000	(E 12.3456789000)
$6 \div 0 = 0$	6  0	(E 0.)

- 演算結果の整数部が12桁を超えた場合、演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのとき演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までを数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます(例の場合、2桁カットされていることがわかります)。
- 「E」と表示されたとき、計算を続ける場合は を、新たな計算を始めるときは を押してください。
- を押すとメニュー画面に戻ります。

## おぼえておくと便利なキーのはたらき

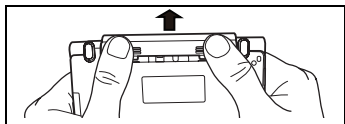
<b>Z</b>	クリアオールキー	計算中にこのキーを押すと、メモリも含めたすべての計算をクリアにします。
<b>X</b>	入力訂正キー	入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされるので、正しい数値を入力し直すことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容をすべてクリアできます(メモリ計算の内容はクリアされません)。
<b>D</b>	メモリプラス／イコールキー	数値または演算結果をメモリに加算するときに使用します。
<b>F</b>	メモリマイナス／イコールキー	数値または演算結果をメモリから引くときに使用します。
<b>S</b>	リコールメモリ／クリアメモリキー	1回押すとメモリ内の数値を呼び出します。2回続けて押すと、メモリ内の数値をクリアします。
<b>G</b>	サインチェンジキー	表示数値の符号を反転させるときに使用します。

# Quick Reference

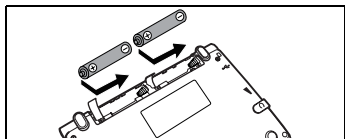
## Before Starting

### ■ Insert the batteries


- 1 Turn off the device and position your thumbs on the battery cover located at the back of the device. Push the cover in the direction of the arrows to remove the cover.

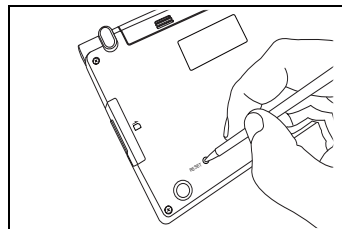


- 2 Insert the two attached AAA size batteries and make sure that their poles (+ and -) are correctly aligned. Install the battery cover again.

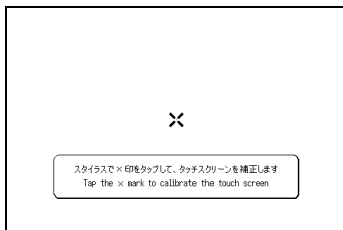


### ■ Reset device

- 1 Press Reset at the back of the device.  
Open the device cover and adjust the display angle for the best visibility.
- 2 When a message " システムを初期化しますか? Do you want to reset?" is displayed, select "Yes" and press  button to reset the system.



- 3** When a message " スタイラスで×印をタップして、タッチスクリーンを補正します Tap the X mark to calibrate the touch screen" is displayed, tap the ✕ at five positions with the stylus. And they will be disappeared.



- 4** After display the battery type setting and the contrast adjustment setting, the menu will be displayed, and the device is ready for use.

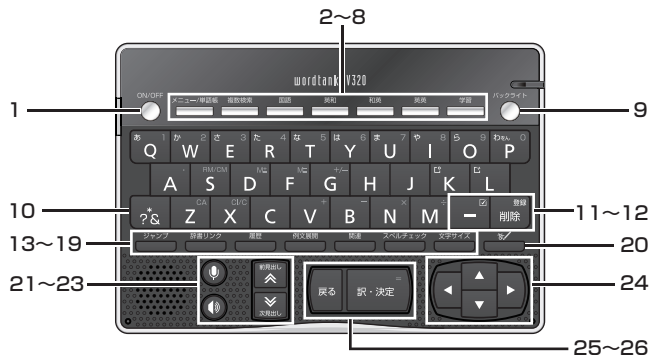
#### ■ Switch display language

At the Setup menu screen, the display language can be switched between Japanese and English. The Setup menu screen can be found on the Menu screen.

(Select contents from the menu screen (👉) Refer to P.158.)


## Key Functions


1	ON/OFF	ON/OFF Key
2	メニュー/単語帳	Menu / Wordmemo Key
3	複数検索	Multiple Search Key
4	国語	Dajirin/ Meikyo Key
5	英和	Eng-Jpn Key
6	和英	Jpn-Eng Key
7	英英	Eng-Eng Key
8	学習	Study Series 1 Menu Key
9	バックライト	Backlight Key
10	* ?&	Inputs * or ? in wild card search. Inputs & to link words in example search.
11	-	Inputs hyphen (-) Checks a tick box in Wordmemo, Study Series contents.
12	削除	Delete/Register Key
13	ジャンプ	Jump Key For the Multi Jump function.
14	辞書リンク	Dictionary Link Key Refers to the corresponding dictionaries.
15	履歴	Displays the previous history of searched words in the current dictionary.
16	例文展開	Example Sentence Key Displays the sentence of Example, Reference and Column.
17	関連	Refers to common expressions, compound words, fixed expressions, phrasal verbs and idioms.



18	スペルチェック	Runs spell checker in the spell input field.
19	文字サイズ	Alters display font size.
20	✎	Displays the handwriting box.
21	🎤	Voice Recording Key Starts voice comparison.
22	🔊	Pronunciation Key
23	↑ / ↓	Previous/Next entry head word Key
24	⬅️ / ➡️	Cursor Key (screen/line scroll)
25	戻る	Return Key
26	訳・決定	Enter/Translate Key

## Basic Operations

■ Turn the power on Open the device cover/Press  ON/OFF


Open the device cover or press  to turn on. The last viewed screen appears on the display.


The device can also be turned on by pressing any of following keys:       .

The initial screen of the selected content appears on the display.

■ Turn the backlight on






Press  to enable reading in poorly lit environments.


■ Turn the power off Close the device cover/Press  ON/OFF

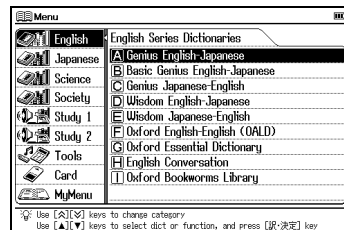
To turn off the device, close the cover or press . If the cover is closed during MP3 playback, the playback continues with the cover closed.

The unit itself will automatically turn off to save energy in case keys have not been pressed for a certain period of time.

■ Select contents from the menu screen

1 Press  to display the menu screen. Select a content category by moving the cursor with / . After selecting a category, move /  to select the desired content.

2 Press  to display the search screen.



\* Contents can also be selected by pressing the alphabet key of the letter at the head of the displayed content.



Category of each content

**English**

Genius English-Japanese	Basic Genius English-Japanese
Genius Japanese-English	Wisdom English-Japanese
Wisdom Japanese-English	Oxford English-English (OALD)
Oxford Essential Dictionary	English Conversation
Oxford Bookworms Library	

**Japanese**

Super Daijirin	Meikyo Japanese Dictionary
Kanjigen, Kanji-Dictionary	Kogo Dictionary
Four-Kanji Dictionary	Dictionary of Proverbs
Mypaedia	

**Science**

Physics Lexicon	Chemistry Lexicon
Biology Lexicon	

**Society**

Yamakawa Japanese History	Yamakawa World History
Glossaries of Japanese History	Glossaries of World History
Glossaries of Ethics	Glossaries of Modern Society
Glossaries of Geography	Glossaries of Politics and Economy

Category of each content

**Study 1**

Kikutan Basic 4000	Kikutan Advanced 6000
Kikutan Super 12000	Kikujuku Basic 1800
Kikujuku Super 3600	Entrance Exam Eng Word 2000+50
Listening-Center Exam	

**Study 2**

Royal English Grammar	Royal Eng Grammar Practice
Kanken 3rd Grade	Kanken Pre-2nd Grade
Kanken 2nd Grade	Kobun Target 400
Mathematics Formulae	

**Tools**

Multiple Search	Text Viewer
Wordmemo	MP3
Calculator	Setup

**Card**

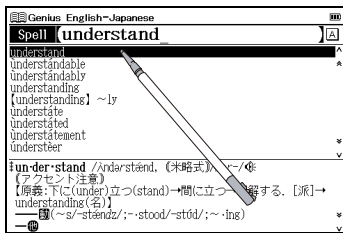
Card Menu

**MyMenu**

The content names which can be registered at "MyMenu"

## ■ Search words/phrases/sentences

- 1 Move / to select an input field. Enter a search word or a phrase with the character keys.
- 2 A list of matched words/phrases will be displayed on the lower side. A preview of the chosen headword is displayed on the upper side.
- 3 Move / to select the appropriate word/phrase on the list and press to display the main screen for the selected word/phrase.



\* Press to change the font size.

\* Select from the list, enter a list or icons by tapping with the stylus.

## ■ Scroll screen

- Arrows ( or ) indicate that the contents of the screen cannot be fully displayed. Press / to scroll up or down one line at a time.
- In the search result list, press (or tap ) to scroll up by screen or press (or tap ) to scroll down by screen.
- In the main screen for the searched word, press (or tap ) to scroll down to the next screen or press (or tap ) to scroll back to the previous screen of the text.
- In the main screen for the searched word, press to display the previous entry or to display the next entry.

## ■ Display example sentences, references or lists

When , , or appear on the main screen, press to display example sentences, references or lists. Press again to close.

## ■ Return to search result screen


While the main screen is displayed, press to return to the search result screen.

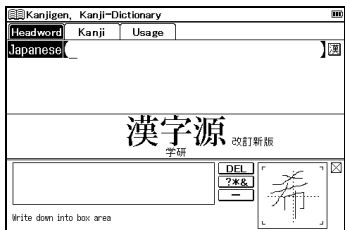


## How to search (e.g. using Kanjigen Dictionary)

With Kanjigen dictionary, you can conduct a search using Chinese characters, Japanese pronunciations, the radical stroke count or the total stroke count. You can also search by writing the character.





### ■ Search by writing

- 1 Press  and display the handwriting box.  
Write a character carefully in the handwriting box with the stylus.
- 2 Candidate characters will be shown in list.  
Select the appropriate character and tap it with the stylus.






- \* The handwriting box can only handle one character at a time.
- \* Compound words can only be entered one by one.


The characters that can be recognized as written are displayed as shown below at the right side of the input field in the search screen.

-  ...Japanese Hiragana and Japanese Katakana
-  ...Alphabet (uppercase and lowercase)
-  ...Numerical characters (Arabic numbers)
-  ...Japanese Kanji, Japanese Hiragana and Japanese Katakana (except Four-Kanji Dictionary)

## The pronunciation

- 1 If the  mark appears on the main screen for each dictionary, the pronunciation of the entry word or example sentence are available. Press  to check the pronunciation data.
- 2 For touch screen operation, directly tap  with the stylus once to select and twice to playback the pronunciation.


## Use Quick Speech function

Using Quick Speech function, you can check the native voice pronunciation of English words on the main screen or in examples. This function can be used for all contents which can be selected by . The pronunciation is based on the sound data by Oxford English-English and this function is only applied to the words recorded in such dictionary. A whole sentence cannot be pronounced as native voice.

- 1 Press  and move  /  /  /  to select the word.

(Use the Multi Jump function  Refer to P.169.)

- 2 Press  to hear the pronunciation.

\* Directly tapping  with the stylus after the word selection can also play the pronunciation.





## Read TTS pronunciation

English text appearing in screens can be read aloud by TTS (Text To Speech), if a phrase or a word is not included in sound data of Oxford English-English.

- 1 Display the search result of "photograph" in Oxford English-English.

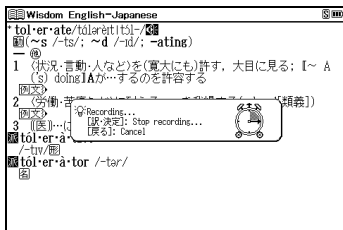
Press  and move  /  /  /  to select "a".



- 2 Press  again to highlight  on the display. After that, press  to extend the highlighted area to "it".
- 3 Press . "TTS" appears on the display and the selected word/phrase is read aloud.


## Check your pronunciation

- 1 After selecting  mark in the main screen, Press .



- 2 While the message "Playing..." is displayed, the sample pronunciation is played back.
- 3 When the message "Recording..." appears, the recording will then be started. Please pronounce the word.

- 4 After about one minute, recording will be ended. Both the sample and recorded pronunciations will be automatically played back while the message "Comparing..." is displayed.

- 5 When the pronunciation comparison is finished, the message "Do you want to continue the comparison?" appears. Select "Yes" and press  to hear the recorded pronunciation again. If "No" is selected, the pronunciation comparison ends and the search result screen is displayed.

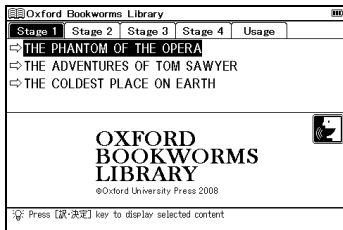
\* The recorded pronunciation will be deleted when the pronunciation comparison is finished. It cannot be saved.

## Use Oxford Bookworms Library

10 novels written in English that have arranged by the level of difficulty. You can hear the audio story, which helps to improve your listening skill.

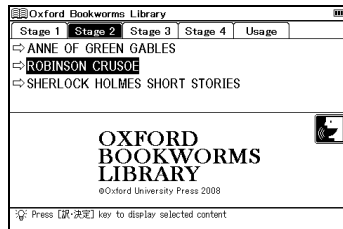
Select "English" ⇨ "Oxford Bookworms Library" from the menu screen to display the search screen.

(Select contents from the menu screen (👉) Refer to P.158.)

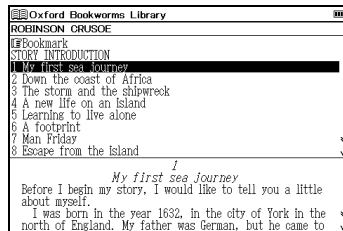


### ■ Read the novel of Oxford Bookworms Library

- 1 Press to select the stage. Press to select the novel. Press to display the list of content .







- 2 Press / to select the chapter. Press to display the main screen.

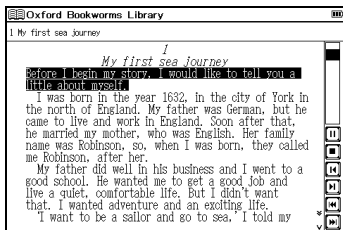


- \* If you want to display the section where you left off, select "📖 Bookmark".

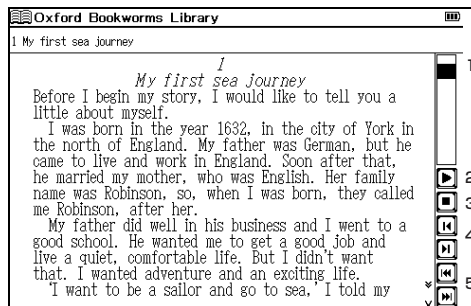
3 Press  or tap  to playback the lines.















\* The sounded-out part is sequentially highlighted on the display during playback, and the next page appears automatically. Therefore, you cannot manually move the page to the previous or next one.

\* If you don't start playback, press  /  or tap  / , and you can move to the previous or next page.



## ■ Icons and keys for Oxford Bookworms Library



1		Displays the section that is currently being played in the indicator box. When  is positioned at the upper part of the indicator box, the front part of the novel is playing, when  is positioned at the lower part of the indicator box, the rear part of the novel is playing.
2	 /   / 	<When not in the playback mode> Press either button (or tap icon) to playback. <During playback> Press either button (or tap  ) to pause playback.
3	 / 	<During playback> Press button (or tap icon) to stop playback
4	 	<During playback> Tap either icon to jump to the previous or next sentence.
5	 	<When not in the playback mode> Tap either icon to jump to the previous or next section.



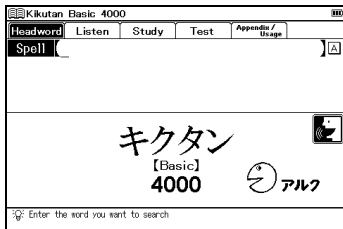
- You can select a word to jump to other sections during a mode other than playback.  
(Use Multi Jump function (👉) Refer to P.169.)

## Use Chants function

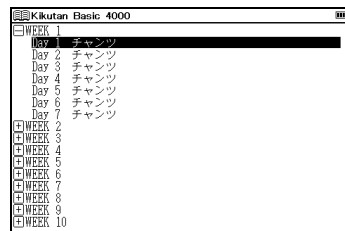
You can smoothly learn words or phrases using "Chants" function, which you listen and learn words or phrases along music.

Select "Study 1" ⇒ "Kikutan Basic 4000" from the menu screen to display the search screen.

(Select contents from the menu screen (👉) Refer to P.158.)



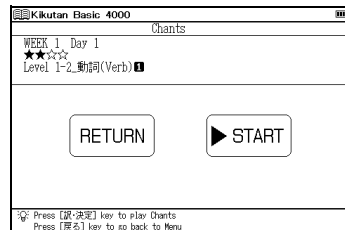
- Press **▶** to select "Listen". Select "Practice through Chants" and press **決定**. Select "WEEK 1" ⇒ "Day 1 チャンツ" and press **決定**.



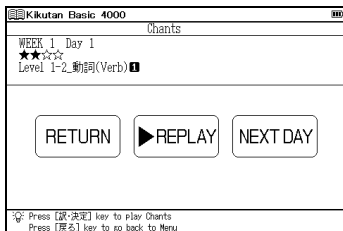
- Press **決定** or tap **▶START** to start Chants.

\* Press **決定** or tap **||** to pause during playback. Press **決定** or tap **▶** to playback again.

\* Press **戻る** or tap **RETURN** to stop "Chants".



- 3 After finishing "WEEK 1 Day 1" practice, following screen is displayed. Either select **RETURN** to display a list of Chants, select **▶REPLAY** to practice "WEEK 1 Day 1" once again, or select **NEXT DAY** to proceed "WEEK 1 Day 2" and press **▶REPLAY**.

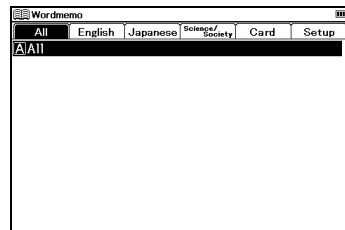


## Use the Wordmemo

### Register headwords

In the main screen for dictionaries, press **▶REPLAY** to copy the word into the Wordmemo. Press **メニュー/単語帳** to see the list of headwords previously registered.

Headwords are categorized by dictionary name automatically. Select "All" to display all registered headwords.



### Delete Wordmemo data

In the list of headwords, press **▶REPLAY**. When the message "Delete the words from Wordmemo" appears, select "Yes" and press **▶REPLAY** to confirm the deletion of number of characters.








## Use Wild Card Search

1 In Japanese (kana) and English spelling input, "?" and "\*" can be used as uncertain letter(s). If "\*" is entered at the start followed by letters, Reversed Search can be used.

While "?" represents one character, "\*" has no restriction of number of characters.

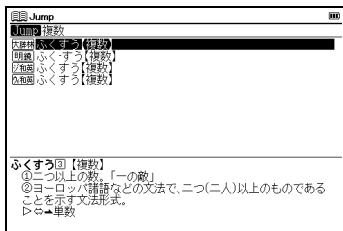
2 For example, entering "chr \* m" in English can return the search result "chrism, chrysanthemum..etc" (headwords that start with "chr" and end by "m").

## Use the Multi Jump function

1 In the main screen of any dictionary, press  and use  /  /  /  to select the word you wish to search in another dictionary. If it is a phrase, press  again and press  to expand the selection block.



- 2 Press to display destinations. Use / to select the appropriate dictionary and press to jump to the destination.



- \* If there is only one jump target, the jump will be directly executed.
- \* If is shown in the main screen, use Jump function to select . Press to see the reference.

## Use the History function

- 1 In the initial search screen and main screen of any dictionary, press to display the History of headwords previously searched in the current dictionary.
- 2 Use / to select any dictionary and use / to select any headword listed, press to display the main screen for the word. Press to remove the word from History.

## View the Stroke Order

If appears in the main screen of Kanjigen, press and to view the stroke order of the Chinese character. Press to return to the main screen.

## Use the calculator

Select "Tools" ⇔ "Calculator" from the menu screen to display calculator screen.

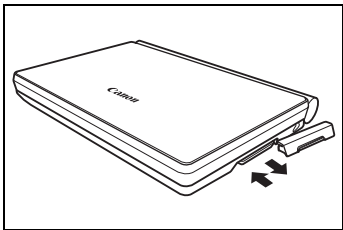
- \* Press to clear the entry area before performing calculations.
- \* Numbers can be entered using the virtual keys on the screen.
- \* When "E" is displayed, press to continue the current calculation. Press to perform a new calculation.
- \* Press to return to the menu screen.

## Use cards (Content Card and SD Memory Card)

### ■ Insert cards

Turn power on. Open the cover of the card slot. With the label facing upward, carefully slide the card into the slot until it clicks into place. Close the cover of the card slot.

\* Do not insert anything other than cards into the slot. Other objects may damage the slot and cards.




### ■ Remove cards

Turn power off. Open the cover of the card slot. Gently push the card inward. It will automatically eject from the card slot. Carefully pull the card out straight.

\* When you release your hand, the end of the card may spring out, therefore keep one finger gently pressed against the edge of the card.

### ■ Use content cards

Insert a content card into the device.

Select "Card" from the menu screen to display the card content menu screen. Use ▼/▲ to select the content, and press  .

## Use the Text Viewer function

You can read the text files stored in a SD memory card on the electronic dictionary.




### ■ Requirements of files and folders in the SD memory card


Observe the following requirements before using the Text Viewer Function.

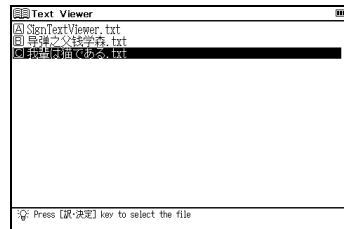
		Remark
Location	X:\Canon\ Document	When the stored location is incorrect, a message "Please store text files in the following folder (\Canon\ Document)" appears and the text files cannot be read.
Display format	The file names are displayed in ascending order.	
Maximum number of files	Up to 100 files can be Shown in one folder.	When the number of files exceeds 100, a message "More than 100 text files found Text files will not be listed" appears and the text files cannot be read.
File size	Up to 5MB	When a file is larger than 5MB, it cannot be listed.
Number of characters in the file name	Up to 256 characters for both one-byte and two-byte characters (including the path name and extension)	The path name means the folder name and partition mark (\) where the files are stored.
Extension	.txt	


### ■ Reading text files


1 Select "Tools" ⇒ "Text Viewer" from the menu screen to display Text Viewer screen.

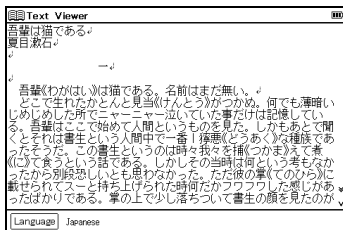
Use  /  to select a text file, and press .

(Select contents from the menu screen  Refer to P.158.)



2 Press  to display the main screen for the selected text file.

- \* Supporting encoding (character code setting) is Japanese JIS and Chinese GB. Unicode is not supported.
- \* Unsupported characters in titles and texts will be displayed "□".
- \* You can select a word in a text file and jump to other contents for looking up its meaning.  
(Use Multi Jump function  Refer to P.169.)






## Use the MP3 player

### ■ Play back MP3 data

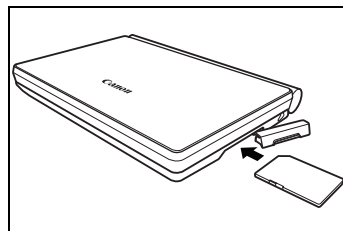
Open the cover of the card slot.

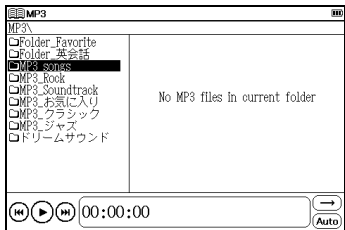
Insert a SD Memory Card and close the cover of the card slot.

Select "Tools" ⇒ "MP3" from the menu screen to display MP3 player screen.

Use  /  to select a folder, and press .

Use  to move the cursor to the MP3 file list. Use  /  to select a title, and press .





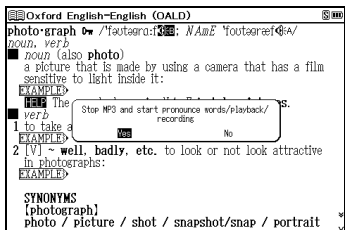
\* To move the cursor again from the MP3 file list to the MP3 folder list, press **Left Arrow** once.

\* No folder exists in the MP3 folder, the cursor appears on the MP3 file list.

\* To change the setting, stop the MP3.

\* You can display other contents or start an operation such as searching during playback. However, if you play a high bit rate file, the searching may take longer time and the audio may be interrupted.

\* If you try to start the pronunciation, recording or learning functions, Oxford Bookworms Library or "Chants" contents at the same time, a message will appear. To continue playing the MP3, select "No", and if you do not want to continue, select "Yes" and press **Right Arrow**.



## MP3 file list screen



1	Selected file path
2	MP3 folder list in the card
3	MP3 file list
4	Playback time of each MP3 file
5	<p>Dashboard (The MP3 icon and the playback-elapsed time, title and artist name of the playing MP3 file are displayed.)</p> <p>* If the title or the artist name is too long to be shown in the list, <b>Right Arrow</b> appears.</p> <p>* The artist name is displayed in Japanese (Shift-JIS), Chinese (GB2312) and Korean (KS5601). The name may not be displayed according to the data type, stored method, etc.</p>

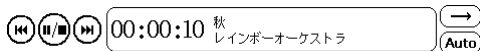
\* The folder may not be played back because of the file format, SD memory card condition, stored method, etc.

\* Downloaded music can also be played back.

\* The reproduced sound can be heard from the earphones or speaker.



## ■ Icons and keys for using the MP3 player



The following operations can be performed by tapping icons or pressing keys.

Key operation	Condition of MP3 player	Action after the key operation
When MP3 player is displayed,		
Press	While stopping (  )	Play highlighted MP3 file.
	While playing (  )	Pause
	While pausing (  )	Resume
Press	While playing highlighted MP3 file (  )	Pause
	Otherwise	Play highlighted MP3 file
Press  for 2 seconds	While playing highlighted MP3 file (  )	Stop
	Otherwise	Play highlighted MP3 file
When other content is displayed,		
Press  for 2 seconds	While playing	Stop

- ( ) indicates the icons appeared under each condition. You can also tap these icons instead of key operations.

## Other icons

	When you tap this key during playback, the previous music will be played.
	When you tap this key during playback, the next music will be played.
/	Select repeated playback.
/	Select the display language.

- \* You can also search other contents while playing back MP3.
- \* To adjust the volume, use the volume control knob at the left side of the device.

### Folders and files in the SD memory card while the MP3 player function is used

		Remark
Location	X: \Canon\MP3	100 files can be created in one folder.
Display format	The folder and file names are displayed in ascending order.	
Maximum number of the folders in one SD memory card	Up to 100 folders can be created.	When the number of folders or files exceeds 100, a message "More than 100 folders or MP3 files found MP3 files will not be listed" appears.
Maximum number of files in one folder	Up to 100 files can be created in one folder.	
File size	Up to 10MB	When a file is larger than 10MB, proper operation is not guaranteed.
Hierarchy of pass	Up to 8 hierarchies	
Number of characters in file names	Up to 256 characters for both one-byte and two-byte characters (including the path name and extension)	The path name means the folder name and partition mark (\) where the files are stored.

### Storing and handling MP3 files

You cannot create MP3 files and write them in SD memory cards with this device. Use the appropriate devices such as a PC to create the MP3 files and then write the MP3 files in a SD memory card.

- \* Special marks or characters cannot be displayed in the file name.
- \* The MP3 file copied from a PC to the SD memory card may be lost by wrong operation, card damage, failure or repair of this device. Therefore, always store these files in your PC as backups. For the operation procedure for storing the MP3 files from your PC to the SD memory card, see the instruction manual of the appropriate device.

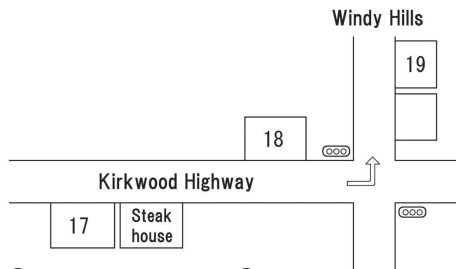
- \* It is recommended to use an external power supply (USB bus power or an available AC adapter) when you play back the MP3 files.

# 英語リスニング対策イラスト

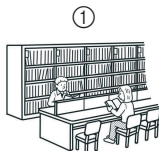
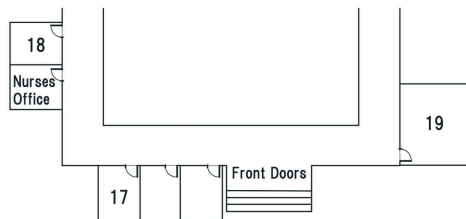
本機に表示の際、2画面以上にまたがる「問題 3B」のイラストを出題先ごとに掲載します。

「⇒スタート編で学習をします」→「トレーニング」より

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
	17	18		19



Sun.	Mon.	Tues.	Wed.	Thurs.	Fri.	Sat.
	1	2	3	4	5	6
		17	18		19	



「⇒スタート編で学習をします」→「スタート編-実践」→「part 2」より

Set A	Set B	Set C	Set D	Set E	Set F
	17		18		19

①



②



③



④



⑤



⑥



「⇒傾向と対策で学習をします」→「傾向と対策-類似問題」→「part 1」および「part 2」より

part 1



①



②



③



④



⑤



⑥



1st	2nd	3rd	4th	5th	6th
	17		18		19

①



cheese

②



mustard

③



lettuce

④



oil

⑤



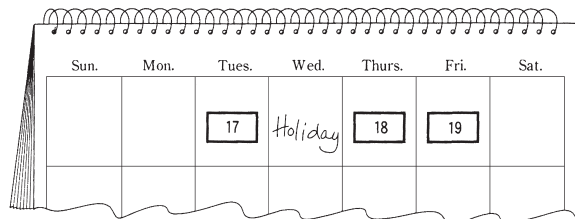
onion

⑥



ham

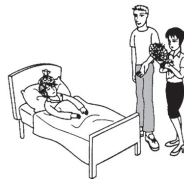
「⇒傾向と対策で学習をします」→「傾向と対策 - 試行問題」より



①



④



②



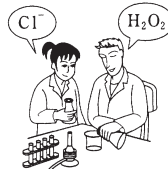
⑤



③



⑥



# 古語辞典 国語・国文法用語解説

- 古文の読解学習に必要な国語用語および国文法（文語文法）用語を収めて解説した。
- 配列は五十音順に従った。
- △印は、この用語解説中に見出し語として収めて解説しである項目。

【あ】	天草版 (あまくさばん)	キリシタン版の1つ。文禄(ぶんろく)・慶長(1592—1615)のころに、天草学林で刊行された本。宣教師の日本語学習書として使われ、当時のことば、特に、口語を知るうえで貴重な資料。「伊曾保(いそほ) 物語」「平家物語」「ドチリナ・キリシタン」などがある。
【い】	イ音便 (いおんびん)  意志の助動詞 (いしのじようし)	→音便(おんびん)  動作や状態の実現・中止について話し手(書き手)の意志を表す助動詞。文語では、△推量の助動詞のうち「む」「まし」「べし」「じ」「まじ」に、この用法がある。これらのうち、「まし」は疑問の語とともに用いられる場合で、意志といっても、その裏に実現不可能という気持ちが含まれ、「じ」「まじ」は打消の意志を表す。「いざ、いと心安き所にてのどかに聞こえむ(＝申シ上ゲヨウ)」〈源・夕顔〉、「しやせまし(＝シタモノダロウカ)せずやあらまし(＝シナイデオイタモノダロウカ)」〈徒然・98〉

已然形 (いぜんけい)	<p>文語の△活用形の1つ。「すでに(已) そうなっている事態(然)を表す」ことから已然形という。係助詞「こそ」の結びに使われるほか、「書けど」「よけれど」「遠ければ」のように、助詞「ど」「ども」「ば」が付いて使われる。用法は、</p> <p>(1) 特定の付属語が付いて用いられる場合</p> <p>① 助詞「ど」「ども」が付いて確定の逆接(…テアルケレドモ)の意を表す。「<u>ははその色はうすけれど</u>」〈古今・秋下〉「<u>文(ふみ)を書いてやれども返りごともせず</u>」〈竹取・貴公子たちの求婚〉</p> <p>② 助詞「ば」が付いて確定の順接(…テアルカラ…ナノデ)の意を表す。「<u>春立てば</u>」〈古今・春上〉「<u>吉野(よしの)の山し近ければ</u>」〈古今・冬〉</p> <p>(2) 単独に用いられる場合</p> <p>① 係助詞「こそ」の結びとなる。「ものあはれは秋こそまされ」〈徒然・19〉「遣(や)り水より煙(けぶり)の立つこそ<u>をかしけれ</u>」〈徒然・19〉▶「係り結び(かかりむすび)」</p> <p>② 上代では、それだけで逆接や順接を表すこともある。「大舟を荒海(あるみ)にこそ出弥舟(やぶね) <u>たけ</u>(＝シキリ二舟ヲコグケレドモ)わが見し子らがまみは著(しる)しも」〈万・7・1270〉「家離(さか)りいます吾妹(わぎも)を停(と)めかね山隠し<u>つれ</u>(＝山ガ隠シテシマツタノデ)心ど(＝シツカリシタ心)もなし」〈万・3・474〉</p>
----------------	---

一般条件 (いっぱんじょうけん)	→条件法 (じょうけんほう)
異本 (いほん)	同一の古典作品であっても、伝えられた本文の違いによって種々の相違のあることがある。その相違は、作者が初稿本を訂正した場合もあるが、多くは、転写の際の誤写や脱落、あるいは追加や書きかえなどによって生じたものである。これら本文に違いのある本を互いに「異本」という。たとえば「源氏物語」には、①青表紙本 ②河内 (かわち) 本 ③別本 (①②以外のもの) の3類があり、「枕草子」にも、雑纂 (ざっさん) 形態の伝能因本、三巻本、類纂 (るいさん) 形態の堺 (さかい) 本、前田本など多くの異本がある。語り物では特に異本の生じる機会が多く、「平家物語」は22類44種の異本がある。
いろは歌 (いろはうた)	→本文「いろは (伊呂波)」
韻 (いん)	漢字の△字音 (じおん) を分けて頭声と尾声とにすると、その尾声を韻という。頭声の子音を除き去った部分で、ふつう1つか2つの母音より成るが、これに子音が付くものもある。韻の部分が同じものや似たものを同韻の字として、詩や律文の句尾に用いて音律を整える。これを△押韻 (おういん)、または「韻をふむ」という。なお、韻を△四声 (しせい) によって分け、同韻の字を分類して、元代以後、平声 (ひょうしやう) 30、上声 (じやうしやう) 29、去声 (きよしやう) 30、入声 (にっしやう) 17の106韻とし、今日も漢詩を作るときなどに用いる。

隠語 (いんご)	仲間意識や秘密を守るために、自分たちの仲間だけに通用する特別な意味をもった語。たとえば「しよば (=場所)」「しやり (=飯)」などの類。博徒 (ばくと)・香具師 (やし)・犯罪者などが多く用いる。商人が数字を符丁で言ったりするのも一種の隠語である。	
[う]	ウ音便 (うおんびん)	→音便 (おんびん)
	受身の助動詞 (うけみのじやうどうし)	他から動作を受ける意を表す助動詞。文語では「る」「らる」(口語では「れる」「られる」)に、この用法がある。上代には「ゆ」も用いた。「思はぬ人の衣 (きぬ) に摺 (す) らゆな (=摺ラレリナ)」(万・7・1342)。これらの助動詞で表される受身の表現は、国語では生物が主語になることが多く、無生物が主語になることはまれであった。後者の場合を「非情の受身」とよぶことがある。また、国語の受身は、多く被害を受ける意を含み、これを「迷惑の受身」とよぶことがある。「かう討ち捨てられて」〈源・桐壺〉 なお、軍記物では、△使役の助動詞「す」「さす」を受身の箇所用いることがある。「弓手 (ゆんで) のひざ口を射させ、痛手なれば心静かに自害せん」〈平家・4〉などであるが、これはきわめて特殊な表現(受動的な表現をきらったもの)で、△武士詞(ぶしことば)といわれるものである。
歌枕 (うたまくら)	和歌の中に詠まれ、親しまれた諸国の名所。香具山・逢坂山 (おうさかやま)・嶋立沢 (しぎ	



		たつさわ)・白河の関・竜田川など。多くは現地に臨まずに詠まれた。芭蕉(はしやう)の「おくのほそ道」には、数々の歌枕をたずねたことが記されている。
	打消の助動詞 (うちけしのじようし)	否定の助動詞ともいう。文語には「ず」(口語には「ない」「ぬ(ん)」)がある。これに打消推量の「じ」「まじ」を加えることもある。「じ」は「む」の打消で、現代語の「ないだろう」に当たる。「まじ」は「べし」の打消で、現代語の「まい」に当たる。なお「まじ」が用いられるのは中古以降で、上代には「ましじ」が用いられた。「君が心は忘らゆましじ」〈万・20・4506〉。また、この時代の「ゆくへを知らに」〈万・2・201〉の「に」も打消の助動詞として扱うことがある。「忘れせなふも」〈万・14・3438〉「寝なへ子」〈万・14・3550〉の「なふ(特殊型)」は東国で行われた打消の助動詞である。
[え]	婉曲表現 (えんきよくひようげん)	物事を述べる場合、事態を直接に表現することをさけて、やんわりとやわらげて表現すること。助動詞の「めり」は婉曲の表現に用いられることがあり、中古末期には例が多い。 また、文法的には、△推量の助動詞「む」「らむ」「けむ」などを用いて、婉曲に表現したり、命令の表現で、命令形を用いると強くなりすぎるといふような場合に、推量の助動詞「む」を用いて、「とくこそ試みさせたまはめ(=ハヤクオタメシニナルノガヨロシイデショウ)」〈源・若葉〉などのよ

		うに「…したほうがよい」という意の勧誘表現をとったりするものの中に入る。
	延言 (えんげん)	「語る→語らふ」「言ふ→言はく」「取る→取らす」のような現象を1音が延びて2音となったとみる江戸時代の文法用語。賀茂真淵(かものまぶち)が「語意考」で取り上げて以来、語釈・語源の説明などに広く用いられたが、現在は延言として説明することはない。
[お]	押韻 (おういん)	詩や韻文で、句の終わりに同じ△韻を用いて音律を整えることをいい、「韻をふむ」ともいう。漢詩の五言絶句では、承・結の2句に、七言絶句では、起・承・結の3句に韻をふむ。このように、語末の音をそろえることを「脚韻」といい、欧米の詩にも例が多い。これに対し、語頭の音をそろえることを「頭韻」といい、わが国の歌や韻文にも例が見える「よき人のよしとよく見よよしと言ひしよし野よく見よよき人よく見」〈万・1・27〉
	奥書 (おくがき)	→跋(ぼつ)・本文「おくがき」
	送り仮名 (おくりがな)	(1) 漢字と仮名を用いて文を書くときに、漢字の読み方を明らかにするために、漢字の次に書き添える仮名。「書く」の「く」、「読む」の「む」の類。その表記の基準については、昭和48年6月内閣告示(昭和56年一部改正)「送り仮名の付け方」によるものが多い。 (2) 漢字を訓読するときに、漢字の右下方

	(再読の文字には左下方)に添える仮名。助詞・助動詞・活用語尾などを、片仮名で示す。古く、漢字を本体にして「捨て仮名」ともいったが、今は「送り仮名」という。
男手 (おとこで)	→本文「をとこで」
躍り字 (おどりじ)	同じ字の繰り返しを示す符号。仮名の「ゝ」「へ」、漢字の「々」「ゞ」がある。反復符号・繰り返し符号ともいう。たとえば「ちゝはゝ」「もろへ」「堂々」「堂ゞ」など。「ゝ」「ゞ」は中国で漢字の反復に用いられ、「へ」は「ゝゝ」の連綿から生まれたもの。「々」は中国の「ゞ」を誤ったところからきた国字である。今日では、使用法が固定し、「ち々」「山へ」は誤りとする。「ゞ」も「屢ゞ(しばしば)」「稍ゞ(やや)」など特定の場合に用いる。
折り句 (おりく)	→本文「をりく」
音 (おん)	→字音(じおん)
音節 (おんせつ)	音声の単位の1つ。国語で、音を細かに区切って発音するときに、いちばん小さい単位として意識するものをいう。たとえば「秋」はア[a]キ[kɪ]、「花」はハ[ha]ナ[na]の2つに切ることができる。この各々を音節という。[a][k][i][h][n]は、それぞれ△単音であるので、ア[a]は1単音で1音節、キ[kɪ]ハ[ha]ナ[na]は2単音で1音節を構成している。撥音(はつおん)「ン」、促音「ッ」も1音節であり、

	日本語ではこれを除いて音節の終わりには必ず母音が来、このような音節の特徴を開音節という。なお、わが国の仮名は、ふつう1つの音節をそのまま1字として書き表すので「音節文字」といい、ローマ字は、母音と子音を別々に書き表すので「単音文字」という。なお、日本語の音節数は110余といわれ、4000から7000の音節があるといわれる英語に比較してはるかに少ない。日本語の表音文字である仮名が音節文字であるのも、この音節数が比較的に少ないことと関連しているともいわれる。
女手 (おんなで)	→本文「をんなで」
音便 (おんびん)	発音の便宜上、語中・語尾の音節で、もとの音に変化が生じる現象をいう。音便には次の4種がある。 (1)イ音便・語中・語尾のキ・ギ・シ(まれに、リ・テ)の音がイの音に変化する現象。活用しない語では「きさきのみや」→「きさいのみや」・「まして」→「まいて」など。文語動詞では、力行・ガ行・サ行の四段活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「いとかうしもおぼい(し)たるは、いかなるにか」〈落窪〉文語形容詞では、連体形「一き」「一しき」の形が△体言または△終助詞「かな」などに連なるときに現れる。「さすがに若い(き)人にひかれて」〈更級〉文語助動詞では「べし」「まじ」の連体形「べき」「まじき」が「べい」「まじい」

	<p>となることがある。「名乗ることはあるまじい(き)ぞ」〈平家〉「はしたなくもあべい(あるべき)かな」〈源・朝顔〉</p> <p>イ音便が盛んに用いられるようになったのは中古以降で、形容詞連体形のイ音便形「一い」「一しい」は、中世、終止形としても用いられ、現在の口語形容詞の終止形・連体形となった。</p> <p>(2) ウ音便…語中・語尾のク・グ・ヒ・ビ・ミなどの音がウの音に変化する現象。</p> <p>活用しない語では、「か<u>み</u>べ(頭)」→「か<u>う</u>べ」・「ま<u>ら</u>びと(客人)」→「ま<u>ら</u>うと」など。</p> <p>文語動詞では、八行・バ行・マ行の四段活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」などに連なるときに現れる。「ときどき通ひ給<u>う</u>(ひ)けるわかんどほり腹の君」〈落窪〉</p> <p>文語形容詞では、連用形「一く」「一しく」の形が他の△用言や助詞「て」に連なるときに現れる。「ただ春宮(とうくう)をぞ、いと恋し<u>う</u>(く)思ひ聞こえ給ふ」〈源・葵(あふひ)〉</p> <p>ウ音便は上代にはあまり用いられず、中古以降盛んに用いられるようになった。</p> <p>(3) 撥(はつ)音便…語中・語尾の二・ビ・ミ・リ・ルの音が撥音「ん」に変化する現象。</p> <p>文語動詞では、バ行・マ行の四段活用、△ナ行変格活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「わかすすきに手きるきるつ<u>ん</u>だる(つみたる)菜を」〈土佐〉「朋友死<u>ん</u>で(死にて)よらんと</p>
--	--

	<p>ころなし)〈仮名論語〉</p> <p>△ラ行変格活用・文語形容詞・形容動詞(ナリ活用)の連体形が助動詞「なり」「めり」に連なるときに現れる。「木幡(こはた)山(は)いとおそろしか<u>ん</u>(る)なる山ぞかし」〈源・浮舟〉「をかしと目とまることはあ<u>ん</u>(る)めれど」〈玉勝間〉</p> <p>なお、撥音は、表記されなかったり、他の字で代用されたりしている場合がある。</p> <p>(4) 促(そく)音便…語中・語尾のキ・シ・チ・ヒ・リの音が促音(=ツマル音)「っ」に変化する現象。</p> <p>文語動詞では、夕行・八行・ラ行の四段活用、△ラ行変格活用の連用形が助詞「て」・助動詞「たり」に連なるときに現れる。「各(おのおの)弓を引きて箭(や)を放<u>つ</u>て(放ちて)馳(は)せ遣(かり)ふ」〈今昔〉</p> <p>促音便は中古後期に広く行われるようになったが、その初期にすでに促音便があったと思われる例がある。ただし、促音を表す文字がなかったため、その表記はない。</p>
[か]	<p>会意(かいいい)</p> <p>△六書(りくしよ)の1つ。今までにできあがっている漢字を2つ以上組み合わせる1つの字形を作り、特定の意味と音とを表すもの。たとえば「林」は木がたくさん茂っている場所、「炎」は火が盛んに燃えるさまを表している。会意は、△象形や△指事(さし)の構成方法を一歩進めたものといえる。▶六書(りくしよ)</p>
	<p>開音節(かいいんせつ)</p> <p>→音節(おんせつ)</p>

開合 (かいごう)	「開」は開音・開口音ともいい、口の開きの広い音、「合」は合音・合口音ともいい、口の開きの狭い音。古く、オ列長音に開音〔ɔ:〕合音〔o:〕の2種があり、歴史的仮名遣いでいえば、オウ・コウなどは鎌倉時代から長音化し、室町時代末に合音〔o:〕となり、アウ・カウ・アフ・カフは、鎌倉時代にアオ・カオ、室町時代に開音〔ɔ:〕となり、その後近世初期までに合音〔o:〕となって、一本化した。
回想の助動詞 (かいそうのじようし)	→過去の助動詞 (かこのじようし)
返り点 (かえりてん)	漢文を訓読するとき、国語の語順に合うように、下から上に戻って読むことを示す符号。返り点には、(1) レ点 (レ)、(2) 一二点 (一、二、三…)、(3) 上下点 (上、下または上、中、下)、(4) 甲乙点 (甲、乙、丙…)、(5) 天地点 (天、地または天、地、人) があり、レ点で間に合わないときに、一二点、一二点で間に合わないときに上下点というように、用いる順序が決められている。レ点は1字だけ返る場合で、下の字の左肩に添え、その他の点は左下方に添える。2字の熟語に返る場合は、熟語の上の字の左下方に、3字の熟語に返る場合は、いちばん上の字の左下方に添える。
係助詞 (かかりじよし)	→係助詞 (けいじよし)
力行変格活用 (かぎようへんかくかつよう)	動詞の活用の1つ。略して力変という。活用形はイ・ウ・オの三段の音からなり、ウ段音に「る」「れ」、オ段音に「よ」の付いたもの

	である。また、活用は語幹と語尾の区別がない。文語の命令形は中古までは「こちみて来 (こ) (=コチラへ連シテコイ)」〈更級〉のように「こ」の形も用い、のちには「こよ」がもっぱら用いられた。活用する動詞は、文語では「来 (<)」(口語では「来 (<る)») 1語だけであるが、これが他の動詞と複合して「参りく」「まうでく」「出 (い) でく」などの力変の複合動詞をつることがある。
隠し題 (かくしだい)	→本文「かくしだい」
格助詞 (かくじよし)	△体言、または体言に準じる語(用言・助動詞の連体形)などに付いて、その付いた文節が、それを受ける文節に対して、どういう資格関係(格)に立つかを示す助詞をいう。 文語の格助詞 (1) 主語(主格)を示すもの…が・の 「雀(すずめ)の子を犬君(いぬぎ)が迷がしつる」 〈源氏・若紫〉「うぐひすの鳴く」〈古今・春上〉 (2) 連体修飾語(連体格)を示すもの…が・の 「梅が枝(=梅ノ枝)に」〈古今・春上〉「この源氏の物語」〈更級〉 (3) 連用修飾語(連用格)を示すもの…を・に・へ・と・より・から・にて・して 「鳥をうらやみ、霞(かすみ)をあはれび」〈古今・仮名序〉「あづまに行きけるに」〈伊勢・7〉 【参考】上代は△連体修飾語を示すものとして

	「つ」「な」、△連用修飾語を示すものとして「ゆ」「ゆり」「よ」も用いられた。「沖 <sub>2</sub> 風(=沖二吹ク風)」〈万・15・3614〉「吾家(わぎへ)の方よ(=ヨリ)」〈記・中〉「田子の浦 <sub>ゆ</sub> (=ヲ通ッテ)」〈万・3・321〉
確定 (かてい)	→条件法 (じょうけんほう)
確定条件 (かていじょうけん)	→条件法 (じょうけんほう)
過去の助動詞 (かこのじようし)	過去を表す助動詞。文語では「き」「けり」(口語では「た」)がこれに属する。「き」は過去に存在し、現在は存在しなくなっている事実を表す場合(したがって、おのれの経験として語ることが多い)、「けり」は、過去にあった事実で、それが現在と何らかの関連をもっているということを述べるのに用いられる。「けり」が他から伝え聞いた過去の事実を回想する場合に用いられるのもそうした事情による。この「過去の助動詞」を「回想の助動詞」ということもある。それは、過去という「時」を表すというよりも、過去の事実を回想するという気持ちが強しいという理由にもとづく。「鬼のやうなるもの出(い)で来て殺さむとしき」〈竹取・蓬萊の玉の枝〉「人目をもるる涙なりけり」〈続後撰・恋1〉
仮借 (かしや)	△六書(りくしよ)の1つ。漢字そのものの意味内容とは関係なしに、その字の音を借りて別の物や事柄を表すもの。たとえば、「北

	はもともと「にげる・そむく」の意であるが、「ホク」の音を借りて方角を表す意に転用する。また「革」は「かわ」の意であるが、「カク」の音を借りて「革新」「改革」というように「あらためる」意に用いる。「△万葉仮名」は、国語を写すために漢字を仮借的に使用したものである。▶六書(りくしよ)
歌体 (かたい)	一首の歌は、5音・7音を基本単位として、いくつかの句に分かれる。その句の音数の配列の形体によって分類したものを「歌体」という。たとえば、「万葉集」では、短歌(5・7・5・7・7)・長歌(5・7・5・7・5・7……5・7・7)・旋頭歌(せどうか)(5・7・7・5・7・7)の3種があり、ほかに短歌に1句(7音)が加わって、仏足石歌体(5・7・5・7・7・7)というものもある。仏足石歌体は、奈良薬師寺の仏足石歌21首が、この歌体であるところから名づけられたもの。「みあとつくる石の響きは天(あめ)に到(いた)り地(つち)さへ揺(ゆ)すれ父母(ちちはは)がために諸(もろひと)のために」〈歌謡〉。このほか、これらより古く、上代には、片歌(かたうた)(5・7・7)という歌体もあった。「はしけやし我家(わぎへ)の方(かた)よ雲居(くもみ)たち来(く)も」〈記・中〉。中古以後になると、今様(いまよう)(7・5・7・5・7・5・7・5)などの諸体を生じた。「仏は常にいませども現(うつつ)ならぬぞあはれなる 人の音せぬ曉(あかつき)にほのかに夢に見え給ふ」〈梁塵秘抄〉

片仮名 (かたかな)	漢字の字画を省略してできた△表音文字（「ハ」のように漢字「ハ」の全画からできたものもある）。漢文や仏典の訓読・注釈に際し、「△万葉仮名」の偏（へん）・旁（つくり）・冠・脚など、漢字の一部を用いて記すようになったのが初めで、中古の初期に、南都（=奈良）の僧侶（そうりよ）たちによって用いられた。その後、一般に通用しはじめ、字体もまちまちであったが、しだいに統一された。片仮名はもともとが漢文の訓点であるため、漢文脈系統のものや注釈などに用いられた。
活用 (かつよう)	△用言・△助動詞などが、他の語への切れ続きのうえで語形が規則的・体系的に変化すること。たとえば「読む」という語は、助動詞「す」に付くときには「読ま」、助動詞「けり」に付くときには「読み」、ふつうに言い切るときには「読む」というように変化する。この活用のあるものは、自立語では動詞・形容詞・形容動詞、付属語では助動詞である。▶ 活用形 (かつようけい) ・ 活用語尾 (かつようごび)
活用形 (かつようけい)	△用言・△助動詞などの語形変化の形。△未然形・△連用形・△終止形・△連体形・△已然（いぜん）形（口語文法では仮定形）・△命令形の6種類がある。なお、各活用形の名称は、その活用形のもついくつかの用法のうち、おもな用法をとって名づけたものである。したがって、終止形であっても「死ぬべし」のように、終止せずに、下に助動詞などの付く場合がある。また、すべての活

	用語が6種類の活用形全部をもつとはかぎらず、特に助動詞では未然形や連用形や命令形などを欠く場合も多い。活用形は、古く、各活用形が独自の意味をもったと考えられるが、口語などでは命令形がその活用形としての独自の意味をもつほかは、「書かない」「書けば」のように下に他の語が付いた形で意味がとらえられるようになる。
活用語 (かつようご)	△活用のある単語をいう。△自立語では、△動詞・△形容詞・△形容動詞、△付属語では△助動詞。
活用語尾 (かつようごび)	△用言の活用で、形が変わる部分をいう。単に「語尾」ということもある。活用語から△語幹を除いた部分。「読む」という語では「読ま・読み・読む・読む・読め・読め」と変わる。この「ま・み・む・む・め・め」を活用語尾という。国語では、△音節を単位として語形の変化を考えるのがふつうであるから、動詞などの中には語幹と活用語尾との区別がつけられないものもある。たとえば「見る」「来（く）」など。↔ 語幹
仮定 (かてい)	→条件法（じょうけんほう）
仮定条件 (かていじょうけん)	→条件法（じょうけんほう）
仮名遣い (かなづかい)	仮名を用いて国語を書き表すうへの規則をいう。仮名遣いが問題とされるのは、同じ音に2種類以上の仮名の書き方があるとき、または同じ仮名に2種類以上の発音があるときで

	ある。たとえば、「顔」は「かほ（△歴史的仮名遣い）」「かお（現代仮名遣い）」の2通りがあり、「あ」は「仰（あふ）ぐ」の場合は「ア」、「桜花（あうくわ）」の場合は「オ」と発音するなどである。これらの問題が起こる原因は、表記が固定するのに対して、発音が変化するからで、前例の「顔」を「かほ」と書くのは、古くは「かお」でも「かを」でも書き表せない発音をもっていただけである。仮名遣いを表記方法によって分けたものに、鎌倉初期ごろの「△定家仮名遣い」、江戸初期、契沖（けいちゆう）の定めた「△歴史的仮名遣い」、昭和61年内閣告示「現代仮名遣い」がある。
可能動詞 (かのうどうし)	可能の意を表す動詞。中世後期ごろに発生した。△四段活用動詞（口語では五段活用動詞）が同じ行の△下一段活用に転じて可能の意味をもつもので、「書く→書ける」、「読む→読める」の類。「これを中とは <u>読めぬぞ</u> 」〈史記抄〉
可能的助動詞 (かのうのじようどうし)	…できる、という意を表す助動詞。文語では「る」「らる」（口語では「れる」「られる」）にこの用法がある。「冬はいかなる所にも住まる」〈徒然・55〉「胸のみふたがりて、物なども見入れられず」〈源・少女（をとめ）〉。上代には「ゆ」「らゆ」も用いられた。「眠（い）の寝（ね）らえぬ」〈万・15・3700〉。これらの助動詞は中古ごろまで打消や反語とともに用いられるのがふつうであり、肯定文の中での用法が多く

	見られるようになるのは中世以降である。命令形はない。なお△推量の助動詞「べし」も可能の意を表す場合がある。「羽なれば空をも飛びべからず」〈方丈〉
雅文 (がぶん)	古い時代（おもに平安時代）の文章およびその文体をまねて作った文章（△擬古文）をいう。江戸時代には古代の言語を正しく風雅なものと考え、後世の言語を卑俗なもの（俗文といった）とする考え方があって、それから出た名称。▶擬古文（ぎこぶん）
上一段活用 (かみいちだんかつよう)	動詞活用の1つ。△活用語尾が△五十音図のイ段の音と、それに「る」「れ」などが添加されるという形式をもつもの。文語ではこれに属する動詞は少なく、「着る」「似る」「煮る」「干（ひ）る」「喫（ひ）る」「簸（ひ）る」「見る」「射る」「鑄（い）る」「沃（い）る」「居（あ）る」「率（あ）る」のほか、その複合語である「かへりみる」「おもんみる」「試みる」「ひきぬる」「用みる」など10数語である。語幹と活用語尾とに分けられないものが多い。
上二段活用 (かみにだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。△活用語尾が△五十音図のイ段・ウ段の音と、それに「る」「れ」などが添加されるという形式をもつもの。たとえば「起く」「過ぐ」「落つ」など。この種の活用をする動詞は、口語ではほとんど上一段になるが、「恨む」のように、五段活用をするものがある。また、「生く」「帯ぶ」などは、古く四段にも活用した。

カリ活用 (かりかつよう)	文語形容詞の活用で「一から」「一かり」「一かる」「一かれ」(ク活用)あるいは「一しから」「一しかり」「一しかる」「一しかれ」(シク活用)の系列を、特に取り出して「カリ活用」ということがある。これらは連用形「一く」「一しく」に動詞「あり」が付いたもので、本来の形容詞の補助活用とみられ、ふつう形容詞の活用の中に含めて考えられている。
漢語 (かngo)	中国から入ってきた外来語、およびそれにならってわが国で作った音読する漢字の熟語をいう。「客」「剣」「平和」「勇氣」などの類。「銭(ぜに)」「梅(うめ)」「絵(ゑ)」なども、中国から入った語といわれているが、その伝来も古く、外来語と考えられないくらいである。漢語は名詞として用いられるものが大部分であるが、動詞…「御覽す」「装束(さうそく)く」・形容詞…「怠々(たいたい)し」・形容動詞…「大事なり」「堂々たり」・副詞…「突然」「切(せつ)に」などとしても用いられる。
感嘆文 (かんだんぶん)	→感動文(かんだうぶん)
感動詞 (かんだうし)	品詞の1つ。△自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語・被修飾語にもならず、接続することもない。一般に文のはじめにあって、独立語として用いられる。感嘆詞・間投詞・終止詞ともいう。文語の感動詞は意味のうえから次の3種類に分けられる。 (1) 感動を表すもの…ああ・あっぱれ・あな・あはや・あはれ・あら・さても・すは など

	(2) 呼びかけを表すもの…いかに・いざ・いざや・いで・なう・なうなう・やよなど (3) 応答を表すもの…いな・いなや・いや など
間投助詞 (かんとうじょし)	種々の語に付いて、文節の終わりにあり、語勢・語調を整え、余情を添え、感動の意を表す助詞。これに属する文語の助詞は「や」「よ」「を」など。上代には、「ろ」「彖」なども用いられた。「少納言よ」〈枕・雪のいと高う降りたるを〉「あはれ、いと寒しや」〈源・夕顔〉「昨日今日とは思はざりしを」〈伊勢・125〉「よし彖やし浦はなくとも」〈万・2・131〉「伊香保るに」〈万・14・3428〉
感動文 (かんだうぶん)	文を、その性質上から分類した場合の一種で、感動の意味を表すもの。文のはじめに感動詞がくることが多く、また、切れる文節に感動の意味を示す△終助詞を用いることが多い。「あはれ、いと寒しや」〈源・夕顔〉「三笠(みかさ)の山に出でし月かも」〈古今・羈旅〉 ▲ 文の種類(ぶんしゆるい)・平叙文(へいじょぶん)・疑問文(ぎもんぶん)・命令文(めいれいぶん)
願望の助動詞 (かんばんのじようどうし)	→希望の助動詞(きぼうのじようどうし)
刊本 (かんばん)	一般に印刷刊行された図書をいうが、狭義には、近世およびそれ以前の木活字本、銅活字本、整版本などをいう。▲ 版本(はんぽん)



	完了の助動詞 (かんだりようのじようどうし)	動作または作用が完結している意を表す助動詞。文語では「つ」「ぬ」「たり」「り」がこれに属する。完了の助動詞を時を表すものとする説があるが、時とは区別して考えられる。動作や作用自体に重点を置いて、それが完結する意を表す。 「陣の外に引き棄てつ」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「つゆ寝すなりぬ」〈枕・しのびたる所に〉「講師 <small>(かうじ)</small> 、物、酒おこせたり」〈土佐〉「顔はいと赤く摺 <small>(す)</small> りなして立てり」〈源・若紫〉 「つ」「ぬ」の2語の区別については諸説があって定めにくい、自分の積極的な意志による事態に「つ」、そうでない事態に「ぬ」を用いるという説が有力である。
〔き〕	擬古文 (ぎこぶん)	江戸時代から明治初年にかけて、国学者などが主として平安時代の仮名文をまねて作った文章をいう。作者は、賀茂真淵 <small>(かものまぶち)</small> ・村田春海 <small>(はるみ)</small> ・橘千蔭 <small>(たちばなちかげ)</small> ・本居宣長 <small>(もとりのりなが)</small> ・藤井高尚 <small>(たかなお)</small> ・清水浜臣 <small>(はまおみ)</small> らが有名である。和文または△雅文ということもある。▶雅文 <small>(がぶん)</small>
	起承転結 (きしやうてんけつ)	漢詩の△絶句において、第1句を起句、第2句を承句、第3句を転句、第4句を結句(合句)といい、第1句はその述べるところを起こし、第2句はこれを承 <small>(う)</small> け、第3句は変化させるために転じ、第4句は全体を結ぶというように作る。転じて、文章を作る場合などにもこの方法が応用されることがある。

擬人法 (ぎじんほう)	人でないものを人になぞらえて表現する修辞法。無生物を生きもののように考えて「風叫ぶ」「浪 <small>(なみ)</small> 怒る」や、動植物を人になぞらえて「花笑ひ、鳥歌ふ」という類。古くから用いられ、表現の効果も大きい。
擬声語 (ぎせいご)	物の音響や音声などをそのままねて写した語。「とんとん」「かちかち」「ばたばた」「わんわん」「かあかあ」の類。こどもが犬を「わんわん」というように、事物の名や動作は、その音や声を写したことから起こったものが多く、「かり(雁)」「ほととぎす」はその鳴き声を、「すす(噉)る」はその音を模したものとされる。
擬態語 (ぎたいご)	事物の状態をある音によって象徴的に写した語。軍記物に多い。「信頼卿 <small>(のぶよりきよう)</small> の上にもむずと付き給ふ」〈平治〉「ほろほろと山吹散るか滝の音」〈笈の小文・芭蕉〉
既定 (きてい)	→条件法 <small>(じようけんほう)</small>
既定条件 (きていじようけん)	→条件法 <small>(じようけんほう)</small>
希望の助動詞 (きぼうのじようどうし)	希望を表す助動詞。願望の助動詞ともいう。文語では「まほし」「たし」(口語は「たし」)がこれに属する。「まほし」は上代に使われた「まくほし」が転じたものとされ、中古・中世に用いられた。「くはしく御有り様も奏し侍らまほしきを」〈源・桐壺〉。「たし」は中古末期に現れ、中世には「まほし」に代わって用いられるようになった。「家にありたき木は松・桜。松は五葉もよし。花はひとへなる、よし」〈徒然・139〉

疑問文 (ぎもんぶん)	文をその性質上から分類した場合の一種で、疑問または反語の意味を表すもの。文中に疑問・反語を表す名詞・副詞・助詞「や」「か」などが用いられ、切れる文節が「や」「か」などで終わることが多い。「雲の <u>いづこ</u> に月やどるらむ(疑問)」〈古今・夏〉「月や <u>あらぬ</u> 春や昔の春ならぬ(反語)」〈古今・恋5〉▶文の種類 (ぶんのしゅるい)・平叙文 (へいじょぶん)・命令文 (めいれいぶん)・感動文 (かんだうぶん)
脚韻 (きやくしん)	→押韻 (おういん)
逆接 (ぎやくせつ)	→接続 (せつぞく)
逆態接続 (ぎやくたいせつぞく)	→接続 (せつぞく)
旧仮名遣い (きゅうかなづかい)	→歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)
校合 (きょうごう)	△写本や△刊本において、他の写本や△流布本 (るぷほん)・△異本を対校 (=比べ正スコト) して正しい本文を求める作業。この作業には、諸本の相違した箇所のみを取りあげるものから、字形・行数・文字の加除に及ぶ詳細なものまである。その成果の一部または全部を示した本を「校本 (こうほん)」、校訂者がかつとも原本に近いとして示す形を「定本」という。→定本 (ていほん)
去声 (きよしょう)	→四声 (しせい)

〔く〕 ク活用 (くかつよう)	文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…く」の形をとるもの。たとえば「よし」「おもしろし」「めでたし」「遠し」などがこれに属する。「くから」・く(かり)・し・き(かる)・けれ・(かれ)」(く)内はこの系列から特に取り出してカリ活用とよぶこともある)と活用する。なお、未然形に「く」の形を認める説もある。▶カリ活用 (かりかつよう)・シク活用 (しくかつよう)
句切れ (くぎれ)	短歌を5・7・5・7・7の5句に分けて、第1句で切れる場合を「初句切れ」、第2句で切れる場合を「2句切れ」というようによぶ。2句切れ・4句切れは△五七調といい、万葉集などに多くみられ、3句切れは△七五調といい、新古今集などに多い。なお、連歌・俳諧 (はいかい) でも△切れ字を用いて「句切れ」という語を使用することがある。初句切れ「悔 (くや) しかも/かく知らませばあをによし国内 (くめち) ことごと見せましものを」〈万・5・801〉。2句切れ「わが背子はいづく行くらむ/興つ藻の隠 (おぼり) の山を今日か越ゆらむ」〈万・1・43〉。3句切れ「見渡せば花も紅葉もなかりけり/浦のとまやの秋の夕暮れ」〈新古今・秋上〉。2句切れ・4句切れ「春過ぎて夏来たるらし/白栲 (しろたへ) の衣ほしたり/天の香具山」〈万・1・28〉
ク語法 (くごほう)	「言はく」「恋ふらく」「恋しけく」のように、語尾が「く」になって体言のように用いられる活用語の一用法。たとえば「語らく」

	<p>「老ゆらく」「為(す)らく」「来(く)らく」などのように動詞に付き、「寒けく」「悲しけく」などのように形容詞に付き、「(有)なく」「(有)けらく」などのように助動詞に付く。これらの用法について、従来から諸説があったが、接続がまちまちのために説明しにくかった。そこで、これを統一的に説明するために、「-aku」という語を考え、この語がそれぞれの連体形に付いてできたものであるとする、古くからの説が近年有力になった。たとえば、語らく kataru (連体形) +aku→katar aku→kataraku ただ、この考えには、「-aku」という語が単独で用いられた例がない点、△過去の助動詞「き」の連体形「し」に接続した場合、たとえば「言ひしく」などの「-しく」について例外として考えなければならぬ点など、問題がある。</p>
屈折語 (くつせつご)	<p>言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として屈折 (inflexion) の形態をもっている場合で、印欧語族、ハム・セム語族の諸言語が代表例。屈折とは、ある単語がその語形の一部を変化し、これによって文中における他の語に対する文法的関係を示す方法である。▶ 膠着語 (こうちやくご) ・ 孤立語 (こりつご)</p>
句点 (くてん)	→句読点 (くとうてん)
句読点 (くとうてん)	<p>文の切れ目に付けるくぎり符号。元来、句点「。(まる・しろまる)」読点「,(てん)」から出た名称で、ふつうには「。」と「,」</p>

	<p>をいうが、そのほか「,(コンマ)」「,(ピリオド)」「,(なか点・くろまる)」「,(かぎ)」「,(ふたえかぎ)」「,(まるがっこ)」「,(かくがっこ)」などを含める場合もある。句読点の古い例は中古初期の点本(漢文に訓点を付けた本)に見えるが、しだいに仮名文に用いられるようになった。</p>
廓詞 (くわくご)	<p>江戸時代、遊里で遊女などが使った遊里独特のことば。江戸時代初期に京都の島原で使いはじめられ、のち江戸吉原にも伝わり、著名となった。発生の理由は、客の貴賤(きせん)上下、出身地の違いなどから、その平等性を考慮したものと思われる。「ありんす(=アリマス)」「わちき(=ワタシ)」「ぬし(=オマエサン)」など。</p>
訓 (くん)	→字訓 (じくん)
訓点語 (くんでんご)	<p>漢文を訓読した言語。△訓点によって書かれているもの、漢文を読み下したものに現れている言語。漢語が多く、漢文にひかれた特殊な語法がある。会話文・引用文が△地(じ)の文と同性質で、敬語も少ない。和文に用いられない古語や独特の語彙(ごい)がある。</p>
訓読 (くんでん)	<p>漢文を国語の語法に従って逐語的に訳読すること。音のまま読む漢字も、訓で読む漢字もあるが、文全体は国語の語序に従って読む。したがって、漢文と国文とでは語序が異なるので、反読(返読・倒読)が起こり、</p>

		また同一の漢字を2回読む△再読とか、訓読しない置き字などということが起こる。
〔け〕	係結 (けいけつ)	→「係り結び (かかりむすび)」
	敬語 (けいご)	聞き手 (読み手) や話の中の人物に対する敬意を表す特別の語や言い方。ふつう、話し手 (書き手) が、話の中の人物に関して敬意を表す△尊敬語、動作する人を低めるなどして、その動作の相手を高める△謙讓語 (または謙遜 (けんそん) 語)、話しぶりを丁寧にする△丁寧語の3種類に分類する。「何事をかのたまは (尊敬) む事は承ら (謙讓) ざらむ」〈竹取・貴公子たちの求婚〉「夜ふけ侍り (丁寧) めべし」〈源・桐壺〉 ▲ 尊敬語 (そんけいご) ・ 謙讓語 (けんじょうご) ・ 丁寧語 (ていねいご)
	敬語動詞 (けいごどうし)	敬語の意味 (尊敬・謙讓・丁寧) をあわせもつ動詞。 (1) 尊敬語 [文語] ます・います・たまふ・おはす・おはします・おぼす・のたまふ [口語] いらっしゃる・なさる・くださる (2) 謙讓語 [文語] たまはる・うけたまはる・つかまつる・奉る・参る・まうづ・まかる・申す・聞こゆ [口語] さしあげる・いただく (=モラウ・食ウ・飲ム) (3) 丁寧語 [文語] 侍り・候 (さぶら) ふ [口語] ございます・たべ・いただく (=食ウ)
	形式名詞 (けいしきめいし)	△普通名詞のうち、意味のうえからいって名詞としての実質を備えず、名詞としての一般的形式しかもっていないもの。そのまま単独

		で用いることはなく、必ず修飾する語を必要とする。「親のため、妻子のためには恥をも忘れ、盗みもしつべきことなり」〈徒然・142〉 ↔ 実質名詞
	係助詞 (けいじょし)	種々の語に付いて、助詞を含む文節に強意・疑問などの意味を添え、それを受ける文節に一定の制約を加える助詞。文語では「は」「も」「ぞ」「なむ」「や」「か」「こそ」がこれに属する。「は」「も」の結びは終止形であるから、他の係助詞のように形態上から結びを制約することはないが、意味上からの制約がある。「ぞ」「なむ」「や」「か」は連体形で結び、「こそ」は已然形で結ぶ。▲ 本文「係り結び (かかりむすび)」
	形声 (けいせい)	△六書 (りくしょ) の1つ。意味を表す漢字と、音を示す漢字とを組み合わせ、新しい意味を表すように作られた漢字をいう。たとえば△象形文字の「水」は、「みず」という広い意味をもつが、その意味を限定して水に関係するある事物を示すために、「水 (= ; )」に、それぞれ別個の音を示す漢字をそえて別の漢字をつくる。「汁 (じゆ)」は「十 (じゆ)」が音を表し「しる」の意。「汗 (かん)」は「干 (かん)」が音を表し、皮膚から出る水「あせ」の意。「諧声 (かいせい)」ともいう。 ▲ 六書 (りくしょ)
	敬体 (けいたい)	口語の文体を、おもに指定 (断定) の表現に現れる特徴から、常体 (一だ体・一である体) ・敬体 (一です体・一でございます体・

	<p>一であります体) の2つに分けることがある。敬体は、特に丁寧語を用いた口語の文体で、動詞には「ます」が付くのがふつうである。一般に、話しことばには敬体が多く、書きことばには常体が多い。</p>
<p>形容詞 (けいようし)</p>	<p>品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾が、文語では「し」、口語では「い」になる△用言。物事の性質・状態を表す。活用の種類としては、ク活用(から・くかり・し・きかる・けれ・かれ)・シク活用(しから・しく／しかり・し・しき／しかる・しけれ・しかれ)の2つがある。形容詞の語幹(シク活用は終止形)は「あなおもしろ」のように、単独で用いられ、また「あやしむ」のように、助詞「の」を伴って用いられることがある。上代には、語幹(シク活用は終止形)に「み」をつけて、原因・理由を表す用法がある。「都を遠み(=都が遠イノデ)」〈万・1・51〉「君を愛(うつく)しみ(=君ガナツカシイノデ)」〈万・4・569〉。また、下に「さ」「み」「け」「げ」などを伴って名詞となる場合がある。「暑さに乱れたまへる御有り様を」〈源・帚木(ははきぎ)〉。なお、上代には未然形・已然形に「一け」「一しけ」という形があった。「明けむあしたに消(け)なば惜しむ」〈万・8・1650〉「奈良の大路(おほぢ)は行きよけど」〈万・15・3750〉。日本語の形容詞は「海青し」のように、それだけで述語になれるという特徴がある。</p>

<p>形容詞型活用の 助動詞 (けいようしがたかつ ようのじようし)</p>	<p>活用のしかたが形容詞に準じる助動詞。文語では、①ク活用型…たし・べし・ごとし ②シク活用型…まほし・まじ(上代は、ましじ・らし)がこれに属する。ただし、活用形は形容詞とまったく同じというのではなく、その活用形のいくつかを欠いているものがある。</p>
<p>形容動詞 (けいようどうし)</p>	<p>品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾が、文語では「なり」「たり」、口語では「だ」となる△用言。物事の性質・状態を表す。文語では、ナリ活用(なら・なりに・なり・なる・なれ・なれ)・タリ活用(たら・たりと・たり・たる・たれ・たれ)の2種類がある。 元来、形容動詞は「静かにあり→静かなり」「堂々とあり→堂々たり」のように、連用形の1つの形としている「一に」「一と」に動詞「あり」が付いたもので、「静かに」「堂々と」だけでは種々の意味(たとえば、打消・推量など)を表すことができないので、「あり」を付けて動詞のように働かせようとしたものである。なお、△タリ活用の語幹は漢語が多い。 形容動詞の語幹は「波静か」のように単独で用いられる。また、下に助詞「の」を伴って用いられることがある。「あはれの鳥と言はぬ時なし」〈万・18・4113〉。接尾語「さ」を伴って名詞ともなる。「しづかさや岩にしみ入る蟬(せみ)の声」〈おくのほそ道・立石寺・芭蕉〉</p>

	形容動詞は活用のしかたが動詞に近く、状態性の意味を表し、連用形が副詞法になることが形容詞に近いという、動詞と形容詞との中間の性格の語である。
形容動詞型活用 の助動詞 (けいようどうしがた かつようのじようし)	活用のしかたが△形容動詞に準じる助動詞。 文語では①ナリ活用型…なり (=断定) ・ べらなり ②タリ活用型…たり (=断定) がこれに属する。
謙讓語 (けんじようご)	△敬語の一種。動作する人に関することを謙遜(けんそん)していうことによって、動作を受ける人への敬意を表す言い方。謙遜語とも。文語では、 (1) 接頭語…拝一(読)・愚一(見) (2) 代名詞…まる・わらは (3) 動詞…聞こゆ(=申シアゲル)・承る(=ウカガウ)・奉る(=サシアゲル)・賜る(=イタダク)・申す(=申シアゲル)・まかづ(=退出スル)・参る・まうづ(=参上スル・ウカガウ)・候(さぶら)ふ(=伺候スル) (4) △補助動詞…聞こゆ・奉る・申す・給ふ(下二段活用)・まつる・参らす など。 なお、文語動詞では、ただ、動作を受ける人への敬意を表すために使われることが多い。
謙遜語 (けんそんご)	→謙讓語(けんじようご)

〔こ〕	語彙 (ごい)	ある範囲の単語の集まりを総体的にさしていう。集まりを形づくる個々の単語を直接的にさすのではない。アイヌ語の語彙といえ、アイヌ語に用いられる単語の総体をさし、近松の語彙といえ、近松の作品に現れた単語の総体をさす。したがって「『夕波千鳥』は柿本人麻呂の語彙である」などというのは適当ではない。
	口語 (こうご)	ももとのことばの意味では話しことばをいい、現代語の話しことばと、それにもとづく書きことば(=口語文)とを合わせてもいう。↔文語
	合成語 (ごうせいご)	→複合語(ふくごうご)
	膠着語 (ごうちやくご)	言語の形態的分類の1つ。これを組織する単語が、主として膠着(agglutination)の形態をもっているもので、日本語・トルコ語、その他ウラルアルタイ語族の諸言語がそれであるといわれる。膠着とは、単語の前後に、意味があっても独立しない辞を連結してその単語の意味を修飾したり、文中の他の単語に対する文法的関係を示したりする方法である。▶屈折語(くつせつご)・孤立語(こりつご)
	呼応 (こおう)	1つの文の中で、前にくるある特定の語によって、これを受ける語が一定の言い方をする現象。副詞の呼応をさしていることが多い。すなわち△叙述の副詞が前に来るときは、それに応じる語があとに要求される。

	<p>(1) 打消の語を要求するもの…決して・絶えて・いさ・つゆ・え。「人はい<u>さ</u>心も知らず」〈古今・春上〉</p> <p>(2) 禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて・決して。「<u>ゆめ</u>心おきたまふな」〈源・若菜下〉</p> <p>(3) 「べし」を要求するもの…すべからく・まさに。「<u>すべ</u>からくまづその心づかひを修行すべし(=当然)」〈徒然・217〉</p> <p>ほかに願望・比況・推量・仮定の語を要求するものなどがある。なお、呼応に係り結びの関係を含める場合もある。</p> <p>▶ 叙述の副詞 (じよじゆつのふくし)</p>
古活字本 (こかつじほん)	文禄2(1593)年以降、慶安(1648~1652)年間ごろまでに、活字で印刷刊行された書物をいう。慶長勅版・伏見版・嵯峨本(さかぼん)などが有名であるが、広く民間でも行われていた。銅活字本は少なく、ほとんどが木活字本。江戸時代末期の木活字本に対する語。
語幹 (ごかん)	△活用語で、活用語尾を除いた、形の変化しない部分をいう。たとえば「読む」の「読(よ)」、「高し」の「高(たか)」、「静かなり」の「静か」など。また「見る」[得(う)]、「来(く)」「す」などのように語全体が変化するため、活用語尾との区別ができないものもある。↔ 語尾
語根 (ごこん)	語構成要素の1つで、それだけでは単独に用いられない、また、これ以上分解することのできない単語の基本的意味をもつもの。

	<p>「ほのめく」「ほのかに」「ほの暗い」「ほのほの」の「ほの」、「しづかに」「しづ心」「しづしづ」の「しづ」など。</p> <p>語根は、「ほのめく」のように△接辞と合したり、「ほのほの」のように、それ自身重なったり、「ほのぐらし」のように他の単語と合したりして単語を作る。語根と接頭語を比較すると、接頭語がその付く語に単に付属的な意味を加えるのに対して、語根は、その付く語の中心となる意味を表しているところが異なる。</p>
五七調 (ごしちちよう)	わが国の詩歌は、5音・7音を音数律の基本単位として、その反復・配列によって構成されることが多い。五七調は、上5音、下7音の結合から成る調子で、上軽く、下重く、そのために安定感があって、典雅・荘重なりズムを形成する。古く万葉集の長歌に多く見られたが、古今集を経て新古今集の時代になると、△七五調が盛んとなり、五七調は衰えた。長歌の場合は5音・7音の反復でそのまま五七調であるが、短歌では△2句切れや4句切れになる場合を五七調とよぶ。五七調は和歌以外の詩歌にも用いられ、特に明治以後は詩のスタイルの一体として用いられている。
五十音図 (ごじゆうおんず)	仮名を、縦の行(ぎょう)に△子音、横の列に△母音をそろえて配列した図をいう。

	<p>わ ら や ま は な た さ か あ          む り い み ひ に ち し き い          う る ゆ む ふ ぬ つ す く う          系 れ え め へ ね て せ け え          を ろ よ も ほ の と そ こ お</p> <p>縦の行は、それぞれ最初のかなによって、          ア行・カ行などとよび、横の列は、ア段・          イ段などとよぶ。五十音図は国語の音節の          すべてを示しているものではない。たとえば、          △濁音・△半濁音・△拗(よう)音・△促(そく)          音・△撥(はつ)音などが無い。しかし、代表          的な音節はほぼ集められており、しかもそ          の配列が音節相互の関係を明らかにしてい          るので、古くから音の転換・変化、語源の          解釈、仮名遣い、△活用などに用いられて          いる。現在では、仮名の字母表としても用          いられ、「いろは」やアルファベットの代わり          に、辞書・索引・名簿などにおける見出し          語の配列の基準として使われている。</p> <p>なお、この図の起源については諸説があるが、          中古中期ごろにはすでに成立していたと考          えられる。ただ古くは配列の順序が今と違っ          ているものがあるなどさまざまであり一定          しない。</p>
詞書 (ことばがき)	→本文「ことばがき」
語尾 (こび)	→活用語尾(かつようこび)
固有名詞 (こゆうめいし)	△名詞のうちで、ある1つの事物に限って 用いられるもの。人名、地名、書名などが

		<p>それである。たとえば、「芭蕉(ばしやう)」          「奈良」「万葉集」。これには、「東京駅」          「京都市長」のように複合したものもある。</p>
	孤立語 (こりつご)	<p>言語の形態的分類の1つ。これを組織する          単語が、主として孤立(isolation)の形で          文を構成する習慣があるもので、古代中国          語がその例としてあげられる。孤立とは、          単語が連なって文を構成するとき、各単語          が語尾変化とかその他文法的関係を示す変          化をまったくもたないで連結される形態を          いう。</p>
〔さ〕	最高敬語 (さいこうけいご)	<p>平安時代に、帝(みかど)や后(きさき)に対す          る尊敬語として、「たまふ」に尊敬の助動          詞「す」「さす」「しむ」を併せた「せた          まふ」「させたまふ」「しめたまふ」を用          いることが多いので、これを他の場合と区          別して最高敬語といっている。このほか、          尊敬語の「おはします」「のたまはす」「御          覧ぜらる」、謙讓語の「啓す」「啓す」「き          こえさす」などもあり、これらも含めてい          う場合もある。</p>
	再読 (さいどく)	<p>漢文の訓読において、同じ字を2回読むこと。          たとえば、「將」は「まさに…す」、「宜」          は「よろしく…べし」、「須」は「すべから          く…べし」、「当」は「まさに…べし」、「猶」          は「なほ…ごとし」、「未」は「いまだ…す」          など。これらは国文法にいう△叙述(陳述)          の副詞の、呼応という語法である。</p>



<p>サ行変格活用 (さぎょうへんかくかつよう)</p>	<p>動詞活用の1つ。略してサ変という。活用は(せ・し・す・する・すれ・せよ)。このように活用する動詞は「す」と「おはす」の2語(口語では「する」だけ)である。ただし「す」は他のいろいろな語と合して多くの複合動詞をつくる。▶ サ変複合動詞(さへんぷくどうし)</p> <p><b>【参考】</b>「おはす」は、四段活用と下二段活用との両様の活用があったとして、サ行変格活用と見ない説もあるが、その根拠となる用例については問題があり、サ変と見るのが妥当であろう。</p>
<p>サ変複合動詞 (さへんぷくどうし)</p>	<p>サ行変格活用動詞(文語では「す」、口語では「する」)が、国語の名詞・漢語、その他に付いて、複合動詞となったもの。サ変動詞の「す」だけでは動作を漠然と表すだけであるから、その上に実質を示す語を添えたもので、その数は非常に多い。一例を示すと、</p> <p>(1) 国語の名詞と複合したもの…旅す・やどりす・もみぢす・かうぶりす・心す</p> <p>(2) 漢語名詞と複合したもの…奏す・命す・嘆す・読経(どきやう)す・保存す</p> <p>(3) 形容詞の音便形と複合したもの…全うす・久しうす・かたじけなうす</p> <p>(4) 形容動詞と複合したもの…新たにす・専(もつぱ)らにす</p> <p>(5) 形容詞の語幹に「み」の付いた名詞と複合したもの…甘んず(甘みす)・安んず(安みす)</p>

	<p>三句切れ (さんくざれ)</p>	<p>→句切れ(くざれ)</p>																																									
<p>〔し〕 子音 (しいん)</p>	<p>△母音に対する名称で、氣息の通る路(みち)を、一時閉鎖するか、または狭まりをつくることによって生じる音。子音は、発音される場所によって唇内音・舌内音・喉内(こうない)音の3種に分けられ、発音される方法によって破裂音・摩擦音・破擦音・鼻音・流音の5種に分けられる。なお、声帯の振動によって発音するものを有声音、振動によらないで発音するものを無声音というが、これらを総合して、国語にふつう用いられる子音を表すると次のようになる。↔ 母音(ぼいん)</p> <table border="1" data-bbox="982 450 1375 771"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>唇内音</th> <th>舌内音</th> <th>喉内音</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">破裂音</td> <td>無声音</td> <td>p</td> <td>t</td> <td>k</td> </tr> <tr> <td>有声音</td> <td>b</td> <td>d</td> <td>g</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">摩擦音</td> <td>無声音</td> <td>f</td> <td>s ʃ</td> <td>h</td> </tr> <tr> <td>有声音</td> <td>w</td> <td>z ʒ j</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">破擦音</td> <td>無声音</td> <td></td> <td>ts tʃ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有声音</td> <td></td> <td>dz dʒ</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鼻音</td> <td>有声音</td> <td>m</td> <td>n</td> <td>ŋ N</td> </tr> <tr> <td>有声音</td> <td></td> <td>r</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			唇内音	舌内音	喉内音	破裂音	無声音	p	t	k	有声音	b	d	g	摩擦音	無声音	f	s ʃ	h	有声音	w	z ʒ j		破擦音	無声音		ts tʃ		有声音		dz dʒ		鼻音	有声音	m	n	ŋ N	有声音		r		
		唇内音	舌内音	喉内音																																							
破裂音	無声音	p	t	k																																							
	有声音	b	d	g																																							
摩擦音	無声音	f	s ʃ	h																																							
	有声音	w	z ʒ j																																								
破擦音	無声音		ts tʃ																																								
	有声音		dz dʒ																																								
鼻音	有声音	m	n	ŋ N																																							
	有声音		r																																								
<p>使役の助動詞 (しえきのじょどうし)</p>	<p>他に動作・作用をさせるという意味を表す助動詞。文語では、「す」「さす」「しむ」がこれに属する。「夜ごとに人をすゑて守らせければ」〈伊勢・5〉「名を三室戸(みむろど)齋部(いむべ)の秋田を呼びてつけさす」〈竹取・かぐや姫の生ひ立ち〉「生(しやう)</p>																																										

	<p>を苦しめて目を喜ばしむるは、桀(けつ)・肘(ちゆう)が心なり」〈徒然・121〉</p> <p>なお、「す」「さす」「しむ」が尊敬の意を表すことがあるが、その場合は常に「給ふ」「おはします」「らる」などの尊敬を表す語とともに用いられるときで、単独の場合は必ず使役の意である。</p>
字音 (じおん)	<p>単に、音(おん)ともいう。中国から伝わった発音に従った漢字の読み方で、呉音(ごおん)・漢音・唐音(または宋音(そうおん))の順に渡来。</p> <p>(1) 呉音…行(ぎやう)・京(きやう)・清(しやう)・和(わ)・火(くわ) 中国南方の呉地方の発音。わが国に最初に入った音で、上代に用いられた。仏教関係の語などに多い。</p> <p>(2) 漢音…行(かう)・京(けい)・清(せい)・和(くわ)・火(くわ) 隋(ずい)・唐(とう)の音をいう。上代以後、正音として伝えられ、漢文や仏典を読む場合に主として用いられた。</p> <p>(3) 唐音(宋音)…行(あん)・京(きん)・清(しん)・和(を)・火(こ) 中古中期以後、近世にかけて、宋・明(みん)・清(しん)の音が中国の商人や、中国より帰国した留学僧(特に禅宗関係)によって伝えられた。</p>
字音仮名遣い (じおんかなづかい)	<p>漢字の字音を仮名で表記する場合のきまり。</p> <p>△歴史的仮名遣いの立場では「公(こう)・甲(かふい)・好(かう)・光(くわう)」「東(とう)・答(たふい)・唐(たう)」と書き、現代的仮名遣いの立場</p>

	<p>では、それぞれ「こう」「とう」と書き表す。今日は現代仮名遣いによる字音仮名遣いが行われている。</p>
シク活用 (しくかつよう)	<p>文語形容詞の活用の1つ。連用形の語尾が「…しく」の形をとるもの。「うつくし」「恋し」などがこれに属する。「くしから」・しくくしかり」・し・しきくしから」・しけれ・くしかれ)」(くく)内はこの系列から特に取り出してカリ活用とよぶこともある)と活用する。なお、未然形に「しく」の形を認める説もある。▶カリ活用(かりかつよう)・ク活用(くかつよう)</p>
字訓 (じくん)	<p>単に、訓(くん)ともいう。漢字に対する国語の訳語が、その漢字の読み方として固定したもの。たとえば「中」を「なか」「うち」「あたる」、「国」を「くに」と読む類。</p>
自己敬語 (じこけいご)	<p>自敬表現ともいう。自分の動作・事柄・所有に尊敬語を用いること。実際に高貴の人は自分に尊敬語を用いたのものであるともいい、また高貴の人のことばを、伝え手や作者の立場から、尊敬語に言い換えたものであるともいう。</p> <p>「〔大葉子(おおはこ)が自ら詠んだ歌〕大葉子は領巾(ひれ)振らずも」〈欽明紀〕「〔帝(みかど)が、自身の動作を〕顔かたちよしときこしめして、御使をたびしかど」〈竹取・御門の求婚〕「〔後白河法皇が、自身の動作を〕御行水をめさばやおぼしめすはいかがせんする」〈平家・3・法皇被流)</p>

指事 (しじ)	△六書(りくしよ)の1つ。象形文字のように、絵画的にその形を表せない事柄を、点または線などを用いたり、象形文字のある部分に符号を付けたりして示すもの。たとえば、「一・二・三」は、線によってその数を表す。「上」は、線の上に点を打って、ある物または基準の上に物があることを示す。「本」は、象形文字と組み合せて、「木」の下にしるしを付けて、木の根もとの意を表す。 ▶ 六書(りくしよ)
四声 (しせい)	漢字音の高低法。平声(ひょうしやう)・上声(じょうしやう)・去声(きょしやう)・入声(にっしやう)の4種。平声を除いた他の3声を仄声(そくせい)という。平声は平らな調子、上声ははじめが低く語尾が高くなる調子、去声ははじめが高く語尾が低くなる調子、入声はp・t・kの△子音などで終わる急な調子。平声と仄声を合わせて平仄(ひょうそく)という。
七五調 (しちごちやう)	わが国の詩歌は、5音・7音を音数律の基本単位として、その反復・配列によって構成されることが多い。七五調は、上7音、下5音の結合から成る調子で、上重く、下軽く、そのために不安定な感じがある反面、軽妙流暢(りゅうちやう)なリズムを形成する。和歌においては、古今集から多くなり、新古今集において最も多く用いられた。短歌における七五調とは、△3句切れになる場合をいう。なお、七五調は和歌以外の種々の歌謡、散文の△道行(みちゆき)文などにも用いられ、明治以後は詩のスタイルの一体として広く盛んに用いられている。

実質名詞 (じつじつめいし)	△普通名詞のうち、具体的にしても抽象的にしても、一定の実質概念のある名詞をいう。たとえば「ことすでに重畳(ちやうてふ)せり(=事件ガスデニ重ナッテイル)」〈平家・1・殿上閣討〉は、実質を備えているので実質名詞である。これに対して、「ただ今の一念、むなく過ぐること(=過ギテ行クコト)を惜しむべし」〈徒然・108〉は、実質を備えていないので形式名詞とする。↔形式名詞
指定の助動詞 (していのじやどうし)	→断定の助動詞(だんていのじやどうし)
自動詞 (じどうし)	動作や作用をそれ自身だけのはたらきとして表す動詞。「水流(う)る(ラ下二)」「湯沸(か)く(カ四)」などで、「水を流す(サ四)」「湯を沸かす(サ四)」のように、一般に「…を…する」という形をとる他動詞と区別される。しかし、自動詞にも他動詞のように「…を」という言い方をする場合もある。「音(ね)を泣(な)く」「寝(い)を寝(ぬ)」。古く、日本語の自動詞は、その動詞の表す事態が当事者と何のかかわりもなく起きたことを述べる場合に用いたとされ、西欧語の自動詞とはその用法が違っていとされる。↔他動詞
地の文 (じのぶん)	物語・小説などで、会話でない叙述の部分の文章をいう。ふつう、書きことばがおもに用いられるところから、会話文とは語彙(ごい)・語法が異なることが多いが、平安時代の仮名文学では、会話文と地の文とで語彙・語法の差が少ない。そのため、この時代は言文一致の時代ともいわれる。

自発の助動詞 (じはつのじようどうし)	動作・作用が自然に起こる意を表す助動詞。文語では「る」「らる」（口語では「れる」「られる」）に、この用法がある。上代には「ゆ」も用いられた。「京思ひいでらる」〈源・総角（あげまき）〉「筆を執れば物書かれ」〈徒然・157〉「都の手ぶり忘れにけり」〈万・5・884〉「瓜（うり）食（は）めば子ども思ほゆ粟（くり）食めばまして偲（しぬ）はゆ」〈万・5・806〉＝自然可能の助動詞。
下一段活用 (しもいちだんかつよう)	動詞の活用形の1つ。△活用語尾が△五十音図のうち「エ」段一段に変化するもの。これに属する動詞は、口語では「得（え）る」「聞こえる」「受ける」など多いが、文語では「蹴（け）る」1語である。「蹴る」は上代にはワ行下二段に活用したようである。「蹴散、これをくゑはらからすと云（い）ふ」〈神代紀〉
下二段活用 (しもにだんかつよう)	文語動詞の活用形の1つ。△活用語尾が△五十音図の「ウ」「エ」二段に変化するもの。「得（え）る」「投（な）ぐ」「出（い）づ」「述（の）ぶ」「流る」「聞（き）こゆ」「植（う）む」など。これらは、口語ではすべて下一段活用になる。また、下二段に活用する語で、古く△四段活用であったものがある。「隠る」「恐る」「忘る」「乱る」「埋（う）む」「分（わ）く」など。
写本 (しやほん)	筆写された本。写本には著者の「自筆本」と、それを転写した「転写本」とがあり、転写本には、さらに文字を写しただけの「謄写本」と、筆跡まで模した「模写本」とがある。また、模写本は、原本を傍らに置いてこれを

	模した「臨模本」と、薄く透明な紙をのせてなぞった「影写本」とに分かれる。わが国の写本は、古く仏書・漢籍の筆写に始まり、しだいに史書・歌集・物語などに及んだ。
終止形 (しゅうしけい)	△活用形の1つ。文の終止に使われる。文語では文を終止するほか、「らむ」「めり」「べし」などの助動詞や、「とも」「や」「な」などの助詞に連なる用法がある。「しづ心なく花の散るらむ」〈古今・春下〉「今更に山へ帰るなほととぎす」〈古今・夏〉。活用形のうち、いちばんもとなる形と考えられて、「基本形」「基本の形」ともいわれる。
終止法 (しゅうしほう)	単語が言い切りの用法に立つことをいう。この場合、品詞や語形に一定の制約がある。常に終止法に立つ品詞は、感動詞と終助詞だが、△体言・形容詞、形容動詞の語幹もこの用法に立つことがある。「風かよふ寝ざめの袖（そで）の花の香にかをる枕（まくら）の春の夜の夢」〈新古今・春下〉「あな、きよら」〈源・柏木（かしはぎ）〉。△活用語では終止形・命令形がこの用法をもっているが、係り結びの関係から連体形・已然形がこの用法に立つこともある。
修飾語 (しゅうしよくご)	他の文節に連なって、その意味をくわしく限定する文節。△用言を修飾するものを連用修飾語、△体言を修飾するものを連体修飾語という。「糞虫（みものむし）いとあはれなり」〈枕・虫は〉「花ぞむかしの香に匂（にほ）ひける」〈古今・春上〉▶ 被修飾語（ひしゅうしよくご）

終助詞 (しゅうじょし)	文末において種々の語に付いて、疑問・反語・禁止・詠嘆・感動・命令・願望・強意などの意を表し、文を終止させる助詞。これに属する助詞は、「か」「かな」「が」「がな」「かし」「なむ」「ばや」など。ほかに、「かも」「がも」「な」「ね」「に」「こそ」などがあるが、これらは上代に多く用いられた。「心知れらむ人に見せばや」〈後撰・春下〉「はや言へかし」〈土佐〉▶助詞(じょし)
重箱読み (じゅうばこみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「重箱(じゅうばこ)」「(食物などを入れる重ね箱)のように、上部を△音で読み、下部を△訓で読む読み方。「合羽(かつば)」も同様なので「合羽読み」ともいう。そのほか「縁組(えんぐみ)」「頭取(とうどり)」「王手(おうて)」なども、この読み方。▶湯桶読み(ゆとうよみ)
重文 (じゅうぶん)	△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文において、対等の主語・述語の関係が2つ以上成り立っているものをいう。 山 紫にして 水 明らかなり 主 述 主 述 対 対
熟語 (じゅくご)	△複合語の一種。2つ以上の単語が結合して、ある固定した意味を表す語。「春風」「落葉」「嬉(うれ)し涙」「足弱(あしよわ)」など。▶複合語(ふくごうご)

主語 (しゅご)	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何である」などの文で、「何が」に相当する△文節。主語は述語に呼応し、述語の前に位置するのが原則であるが、省略される場合が多い。主語を構成する文節は、だいたい次のようなものから成り立っている。①△体言、または体言に助詞の付いたもの。「風吹き、雨さへ降りぬ」②用言・活用連語の連体形、またはそれに助詞の付いたもの。「雁(かり)などのつらねたるが、いとちひさく見ゆるはいとをかし」〈枕・春はあけぼの〉③対等の語を並列したり、助詞・接続詞で結合させたりしたもの。「人は、かたち・ありさまのすぐれたらんこそ、あらまほしかるべけれ」〈徒然・1〉。日本語では主語が不可欠の要素でもないということ、他の修飾語との用法上の区別がつけにくいということなどから、修飾語の一種であるとする説もある。↔ 述語
述語 (しゅつご)	文の成分の1つ。「何がどうする」「何がどんなである」「何が何である」などの文で、「どうする」「どんなである」「何である」に相当する△文節。述語は日本語では文末に位置し、文の内容を統合する。述語を構成する文節は、次のようなものから成り立っている。①△用言・活用連語、またはそれに助動詞の付いたもの。「風吹き、雨さへ降りぬ」②△体言、または体言に助詞の付いたもの。「火もとは、樋口富(ひぐちとみ)の小路とかや」〈方丈〉③用言・活用連語

	に補助用言の付いたもの。「宝を費やし、心を悩ますことは、すぐれてあぢきなくぞ侍る」〈方丈〉④対等の語の重なったもの。「綾(あや)も物の色も珍らかに清らなり」 →主語
順接 (じゅんせつ)	→接続(せつぞく)
準体言 (じゅんたいげん)	活用語の連体形が、活用語としての意味・性質をもちながら、一方では△体言の資格をもって扱われるものをいう。「愛憐(あいれん)の情うすきに似たり」の「うすき」、「過ぎたるは及ばざるが如(ごと)し」の「過ぎたる」「及ばざる」など。山田孝雄氏の説。
準体助詞 (じゅんたいじょし)	「これは私のです」「新しいのがよい」の「の」のように、それ自身としては断続の意味をもち、種々の語に付いて体言と同じはたらきをする助詞。文語では「の」「が」など。「前(さき)の守(かみ)今(いま)の(=今ノ守)も」〈土佐〉「この歌はある人のいはく大伴(おほとも)黒主(くろぬし)が(=大伴黒主ノ歌)なり」〈古今・雑上〉 【参考】準体助詞は、橋本進吉氏の説く助詞の1つ。格助詞として取り扱う説もある。
順態接続 (じゅんたいせつぞく)	→接続(せつぞく)
序 (じょ)	(1) 書物などの初めに記す文で、「はしがき」ともいう。著作に至った由来などを書く場合が多い。古今和歌集には、仮名序と真名序とがある。↔跋(はつ) (2) 「序詞」を「序」ということがある。 →序詞(じょし)

象形 (しょうけい)	△六書(りくしよ)の1つ。物の形をかたどったもので、漢字の原型をしのばせる文字である。日・月・山・木・人・口・馬・魚・弓・刀・門・戸など。→六書(りくしよ)
条件法 (じょうけんほう)	前に述べた事柄が、あとに述べた事柄の条件になっている場合の用法で、次の3種がある。 (1) 仮定条件…ある事柄を仮定した表現法 ①順接…「もし…なら」の形。文語では接続詞「さらば」「しからば」を用い、また、△活用語の未然形に接続助詞「ば」を付ける。 ②逆接…「もし…ても」の形。文語では接続詞「さりとて」を用い、また、動詞の終止形・形容詞の連用形に「と」「とも」を付ける。 (2) 確定(既定)条件…ある事柄が既に成り立ったものとしての表現法 ①順接…「…なので」の形。文語では接続詞「されば」「しかれば」などを用い、また、△活用語の已然形に接続助詞「ば」を付ける。 ②逆接…「…だけれど」の形。文語では接続詞「さりながら」「さるに」「しかれども」などを用い、また、活用語の已然形に接続助詞「と」「ども」を付ける。 (3) 一般(恒常)条件…ある事柄がある場合には、いつもきまって同じ結果を生じるとしての表現法 ①順接…「であればいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に接続助詞「ば」を付ける。

	②逆接…「…であってもいつも…(だ)」の形。活用語の已然形に接続助詞「ど」「ども」を付ける。▶ 接続(せつぞく)
置語 (じょうご)	△複合語の一種。同一の語を重ねてつくった語。「ほのぼの」「われわれ」「重ね重ね」「人々」など。また、広義には同じような意味を重ねた語をいうこともある。「广大」「展開」「狹隘(きょうあい)」など。
上声 (じょうしやう)	→四声(しせい)
常体 (じょうたい)	→敬体(けいたい)
状態の副詞 (じょうたいのふくし)	△副詞の一種。主として動詞を修飾して、その動作・作用の状態をくわしく定める副詞。「大堂ゆらりゆらりと通りけり」〈おらが春・一茶〉「 <u>つれづれと</u> 降り暮らして」〈源・帯木(ははきぎ)〉。また、状態の副詞の中には、下に助詞「の」を伴って体言を修飾するものがある。「 <u>しばしの程</u> 」「 <u>すべての国々</u> 」「 <u>わざとの使ひ</u> 」=情態の副詞。
初句切れ (しよくぎれ)	→句切れ(くぎれ)
序詞 (じよことば)	→序詞(じよし)
助詞 (じよし)	品詞の1つ。△付属語で△活用がないもの。 (1) △自立語(または自立語に助動詞の付いたもの)に付いて、その語と他の語との関係を示すはたらきをする。「梅 <u>が</u> 枝(え)」「夏 <u>の</u> 夜」(連体修飾) (2) その語に一定の意味を添えるはたらき

	をする。「風 <u>さへ</u> 吹き出(い)でたり」(添加)助詞は、どういう語に付き、どういう語にかかっていくかという基準に従って、次の6種類に分けられることが多い。 (1) 格助詞(2) 接続助詞(3) 係助詞(4) 副助詞(5) 終助詞(6) 間投助詞 ▶ 各項参照 これらのうち、係助詞と副助詞とを合わせて副助詞、終助詞と間投助詞とを合わせて終助詞とし、全部で4種類とすることもあり、また、これらのほかに、△並列助詞、△準体助詞などを立てる説もある。=テニヲハ・助辞。
助字 (じょじ)	漢文で、文末に用いる「也」「焉」「哉」「乎」「歟」、格を示す前置の「於」「于」、代名詞的な後置の「之」「者」、接続を示す「而」「以」、動詞の相に関する「令」「使」「被」などをいう。これらは、漢文訓読の場合、国語の助詞・助動詞に当たるもので、そのうちには国語にあてて読む習慣がないものもあって、それを「置き字」とよぶことがある。
叙述の副詞 (じよじゆつものふくし)	△副詞の一種。修飾される△用言の叙述のしかたを限定して、これに一定の言い方を要求する副詞。この叙述の副詞を受けて一定の言い方で結び関係を「副詞の呼応」という。=陳述(ちんじゆつ)の副詞・呼応の副詞。 (1) 打消の語を要求するもの…いさ・つゆ・必ずしも・え・つやつや

	<p>(2)禁止の語を要求するもの…ゆめ・断じて</p> <p>(3)願望の語を要求するもの…なにとぞ・ひとへに・いかで</p> <p>(4)比況の語を要求するもの…あたかも・さながら</p> <p>(5)推量の語を要求するもの…恐らく(は)・けだし・いかばかり</p> <p>(6)打消推量の語を要求するもの…よも・をさをさ</p> <p>(7)仮定の語を要求するもの…もし・たとひ・よし(や)・かりに</p> <p>(8)断定・肯定の語を要求するもの…正に・実に</p> <p>(9)疑問・反語の語を要求するもの…いかで(か)・など(か)・豈(あに)・いづくんぞ</p> <p>(10)「べし(当然・適当・命令)」を要求するもの…すべからく・宜(よろ)しく・当(まさ)に</p>
助数詞 (じよすうし)	接尾語の一種。数を表す語に添えて、その数量や順序を示すもの。「一本」「三冊」「五号」。▶ 数詞(すうし)
助動詞 (じよどうし)	品詞の1つ。△付属語で△活用のあるもの。それ自身では△文節を作らず、△自立語に付いて、種々の意味を添えてその叙述を助ける。「散らむ」「咲きけり」「我も人なり」助動詞の分類については、(1)接続による分類 (2)活用による分類 (3)意味による分類 の3方面から考えられる。 (1)接続による分類

	<p>①△用言または助動詞に付くもの (ア)未然形に付くもの…す・さす・しむ・る・らる・す・む・むす・じ・まほし・まし・り(サ変のみ)</p> <p>(イ)連用形に付くもの…き・けり・つ・ぬ・たり(完了)・たし・けむ</p> <p>(ウ)終止形に付くもの…べし・まじ・らむ・めり・らし・なり(伝聞)(以上、ラ変・形容詞・形容動詞以外に)</p> <p>(エ)連体形に付くもの…べし・まじ・らむ・めり・らし(以上、ラ変・形容詞・形容動詞に)・なり(断定)・ごとし</p> <p>(オ)已然形に付くもの…り(四段のみ)</p> <p>②△体言その他に付くもの 体言に付くもの…なり・たり(断定) 助詞に付くもの…ごとし</p> <p>(2)活用による分類</p> <p>①動詞型</p> <p>(ア)四段型…む・けむ・らむ・す(尊敬)・ふ(継続)</p> <p>(イ)下二段型…す・さす・しむ・る・らる・つ</p> <p>(ウ)ラ変型…たり(完了)・り・けり・めり・なり(伝聞)</p> <p>(エ)サ変型…むす</p> <p>(オ)ナ変型…ぬ</p> <p>②形容詞型</p> <p>(ア)ク活型…たし・べし・ごとし</p> <p>(イ)シク活型…まほし・まじ</p> <p>③形容動詞型…なり(断定)・たり(断定)</p>
--	---



		<p>④特殊型…す・まし・き・らし・じ（「らし」「じ」を無変化型とする説もある）</p> <p>(3)意味による分類</p> <p>①使役…す・さす・しむ</p> <p>②受身…る・らる</p> <p>③可能…る・らる</p> <p>④自発…る・らる</p> <p>⑤尊敬…る・らる・す・さす・しむ</p> <p>⑥打消…す・じ・まじ</p> <p>⑦推量…む・むず・けむ・らむ・らし・べし・まじ・じ・まし・めり</p> <p>⑧過去…き・けり</p> <p>⑨完了…つ・ぬ・たり・り</p> <p>⑩希望…たし・まほし</p> <p>⑪断定…なり・たり</p> <p>⑫比況…ごとし</p> <p>⑬伝聞・推定…なり</p>
	自立語 (じりつご)	それみずからで1つの△文節になることができる単語をいう。自立語で△活用のあるものに動詞・形容詞・形容動詞があり、活用のないものに名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞がある。↔ 付属語
[す]	推定の助動詞 (すいていのじようし)	△推量の助動詞の1つ。あるよりどころによってかなりの確実性を認めつつ推量する意味を表す。文語では「らし」がこれに属する。「この川にもみぢ葉流る奥山の雪げの水ぞ今まさるらし」〈古今・冬〉の「この川にもみぢ葉流る」が推定のよりどころを示している。このように「らし」はその推定の

		よりどころが文中に示されることが多い。終止形に接続する「なり」にも推定の意がある。▶ 伝聞推定の助動詞 (でんぶんすいていのじようし)
	推量の助動詞 (すいりようのじようし)	<p>推量の意を表す助動詞。文語では推量の助動詞が分化・発達して多様性に富んでいる。</p> <p>(1) む… (ふつうの推量) 「夕べには朝(あした)あらむことを思ひ」〈徒然・92〉</p> <p>(2) むず… (ふつうの推量) 「遠き御守りでこそ候はむすれ」〈平家・7・忠度都落〉</p> <p>(3) らむ… (現在の推量) 「六条わたりにも、いかに思ひ乱れ給ふらむ」〈源・夕顔〉</p> <p>(4) けむ… (過去の推量) 「前(さき)の世にも御契りや深かりけむ」〈源・桐壺〉</p> <p>(5) べし… (必然・当然の推量) 「漢詩(からうた)などいふべし (=吟ジテイルニチガイナイ)」〈土佐〉</p> <p>(6) めり… (主観的推量) 「今様は、むげにいやしくこそなり行くめれ (=ヨウダ)」〈徒然・22〉</p> <p>(7) まし… (△反実仮想) 「この木なからましかばとおほえしか」〈徒然・11〉</p> <p>(8) らし… (根拠のある推定) 「秋の夜は露こそことに寒からし (=冷タイニチガイナイ)」〈古今・秋上〉</p> <p>▶ 推定の助動詞 (すいていのじようし)</p> <p>(9) じ… (打消の推量) 「心に思ひ残すことは、あらじかし」〈源・若紫〉</p>

		(10) まじ…(打消の推量)「さる人あるまじければ」〈徒然・12〉 なお、これらの助動詞は、推量から転じて、意志・希望・勧誘・仮定・婉曲(えんきよく)などの意を表すのにも用いられる。
数詞 (すうし)		名詞の1つ。数量、または数によって順序を表すもの。 (1) 数量の数詞(基数詞)…一つ・二・三本・四冊・五軒 (2) 順序の数詞(序数詞)…第一・二番・三つ目・四号・五位 上記のうち、いくつ・何本・何番のように、不定の数量や順序を表すものを不定数詞といふことがある。また、「三本」「五軒」などの「三」「五」のように数を表す語を本数詞、「本」「軒」のように数を表す語に添えたものを△助数詞といふ。▶ 助数詞(じよすうし)
[せ]	清音 (せいおん)	△五十音図の各音節と、それに応じる△拗音(ようおん)の各音節(キヤ・キュ・キョ・シヤ・シュ・ショ・チャ・チュ・チョ・ニヤ・ニユ・ニョ・ヒヤ・ヒユ・ヒョ・ミヤ・ミュ・ミョ・リヤ・リュ・リョ)をいう。すなわち、△子音を全く含まないア行の△音節と、無声子音のk・s・t・h、有声子音のn・m・y・r・wを含む音節をいう。▶ 濁音(だくおん)・半濁音(はんだくおん)
	絶句 (ぜつく)	漢詩の一体。△起承転結の4句から成る。各句の字数によって、五言絶句・七言絶句

		の2種がある。△律詩とともに、南北朝から唐にかけて完成された近(今)体詩。△押韻(おういん)・△平仄(ひようそく)などにも厳密なきまりがある。
接辞 (せつじ)		△接頭語と△接尾語の総称。単独に用いられることがなく、必ず他の単語に付いてある意味を添える。「 <u>ひ空</u> (=接頭語)」「 <u>春めく</u> (=接尾語)」。 <b>▶</b> 接頭語(せつとうご)・接尾語(せつびご)
接続 (せつそく)		前に述べる事柄と、あとで述べる事柄とのつながりの関係をいう。次の2種がある。 (1) 順接(じゆんせつ)…順態接続ともいう。 あとで述べる事柄が、前に述べる事柄の順当な結果であると考えられる場合。接続詞の「さらば」「しからば」(以上、仮定)「されば」「しかれば」(以上、確定)などを用いたり、活用語の未然形(仮定)・已然形(確定・一般条理)に△接続助詞「ば」を付けて表したりすることが多い。 (2) 逆接(ぎやくせつ)…逆態接続ともいう。 あとで述べる事柄が、前に述べる事柄の順当でない結果であると考えられる場合。△接続詞の「さりとて」(仮定)「さりながら」「さるに」「しかれども」(以上、確定)などを用いたり、動詞の終止形や形容詞の連用形に、接続助詞「と」「とも」を付け、また、△活用語の已然形に接続助詞「ど」「ども」を付けて表したりすることが多い。

<p>接続語 (せつそくご)</p>	<p>仮定・事実を示して、ある条件を提示する文節。たとえば、「しかれども、ひねもずに浪(なみ)・風たたず」〈土佐〉のような△接続詞、「日あしければ、船出(い)ださず」〈土佐〉のように△接続助詞が付くものなどを「接続語」とする。接続語をたてない立場では、これらを「連用修飾語」と見る。</p>
<p>接続詞 (せつそくじ)</p>	<p>品詞の1つ。△自立語で△活用がなく、主語・述語・修飾語のいずれにもならず、文の構成のうえからは比較的独立して、もっぱら文節や文を接続する語。</p> <p>(1)その種類は、意味のうえから次の4通りに分けられる。所属する語は文語の場合を示す。</p> <p>①並立の意を表すもの…および・ならびに・また</p> <p>②添加の意を表すもの…なほ・かつ・しかうして・しかも</p> <p>③選択の意を表すもの…または・あるいは・あるは・もしくは・もしは</p> <p>④条件を表すもの</p> <p>(ア)順接…かかれば・かくて・かくして・しからば・しかれば・さらば・されば・したがって・よって・ゆゑに</p> <p>(イ)逆接…されど・さりながら・さるを・しかるに・しかれども・ただし</p> <p>(2)用法としては、前のことばの受け方によって、次の2つの場合がある。</p> <p>①1つの文の中であって、△文節と文節とを結びつける。「朱雀院(すざくゐん)ならびに</p>

	<p>村上二代の御母后(ははきさき)におはします」〈大鏡・基経〉「行く川の流れば絶えずしてしかもとの水にあらず」〈方丈〉 ②2つの文を結びつける。「死期すでに近し。されどもいまだ病(やまひ)急ならず」〈徒然・241〉</p>
<p>接続助詞 (せつそくじょし)</p>	<p>活用語またはそれに準じるものに付いて、その付いた語の意味を、次の△用言または用言に準じるものに続ける助詞。</p> <p>(1)接続による分類</p> <p>①未然形に付くもの…ば・で</p> <p>②連用形に付くもの…て・つ・ながら</p> <p>③終止形に付くもの…と・とも(形容詞は連用形に接続)</p> <p>④連体形に付くもの…が・に・を・も</p> <p>⑤已然形に付くもの…ば・ど・ども</p> <p>(2)意味による分類</p> <p>①条件(ア)仮定 順接…ば・と 逆接…と・とも (イ)確定 順接…ば・して・で 逆接…ど・ども・が・に・を・も</p> <p>②列叙(ア)異時…て (イ)同時…て・つつ・ながら・や</p>
<p>接頭語 (せつとうご)</p>	<p>△接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの単語の上に付いて、それらにある意味を添えるもの。接頭語が付いてできた語の品詞は、接頭語の付かないものと語と同一である。</p>

		<p>(1)名詞に付くもの…<u>み</u>(御)代・<u>おん</u>(御)声・<u>ご</u>(御)病気・<u>み</u>空・<u>ま</u>昼・<u>さ</u>霧・<u>を</u>(小)川</p> <p>(2)動詞に付くもの…<u>さ</u>まよふ・<u>と</u>の曇る・<u>た</u>ばしる・<u>い</u>行く・<u>う</u>ち見る</p> <p>(3)形容詞に付くもの…<u>た</u>やすし・<u>い</u>ちはやし・<u>け</u>近し・<u>を</u>(小)暗し・<u>う</u>すら寒し</p>
	接尾語 (せつびご)	<p>△接辞の1つ。それ自身で単独に用いられることがなく、必ずほかの単語の下に付いて、それらにある意味を添えるもの。この点、△助詞または△助動詞に似ているが、助詞・助動詞は自由にどんな語にも付くのに対して、接尾語は、付く語が限られていて、慣用のものだけにしか付かない。接尾語が付いてできた語の品詞は、接尾語によってきまる。そこで、これが付いて、その語の品詞が変わらないものと、変わるものとの2種がある。</p> <p>(1)品詞が変わらないもの…<u>入道</u>どの・<u>私</u>ども・<u>君</u>たち・<u>これ</u>ら・<u>殿</u>ばら</p> <p>(2)品詞が変わるもの</p> <p>①名詞を作るもの…<u>深</u>み・<u>高</u>さ・<u>眠</u>げ</p> <p>②動詞を作るもの…<u>春</u>めく・<u>鄙</u>(ひな)ぶ・<u>黄</u>ばむ・<u>花</u>やく</p> <p>③形容詞を作るもの…<u>男</u>らし・<u>を</u>こがまし・<u>な</u>まめかし</p> <p>④形容動詞を作るもの…<u>し</u>のびやかに・<u>悲</u>しげなり</p> <p>⑤副詞を作るもの…<u>身</u>づから・<u>手</u>づから</p>
[そ]	候文 (そうろうぶん)	<p>文語文のうち、おもに書簡に用いられた一種の文体。「候(そうろう)」という語が「あり」の代わりに、また△補助動詞として、文末に</p>

		<p>多く用いられたところからこの名がある。平安時代から私的な文書に使われはじめ、鎌倉時代以後は盛んに用いられるようになり、江戸時代になると公文書にも使われた。明治以後にも長く残っていたが、現在は私的にもきわめて少なくなった。</p>
	促音 (そくおん)	<p>現代の表記で、少し小さい「っ」で書かれる音韻。「つまる音」ともいう。「あっぱれ」「いっさい」など。漢字音の影響によって生じたといわれるが、古くはその表記法が動揺していて、その位置に何の表記もなかったことがある。現代の表記法が確立したのは平安時代末期(12世紀)ごろという。</p>
	促音便 (そくおんびん)	→音便(おんびん)
	尊敬語 (そんけいご)	<p>△敬語の一種。話の中のある人を敬うために、その人に関することに特別な表現をする言い方。文語の場合を分類すると、次のようになる。</p> <p>(1)尊敬の意の接辞を用いる</p> <p>①接頭語…<u>み</u>(一代・一心)・<u>おん</u>(一身・一有り様)・<u>貴</u>(一兄)・<u>尊</u>(一父)・<u>令</u>(一息)・<u>高</u>(一見)・<u>芳</u>(一翰(かん))</p> <p>②接尾語…<u>殿</u>(入道一)・<u>氏</u>(田中一)・<u>女史</u>(跡見一)・<u>うぢ</u>(近藤一)</p> <p>(2)尊敬の意の単語を用いる</p> <p>①名詞…<u>上</u>・<u>君</u>・<u>お</u>こと</p> <p>②代名詞…<u>貴</u>殿・<u>み</u>まし</p> <p>③動詞…<u>あ</u>そばす(=ナサル)・<u>い</u>ます・<u>ま</u>す・<u>ま</u>します・<u>お</u>はす・<u>お</u>はします(=イラツ</p>

	<p>シャル)・大殿ごもる(=才寝(やす)ミニナル)・のたまふ(=オツシャル)・おぼす・おぼしめす(=才思イニナル)・きこす・きこしめす(=才聞キニナル・召シ上ガル)・御覽す(=ゴランニナル)・しろす・しろしめす(=才知リニナル・オ治メニナル)・たぶ・たまふ(=クダサル)</p> <p>④補助動詞…おはす・おはします(眺めー)・たまふ(書きー)・たぶ・たうぶ(侍りー)。</p> <p>⑤助動詞…る・らる・す(下二段)・さす・しむ(上代は、す(四段)も)</p>
尊敬の助動詞 (そんけいのじようどうし)	<p>尊敬の意を表す助動詞。文語では「る」「らる」「す(下二段)」「さす」「しむ」に、この用法がある。「す」「さす」「しむ」は使役の意から尊敬の意に転じたもので、単独で用いられることがなく、常に「たまふ」「らる」のような△尊敬語に重ねて用いられる。「つゆまどろまれず明かしかねさせたまふ」〈源・桐壺〉「この大臣(おとど)の作らしめ給へりける詩を」〈大鏡・時平〉。なお、上代には「す(四段)」も用いられた。「この岳(をか)に菜摘ます(=摘ンテイラツシャル)児(こ)」〈万・1・1〉</p>
尊大語 (そんだいご)	<p>自分の権威を誇示したり、自分の地位の高さを明らかにしたりするために、話し手が自分に対して尊敬語を用いたり、聞き手の動作に謙讓語を用いたりして、話し手である自分を高める言い方。「大納言これ聞き</p>

		<p>てのたまはく、「船に乗りては、楳取(かぢとり)の申すこと(=コノウタシニ申シアゲルコト)をこそ、高き山とたのため、などかく頼もしげなく申すぞ(=コノワタシニ申シアゲルノダ)』」〈竹取・竜の頸の玉〉</p>
〔た〕	<p>対偶中止法 (たいぐちゆうちゅうしほう)</p>	<p>2つの文節が対等の関係にあるとき、下の対等語の意味(打消、受身など)が、上の対等語に及び、上の対等語が連用形の△中止法をとることをいう。たとえば、「<u>今めかしく</u>、<u>きらかならねど</u>」〈徒然・10〉の「ね」は打消の助動詞であるが、「きらかなり」だけを打ち消しているのではなく、「今めかし」も打ち消している。この場合の「今めかしく」が対偶中止法である。「走る獣は、をりに<u>こめ</u>、<u>くさを</u>をさせ、飛ぶ鳥は、<u>翼をきり</u>、<u>籠(こ)</u>に入れられて」〈徒然・121〉は、「させれ」の「れ」、「入れられて」の「られ」は受身の助動詞であるが、いちいち「こめられ」「きられ」といわないで「こめ」「きり」というように対偶中止法が用いられている。</p>
	<p>体言 (たいげん)</p>	<p>事物の実体を表す語の意。△名詞・△代名詞・△数詞の3品詞がこれに属するとされるが、日本語の文法上の性質からみて、これら3つを区別する必要はないと考えられるので、代名詞と数詞を名詞の中を含め、体言すなわち名詞であるとする説がふつう認められている。体言の文法上の特質としては、(1)それだけで△文節を構成することができる (2)活用がない</p>

	(3) 文の主語になることができる (4) △格助詞を伴うことができる などが挙げられる。↔ 用言
体言止め (たいげんども)	和歌などにおいて、たとえば「駒(こま)とめて袖(そで) 打ちはらふかげもなし佐野のわたりの雪の夕暮れ」〈新古今・冬〉のように、第5句を体言でいきる言い方をいう。俳句や散文などにもこの種の言い方があり、これも「体言止め」ということがある。体言止めは、いいきったあとに余韻・余情が残るので、詠嘆の心情を表現する場合に用いられる。新古今集には、この修辞法が多く使われていて、1つの特徴をなしている。
対等語 (たいとうご)	→対等の関係 (たいとうのかんけい)
対等の関係 (たいとうのかんけい)	2つまたはそれ以上の△文節が、互いに対等の資格で連なっている場合、そのそれぞれの文節を対等の関係にあるといい、それぞれの文節を「対等語」という。対等の関係を「並立(へいりつ)の関係」とよび、対等語を「並立語」と名づける説もある。この関係には、次の2つの場合がある。 (1) 2つ以上の用言の連なっているもの。「生まれ、死ぬる人、いつ方より来たりて、いつ方へか去る」〈方丈〉「神楽(かぐら)こそ、なまめかしく、おもしろけれ」〈徒然・16〉 (2) 2つ以上の体言の連なっているもの。「作文(さくもん)、和歌、管絃(くわんげん)の道、また有職(いうそく)に公事(くじ)の方、人の鏡ならんこそいみじかるべけれ」〈徒然・1〉

	「山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば」〈古今・冬〉 対等語は、その位置を互いにとりかえても(1)の用言の場合には語形の一部に変化が生じるが)その関係は変わらない。たとえば、「神楽(かぐら)こそ、なまめかしくおもしろけれ」は、「神楽こそ、おもしろく なまめかしけれ」と言いかえることができる。																																													
代名詞 (だいめいし)	△名詞(体言)の一種。事物の名に代えて、直接にそのものを指示するという語。これには次の2種類がある。 (1) 人代名詞 自称は話し手(書き手)が自己をさし示すのに用い、対称は、相手(聞き手・読み手)をさし示すのに用い、他称は相手以外の者をさし示すのに用いる。他称のうちで近称は話し手に近い者を、中称は相手に近い者を、遠称は話し手からも相手からも遠い者をさす。不定称は話し手にわからない者、また、さす者がきまらない場合に用いる。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自称</th> <th rowspan="2">対称</th> <th colspan="3">他称</th> <th rowspan="2">不定称</th> </tr> <tr> <th>近称</th> <th>中称</th> <th>遠称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あ・あれ</td> <td>な</td> <td>こ</td> <td>そ</td> <td>か</td> <td>た</td> </tr> <tr> <td>わ・われ</td> <td>なれ</td> <td>これ</td> <td>それ</td> <td>かれ</td> <td>たれ</td> </tr> <tr> <td>おのれ</td> <td>なんぢ</td> <td></td> <td></td> <td>あ</td> <td>なにがし</td> </tr> <tr> <td>それがし</td> <td>そこ</td> <td></td> <td></td> <td>あれ</td> <td>それがし</td> </tr> <tr> <td>わらは</td> <td>そち</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>余・予</td> <td>そなた</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自称	対称	他称			不定称	近称	中称	遠称	あ・あれ	な	こ	そ	か	た	わ・われ	なれ	これ	それ	かれ	たれ	おのれ	なんぢ			あ	なにがし	それがし	そこ			あれ	それがし	わらは	そち					余・予	そなた				
自称	対称			他称				不定称																																						
		近称	中称	遠称																																										
あ・あれ	な	こ	そ	か	た																																									
わ・われ	なれ	これ	それ	かれ	たれ																																									
おのれ	なんぢ			あ	なにがし																																									
それがし	そこ			あれ	それがし																																									
わらは	そち																																													
余・予	そなた																																													

	(2) 指示代名詞																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>近称</th> <th>中称</th> <th>遠称</th> <th>不定称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">事 物</td> <td>こ</td> <td>そ</td> <td>か かれ あ あれ</td> <td>いづれ</td> </tr> <tr> <td>これ</td> <td>それ</td> <td>あ あれ</td> <td>なに</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>ここ</td> <td>そこ</td> <td>あそこ あしこ かしこ</td> <td>いづこ いづく いづら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">方 向</td> <td>こち</td> <td>そち</td> <td>あち あなた あなた</td> <td>いづち</td> </tr> <tr> <td>こなた</td> <td>そなた</td> <td>かなた</td> <td>いづかた</td> </tr> </tbody> </table>		近称	中称	遠称	不定称	事 物	こ	そ	か かれ あ あれ	いづれ	これ	それ	あ あれ	なに	場 所	ここ	そこ	あそこ あしこ かしこ	いづこ いづく いづら	方 向	こち	そち	あち あなた あなた	いづち	こなた	そなた	かなた	いづかた
	近称	中称	遠称	不定称																									
事 物	こ	そ	か かれ あ あれ	いづれ																									
	これ	それ	あ あれ	なに																									
場 所	ここ	そこ	あそこ あしこ かしこ	いづこ いづく いづら																									
方 向	こち	そち	あち あなた あなた	いづち																									
	こなた	そなた	かなた	いづかた																									
	このほか、△反照代名詞と呼んで、「おの」「おのれ」などの語を区別していることもある。																												
濁音 (だくおん)	ガ・ザ・ダ・バ行と、それに応じる△拗音(よゝおん)の△音節(ギャ・ギユ・ギョ・ジャ・ジュ・ジョ・ヂャ・チュ・ヂョ・ビャ・ピュ・ピョ)をいう。すなわち、有声・無声の対立をもつ有声子音を含む音節をいう。▶ 清音(せいおん)・半濁音(はんだくおん)																												
他動詞 (たどうし)	動作や作用を他に対するはたらきかけ、または他をつくりだすはたらきとして表す動詞。「水を流す(サ四)」「湯を沸かす(サ四)」のように、一般に「…を…する」という形をとり、「水流る(ラ下二)」「湯沸く(カ四)」の△自動詞と区別される。他動詞だけの動詞には、打つ・殺す・招く(四)・着る(上一)・蹴(け)る(下一)・投ぐ・兼ぬ(下二)などがある。																												

	古く、日本語の他動詞は、その動詞の表す事態が、当事者の意図に基づいて起きたことを述べる場合に用いたとされ、目的語との関係で他動詞が決定される西欧語の他動詞とは、その用法が異なっていたとされる。 ↔自動詞
タリ活用 (たりにかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…たり」といいきるもの。この活用形は、元來副詞「…と」の形にラ変動詞「あり」が結合してできたもので、「…と・あり」から「…たり」に転じたもの。タリ活用は漢語をもととする場合が多く、中古・中世の漢文訓読体の文章や和漢混交文の中に見られることが多い。(たら・たりと・たり・たる・たれ・たれ)と活用する。「青山峨々 <small>(かみ)</small> として松吹く風索々 <small>(さくさく)</small> たり」〈平家・10・千手前〉
田居にの歌 (たみにのうた)	「手習いの詞(ことば)」の1つ。同じ仮名をくり返すことなくつくった47字の歌詞で、天禄元年(970)源為憲(ためのり)の著した「口遊(くちずさみ)」に見える。たみ(田居)にい(出)で な(菜)つ(摘)むわれ(我)をぞきみ(君)め(召)すと あさ(求食)りお(追)ひゆ(行)くやましろ(山城)の う(打)ち象(酔)へるこ(子)ら もは(藻葉)ほ(干)せよ えふね(舟)か(繁)けぬ 作者は不明。成立は「口遊」の著作に近いころかと思われる。「△あめつちの詞」と違って、ア行の「え」とヤ行の「え」の区別がない。▶ 本文「あめつちの詞(あめつちのことば)」

	<p>単音 (たんおん)</p> <p>音声学のうえでの最小単位。簡単にいえば、単独に発音することのできる音声である。単音には△母音と△子音とがある。たとえば、ア (a) も単音、カ (ka) の (k) も (a) も単音である。カ (ka) のように単音が2つ連なったものは、別に△音節 (おんせつ) という。▶ 音節</p>
	<p>断定の助動詞 (だんていのじょどうし)</p> <p>ある事柄を「…である」「…だ」と判断し、いいきる意を表す助動詞。文語では「なり」「たり」がこれに属する。「たり」は体言だけに付く。また「たり」は中古には用例が少なく、中世以降、△和漢混交文などに多く用いられた。伝聞推定の「なり」や完了の「たり」とは、他の語への接続や意味のうえから区別される。「心憂 (憂) の事や、翁丸 (おきなまる) なり」〈枕・うへにさぶらふ御猫は〉「忠盛 (ただもり) 備前守 (びぜんのかみ) たりし時」〈平家・1・殿上闇討〉＝指定の助動詞。</p>
	<p>単文 (たんぶん)</p> <p>△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。主語・述語の関係がただ1回しか成立していない最も単純なもの。 ▶ 複文 (ふくぶん) ・重文 (じゅうぶん)</p> <p>花の色は <u>移りにけりな。</u> 主 述 竹取りの翁 (おきな) といふ者 <u>ありけり。</u> 主 述</p>
[ち]	<p>中止法 (ちゅうしほう)</p> <p>△連用形の用法の1つ。文を途中で一時中止する用法で、前の△文節と後の文節とが対等の関係にある場合が多い。この中止法に</p>

	<p>立つ連用形を、特に中止形ということがある。「山吹の清げに、藤 (ふぢ) のおぼつかなき様したる」〈徒然・19〉「遠き家は煙 (けぶり) にむせび、近きあたりはひたすら焰 (ほのほ) を地にふきつけたり」〈方丈〉</p>
	<p>直音 (ちよくおん)</p> <p>△五十音図の各音節。すなわち、△母音だけから成る△音節、または△子音と母音とから成る音節。現代の表記では、仮名1字で書く。↔ 拗音 (ようおん)</p>
	<p>陳述の副詞 (ちんじゆつのおくし)</p> <p>→叙述の副詞 (じょじゆつのおくし)</p>
[つ]	<p>対句 (ついく)</p> <p>修辞法の1つ。意義の相対する2つ以上の同形式の句を並べて、対立させた形式。意味の明瞭 (めいりょう) ・音調の快感・暗唱のしやすさなどという効果をねらって、同語の繰り返しの発達したものである。元来は漢詩文の修辞であるが、わが国でも古くから用いられ、祝詞 (のりと) ・記紀歌謡・万葉集 (長歌)、その他語り物などに好んで用いられた。「賢 (さか) し女 (め) をありと聞かして麗 (くは) し女をありと聞こして、さ婚 (よは) ひにあり立たし婚ひにあり通はせ」〈記・上〉「落花の雪に踏み迷ふ片野の春の桜狩り、紅葉の錦 (にしき) を着て帰る嵐 (あらし) の山の秋の暮れ……」〈太平記・2〉＝対偶法。</p>
	<p>月並調 (つきなみちよう)</p> <p>古い伝統を守るだけで、新しみのない卑俗な俳句をいう。もと正岡子規 (まさおかしき) の新派運動から見て、伝統を守る旧派に対し</p>



		て「月並風（つきなみふう）」といったところから生じた。「月並」とは月次（つきなみ）で、例月の俳句会をいう。
〔て〕	定家仮名遣い (ていけいかなづかい)	平安時代の末にまとめられた仮名遣いの規範。藤原定家の書と考えられる「下官集（げかんとしゅう）」に「を お」「えへ系」「ひゐい」の3類8字について約70語を挙げ、「をみなへし」「おく山」「おもふ」「ふえ」のようにそれぞれ用いるべき仮名を示している。これは、当時混乱していた仮名の使い方を正そうとして、その準拠を平安後半期の文献に求めたものである。俗に、行阿（ぎょうあ）の撰（せん）した「仮名文字遣い」（貞治2年、1363年以後の成立）が「定家仮名遣い」の名で世に伝えられたが、これは、行阿の祖父親行が定家の承認を得た項目を根拠にし、「定家仮名遣い」を基にして増補したものと考えられる。実例を見ると、「定家仮名遣い」には「を（お）くつゆ」「お（を）しむ」「お（を）のへの松」など若干の誤りを含むが、現在では、この「お」「を」の使い分けはアクセントの違いによるものと理解されている。
	程度の副詞 (ていどのふくし)	△副詞の一種。△用言を修飾して、その状態の程度をくわしく限定する語。「やや深う入る所なりけり」〈源・若紫〉「山ぎは少しあかりて」〈枕・春はあげぼ〉。また、「いま暫（しばら）く」「ただ一人」などのように、他の副詞や数量・場所・方角などを表す体言を修飾する場合がある。

	丁寧語 (ていねいご)	△敬語の一種。話し手（書き手）が自分の言葉づかいを丁寧にすることによって、聞き手（読み手）に敬意を表す言い方である。「文語」では「侍り」「候ふ」の2語がこれで、動詞および補助動詞として用いられる。口語の「お」は丁寧語としても使われるが、文語の「御（おん）・（お）」は、尊敬の意をもつので、丁寧語ではない。「はやう、まだ下臈（げらふ）に侍りしとき、あはれと思ふ人侍りき」〈源・帚木（ははきぎ）〉「年改まりて何事かさぶらふ」〈源・浮舟〉（以上、動詞）「山の鳥も驚かしはべらむ」〈源・若紫〉「おのづからかたのやうにまねび候ひなむ」〈狭衣〉（以上、補助動詞）。丁寧語は尊敬語・謙讓語が転することが多く、区別のむずかしいことがある。
	定本 (ていほん)	流布している多数の△異本を研究し、伝承・書写の誤りを校訂して、最も正確に原本に近く到達したと考えられる本文。広義には厳密な意味でなく、標準的な本文というくらいに使われることもある。
	底本 (ていほん)	ある本の本文を校訂（他の伝本と比べて本文を訂（ただ）すこと）するに当たって、その主たるよりどころとした本。「藍本（らんほん）」（「青は藍（あい）より出（い）づ」の故事から）ともいい、また「定本」とまぎらわしいので、「そこほん」とも呼ばれる。一般に原本に近い古写本や流布本が底本に選ばれることが多い。▶ 校合（きょうごう）

	<p>転注 (てんちゆう)</p> <p>△六書(りくしよ)の1つ。漢字を変えずにその漢字の意義を転用することをいう。この場合、△字音が変わるのがふつう。たとえば、「楽(がく) (=音楽)」は常に人の心をなごやかにし、たのしませるところから、「たのしむ」の意に転用され、音も「ラク」と変わる類。▶ 六書(りくしよ)</p>
	<p>伝聞推定の助動詞 (でんぶんすいていのじようどうし)</p> <p>ある事実を他から聞いたことにもとづいて述べ(伝聞)、また、ある根拠にもとづく不確実な判断で、事実をその音・声や周囲の状況から推測・判断して述べる(推定)助動詞。伝聞は口語の「…そうだ」、推定は口語の「…ようだ」と言い換えられる。これに属する文語の助動詞は、活用語の終止形に接続する「なり」である。「この十五日になむ月の都よりかぐや姫の迎へにまうで来(く)なる(伝聞=来ルソウデス)」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「吉野(よし)なる夏実(なつみ)の川の川淀(かはよど)に鴨(かも)ぞ鳴くなる(推定=鳴イテイルヨウダ)山かげにして」〈万・3・378〉。この用法は江戸時代以来、詠嘆を表すとされていたが、今では伝聞推定という説が広く認められている。なお、助動詞「けり」も過去の事実の伝聞の意味を表す場合がある。「昔、男ありけり(=イタソウダ)」〈伊勢・2〉</p>
【と】	<p>頭韻 (とういん)</p> <p>→押韻(おういん)</p>

	<p>唐音 (とうおん)</p> <p>→字音(じおん)</p>
	<p>動詞 (どうし)</p> <p>品詞の1つ。△自立語で△活用があり、言い切りの形の語尾がウ段(文語のラ変だけがリ)となる△用言。それだけで述語になることができ、事物の動作・作用・存在を表す。活用のしかたから、文語動詞では9種類(四段・上一段・上二段・下一段・下二段・力変・サ変・ナ変・ラ変)、口語では5種類(五段・上一段・下一段・力変・サ変)に分けられる。別に、△自動詞・△他動詞の分け方や、△敬語動詞、△補助動詞の分け方もある。</p>
	<p>動詞型活用の助動詞 (どうしがたかつようのじようどうし)</p> <p>活用のしかたが動詞に準じている助動詞。文語では、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①四段型…む・けむ・らむ・す(尊敬)・ふ(継続)</li> <li>②下二段型…す・さす・しむる・るるる・つ</li> <li>③ラ変型…たり(完了)・り・けり・めり・なり(伝聞)</li> <li>④サ変型…むす</li> <li>⑤ナ変型…ぬ</li> </ol> <p>ただし、△活用形は動詞とまったく同じというのではなく、その活用形のいくつかを欠いているものもある。</p>
	<p>倒置 (とうち)</p> <p>修辞法の1つ。感動・余韻を表したり語勢を強めたり、または語調を整えたりするために、△文節の順序を変える表現法。和歌や会話に多い。「契(せき)きなかたみに袖(そで)をしばりつつ末(すえ)の松山(まつやま)波越(なご)さじとは」〈後拾遺・恋4〉</p>

読点 (とうてん)	→句読点 (くとうてん)
ト書き (とがき)	演劇などの台本で、せりふのあと、または前に、出演者の動作などを指示した部分。 たとえば、 ○正兵衛「もはや逃れぬわが命、この場において潔く」 ト腹を切らうとする。 〈歌舞伎・十六夜清心(しじよひせいしん)〉 ○白蓮「……内に居るから案じるな」 ト奥よりお虎(とら)出て来たり、 お虎「御新造様、さぞお嬉(うれ)しうござりませう。……」〈歌舞伎・十六夜清心〉のように、「ト」から書き始めるのでこの名が生まれた。のちには、必ずしも「ト」がなくても、この部分を「ト書き」とよぶ場合がある。
特殊活用型の助動詞 (とくしゆかつようがたのじようどうし)	活用しかたが特殊で、△用言のいずれにも似ていない助動詞。文語では、「ず」(打消)「まし」(反実仮想)「き」(過去)「じ」(打消推量・打消意志)「らし」(推量)がこれに属する。このうち「じ」「らし」を△無変化型の助動詞として、別に立てる考えもある。
独立語 (どくりつご)	△主語・△述語・△修飾語などのいずれにも属せず、比較的独立して用いられる△文節。形のうえでは独立しているように見えるが、意味のうえで関連をもつ。感動・呼びかけ・応答・提示・接続などの場合に用いられる。「あはれ今年の秋もいぬめり」〈千載・雑上〉

		「いでや、この世にうまれては」〈徒然・1〉 「さて冬枯れのけしきこそ、秋にはをさをさ劣るまじけれ」〈徒然・19〉＝独立節。
〔な〕	ナ行変格活用 (なぎようへんかくかつよう)	文語動詞の活用の1つ。△五十音図のナ行における△母音の転換(ナ・ニ・ヌ・ネ)と、連体形に「る」、已然形に「れ」の添加とを合わせた活用形式をもつもの。これに属する動詞は、文語の「死ぬ」「往(い)ぬ」の2語であるが、「死ぬ」は口語では五段活用となり、「往ぬ」は標準的な口語では用いられない。完了の助動詞「ぬ」が、ナ行変格と同形式の活用をするのは、「往ぬ」と意味において通うものがあるからだと思われる。「ぬ」の語源は「往ぬ」からであるとの説もある。「な・に・ぬ・ぬる・ぬれ・ね」と活用する。
	ナリ活用 (なりかつよう)	文語形容動詞の活用の1つ。終止形が「…なり」の形をとる。「きよらなり」「静かなり」など。元来、「…に」の形と、ラ変動詞「あり」との融合したものであるから、活用の形はラ行変格と同じである。しかし、元の形である「…に」もそのままで連用形として認めるので、その点でラ変と異なる。「夕日はなやかにさして、…鳥(からす)のねどころへ行くとて三つ四つ二つなど飛びゆくさへあはれなり」〈能因本枕・春はあけぼの〉
〔に〕	二句切れ (にくぎれ)	→句切れ (くぎれ)
	入声 (にっしょう)	→四声 (しせい)

〔は〕	排律 (はいりつ)	漢詩の一体。△絶句・△律詩とともに近(今)体詩の1つ。絶句は4句、律詩は8句と定められているのに対し、句数はおおよそ12句以上できまりがない。首聯(しゅれん)と尾聯(びれん)は律詩に準じ、中間の聯はそれぞれ△対句をなしている。杜甫(とほ)の「傷春」(5言)、吳穀人の「仏手柑」(7言)はその例である。
	跋 (ばつ)	著書の末尾に記す文で、「奥書(おくがき)」または「後書(あとがき)」ともいう。その書の由来などを研究する場合に参考になることが多い。たとえば、枕草子の跋文は、その成立事情や、流布の経緯、題号の問題などについて、重要な問題を提供している。 ↔ 序
	撥音 (はつおん)	現代の表記で「ん」「ン」と書かれる音韻。「はねる音」ともいう。漢字音の影響によって生じたといわれるが、古くはその表記法が動揺していて、その位置に表記がなかったり、「む」や「い」を用いたりした。現代のような表記法が確立したのは、だいたい平安時代末期(12世紀)ごろという。
	撥音便 (はつおんびん)	→音便(おんびん)
	反語 (はんご)	話し手が、肯定あるいは否定の確信をもっていながら、一応疑問の形で相手に問いかける言い方。疑問に対する答えを求めるのではなく、確信している答えが発せられるのを期待することによって、強調または余情を投げかける表現法である。文語では、「や」「か」のほか、「やは」「かは」「やも」「か

		も)を使うことが多い。「寝(い)もぬらめやも(=ネラレヨウカ、イヤ、ネラレハシナイ)古(いにしへ)思ふに」〈万・1・46〉「月やあらぬ春や昔の春ならぬ」〈伊勢・4〉「あとまで見る人ありとはいかでか知らん(=ドウシテ知ロウカ、イヤ、知ルハズガナイ)」〈徒然・32〉
	反実仮想 (はんじつかそう)	すでに存在する事実に対抗の状態を仮定して、その仮定のもとである状態を想像して述べる推量表現。「もし…だったら…だろう(のに)」と言い換えられる。古代は「…ませば…まし」の形、中古以後は「…ましかば…まし」「未然形+ば…まし」の形で表されることが多い。「わが背子(せこ)と二人見ませばいくばくかこの降る雪のうれしからまし」〈万・8・1662〉「まして竜(たつ)を捕らへたらましかば、又こともなく、我は害せられなまし」〈竹取・竜の頸の玉〉
	反照代名詞 (はんしょうだいめいし)	△代名詞の1つ。「おの」「おのれ」「自分」などのように、自称・対称・他称にかかわりなく、その人自身、その物自体をそれに再び戻ってさし示す代名詞である。「橘(たちばな)はおのが枝枝なれれども玉に貫(ぬ)くとき同(おや)じ緒に貫く」〈天智紀〉「人はおのれ(=自分自身)をつづまやかにし」〈徒然・18〉=反射代名詞・再帰代名詞。
	反切 (はんせつ)	中国で、字音を示すために用いた1つの方法で、求める字の頭音と同じ頭音の字を上、求める字の△韻と同韻の字を下において、この2字から字音を求めるもの。たとえば「東

	<p>について、「徳紅反」とあれば、徳 (tok) の頭音 (t) と、紅 (hong) の韻 (ong) とによって tong の音を導き出す方法。なお、唐代までは「〇〇反」、宋 (そう) 以後は「〇〇切」といい、日本では、「かへし」ともいった。</p>
半濁音 (はんたくおん)	<p>バ行とそれに応じる△拗 (よう) 音の△音節 (ピャ・ピュ・ピョ) をいう。半濁音といっても、音韻上では、P は b に対するもので、b が有声音・濁音であるのに対し、P は無声音・清音という関係にある。「半」というのは、中世に濁音を「◦◦」の印で示したのに対し、半濁音を「◦」で示すところからきているという。「◦」の符号は元来は古辞書で清音に読む印として使われていたが、室町時代末期ごろから半濁音の符号として用いられるようになった。▶ 清音 (せいおん) ・濁音 (たくおん)</p>
版本 (はんぼん)	<p>印刷された図書・書物の意。板本・刻本・摺 (す) り本・摺 (す) り巻とも称する。現存する版本で最古のものは、称徳天皇の発願による1枚板の「百万塔陀羅尼 (だらに)」〈宝亀元年 (770) 〉である。平安時代末期から鎌倉時代には、「春日 (かすが) 版」が最も名高く、奈良興福寺の僧院が講学に必要な経典を出版した。ついで奈良の版本の影響のもと、高野山の「高野版」、紀州の「根来 (ねころ) 版」、延暦 (えんりやく) 寺の「比叡 (ひゑい) 版」が現れ、また京都では知恩院を中心とする「浄土教版」、また別に「東</p>

		<p>寺版」の開版を見るに至った。室町時代には、宋 (そう) ・元の刊本が輸入され、五山中心の禅僧によってその複製が行われ (五山版)、仏典・儒書が盛んに刊行された。室町時代末期に至ると西洋および朝鮮から活字印刷の技術がそれぞれ別に輸入され、出版はいよいよ盛んになり、ついに江戸時代初期の活字本黄金時代を迎えた。刊本の需要の増加につれて、版本は活版から多く製版印刷に転じ、営業者の版元による「町版」の普及を見るに至り、仮名草子・浮世草子の類が刊行され世に迎えられた。さらに、江戸時代中期以降には、読本 (よみほん) ・洒落 (しやれ) 本などのほか、国学関係の書、俳諧 (はいかい) 書などの版本が盛んに出版された。</p>
〔ひ〕	<p>比況の助動詞 (ひきようのじようし)</p>	<p>1つの意義を他の意義に比べ、たとえて述べる助動詞。比喻 (ひゆ) の助動詞ともいう。述べようとする事物・状態を具体化してわかりやすくしたり、また、あからさまに表現できない事柄について抽象化したり、婉曲 (えんきよく) にしたりするときに用いる。文語では「ごとし」がこれに属する。「道に長じぬる一言、神のごとしと人思へり」〈徒然・145〉</p>
	<p>被修飾語 (ひしゅうしよくご)</p>	<p>文の成分の1つ。修飾語によって修飾される語または△文節。国語では語序のまきりがあり、修飾語のあとに来るのがふついで、特別の場合を除き先行することはない。 ▶ 修飾語 (しゅうしよくご)</p>
	<p>非情の受身 (ひじょうのうけみ)</p>	<p>→ 受身の助動詞 (うけみのじようし)</p>

否定の助動詞 (ひていのじようどうし)	→打消の助動詞 (うちけしのじようどうし)
比喩・譬喩 (ひゆ)	ある事物を表現する場合、これに類似する他の事物によって表現すること。これには直喩・隠喩・諷喩 (ふうゆ) ・活喩がある。(1)直喩…「たとへば」「あたかも」「如 (ごとし)」「似たり」などの語を用いる。「蟻 (あり)のごとく集まる」(2)隠喩…「たとへば」「如し」などの語を用いないでいう。「雪の肌」「氷の刃 (やいば)」(3)諷喩…裏面にある意味をこめて婉曲 (えんきよく) にいう。たとえ話。寓話。「井の中の蛙 (かわず) 大海を知らず」(4)活喩…△擬人法に同じ。「花笑ひ鳥歌ふ」
表意文字 (ひよういもじ)	「意字」ともいう。漢字など、おのおのの文字がある意味に対応している文字。意味だけを表すのではなく、音をも表すことから表意文字の名は適当でないとし、むしろ語と対応するのであるとして、表語文字という名が使われるようになった。↔ 表音文字 (ひようおんもじ)
表音文字 (ひようおんもじ)	「音字」ともいう。△字音がその言語に用いられる音の単位である△単音 1 個または△音節 1 個を表す文字。前者 (単音文字) にはローマ字などがあり、後者 (音節文字) には、日本の仮名文字などがある。↔ 表意文字 (ひよういもじ)
表語文字 (ひようごもじ)	→表意文字 (ひよういもじ)

平声 (ひようしやう)	→四声 (しせい)
平仄 (ひようそく)	→四声 (しせい)
平仮名 (ひらがな)	国語を表記する△表音文字 (音節文字)。古くは「かな」「かんな」といわれ、「△万葉仮名」を草書体にくずして書く「草仮名 (そうがな)」が、さらにやわらげられ、簡略化されてできた文字である。平仮名の字体が現行のものに一定したのは明治時代以後で、その以前には、異体の文字「△変体仮名」も併用された。平仮名の作者を弘法 (こうぼう) 大師とするのは根拠のない俗説で、中古初期、相当の年月にわたって、多くの人の手によって成立したものと推定される。平仮名は、最初、主として消息や和歌を記すのに用いられ、しだいに日記や物語類まで書かれるようになったらしい。当時、漢字・漢文は男子の専有物であり、女性は多く平仮名を用いたので、平仮名は「女手 (おんなて)」とも称されたが、男性も場合に依りて平仮名を利用し、和歌や物語などを記した。
品詞 (ひんし)	単語を性質・形態・用法にもとづいて分類した種別。個々の単語は、それぞれいずれかの品詞に所属することになり、また、所属品詞を確認することによって、その語の文法上の性質や職能を明らかにすることができる。単語を分類することを「品詞分類」というが、通常、△動詞・△形容詞・△形容動詞・△名詞・△副詞・△連体詞・△接

		<p>統詞・△感動詞・△助動詞・△助詞の10品詞に分類される。</p>
	<p>品詞の転成 (ひんしのてんせい)</p>	<p>1つの単語が、形はほぼもとのままで、もとの品詞の意味・用法が変わって、他の品詞としての性質をもつようになることをいう。</p> <p>(1)名詞に転成したもの…<u>光</u>・<u>遊び</u>(動詞から)、<u>遠く</u>・<u>辛子</u>(からし)(形容詞から)、<u>あはれ</u>(感動詞から) (2)代名詞に転成したもの…<u>君</u>(きみ)・<u>僕</u>(ぼく)(名詞から)</p> <p>(3)動詞に転成したもの…<u>悲しむ</u>(形容詞から) (4)形容詞に転成したもの…<u>騒がし</u>(動詞から)、<u>いとどし</u>(副詞から)</p> <p>(5)副詞に転成したもの…<u>つゆ</u>(名詞から)、<u>たとひ</u>(動詞から) (6)接続詞に転成したもの…<u>および</u>(動詞から)、<u>なほ</u>(副詞から) (7)感動詞に転成したもの…<u>あれ</u>(代名詞から)、<u>いかに</u>(副詞から) など。</p>
(ふ)	<p>複合語 (ふくごうご)</p>	<p>合成語ともいう。2つ以上の単語が合して、1つの意味を表す新しい単語になったものをいう。▶<u>熟語</u>(じゆくご)・<u>置語</u>(じようご)・<u>連濁</u>(れんたく)</p> <p>複合名詞…<u>山ざくら</u>・<u>落ち葉</u></p> <p>複合動詞…<u>旅立つ</u>・<u>高鳴る</u></p> <p>複合形容詞…<u>待ち遠し</u>・<u>かるがるし</u></p> <p>複合副詞…<u>誠に</u>・<u>何とぞ</u></p> <p>複合接続詞…<u>並びに</u>・<u>または</u></p>
	<p>副詞 (ふくし)</p>	<p>品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、主語になれず、主として△用言を修飾するものをいう。「<u>風雨</u><u>なほ</u>やまず」</p>

		<p>(動詞を修飾)「<u>紅葉</u><u>いと</u>うるはし」(形容詞を修飾)「<u>海上</u><u>きは</u>めておだやかなり」(形容動詞を修飾)。</p> <p>なお、次のような語は連用修飾語であるが副詞とは認められないから、区別する必要がある。</p> <p>(1)「<u>昔</u>(=名詞)男ありけり」「<u>草子</u>に歌一つ(=名詞)書け」</p> <p>(2)「<u>白く</u>(=形容詞)なりゆく山ぎは」</p> <p>(3)「<u>枝もたわ</u>わに(=形容動詞)なりたる」「<u>秋風</u><u>蕭々</u>(せうせう)と(=形容動詞)吹く」</p> <p>副詞は、その表す意味や機能のうえから、△状態の副詞・△程度の副詞・△叙述の副詞の3種に分けられる。それぞれの項を参照。</p>
	<p>副詞法 (ふくしほう)</p>	<p>△活用形の用法の1つ。主として、△形容詞・△形容動詞の連用形が、副詞のように用言を修飾する用法をいう。連用法ともいう。「<u>紫</u>だちたる<u>雲</u>の<u>細く</u>(=形容詞)<u>たなび</u>きたる」「<u>静かに</u>(=形容動詞)<u>思へば</u>」「<u>悠然と</u>(=形容動詞)<u>山</u>を見る」</p>
	<p>副助詞 (ふくじょし)</p>	<p>種々の語に付属してある意味を添え、△副詞のようにそれを受ける△文節を修飾する△助詞。文語では「<u>だに</u>」「<u>さへ</u>」「<u>すら</u>」「<u>のみ</u>」「<u>ばかり</u>」「<u>まで</u>」「<u>など</u>」がこれに属する。「<u>散りぬとも香</u>(か)<u>をだに</u>(=セメテ香リダケデモ。限定ノ意)残せ梅の花恋しき時の思ひ出(い)でにせむ」〈古今・春上〉「<u>春雨</u>ににほへる色も飽かなくに香(か)<u>さへ</u>(=香リマデガ。添加ノ意)なうかし」</p>

	山吹の花」〈古今・春下〉「和泉（いづみ）の国まで（＝帰着点ノ意）と平らかに願立つ」〈土佐〉
複文 (ふくぶん)	△主語・△述語の関係を基準として考えた文の構造の1つ。1つの文において、主語・述語の関係が△対等の関係でなく、2回以上成り立つ文、すなわち文中に従属節を含む文をいう。▶ 単文 (たんぶん) ・重文 (じゆうぶん)  「雨など 降るも をかし」〈枕・春はあけぼの〉 主 述 述 主
武士詞 (ぶしことば)	武士が味方に関して不吉なことを忌みきらって用いた△忌み詞の1つ。たとえば、戦場などで縁起をかつぎ、士気を鼓舞する必要から、「討たれて」を「討たせて」、「射られ」を「射させ」などといった例が軍記物語に見える。武者詞 (むしやことば) ・武家詞 (ぶけことば) ・陣中詞 (じんちゆうことば) ということもある。
付属語 (ふぞくご)	その語単独では△文節になることがなく、常に△自立語に付属して用いられるもの。自立語のように概念を表すことがなく、概念と概念との結びつきの関係や、概念に対する話し手の気持ちや態度を表す語で、△活用のある△助動詞と活用のない△助詞がこれに属する。「名利 <small>こ</small> につかは <small>れ</small> て 静かなる いとま なく 一生を 苦しむる <small>こ</small> そ 愚かなれ」〈徒然・38〉↔自立語

部立 (ぶだて)	歌集などで、歌を配列するために、部類・部門に分けること。たとえば、万葉集では、雑歌 (そうか) ・相聞 (そうもん) ・挽歌 (ばんか) ・正述心緒 (せいじゆつしんしよ) 歌 ・寄物陳思 (きぶつちんし) 歌 ・譬喩 (ひゆ) 歌に分けたり、勅撰 (ちよくせん) 和歌集では、四季 (春・夏・秋・冬) ・恋・物名 (もののな) ・賀・哀傷・羈旅 (きりよ) ・雑 (そう) ・雑体 (そうたい) ・連歌 (れんが) ・神祇 (じんぎ) ・釈教 (しゃくきよう) などに分けたりしているのが、それである。
普通名詞 (ふつうめいし)	△名詞の一種。同じ種類の事物に共通して用いられる普通一般の名詞をいう。たとえば、「人・山・川・花・月」など。「月・太陽」などは、この世に1つしか存在しないところから△固有名詞のように考えたいが、他と区別するためにつけられた名称でないから普通名詞と見る。また、「太郎」なども、長男の意であれば普通名詞、人名であれば固有名詞ということになる。
文 (ぶん)	言語単位の1つ。一続きの、あるまとまった思想を表していて、その終わりで音の切れるものをいう。文の定義づけは、簡単にはできないが、内にある思想内容と外に現れた言語形式の両面から考えてみると、(1) 文は事柄の表現に、さらにそれに関する言語主体の態度・気持ちなどの表現 (判断・推量・要求・感動など、すなわち陳述) が加わって1まとまりとなる、(2) 音の連続であり、前後には必ず音の切れ目がある、(3) 文の終わりには特殊の音調が加わり、



	<p>それによって文の断止が明らかに示される、(4)書きことばにおいては、文の終わりに句点「。」を付けるのがふつうである、などの特質をあげることができる。このように、文法上の「文」は、ことばによって1つのまとまった思想や判断・情緒を相手に伝達するものであるから、構造上1つの△文節のものもあり、成分としては、△主語・△述語・その他の要素が省略される場合もある。</p>
文語 (ぶんご)	<p>△口語に対することばで、本来は書きことば(文章語)のことであるが、ふつうには、現代語に対する古典語という意味に用いることが多い。特に、古典語の中でも、主として、その標準的なものとして考えられてきた中古の文法にもとづく言語体系をさす場合がある。「文語文」とか「文語文法」という場合は、この場合に近い。↔口語</p>
文節 (ぶんせつ)	<p>言語単位の1つで、単語と文の中間に位置するもの。文素・語節とよぶこともある。文を実際上の言語として不自然でないまでにできるだけ細かく区切った場合の1つの区切りをいう。実際に用いる言語として意味のわかる最小の一区切り(意味上の単位)であり、外形上からは息の一段落と一致するところ(音声上の単位)である。つまりそれだけはいつも一続きに発音され、その前後に音の切れ目を置くことができる。構成上からは1単語(△自立語)から成るものと、2つ以上の単語(自立語1つと△付属語1つ以上)から成るものがあり、文節が</p>

	<p>文を構成する場合の関係についてみると、続く文節と切れる文節とに分けられる。「よどみに 浮かぶ うたかたは かつ 消え かつ 結びて 久しく とどまりたる ためし なし」〈方丈〉</p>
文体 (ぶんたい)	<p>文章は、その記載形式や語彙(ごい)、もしくは表現法によって、さまざまな特殊性や類型を生じる。その、それぞれの型を文体とよぶ。したがって、型に分ける基準によって、いろいろな面から文体を設定することができる。たとえば、</p> <p>(1)記載形式による——漢文体・宣命(せんみょう)体・東鑑(あづまかみ)体</p> <p>(2)語彙・語法による——候文体・和文体・漢文直訳体・文語体・口語体</p> <p>(3)修辞による——散文体・韻文体・四六駢儷(へんれい)体など。</p>
文の種類 (ぶんのしゅるい)	<p>文の構造のうえから、特に△主語・△述語の関係基準として、△単文・△複文・△重文の3種に分ける場合と、文の叙述のしかたと、切れる文節に現れる形のうえの特徴から、△平叙文・△疑問文・△命令文・△感動文の4種に分ける場合がある。これらの分類は、国語の性格からいって、主語・述語の関係だけを基準としたり、叙述のしかたや特徴だけを基準としたりしているので、明確な分類とはいいいにくい。</p>
{へ}	<p>平叙文(へいじよぶん)</p> <p>文をその性質上から分類した場合の一種で、肯定・否定・推量・決意・比況など、ふつうの意味を叙述するもの。切れる△文節が</p>

	△用言または△助動詞の終止形で終わるのがふつうだが、文語では△係り結びの場合があって、「ぞ」「なむ」には連体形、「こそ」には已然形で結ぶ。「かきつばた咲きたり」(肯定)「みな人見知らず」(否定)「飛び降るとも降りなむ」(推量)「早く行かむ」(決意)「花の散るは吹雪のごとし」(比況) ▶ 文の種類 (ぶんのしゆらい) ・ 感動文 (かんだうぶん) ・ 命令文 (めいれいぶん) ・ 疑問文 (ぎもんぶん)
並立語 (へいりつご)	→ 対等の関係 (たいとうのかんけい)
並列助詞 (へいれつじよし)	△助詞の1つ。種々の語に付いて、並列する意を示すもの。文語では「と」「の」「や」「か」などがある。「夏と秋とゆきかふ空のかよひ路は」〈古今・夏〉「唐(から)の大和(やまと)ゆめづらしくえならぬ調度ども並べおき」〈徒然・10〉「人々の花や蝶(てふ)やとめづるこそはかなうあやしけれ」〈堤中納言・虫めづる姫君〉「あるかなきかにうつる朝顔」〈源・朝顔〉。ただし、助詞の分類において並列助詞を立てない場合は、右の「と」「の」は△格助詞、「や」(間投助詞ともする)、「か」は△係助詞に含めて扱う。本書もその立場をとっている。＝並立助詞。
並立の関係 (へいりつのかんけい)	→ 対等の関係 (たいとうのかんけい)
変体仮名 (へんたいがな)	仮名の1つ。現在一般に用いられる字体以外の異体の△平仮名をいう。一口に、平仮名と

		いっても字源の漢字の違いや、くずし書きの程度によって、種々の字体のものが生まれて、並び行われてきたが、明治時代末期ごろから現在の字体だけが、ふつうに使用され、他は「変体仮名」と称され、書道などにだけ用いられるようになった。
〔ほ〕	母音 (ほいん)	△子音に対する名称で、氣息の通る路(みち)で閉鎖または狭めの起きない音。国語にふつうに用いられる母音は、a・i・u・e・oの五音である。↔ 子音
	方言 (ほうげん)	1つの国語が、地方によって別々に発達して、音韻・文法・語彙(ごい)のうえで、いくつかの言語団に分かれたときに、それぞれの分団の言語全体をさして、方言という。方言が生じるのは、各地域の社会状態の特殊性や、各地間の交通の疎隔によることが多い。万葉集の「東歌(あづまうた)」や「防人(さきもり)の歌」には、当時の東国方言がみえる。
	補助形容詞 (ほじよけいようし)	補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△形容詞をいう。△用言であって、もとの意味を失い、△助動詞と同じ用法をもつようになったもの。「 <u>天氣がよくない</u> (口語)」の「ない」や、「木々の木の葉、まだいと繁(しげ)うはなうて」〈能因本枕・正月一日は〉の「なし」がこれに当たる。
	補助動詞 (ほじよどうし)	△補助用言の1つ。他の語に付いて、これに付属的な意味を添える△動詞をいう。△用言であって、もとの意味を失い、△助動詞と同じ用法をもつようになったもの。「そ

	<p>の本を取ってください(口語)。文語では、用法上からは次のように分類することができる。</p> <p>(1) 「に」「にて」とともに△体言に付いて、指定の「である」の意を表す。「雪の降りたるはいふべき(サマ)にもあ<u>らす</u>」〈枕・春はあけぼの〉「渡し守にて<u>候ふ</u>」〈謡・隅田川〉</p> <p>(2) 形容詞・形容動詞に付く「ある」の意味の動詞。「うつくしう<u>侍り</u>」「賢うお<u>はします</u>」</p> <p>(3) 動詞の連用形に付いて、敬意を表す動詞。「御子さへ生まれ<u>給ひぬ</u>」〈源・桐壺〉「あはれに見<u>奉る</u>」「竹の中より見つけ聞<u>こえたりしかど</u>」〈竹取・かぐや姫の昇天〉「<u>ぜひもなくおもしろう</u>狂ひ<u>候ふ</u>を見<u>候ふよ</u>」〈謡・隅田川〉</p> <p>(4) 「て」を伴う動詞に付く動詞。「聞きて<u>侍り</u>」「西行の庵室(あんじち)に着きて<u>候ふ</u>」〈謡・西行桜〉</p>
補助の関係 (ほじよのかんけい)	<p>「吾輩(わがはい)は猫である」「君もをかしと聞きたまふ」〈源・若菜〉。この傍点の△文節と傍線の文節の関係をみると、前の文節がおもな意味を表し、あとの文節はこれに付属して補助的な意味を添えている。このような連なり方を「補助の関係」または「付属の関係」という。この場合、後の文節は常に△補助用言である。補助の関係は、△用言とそれに付く△助動詞との関係によく似ていて、文例の「猫である」「聞きたまふ」は、ほとんど1文節のようなはたらき</p>

	<p>をしている。しかし、これらを補助の関係に立つ2つの文節と見なすのは、この場合「ある」「たまふ」などの語が、「ここに本がある」「御衣(おほんぞ)をたまふ」のように、時に応じて独立の本動詞としての機能をもっており、完全に助動詞になりきってはいないからである。</p>
	<p>補助用言 (ほじよようげん)</p> <p>△用言が、もとの意味を失い、△助動詞と同じく補助的用法に用いられるようになったものをいう。△補助動詞と△補助形容詞の2種がある。これらの語は意味・用法のうえでは助動詞に相当するが、形態のうえではそれだけで△文節をつくることができるから、自立語として扱われる。▲補助動詞(ほじよどうし)・補助形容詞(ほじよけいようし)</p>
	<p>梵語 (ぼんご)</p> <p>サンスクリット(古代インド・アリアン語)。ギリシャ語やラテン語と同系統のインド・ヨーロッパ語族に属する。紀元前から会話語としての性格を失い、その後は文章語として用いられた。仏教の傳播(でんぱ)に伴い、漢訳仏典を通じてわが国の日常語にも吸収され、今日もなお使われているものがある。たとえば、僧(ソウ)・旦那(ダンナ)・卒塔婆(ソトバ)・袈裟(ケサ)・舍利(シャリ)・刹那(セツナ)など。</p>
(ま行)	<p>枕詞 (まくらことば)</p> <p>国語の修辞の1つ。一定の語に冠して修飾または句調を整えるのに用いる語句。主として、上代・中古の和歌などに用いられ、5音がふつうであるが、古いものには、4音(うま酒→三輪、つぎねふ→山城)など</p>

	<p>もあり、3音(千葉の→葛野(かづの))のものもある。枕詞の起源は、神名・人名・地名に冠して用いられたもので、元来は呪術(じゆじゆつ)的なほめことばであったろうという。歌謡が和歌となり、文芸作品の性質を帯びるにしたがって、枕詞も本来の性質を失って声調的・情緒的な修辞上の技巧に変質していったと思われる。枕詞の使用は上代の記紀からみられ、「万葉集」に最も多彩に生き生きと用いられているが、「古今集」以後ではその数も僅少(きんしょう)となり、内容の空虚な形式的修辞に化している。</p> <p>枕詞の中で上代からあったと推定されるものには「あしひきの」「あをによし」「ひさかたの」などがあり、語義やかかり方の不明なものが多い。語義の解釈しうものや、動詞・形容詞・語句などにかかるものは成立がおそく、なかには人麻呂などの歌人による創作もあると推定される。その修飾する語句へのかかり方には、およそ次の2種類が考えられる。</p> <p>(1) 意味の関連によるもの…天離(あまざか)る→鄙(ひな)くさまくら→旅 菅(すか)の根の→長き 垂乳根(たらしね)の→母・親</p> <p>(2) 音の関連によるもの…葦田鶴(あしたづ)の→たづたづし さゆり花→後(ゆり) 柞葉(はそは)の→母 =冠辞・頭辞。</p>
未然形 (みぜんけい)	<p>△活用形の1つ。助動詞「む」・助詞「ば」に続いて、まだ(未)実際には起きていない事実(然)を述べるのに用いられ、未然形とよばれる。単独で文中に用いられた例はなく、</p>

	<p>常に次の助動詞・助詞に続く形として用いられる。</p> <p>(1) 助動詞…す・む・じ・す(四段・ナ変・ラ変だけ)・さす(四段・ナ変・ラ変以外)・しむ・る(四段・ナ変・ラ変だけ)・らる(四段・ナ変・ラ変以外)・まほし・まし・り(サ変だけ)</p> <p>(2) 助詞…ば・で・な…そ(カ変・サ変だけ)・ばや・なむ</p>
道行文 (みちゆきぶん)	<p>地名を追いながら、道中の風景や旅情などを織りこんで作る詞章。多く△七五調で、接続には掛詞などの技巧が見られる。宴曲・軍記物・謡曲・浄瑠璃(じょうるり)などに用いられ、わが国独特の表現形式である。「…憂さをば留めぬ相坂の、関の清水に袖(そで)濡(ぬ)れて、末は山路を打出の浜、沖を遥かに見渡せば、塩ならぬ海にこがれ行く、身を浮舟の浮き沈み、駒も轟(とどろ)と踏み鳴らす、勢多の長橋打ち渡り、行き交ふ人に近江路や、世のうねの野に鳴く鶴も、子を思ふかと哀れなり」〈太平記・2〉</p>
武者詞 (むしやことば)	<p>→武士詞(ぶしことば)</p>
無変化型の助動詞 (むへんかがたのじようし)	<p>△活用形の用法は備えていても、活用形に変化が見られない助動詞。文語では「じ」(打消推量)「らし」(推量)がこれに属する。無変化型の助動詞を特に立てないで、特殊活用型の助動詞に含める考えもある。本書はこの立場をとっている。</p>

名詞 (めいし)	品詞の1つ。事物の概念を名称によって表した語。△自立語で、△活用がなく、△主語になることができる。広義には、名詞すなわち△体言とするが、一般には△代名詞・△数詞とともに体言の一種とされる。名詞を△普通名詞・△固有名詞に分け、また別に△実質名詞と△形式名詞に分けることもある。
命令形 (めいれいけい)	△活用形の1つ。単独で言い切り、聞き手への「命令」の意を表すのがふつうであるが、「許容」「放任」の意に用いられる場合もある。たとえば、「今は西海の浪(なみ)の底に沈まば沈め」〈平家・7・忠度都落〉「勝手にせよ」など。上一段・上二段・下一段・下二段・カ変・サ変の動詞の命令形は、「見よ」「起きよ」「受けよ」「来(こ)よ」のように「よ」を伴うが、この「よ」を助詞と見る説もある。カ変の命令形は、中古ごろまでは「よ」を伴わない「来(こ)」の形を用いた。また、口語の△可能動詞は性質上、命令形を欠いている。△形容詞にも命令形はないが、文語では△カリ活用の「…かれ」という形をあてている。△助動詞は、同じ語形の語でも、それぞれの語の意味から、命令形をもつものと欠くものがある。
命令文 (めいれいぶん)	文をその性質上から分類した場合の一種で、命令・禁止・希望・要求などの意味を表すものをいう。「希望文」ということもある。切れる△文節に、△用言または△助動詞の命令形を用いるか、その意味を表す語を添えるか、

	または禁止や願望・希望の語を添えることが多い。「心して降りよ」(命令)「あやまちすな」(禁止)「外山(とやま)の霞(かすみ)立たずもあらなむ」(願望)「昔を今になすよしもがな」(希望) ▲ 文の種類(ぶんのしゆるい)・平叙文(へいじよぶん)・疑問文(ぎもんぶん)・感動文(かんだうぶん)
迷惑の受身 (めいわくのうけみ)	→受身の助動詞(うけみのじよどうし)
木版本 (もくはんぼん)	元来、木版本の意であった「版本」が、広く「写本」に対して印刷本をいうようになって、版木に彫って印刷するものを改めて区別する時、「木」をつけていう。版木を彫るには薄い和紙に彫るべき文字や絵図を書き、これを裏返しに版木に貼(は)りつけて刻む。この文字や絵図を「版下(はんした)」といい、その筆耕者を「版下書き」といった。版木は、日本では桜を使ったが、中国では梓(あすざ)を用いたので「上梓(じょうし)」の語がある。なお、「整版本」「槧本(ざんぼん)」も同義である。
文選読み (もんぜんよみ)	漢文訓読における読み方の一種で、たとえば「関々雉鳩」〈詩経〉を「クワンクワントヤハラギナケルシヨキウノミサゴハ」と読むように、同一の漢語・漢字を最初、音で読み、続いて訓でもう一度読む読み方。これを文選読みというのは、中国の詩文集「文選」の読み方に顕著にこの方法が伝えられたからで、すでに「太平記」などの漢文訓読調の文章にも見られるが、形式化したのは

		江戸時代であるという。
(や行)	湯桶読み (ゆとうよみ)	漢字の熟語・複合語で、たとえば「湯桶(ゆとう)」「(食後に飲む湯を入れる器)のように、上の漢字を△訓で読み、下の漢字を△音で読む読み方。「初陣(うひちん)」「手本(てほん)」「野宿(のじゆく)」などもこの例である。 ▶ 重箱読み(じゆうぼこよみ)
	拗音 (ようおん)	キャ・キュ・キョのようにヤ行のヤ・ユ・ヨや、クワ・グワのようにワを他の仮名の右下に小書きして表す音。前者を開拗音(ヤ行拗音)、後者を合拗音(ワ行拗音)ともいう。↔ 直音(ちよくおん)
	用言 (ようげん)	△自立語で活用のある語。事物の動作・存在・性質・状態を表し、単独で述語になることができる。活用形式によって、次の3品詞に分ける。↔ 体言 (1) △動詞(終止形がウ段の音で終わるもの。ただし、文語ラ変はイ段「り」) (2) △形容詞(終止形が「し」(文語)、「い」(口語)で終わるもの) (3) △形容動詞(終止形が「なり・たり」(文語)、「だ」(口語)で終わるもの)
	様態の助動詞 (ようたいのじようどうし)	物の存在のしかた、人の行動・ようすなどについて、「…のようすだ」「…のように見える」と、不確かな断定を表す助動詞をいう。口語では「ようだ」「そうだ」「ふうだ」(形容動詞型)がこれに属する。文語では推量の助動詞「めり」(ラ変動詞型)をこれに加える説もある。これらは不確かな

		判断を表す性質をもつところから、やわらげて言う表現(婉曲(えんきよく)な叙述)にも使われる。
	四段活用 (よだんかつよう)	文語動詞の活用の1つ。「待つ」「思ふ」のように、△活用語尾が△五十音図のアイウエの四段に活用する形式をもつもの。終止形・連体形が同形、已然形・命令形が同形で、連用形に△音便がある。口語動詞の場合は、助動詞「う」がつくとき、未然形に「書こう」「待とう」などと才段が加わるので「五段活用」という。
(ら行)	ラ行変格活用 (らぎようへんかくかつよう)	文語動詞の活用の1つ。略してラ変ともいう。四段活用に似ているが、その違いは終止形がイの段(「り」)で終わることである。「ら・り・り・る・れ・れ」と活用する。これに属する語は「あり」「居(を)り」「はべり」「いまそがり」がある。「あり」「居り」「はべり」は、口語では「ある」「居(お)る」「はべる」と五段活用になり、「いまそがり」は用いられない。
	六書 (りくしよ)	漢字を語の書き表し方から6分類した総称。△象形(しょうけい)・△指事・△会意・△形声・△転注・△仮借(かじや)の6つをいう。六書は後漢ごろから説かれたが、六書の原理を用いて当時の文字を分類し、それぞれの文字の正しい意味を定めたのが後漢の許慎(きよしん)の「説文(せつもん)解字」15編(西暦100年ごろ成立)である。▶ 会意(かいい)・仮借(かじや)・形声(けいせい)・指事(しじ)・象形(しょうけい)・転注(てんちゆう)

律詩 (りっし)	漢詩の一体。単に「律」ともいう。2句を一組みとして、首聯・頷聯(がんれん)・頸聯(けいれん)・尾聯の8句から成る。各句の字数によって、五言律詩・七言律詩の2種がある。 △絶句とともに南北朝から唐にかけて完成された近(今)体詩。頷聯と頸聯はそれぞれ対句をなし、△押韻(おういん)・△平仄(ひようそく)などにも厳密なきまりがある。
流布本 (るぷほん)	同一の古典作品として伝えられる本文のうち、もっとも世間に流布・通行しているものをいい、「異本」ということになる。流布本の特色は文意が通ってわかりやすい点にあるが、だからといって正しい本文であるとは限らない。そこに△校合(きようごう)という作業の必要性がある。▶校合(きようごう)
歴史的仮名遣い (れきしてきかなづかい)	△仮名遣いの基準を一定の過去の文献の用例に求める立場のものをいう。表音的仮名遣いに対するもので、「古典的仮名遣い」とも称される。ふつうには「現代仮名遣い」が制定される以前、国が公認したものをさすが、具体的には、江戸時代初期に国学者契沖(けいちゅう)の定めた仮名遣いを意味する。 △仮名による表記法は、音声の変化とともに乱れたが、中世以後、いわゆる「△定家仮名遣い」が、1つの基準として行われてきた。しかし「定家仮名遣い」は、その根拠とした文献が、当時から比較的近い過去のものであったらしく、原理の不統一や誤りが見られた。この点に疑問をいただいた契沖は、「定家仮名遣い」に対して、仮名の用法

	に混乱を生じなかった中古中期(天曆ごろ)以前の古典(紀紀・「万葉集」・「和名抄」など)に仮名遣いの基準を求め、「和字正濫抄(わじしょうらんしょう)」を著してこの法則の使用を主張した。これは、伝統を尊重する国学者によって支持され、権取魚彦(かとりなひこ)の「古言梯(こげんてい)」で補訂が加えられ、権威づけられるようになった。明治時代にはいと義務教育に採用されて公認のものとなり、諸種の文章や口語文にも広く用いられ、「現代仮名遣い」が公布されるまで国語の仮名表記の規範としての地位を保った。▶仮名遣い(かなづかい)
連語 (れんご)	2つ以上の単語の連結したもの。「山の端」「春は」「暮れぬ」など。ただし、単語の結合でも、それらがすっかり熟合して、結合以前とは異なった1単語としての形態や機能をもっているものは「△複合語」として、連語とは区別される。連語のうち、活用のあるものを「活用連語」という。
連声 (れんじょう)	音が連続するとき起こる音韻変化の1つで、音韻添加(音の増加)の現象。前の△音節の尾音のm・n・tが次の△母音と連なる場合にその△子音が添加されるもの。中古の中期からあった。「かんおん→かんのん(観音)」「さんい→さんみ(三位)」「いんえん→いんねん(因縁)」
連体形 (れんたいけい)	△活用形の1つ。△体言を修飾することをおもな用法とする形。口語の動詞・形容詞においては終止形と同形である。文語連体

	<p>形の用法としては、次のようなものがある。</p> <p>(1) 連体修飾語として体言を修飾する。「流るる水」「<u>住む</u>家」「<u>白</u>き花」「<u>静</u>かなる山」</p> <p>(2) 係助詞「ぞ」「なむ(なん)」「や」「か」を受けて文を結ぶ(係り結び)。「水<u>ぞ</u>流るる」「心<u>やは</u>らかなるな<u>んよ</u>き」「夜<u>や</u>暗き」</p> <p>(3) 下に「こと」「もの」「ひと」などのある気持ちで、体言と同じ資格で用いられる。「雨<u>など</u>降る(コト、サマ)も<u>を</u>かし」〈枕・春は<u>あ</u>げほの〉「<u>行</u>く(ヒト)も<u>帰</u>る(ヒト)も別れては」〈後撰・雑1〉</p> <p>(4) 助動詞「ごとし」「なり(断定)」、助詞「が」「の」「を」「に」「より」「か」「かな」「ぞ」に連なる。</p> <p>(5) ラ変動詞・形容詞・形容動詞の連体形は、助動詞「べし」「まじ」「らむ」「めり」「らし」「なり(伝聞推定)」に連なる。</p>
連体詞 (れんたいし)	品詞の1つ。単語のうち、△自立語で△活用がなく、△主語にならないもので、もっぱら△体言を修飾するものをいう。文語ではこれに属する語は少数で、「ある」「いはゆる」「あらゆる」「さ(然)る」「さしたる」「去(さ)んぬる」「往(い)んじ(往にし)」など。「この」「その」「わが」は、口語では連体詞(1単語)とし、文語の場合は「こ・そ・わ(代名詞)」に「の・が(助詞)」の連なったもの(2単語)として扱う。

連体修飾語 (れんたいしゅうしょくご)	△修飾語の1つ。△体言を修飾する修飾語で、形容詞的修飾語ともいう。△被修飾語に直接に連なるのが特色である。連体修飾語となる△文節は、次のような品詞からできている。
連濁 (れんだく)	2語が結合する場合に、下の語の頭の△清音が△濁音になるもの。「あ <u>さ</u> ざり」「ひと <u>び</u> と」。この現象は字音語にも見られ、傾向として前の字音の尾音がイ・ウ・ンなどのときに多い。「亭子院(ていじのあん)」「障子(さうじ)」「信心(しんじん)」
連文節 (れんぶんせつ)	連接する2つの△文節が△主語△述語の関係・△修飾語△被修飾語の関係・△対等の関係・△補助の関係で結合して1つのまとまりになり、さらに他の文節に対して主語・述語・修飾語・△独立語など、1つの文節のようなはたらきをするものをいう。文節と連文節、連文節と連文節とが結合してできる。さら



	に大きいまとまりも連文節とよぶ。文節と文節とはこのようにして順次結ばれてゆき、文全体が連文節になったときに終わる。次の傍線の部分は、それぞれ連文節である。 <u>春は 来たれども</u> <u>寒さ 未(いま)だ 去らず</u>
連用形 (れんようけい)	△活用形の1つ。△用言に連なることをおもな用法とするもので、次のような用法がある。 (1) △中止法…文を中止し、次の△文節に△対等の関係で続く。「花咲き、鳥鳴く」「山青く、水清し」「 <u>波静かに</u> 、風なぎたり」 (2) △副詞法…△連用修飾語として△用言を修飾し、または意味を補う。「 <u>読み終わる</u> 」「 <u>暖かくなる</u> 」「 <u>静かに語る</u> 」 (3) △体言と同じ資格をもつ。「 <u>花を見に行かむ</u> 」 (4) 動詞の連用形は他の動詞などに連なって△複合語となる。「 <u>見送る</u> 」「 <u>居着く</u> 」「 <u>住みなす</u> 」 (5) 助動詞「き」「けり」「つ」「ぬ」「たり」「けむ」「たし」、助詞「て」「して(形容詞・形容動詞だけ)」「つつ」「(な)…そ(カ変・サ変以外)」に連なる。この場合、特定の助動詞・助詞に続くとき、四段・ナ変・ラ変、形容詞は△音便の形になることがある。 「 <u>泣いて</u> 」「 <u>飛んだり</u> 」「 <u>往(い)んじ</u> 」「 <u>あんなり</u> 」「 <u>面白うて(して)</u> 」

	連用修飾語 (れんようしゅうしょくご)	△修飾語の1つで、△用言を修飾するもの。副詞的修飾語ともいう。客語・補語とよばれるものも、連用修飾語と比べてはっきりと両者を分ける基準をたてにくいことから、今日では連用修飾語として扱っている。連用修飾語になる△文節は次のような品詞からできている。 (1) 副詞。「 <u>いとあはれなり</u> 」「 <u>はらはらと散る</u> 」 (2) 形容詞または形容動詞の連用形。「 <u>風涼しく吹く</u> 」「 <u>静かに思ふ</u> 」「 <u>巍巍(ぎぎ)と聳(そび)ゆ</u> 」 (3) △体言(数量や時を示すもの)。「 <u>三たび省みる</u> 」「 <u>一里歩く</u> 」「 <u>昔、男ありけり</u> 」 (4) 体言に助詞の付いたもの。「 <u>宿を立ち出(い)づ</u> 」「 <u>仏に仕うまつる</u> 」「 <u>桜田へ鶴(たづ)鳴きわたる</u> 」〈万・3・273〉 (5) 用言または活用連語に接続助詞の付いたもの(理由・原因・条件などを示す)。これを「△接続語」として、連用修飾語に含めない説もある。「 <u>遠くとも心を近く思ほせ吾妹(わがも)</u> 」〈万・15・3786〉
(わ行)	和漢混交文 (わかんこんこうぶん)	文体の一種。広義には、和文調と漢文調との交じった文体をいう。狭義には、鎌倉時代以降の軍記物語(「保元(ほうげん)物語」「平治物語」「平家物語」「太平記」)などに見られる和文調と漢文訓読調を調和させ、

		それに当時の口語・俗語をも取り入れた独自の文体をさしている。系統上は「漢字仮名交じり文」に属するもので、漢字に片仮名を交ぜて表記し、のちには平仮名を交ぜて表記した。和文の優雅・流麗と漢文訓読調の力強さ・簡潔さを、内容に応じて適宜に交じえて表現効果をあげた。
--	--	--

# ローマ字／かな対応表

ローマ字の入力方法がわからないときは、この表で確認してください。

ひらがな	表記	ひらがな	表記
あ	A	の	NO
い	I/YI	は	HA
う	U	ひ	HI
え	E	ふ	HU/FU
お	O	へ	HE
か	KA/CA	ほ	HO
き	KI	ま	MA
く	KU/QU/CU	み	MI
け	KE	む	MU
こ	KO/CO	め	ME
さ	SA	も	MO
し	SI/SHI/CI	や	YA
す	SU	ゆ	YU
せ	SE/CE	よ	YO
そ	SO	ら	RA
た	TA	り	RI
ち	TI/CHI	る	RU
つ	TU/TSU	れ	RE
て	TE	ろ	RO
と	TO	わ	WA
な	NA	ゐ	WYI
に	NI	ゑ	WYE
ぬ	NU	を	WO
ね	NE	ん	N*

・「ん」の次に「[実行]」の文字、または「[な行]」「[や行]」の文字がくるときは、「ん」は「NN」と入力します。

【例】「はんい」...HANNI

「そんな」...SONNNA

それ以外は「ん」は「N」と入力してかまいません。

## ●濁音

ひらがな	表記	ひらがな	表記
が	GA	ぢ	DI
ぎ	GI	づ	DU
ぐ	GU	で	DE
げ	GE	ど	DO
ご	GO	ば	BA
ざ	ZA	び	BI
じ	ZI/JI	ぶ	BU
ず	ZU	う(ヴ)	VU
ぜ	ZE	べ	BE
ぞ	ZO	ぼ	BO
だ	DA		

## ●半濁音

ひらがな	表記	ひらがな	表記
ぱ	PA	ぺ	PE
ぴ	PI	ぽ	PO
ぷ	PU		

## ●拗音

ひらがな	表記	ひらがな	表記
きゃ	KYA	しえ	SYE/SH E
きい	KYI	しよ	SYO/SH O
きゅ	KYU	ちゃ	TYA/CHA/
きえ	KYE		CYA
きよ	KYO	ちい	TYI/CYI
		ちゅ	TYU/CHU/
			CYU
しゃ	SYA/SH A	ちえ	TYE/CH E/
			CYE
しい	SYI	ちよ	TYO/CH O/
			CYO
しゅ	SYU/SH U	にゃ	NYA

ひらがな	表記	ひらがな	表記
にい	N(Y)I	りえ	R(Y)E
にゆ	N(Y)U	りよ	R(Y)O
にえ	N(Y)E	ぎゃ	G(Y)A
によ	N(Y)O	ぎい	G(Y)I
ひゃ	H(Y)A	ぎゆ	G(Y)U
ひい	H(Y)I	ぎえ	G(Y)E
ひゆ	H(Y)U	ぎよ	G(Y)O
ひえ	H(Y)E	じゃ	J(A)/J(Y)A/ Z(Y)A
ひよ	H(Y)O	じい	J(Y)I/(Z)Y(I)
ふぁ	F(A)	じゆ	J(U)/J(Y)U/ Z(Y)U
ふゃ	F(Y)A	じえ	J(E)/J(Y)E/ Z(Y)E
ふい	F(I)/(F)Y(I)	じよ	J(O)/J(Y)O/ Z(Y)O
ふゆ	F(Y)U	ぢゃ	D(Y)A
ふえ	F(E)/(F)Y(E)	ぢい	D(Y)I
ふよ	F(Y)O	ぢゆ	D(Y)U
ふぉ	F(O)	ぢえ	D(Y)E
ぴゃ	P(Y)A	ぢよ	D(Y)O
ぴい	P(Y)I	びゃ	B(Y)A
ぴゆ	P(Y)U	びい	B(Y)I
ぴえ	P(Y)E	びゆ	B(Y)U
ぴよ	P(Y)O	びえ	B(Y)E
みゃ	M(Y)A	びよ	B(Y)O
みい	M(Y)I	づぁ(ヅァ)	V(A)
みゆ	M(Y)U	づい(ヅイ)	V(I)
みえ	M(Y)E	づえ(ヅエ)	V(E)
みよ	M(Y)O	づぉ(ヅォ)	V(O)
りゃ	R(Y)A	づゃ(ヅャ)	V(Y)A
りい	R(Y)I	づゆ(ヅユ)	V(Y)U
りゆ	R(Y)U	づよ(ヅョ)	V(Y)O

ひらがな	表記	ひらがな	表記
うぁ	W(H)A	でい	D(H)I
うい	W(I)/W(H)I	でゆ	D(H)U
うえ	W(E)/W(H)E	でえ	D(H)E
うぉ	W(H)O	くぁ	Q(A)/K(W)A
つぁ	T(S)A	くい	Q(I)/K(W)I
つい	T(S)I	くう	Q(W)U
つえ	T(S)E	くえ	Q(E)/K(W)E
つぉ	T(S)O	くぉ	Q(O)/K(W)O
いぇ	Y(E)	くぁ	G(W)A
てゃ	T(H)A	ぐい	G(W)I
てい	T(H)I	ぐう	G(W)U
てゆ	T(H)U	ぐえ	G(W)E
てえ	T(H)E	ぐぉ	G(W)O
てよ	T(H)O	とう	T(W)U
でゃ	D(H)A	どう	D(W)U

### ●小文字

ひらがな	表記	ひらがな	表記
ぁ	X(A)/L(A)	っ	X(T)U/X(T)S(U)**/ L(T)U/L(T)S(U)
い	X(I)/L(I)/L(Y)I	ゃ	X(Y)A/L(Y)A
う	X(U)/L(U)	ゆ	X(Y)U/L(Y)U
え	X(E)/L(E)/L(Y)E	よ	X(Y)O/L(Y)O
ぉ	X(O)/L(O)	わ	X(W)A/L(W)A

- 促音（小文字の「っ」）は、次にくる文字の子音を続けて入力することによっても入力することができます。

【例】「さっき」... S(A)K(K)I

# 著作物と著作権など

## 『ジーニアス英和辞典 第4版』

© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2006-2008

- \* 収録辞典は小西友七・南出康世氏と大修館書店の著作物であり、書籍『ジーニアス英和辞典 第4版』を基に、株式会社 大修館書店の協力を得て電子化したものです。

## 『ベーシックジーニアス英和辞典』

© KONISHI Tomoshichi, HARAOKAWA Hiroyoshi & Taishukan, 2002-2007

- \* 収録辞典は小西友七・原川博善氏と大修館書店の著作物であり、書籍『ベーシックジーニアス英和辞典』を基に、株式会社 大修館書店の協力を得て電子化したものです。

## 『ジーニアス和英辞典 第2版』

© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2003-2007

- \* 収録辞典は小西友七・南出康世氏と大修館書店の著作物であり、書籍『ジーニアス和英辞典 第2版』を基に、株式会社 大修館書店の協力を得て電子化したものです。

## 『明鏡国語辞典』

© Kitahara Yasuo & Taishukan, 2002-2008

- \* 収録辞典は北原保雄氏と大修館書店の著作物であり、書籍『明鏡国語辞典』を基に、株式会社 大修館書店の協力を得て電子化したものです。

記述内容のお問合せ先

株式会社 大修館書店 TEL (03) 3294-2355

## 『ウィズダム英和辞典 第2版』

© Sanseido Co., Ltd. 2007

- \* 付録や図表は収録されていません。

## 『ウィズダム和英辞典』

© Sanseido Co., Ltd. 2007

- \* 付録や図表は収録されていません。

## 『スーパー大辞林 3.0』

© Sanseido Co., Ltd. 2007

- \* 『スーパー大辞林 3.0』は書籍版『大辞林 第三版』に2007年4月現在のデータ・項目を追加収録した電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されておりません。
- \* 「逆引き機能」は『スーパー大辞林 3.0』の見出し語を後方一致検索する機能です。

## 『三省堂物理小事典<第4版>』

© Sanseido Co., Ltd. 1994, 2009

- \* 書籍版の内容に対し、2007年7月現在のデータ・項目を改訂および増補しています。付録は収録されていません。また一部の数式は式変形して表示してあります。

## 『三省堂化学小事典<第4版>』

© Sanseido Co., Ltd. 1994, 2009

- \* 書籍版の内容に対し、2007年7月現在のデータ・項目を改訂および増補しています。付録は収録されていません。また一部の数式は式変形して表示してあります。

## 『三省堂生物小事典<第4版>』

© Sanseido Co., Ltd. 1994, 2009

- \* 書籍版の内容に対し、2007年7月現在のデータ・項目を改訂および増補しています。付録は収録されていません。また一部の数式は式変形して表示してあります。

記述内容のお問合せ先

株式会社 三省堂 TEL (03) 3230-9416

『Oxford Advanced Learner's Dictionary, 7th edition』

© Oxford University Press 2005

『Oxford Essential Dictionary』

© Oxford University Press 2006

『Oxford Bookworms Library』

© Oxford University Press 2008 より

『THE PHANTOM OF THE OPERA』

『THE ADVENTURES OF TOM SAWYER』

『THE COLDEST PLACE ON EARTH』

『ANNE OF GREEN GABLES』

『ROBINSON CRUSOE』

『SHERLOCK HOLMES SHORT STORIES』

『A CHRISTMAS CAROL』

『THE SECRET GARDEN』

『DR JEKYLL AND MR HYDE』

『TREASURE ISLAND』

記述内容のお問合せ先

オックスフォード大学出版局株式会社

TEL (03) 5444-5454

『英会話とっさのひとこと辞典』

© Ichiro Tatsumi, Sky Heather Tatsumi, 1998

- \* 本機に収録されている内容は、書籍『英会話とっさのひとこと辞典』を基に、巽一朗氏、巽スカイ・ヘザー氏及び株式会社 DHC の御協力を得て電子化したものです。これらは巽一朗氏、巽スカイ・ヘザー氏の著作物であり、著作権法によって保護されているため、無断で複写・転載することはできません。
- \* 本機の『英会話とっさのひとこと辞典』の音声は、巽一朗氏監修の音声データを使用しております。

記述内容のお問合せ先

株式会社 DHC TEL (03) 3585-1451 (営業)

『改訂新版 漢字源 (JIS 第 1 ~ 第 4 水準版)』

© Gakken, 2006

- \* 『改訂新版 漢字源 (JIS 第 1 ~ 第 4 水準版)』は、書籍版に基づいて、JIS 第 1 ~ 第 4 水準 (JIS X0213-2004)、補助漢字 (JIS X 0212-1990) 等を親字とする電子版として編集したものです。

『用例でわかる 四字熟語辞典』

© Gakken, 2005

- \* 収録辞典は書籍版『用例でわかる 四字熟語辞典』を基に電子データ化されたものです。書籍の内容とは一部異なります。

『用例でわかる 故事ことわざ辞典』

© Gakken, 2005

- \* 収録辞典は書籍版『用例でわかる 故事ことわざ辞典』を基に電子データ化されたものです。書籍の内容とは一部異なります。

記述内容のお問合せ先

株式会社 学習研究社 TEL (03) 3493-3286

『旺文社古語辞典 第九版』

© Matsumura・Yamaguchi・Wada 2001

『大学入試 英語リスニング対策 スタート編』

© Obunsha Co., Ltd. 2005

\* 本データは「大学入試 英語リスニング対策 スタート編」から、電子辞書用に一部内容を抜粋・収録したものです。

『傾向と対策 英語リスニング』

© Obunsha Co., Ltd. 2005

\* 本データは「傾向と対策 英語リスニング」から、電子辞書用に一部内容を抜粋・収録したものです。

『旺文社監修 センター試験リスニング対策 過去問題』

\* 電子版のコンテンツであり、書籍として刊行されていません。

『徹底例解 ロイヤル英文法 改訂新版』

© Watanuki Y. ほか 2000

『ロイヤル英文法問題集 改訂新版』

© Obunsha Co., Ltd. 2000

『漢検ブチドリル 3 級 改訂版』

© Obunsha Co., Ltd. 2002

『漢検ブチドリル 準 2 級 改訂版』

© Obunsha Co., Ltd. 2002

『漢検ブチドリル 2 級 改訂版』

© Obunsha Co., Ltd. 2002

『古文単語・熟語ターゲット 400』

© S. Kuwabara/Y. Nishi 2000

『旺文社監修 数学公式集』

© Ryouhei Tsuji 2002

\* 本データは「センター試験必出 数学公式 180」(数学 I・A/II・B)から、電子辞書用に公式部分等を抜粋・収録したものです。

記述内容のお問合せ先  
株式会社 旺文社 TEL (03) 3266-6018

『百科事典 マイペディア 電子辞書版』

All Rights Reserved. Copyright © 2008 Hitachi Systems & Services, Ltd.

\* 書籍版に最新(2007年7月)のデータ・項目を改訂および追加収録しております。なお、書籍版(平凡社発行)は現在刊行されていません。

記述内容のお問合せ先  
株式会社 日立システムアンドサービス  
FAX (03) 3763-0542

『山川 日本史小辞典 新版』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『山川 世界史小辞典 改訂新版』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『日本史 B 用語集』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『世界史 B 用語集 改訂版』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『倫理用語集』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『現代社会用語集 改訂版』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『地理用語集』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

『政治・経済用語集』

© Yamakawa Shuppansha Ltd.

記述内容のお問合せ先  
株式会社 山川出版社 TEL (03)3293-1788

### 『キクタン Basic 4000』

© ALC PRESS INC.

### 『キクタン Advanced 6000』

© ALC PRESS INC.

### 『キクタン Super 12000』

© ALC PRESS INC.

### 『キクジユク Basic 1800』

© ALC PRESS INC.

### 『キクジユク Super 3600』

© ALC PRESS INC.

記述内容のお問合せ先  
株式会社アルク カスタマーサービス部  
TEL (03)3327-1101 (平日 9:00 ~ 17:00)

### 『入試英単語の王道 2000+50』

© 江本祐一、島田浩史、米山達郎、福崎伍郎、トム・ギル

記述内容のお問合せ先  
株式会社 河合出版 TEL (03) 3403-9541

### 収録辞典の内容について

- ※ 本機の各収録辞典のデータは、著作権法によって保護されており、私的使用の範囲を超えての転載・複製などは禁止されています。また、格納されているデータを引用した著作物を公表する場合には、出典名・発行所を明記してください。
- ※ 電子化の仕様上、その他の事情により、各辞典発行元の監修に基づいて書籍版の内容を改変した部分があります。写真、付録、一部の図表、図版、囲み記事などは収録されていません。
- ※ 画数の多い漢字は液晶表示の都合上、一部簡略化しており、正確に表示できないものがあります。
- ※ 本機に収録した各辞典は、それぞれの書籍出版辞典に基づいて作成しています。それぞれの辞典における誤記（誤植）、誤用につきましては、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 本書の記述内容および問合せ先は予告なく変更する場合がございます。また発行後実情と異なる場合がございますので、ご了承ください。





# 操作中、困った時にお読みください

## よくあるご質問

Q.	A.
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電池が消耗していませんか。 (☞ 14 ページ参照)</li> <li>●指定の電池が入っていますか。 (☞ 14 ページ参照)</li> <li>●電池の向きは正しいですか。 (☞ 14 ページ参照)</li> <li>●画面の濃度は適切に調整されていますか。 (☞ 45 ページ参照)</li> </ul> <p>どれも該当しない場合は、本機裏面のリセットスイッチを押しください。 (☞ 19 ページ参照)</p>
バックライトが点灯しない。	電池を交換してください。 (☞ 14 ページ参照)
スピーカーから音が聞こえない。	イヤホンが実機に接続されていませんか。あるいは、本機左側面の音量調整ダイヤルで音量を調整してみてください。 (☞ 46 ページ参照)
電源がすぐに切れる。	オートパワーオフ機能が作動しているためです。電源が切れるまでの時間を設定することができます。 (☞ 43 ページ参照)





長時間電池を使用した場合に、電池の消耗が気になる。	長時間使用する場合は、外部電源(USB パスパワーまたは別売りのAC アダプター)でのご使用をお勧めします。
よく使うコンテンツが何度もキーを押さないと画面に表示できない。	頻繁に使用するコンテンツを「マイメニュー」に登録することができます。 (☞ 47 ページ参照)
コンテンツの内容が実情に合っていない。	書籍版からのコンテンツを収録しているため、発行後実情に合っていない場合がございます。ご了承ください。
SDメモリーカードやコンテンツカードが同梱されていない。	SDメモリーカードとコンテンツカードは別売りとなっております。動作確認済みのSDメモリーカードやコンテンツカードの詳細情報は「 <a href="http://canon.jp/wordtank/option/index.html">http://canon.jp/wordtank/option/index.html</a> 」をご覧ください(2009年1月現在)。
手書き検索ができない。	☒ や ☒ の表示された入力欄に漢字の手書き入力をしているなど、手書き文字に対応していない入力欄を選択している可能性があります。検索したい文字に適した入力欄を選択ください。 (☞ 33 ページ参照)

タッチパネルが反応しない。	液晶保護フィルタなど、キャノン製品以外のオプション品をお使いの場合は、一度本体から外してお試しください。
液晶画面がフリーズした。	本体裏のリセットボタンを押してください。 (  19 ページ参照) また頻繁に起きる場合は、検査の必要があります。キャノンパーソナル機器修理受付センターまでお問い合わせください。
付属品をなくしてしまったため、購入したい。	ご購入いただいた販売店、またはキャノンお客様相談センターまでお問い合わせください。
初めて使用される時、スタイルラスがどこに収納されているかわからない。	本使用説明書「各部の名称」をご参照ください。 (  13 ページ参照)

## メッセージが表示された時は

電子辞書画面に表示されるおもなメッセージを一覧にしました。操作中にメッセージが表示されたときは以下のように対処し、操作をやりなおしてください。

- ・「～」はメッセージの一部を省略していることを示しています。

メッセージ	対処方法
<b>■電池</b>	
電池容量が低下しているため～（使用）できません 電池を交換してください	電池を交換してください。 (  14 ページ参照)
電池容量が低下しています 電池を交換してください	
電池残量不足のため 処理を実行できません 電源を OFF します	
電池容量が低下しているため 録音を中止します	
<b>■システムエラー</b>	
メモリーデータに異常が発生 見られました システムを初期化します	 を押して、設定を初期化してください。 (  19 ページ参照)
<b>■メインメニュー</b>	
既にマイメニューに登録されています	選択したコンテンツは登録済みのおです。未登録のコンテンツを選択してください。 (  47 ページ参照)


カードコンテンツが見つかりません	本機対応のコンテンツカードを正しく挿入してください。 (☞ コンテンツカードの使用説明書参照)
<b>■検索全般</b>	
一致する～がありません	該当する語句がコンテンツにないようです。別の語句を再入力してください。
候補が見つかりませんでした	該当するスペルの単語がコンテンツにないようです。また入力した単語のスペル数が多すぎるようです。単語を再入力してください。
該当する項目がありません	選択した語句などを他のコンテンツへジャンプして調べることができません。選択し直してください。
～～画以内で部首画数を入力してください	表示された画数の範囲で入力してください。
<b>■カード</b>	
カードを挿入してください	カードを正しく挿入してください。 (☞ 140 ページ参照)
<b>■発音</b>	
発音できません	発音できない文字や記号を選択しています。選択し直してください。 (☞ 50～53 ページ参照)
<b>■手書き入力</b>	
認識できません	書き方の良い例を参考に、再度入力してください。 (☞ 33 ページ参照)

<b>■学習・テスト</b>	
表示する単語がありません (すべてチェック済みです)	選択した項目すべてにチェックが入っています。選択した項目のチェックをいくつかはすすか、学習設定画面で「チェック済み：表示する」を選択してください。 (☞ 94 ページ参照)
チェック済みの項目はありません	チェックした項目がありません。結果削除画面を再度確認してください。 (☞ 94～95 ページ参照)
記録はありません	まだ学習記録がありません。結果削除を再度確認してください。 (☞ 95 ページ参照)
<b>■単語帳</b>	
単語が登録されていません	単語帳に単語を登録してください。 (☞ 126 ページ参照)
チェック済みの項目はありません	単語帳の単語、チェック解除画面を再度確認してください。 (☞ 129 ページ参照)
これ以上単語帳に登録できません	単語帳に登録されている不要な語句を削除して、再登録してください。 (☞ 130 ページ参照)
<b>■テキストビューアー</b>	
テキストファイルが見つかりません	テキストファイルを指定の場所に保存してください。 (☞ 143 ページ参照)

次のフォルダにファイルを入れてください (¥Canon¥Document)	SD メモリーカード内に「Document」というタイトルのフォルダを作成し、そのフォルダ内にテキストファイルを保存してください。 (☞ 143 ページ参照)
100 件を超えるテキストファイルが見つかりました テキストファイルを表示できません	不要なテキストファイルを削除してください。 (☞ 144 ページ参照)
<b>■ MP3 プレーヤー</b>	
MP3 ファイルが見つかりません	指定のフォルダに MP3 ファイルを保存してください。 (☞ 146 ページ参照)
MP3 ファイルまたはフォルダが 100 件を超えています MP3 ファイルを表示できません	不要なフォルダまたは MP3 ファイルを削除してください。 (☞ 147 ページ参照)
次のフォルダにファイルを入れてください (¥Canon¥MP3¥)	MP3 ファイルを指定の場所に保存してください。 (☞ 146 ページ参照)
《不明なファイル》	MP3 ファイル以外のファイルに「.mp3」という拡張子がついていません。正しい拡張子かどうかご確認ください。


- メッセージは、改良のため予告なく変更することがございますので、ご了承ください。

# おもな仕様

型式	wordtank V320
収録コンテンツ	コンテンツの名前・出版社名については「著作物と著作権など」にてご確認ください。 (  235 ページ参照)
表示	480×320ドットマトリックス液晶表示
	文字 (16 ドットフォント) 全角 29 × 17 半角 58 × 17
文字表示*1 (文字×行)	縮小文字 (12 ドットフォント) 全角 39 × 22 半角 78 × 22
	拡大文字 (24 ドットフォント) 全角 19 × 11 半角 38 × 11
	(48 ドットフォント) 全角 9 × 6 半角 18 × 6
筆順表示	200 ドットフォント
電卓機能	演算桁数 : 置数、被演算数、演算数ともに 12 桁 結果 : 上位桁優先 12 桁 小数点方式 : 浮動小数点
対応ファイル形式 (MP3 プレーヤー機能)	MPEG1 Audio layer 3 CBR 32-320kbps

電源*2	単 4 形アルカリ乾電池 (LR03) 2 本 単 4 形ニッケル水素電池 2 本
消費電力	1.5W
使用時間 (乾電池使用 使用温度25℃にて)	• 約 83 時間 (カード非装着、英和辞典の画面で連続表示) • 約 78 時間 (カード非装着、5 秒間 10 文字以内の入力と  キー入力を繰り返し、55 秒間待つ場合)
オートパワーオフ	30 分以内で設定可能
使用温度	0℃～40℃
画面サイズ (たて×よこ)	66 × 107mm
外形寸法 (幅×奥行×高さ)	142 × 103 × 20.5mm (最厚部閉時)
重量	329g (電池含む)

\*1 掲載の文字表示方法により、実際の表示画面と異なる場合がございます。

\*2 パソコンに接続している間は、電源はパソコン本体から供給され電池は消耗されません。(  36 ページ参照)

改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 修理お問い合わせ専用窓口

**パーソナル機器修理受付センター(全国共通番号) 050-555-99088**

[受付時間] 9:00 ~ 18:00 (日曜、祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

### 製品取扱い方法ご相談窓口

**キヤノンお客様相談センター(全国共通番号) 050-555-90025**

[受付時間] <平日>9:00 ~ 20:00 <土日祝日>10:00 ~ 17:00  
(1月1日~1月3日は休ませていただきます。)

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632 をご利用ください。

※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。

※上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

2009年1月1日現在

**キヤノンマーケティングジャパン株式会社**

PUB. E-IJ-1152 © CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2009 PRINTED IN CHINA